

# 学生による授業評価 と大学教育

大東文化大学授業評価報告書（全学データ）

2019年度

大東文化大学

# 目 次

はじめに	1
全学FD委員会委員長 浅野 善治	
ファカルティ・ディベロップメント委員会報告	
第1章 授業評価アンケートの目的と実施方法	2
第1節 アンケートの目的と実施の経緯	
第2節 アンケート実施方法と集計の概要	
第2章 授業評価アンケートの集計内容と公表について	6
第1節 集計に際しての基本姿勢と留意点	
第2節 結果の分析について	
第3節 公表について	
第4節 今後の「学生による授業評価アンケート」の展望について	
第3章 昨年度（2018年度）の各学部・学科による分析報告	10
文学部	
経済学部	
外国語学部	
法学部	
国際関係学部	
経営学部	
環境創造学部	
スポーツ・健康科学部	
〈参考資料1〉	
大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程	30
〈参考資料2〉	
2018(平成30)年度 大東文化大学「授業評価」実施要項	32
〈参考資料3〉	
学生による授業評価アンケート設問・回答一覧	34
アンケート集計結果資料編	
A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計（全学・学年・学部・学科別集計）	35
B. 項目別集計（全学・学年別集計）	68
C. 項目別集計（学部別集計）	74
D. 学年別集計（学部・学科別集計）	88
E. 学科別集計	98

## はじめに

全学FD委員会  
委員長 浅野 善治

全学FD委員会は、学生が時間、場所の制約を受けずに回答できること、学生の回答がリアルタイムで見られること、教員のコメントもリアルタイムで学生が見ることができること、さらに教員および職員の負担と経費を軽減できることなど、さまざまな点を考慮し2017年度より「学生による授業評価アンケート」Web方式を導入しています。Web方式とすることで、専任・非常勤ともシラバスに記載されているすべての開講科目を対象とし、2019年11月26日から12月26日までの期間で実施しました。

全学FD委員会では、授業評価アンケート結果のフィードバックを組織的に行うことが全学FD活動における重要な意義と捉えており、それぞれの学部・学科が独自の視点に立って授業評価アンケートの結果を分析し、FD活動を活性化していくことには大きな意味があると考えています。そこで、2019年度も昨年度に引き続き、学生による授業評価アンケートの結果の分析を各学部・学科へ依頼しました。

ここ数年、学部・学科の記述において、昨年度との比較や全学の平均値との比較に関する分析の内容が増え、さらに独自のFD活動への取組みや教育活動の質的充実に向けた施設・設備の拡充に関する提案なども見られ、記載内容が豊富になってきております。授業評価アンケートは、これまではややもすると個々の先生の授業改善にのみ言及されがちな傾向が見られました。それが、ここにきて組織的なフィードバックを視野に入れた活動へと転化してきています。

昨年度、多くの教職員の協力を得て、授業評価アンケート回答率及び教員コメントの提出率の大幅改善が見られました。しかし、今年度は、実施方法の見直しを行ったことで回答率及び教員コメントの提出率が低下したなどの課題が残りました。今後尚一層の内容の充実と効果を高めることを目指さなければなりません。また、全学FD委員会では、設問項目の見直しや結果の公表、アンケート結果をいかに授業改善へ繋げていくのか検討を重ねてきましたが、未だ抜本的な解決に至っていません。本学は、学生による授業評価アンケートを他大学に先駆けて実施に踏み切り、それは授業の内容や方法の改善を図るうえで大きな役割を果たしてきました。魅力的な授業や教育改善の成果をより一層高めるため、全学FD委員会でさらに議論を深め、本学の教育の質向上を図っていくことが期待されます。

最後に、本年度、学生による授業評価アンケートの実施にあたってご理解とご協力くださった多くの学生および教職員の皆様に衷心よりお礼申し上げます。

以上

## 第1章 授業評価アンケートの目的と実施方法

### 第1節 アンケートの目的と実施の経緯

#### (概要)

2019年11月26日から12月23日に実施された「学生による授業評価アンケート」について報告する。今回のアンケートは昨年度導入したWeb方式を継続し行われた。実施目的は、授業に対する学生の率直な意見を聴取して本学の授業内容及び教育方法の改善に資することにある。併せて、自己点検・評価活動の一環として行っており、本年度で18回目を数えた。

アンケート結果に関する集計方針は、学生の授業への評価を統計的に、学年・学部・学科・授業別に提示することである。加えて、個々の教員・授業に関して学生がどのような感想・意見を持つかを個別に収集することにも工夫し、各教員に授業改善の取組みに着手するための判断材料を提供することを目指してきた。

また、(公財)大学基準協会(本学が2010年度に受審した認証評価機関)の方針を踏まえ、2011年度に本委員会が掲げた以下の姿勢を維持している。

(公財)大学基準協会による大学評価(認証評価)は2010年度で第一期が終了し、2011年度からの第二期大学評価(認証評価)では評価の基準が見直された。「全ての授業について統一した項目で授業評価が実施されていること」が、評価の際に留意すべき事項から外れ、その代わりに、達成度評価として「教育内容・方法等の改善を図ることを目的とした研修・研究が、定期的実施されるものであり、また、これを踏まえた改善プロセスを明らかにしているなど、教育の質の維持・向上に恒常的かつ適切に取り組んでいる。」(『「大学評価」ハンドブック』(公財)大学基準協会)という留意すべき事項が設けられている。これに準拠した形で、大学は授業評価アンケートの継続又はそれに替わる制度を導入し、社会に対して教育の品質保証をしなければならない。これについては本委員会において、中・長期的な課題として検討していく必要がある。

(2011年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』より)

#### (認証評価結果を受けての本学の姿勢)

本学は2010年度に(公財)大学基準協会の認証評価を受審し、以下のような指摘(「助言」)を受けた。

「全学部において、授業評価アンケートが専任教員は年間2科目、兼任教員は年間1科目の実施にとどまっており、結果のフィードバックも主として個々の教員に委ねられているので、改善が望まれる。」(2010年度「大東文化大学に対する大学評価(認証評価)結果」(公財)大学基準協会)

この結果に対して、本委員会では2011年度から議論を重ね、2013年度には以下の方向を定めた。

- ①本学では2004年度までの4回にわたる授業評価アンケートでは全科目について実施してきた。しかしながら、「同じ教員が担当する授業で評価が極端に異なることは考えにくい」こと、「対象科目を絞り込むことによって教員・学生双方の負

担を軽減」し「教員にはきめ細やかな改善策を策定するための労力を割いてもらいたい」（2006年度版授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）との理由により、2006年度からは専任2科目、非常勤1科目体制に変更した経緯がある。2013年度に再度2004年度の結果を調査（3教員を無作為で抽出）したところ、同一教員により「極端に異なった」結果が出ているとは言い難かった。この確認に基づいて、科目数を絞っても十分に信頼できるデータがとれると判断し、専任2科目・非常勤1科目とした。

②アンケート結果のフィードバック方法が教員個人に委ねられているという指摘についてはこれを真摯に受け止め、組織的な取組みが必要と判断した。2011年度まではアンケートの実施母体（現在ではFD委員会）のみが行っていたアンケート結果の分析を、2012年度分からは各学部・学科のFDを担う委員会に依頼して学部・学科単位で行う教育改善を促し、その分析結果を『報告書』へ掲載することとした。

また、本学は2016年度に（公財）大学基準協会による第二期大学評価（認証評価）を受審し、以下のような「概評」（一部抜粋）を受けた。

「学生による授業評価アンケートの回答は学習成果を測定する指標として十分とはいえない」（2016年度「大東文化大学に対する大学評価（認証評価）結果」（公財）大学基準協会）

これらの指摘を受け、今後は授業改善のみだけでなく達成度評価としてのアンケート実施について、検討作業に入る必要があると考える。

### （今までの流れ）

近年の本学の「学生による授業評価アンケート」の流れについて、以下に要約しておく。2009年度のアンケート実施から、設問と集計方法について大幅な見直し作業を行った。設問群の変更を行い、大きな3つのカテゴリー（「Ⅰ．学生自身への設問」、「Ⅱ．授業への設問」、「Ⅲ．総合的な設問」）に分けた。

2008年度にあった「この授業を総合的に評価して下さい」（選択肢は「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の5択）という一設問を、「Ⅲ．総合的な設問」として4つの設問を設け、その平均評価値を以ってその授業の「総合評価」と改めた。その結果は全学集計「D．学年別集計（学部・学科別集計）」にて観察することができることになった。

4つの設問の中にその授業に「とても満足できましたか」との設問をおいた。この満足度を以って授業の「総合評価」とする考えもあり得るだろう。しかし、単に満足したか否かの問いだけで直ちに総合評価とはできない。例えば、「この授業はあまり出席しなくても単位取得ができる」「（授業内容はともかく）先生の雑談が面白かった」など、設問の本意とは異なる動機で「満足」したと回答する可能性がある。逆に、本来ならば評価されてもよいような高水準の授業に対して「出席、授業態度に厳しく単位取得が難しい授業」や「高度な専門性のため授業についていけない」などの理由で「満足度」が低くなる傾向も否定できない。これらの観点を考慮して、「新しい自己発想」「分野への関心」「自分で考える姿勢」と「満足度」という4つの設問の平均値を以って「総合評価」とした。

2018年度より授業評価アンケートを全科目にて実施としたことにより、学生の回答にかかる負担を考慮し、設問を精査のうえ、設問数を2017年度の20問から13問とした。これに伴い「新しい自己発想」「自分で考える姿勢」「満足度」という3つの設問の平均値を以って「総合評価」とした。

こうした基準による結果が「総合評価」としてふさわしいかどうかについては慎重な検討が必要である。本委員会において「総合評価」の在り方については何度も議論してきたことを付記しておきたい。

本報告書に掲載されている全学集計表「A～D表」は2009年度に精査された集計法であり、2011年度から全学集計として「E. 学科別集計」を加えることになった。

この学科別集計については、2009年度から報告書への掲載の是非を本委員会内で検討してきた。学科別集計表は各学科の設問ごとの数値がわかりやすい形で比較可能であることが議論を呼び、各学科の「序列」が示されているとの誤解を招きかねないという危惧が上がった。結果についての何らかの評価がないこと自体、アンケート実施の趣旨に反するとして、本委員会は2011年度から「E. 学科別集計」を掲載することにした。

本学が実施している「学生による授業評価アンケート」は授業を数値化して序列化しないことを本委員会は原則としており、学生および教員にアンケート実施を依頼する前提でもあった。実施科目には大規模科目もあれば小規模科目もあり、授業形式においても演習や講義など多様である。また、各学科や分野の性質や教員一人当たりの学生数などの全く異なる状況にある授業に対して同一基準によって一律に数値化することが原理的に不可能である。これらの限界を抱えながらも、アンケートによって個々の授業のアンケート結果を通して「授業改善」そして組織的な「教育改善」につなげることが本学の基本姿勢であることを再度確認しておきたい。

2012年度には携帯及びスマートフォンを使用したWebアンケートを実施した。従前のマークシート方式による膨大なコストと事務の過重負担が限界に達しており、アンケート自体の可能性を探るための試みであった。しかしながら、東松山校舎における携帯電波状況の悪さとサーバーダウンのトラブル等が重なってしまった結果、Webアンケート方式は時期尚早と判断して2013年度からは従前のマークシート方式に戻した。

2017年度には膨大なコストと事務の過重負担削減、授業短縮の必要がなく、学生が期間中ならいつでもどこでも回答でき、教員コメントがリアルタイムに学生へ反映できる利点からWeb方式を導入した。電波状況等によるトラブルもなく実施することが出来たが回答率は14.6%であった。

2018年度以降は、これまで専任2科目、非常勤1科目であった体制をWeb方式の利点を活かし、全科目での実施とした。2018年度の回答率は51.2%という結果であったが授業時間中に電波状況により回答できないという大きなトラブルなく実施することが出来た。

#### **(本年度の実施)**

2006年度から2013年度までは後期、2014年度及び2015年度は前期、2016年度及び2017年度は後期、2018年度は前期、本年度は後期にアンケートを実施した。

## 第2節 アンケート実施方法と集計の概要

アンケート項目は授業形態や内容に関わらず全科目共通で、必要に応じて2項目を上限として質問項目の追加を可能とした。

本年度もアンケートは学生の自由な意見を妨げるべきではないという観点から、無記名方式（匿名回答）とした。授業評価アンケートの全科目実施に伴い、学生の回答にかかる負担を考慮し、昨年度同様の設問数（13問）とした。

本委員会では、今の形でアンケート実施を続けるのであれば、現行の無記名方式を取らざるを得ないと考えている。しかしながら、真摯な姿勢でアンケートに取り組む学生がいる一方で、学生が記述する自由記述欄の内容に、根拠のない教員の悪口や不満などを記載する学生がいるという旨の報告を受ける。それでも、「匿名性」を保ち学生が自由な意見を提言できる環境を堅持することは極めて重要であると委員会では考えている。学生の多様な意見から授業改善に結びつける教員の冷静な対応を期待したい。

### 1) 実施対象

前述の通り、2019年度は昨年度から継続し、本委員会にて全学の授業データを整えたうえで、アンケート対象科目の選定基準を「専任・非常勤ともシラバスに記載されているすべての開講科目（大学院の科目を除く）を対象とする。原則として、受講者が10名未満の科目、オムニバス科目、演習科目（1年次の基礎演習科目は除く）については対象外とする。」とした。

各学部学科及び国際交流センター、教職課程センターにおいて、アンケートに相応しくない科目（オムニバス科目、短期集中科目、演習科目等）の抽出と授業形式等の確認作業を依頼し、回答に基づき、各教員へ対象科目を連絡した。原則、本委員会から連絡した実施対象科目にてアンケートを実施とするが、各教員より希望があった場合にはアンケート実施科目の追加または削除について、FD委員長と協議のもと個別対応とした。

実施した教員数と授業科目数等は以下の通りである。

教員数： 908名（専任343名、非常勤565名）

対象科目数： 2,349科目（延べ2,863科目）

対象学生数：103,061人（延べ）※登録受講者総数

有効回答数： 32,868人（延べ）

回答率： 31.9%

表 実施科目・人数

専／非	科目	対象学生数	回答学生数
専任	1,145	59,846	18,423
非常勤	1,204	43,215	14,445
計	2,349	103,061	32,868

### 2) 実施期間と方法

アンケートは、2019年11月26日から12月23日の期間中に実施された。昨年度同様に授業評価アンケートシステム（C-Learning）において、シングルサインオンを導入することで、学生及び教員の利便性向上を図った。当初、実施要項ではアンケート実施期間を11月26日から12月16日までとしていたが、アンケート開始後、マイクロソフ

トのログイン認証システムの不具合が発生し、一週間授業評価アンケート（Cラーニングシステム）へ学生及び教員がログイン出来ない状態となった。このため、アンケート期間を1週間延長した。本委員会では、アンケート実施に際し、「授業時間内の終了15分程度を使いアンケートを実施する方法」と「授業内にて、授業評価アンケートについて学生に周知のみする方法」の2例を提示し、実施方法については各教員の任意とした。また、昨年度、紙での実施報告書の提出を必須としたが、教員コメントの入力をもってアンケート実施の確認とすることとした。

### 3) 集計方法

回答は5択制「肯定的／やや肯定的／どちらとも言えない／やや否定的／否定的」を採用し、設問に合わせた選択肢を設けた。

その他の選択肢を用いた設問

設問6：「速い／どちらかといえば速い／適切／どちらかといえば遅い／遅い」

設問9：「私語や受講態度の悪い学生はいなかった／十分対処していた／少し対処していた／どちらとも言えない／あまり対処していなかった／全く対処していなかった」5択制の他に対象者がいない旨の選択肢を設けた。

以 上



## 第2章 授業評価アンケートの集計内容と公表について

### 第1節 集計に際しての基本姿勢と留意点

アンケートの集計に際しては、本学の基本的な姿勢として次のことが継承されている。前回報告書より、当該の文章を以下に再録する。

学生による授業評価は、授業の運営をめぐって学生と教員のあいだの意思疎通を図り、教員が学生の声を受け止めながら今後の授業改善に役立てるための基本資料を提供する目的を持っている。したがって授業評価は、授業改善に取り組む教員を励ます「応援歌」となるべきものであり、この原則を離れて、集計結果に示された数値（評点）のみに基づいて単純に教員ないし授業を序列化することは厳に慎まなければならない。この点は、教員のみならず学生、職員を含め、全学の共通認識としてあらためて確認しておかねばならない。

（2015年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）

なお、この報告書の集計データは、今後の各学部・学科による組織的な建設的授業改善議論を深めていくためのひとつの素材として活用されることを強く期待している。

### 第2節 結果の分析について

本委員会では、第1回目から第10回目（2011年度）実施のアンケートまで全学集計データをもとに様々な分析を行い、2009年度から2011年度については、統計の専門教員を委員に選出し本格的な分析も実施してきた。

しかし、本委員会が行う分析作業は様々な方法で実施し、すでにやりつくしてきたこと、本委員会のみで各学部・学科を一律のおよび横断的に分析するには限界があること、また、これ以上の成果が期待できないと判断した。そこで2012年度からは、「FD活動」とは本来、大学全体のみならず各学部・学科レベルでの組織的な教育改善活動として取り組むべきであるとの認証評価機関および全国の大学等の全般的な認識と、各学部・学科への依頼として報告書の本委員会が収集したデータを活用してそれぞれの事情に応じた教育改善が図られるべきだと判断した。

2012年度分の各学部・学科の分析報告書は、初めての試みということもありまずまずの内容であったが、2013年度分の同報告書から内容が充実してきており、各学部・学科のFD活動に対する意識の向上の片鱗がみられる。また、2015年度の同報告書は、本報告書第3章に掲載している。是非ご一読いただきたい。

なお、アンケートの分析業務を各学部・学科へ移行することは本委員会の負担を減らすことを意図したものではなく、分析の質を低下させるものでもないことを強調しておきたい。「学生による授業評価アンケート」はFD活動の一環として大変重要ではあるが、「アンケートの実施イコール大学のFD活動」であるという時代はすでに過ぎていることは周知の通りである。本委員会では、「学生による授業評価アンケート」はFD活動のひとつとして捉え、引き続き大学全体に関わる教育改善を目指す活動組織として役割を全うしていきたい。

### 第3節 公表について

本報告書（冊子）には、以下の集計データと、その分析が収録されている。

- A：履修登録者数・回答者数レベル別集計（全学・学年・学科別集計）
- B：項目別集計（全学・学年別集計）
- C：項目別集計（学部別集計）
- D：学年別集計（学部・学科別集計）
- E：学科別集計

今回も実施した全科目毎の担当教員にコメントの提出を求めた。その結果、2,349科目中提出があったものは1,415科目、提出率は全体で60.2%（専任64.3%、非常勤56.4%）だった。昨年（73.5%）より回収率は下がったが、紙でアンケートを行っていた年度よりも高い数値であり、非常勤講師より専任教員の回収率が高いという結果となった。

個々の科目の集計結果とそれに対する担当教員からのコメントは、2006年度より教員のコメントを付して学内に公表されていたが、Web方式導入後も引き続き検討している。

### 第4節 今後の「学生による授業評価アンケート」の展望について

数年前から本委員会ではアンケートのあり方について抜本の見直しを含めた改革案について検討を重ねてきた。毎回検討もなく従前と同じ方法で実施を決めず全面的改定も含め検討してきた。しかしながら多くの高く厚い壁が存在し、全学的な抜本的改革の具体案を示せないのが現状である。

本年度（2019年度）も本委員会において授業評価アンケート制度の抜本的な見直しを目標に検討を行った。委員会内でも多くの意見が交わされ最終的に新しい取り組みには至らなかったが、2020年度以降も引き続き検討することになる予定である。そもそも本学が抱える教育的課題がどのような状況であるのか、またそれらをどのような形で解決するのか、高いレベルでの指導力の発揮なくして教育改革は不可能である。事実多くの大学においても、平穏順調に教育改革が進んでいる様子はみられない。大いなる決意と巨大なエネルギーを投入して、ようやくその一步を踏み出したというのが、教育改革を軌道に乗せた大学からの声である。

本学においては、授業評価アンケートという教育改革のために1つのトリガーだけでなく、私立大学を取り巻く期美々しい現状を正確に読み解き、多くの課題を一気に正の方向に展開する大胆とも言える施策を断行すべき重大な局面にさしかかっていることを申し述べておきたい。

本委員会から何回も指摘しているが、学内で抱えている諸問題、例えば8学部2キャンパス制による弊害、科目数・教員数が多く運用が困難な東松山校舎の現状と多大なるコスト、さらには教学を支える事務職員の過剰負荷など本学特有の諸事象はどれも本学の提供する教育品質に直接関わるものであり、授業評価アンケートだけに影響するものではない。特に2017年度から導入したWeb方式は、実際の回答率が低ければ、アンケートのもののマークシート方式に戻すことも今後検討しなければいけないものだと考える。そ

のため、学生の動向でアンケートを実施するのではなく、ある程度授業中に時間を割いてもアンケートを行っていただけるようにしなければ回答率の向上は見込めない。また、Web方式導入によって年1回の授業評価アンケートを年2回行うことも検討していきたい。

これらの諸問題については、全学的な議論と解決が必要不可欠と思われる。それと並行して本委員会は本学の教育の質を高めるための活動を行っていくべきであろう。引き続き、各学部・学科の本委員会の活動をご理解、ご支援いただくことを伏してお願いしたい。

以 上

### 第3章 昨年度（2017年度）の各学部・学科による分析報告

第1章および第2章でも触れたが、2011年度までは全学集計結果をもとに本委員会が分析作業を行い、アンケート結果をどのように授業改善へ活かすかは教員個人に委ねることに留まっていた。そこで、本委員会では各学部・学科の「組織的」な取り組みが必要と判断し、2012年度のアンケート結果から各学部・学科のFDを担う組織に分析を依頼し、報告をいただくこととした。

前回に引き続き、昨年度（2017年度）のアンケート結果を各学部・学科に分析していただき報告書を提出いただいたので、次頁以降に掲載をする。

今回は6回目の試みとなり、各学部・学科のから報告書が充実してきている。前述の通り2013年度分の報告書から、アンケートとFD活動全般に対する意識の向上がみられる。それまでは、アンケート結果に関する情報と授業改善に関する事項は、本委員会と個々の教員のみの問題であった。それがこの制度を導入したことにより、各学部・学科による教育改善活動に繋がる機会になってきた手ごたえがある。アンケート結果による「授業改善」を如何にするかという課題が各学部・学科の教育全体を如何にするかという議論に繋がり、それはまさに「FD活動」という大きなカテゴリーである「教育改善」を行う姿勢が出ていたということである。このことは、次頁以降の各報告書からもよくうかがえる。

この取り組みは引き続き実施していく予定であり、2018年度のアンケート結果について各学部・学科へ分析を依頼し、2019年度版の本報告書に掲載する予定である。

以 上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ①設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

日本文学科は、「シラバスの反映」と「教員の熱意」の項目で首位、「シラバスの熟読」で3位、「授業速度」「教材の使い方」「新しい自己発想」で5位であった。満足度は4位を占めた。

一方、「出席率」（13位）、「予習・復習」（16位）、「授業姿勢への自己評価」（15位）、「受講態度への対応」（13位）、「自分で考える姿勢」（12位）などの項目で振るわなかった。

教員は熱心に、適切な授業を行っているが、学生の大学内外での学習が量と質の両面で充分でないことが見て取れる。教室内での学生の学習態度への気配りや、学生が自主的に考える姿勢の育成にも課題を残している。

- ②2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

2017年のデータが見当たらず、対象項目も変わっているため、比較するのが容易でない。2017年度のアンケート結果に関する前主任の文書から判断するに、「教員の熱意」や「教材の使い方」「新しい自己発想」などの項目で改善が見られたように見受けられる。

一方今回不振であった項目は、2017年度でも振るわなかったようで、非常勤講師も含めて、学科全体として改善に努める必要がある。

- ③貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

日本文学科での勉学は、文学作品の分析や鑑賞を中心とするもので、純理論的とは言えない。一つ一つの概念を正確に修得し、それらの概念に立脚して、理論を組み立てていくタイプの学問研究ではない。「予習・復習」に難があるにもかかわらず、学生がそれなりに勉学に満足を示しているのは、そのような特性も要因の1つと考える。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

中国文学科の場合、他学科と比較すると平均的に高数値なことが伺える。学生はシラバスをしっかりと読み、教員は適切で忠実な授業運営を行っていることが数値から分かる。数値の分類は以下。

### <高数値>

予習・復習・練習 3.72 4位、シラバスの熟読 3.98 1位、授業姿勢への自己評価 4.00 5位  
シラバスへの反映 4.19 5位、適切な授業進行速度 4.21 6位、板書などの見やすさ 4.12 7位  
教材の使い方 4.11 11位、受講態度への反応 4.17 7位、教員の熱意 4.37 9位  
自分で考える姿勢 4.05 7位、満足度 9位 4.15

### <低数値>

出席率 4.46 15位（文学部内ワースト2位）新しい自己発想 4.06 13位（文学部内ワースト2位）

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

より高いレベルの教育を施す対策として、2017年度の新入生から定員を100名から70名に絞り込み、専門分野への基礎学力を持った者をより多く入学させ、教育の質の向上を目指した結果、「満足度」は19学科中の9位と安定した数値を維持している。また「予習・復習・練習」・「自分で考える姿勢」等の学習に対する積極的な姿勢や学力を高める努力が、数値から窺える。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

当学科の学生にとって、漢文を読み書きし、伝統的・歴史的な中国を理解することは一番の課題であり、目的でもある。従って、「予習・復習・練習」・「自分で考える姿勢」等の数値に現れている。また教員の授業への工夫として、「シラバスへの反映」・「適切な授業進行速度」・「板書などの見やすさ」・「教員の熱意」等の数値に現れている。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

「出席率」は、昨年と比較すると0.09ポイントの微増となった。19学科中15位で、文学部のなかではワースト2位である。これは休学者・退学者の割合に比例している。特に1、2年生のなかには漢文読解について行けない学生がおり、これらの学生が休学・退学するが、いかにしてこれ等の学生を減らすことができるかが、重要な課題である。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ①設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

大学全体の平均値よりも上回った項目は、10項目あった。全項目の順位の平均をとると、全学の中で10位となっている。この内で高数値は全体の2位となった「予習・復習・練習」(3.79)である。他に順位が一桁台となった項目には、「シラバスの熟読」(7位)、「シラバスの反映」(8位)、「受講態度への対応」(6位)、「自分で考える姿勢」(8位)がある。一方で、出席率は18位(4.4)と相対的には順位は低いが大学の平均は4.5であることからすればポイント的には大きく下回るものではないと考える。ただ1・2年次の学生の中には欠席が目立つ者が複数いるという報告がなされていることも事実である。

- ②2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

昨年、比較的低かった「シラバスの熟読」の評価は、今年度は好転している。「シラバスの反映」の項目も全体の半ばより上に位置しているのは、この好転したことと関係があると思われる。一方で「新しい自己発想」(4.07)は全学の平均値をкаろうじて上回ってはいるものの、昨年の4位から12位へと後退してしまった。さらに「満足度」(4.05)も全学の平均値以上ではあるが、昨年の5位から12位へと下がってしまった。今年度は主として進路選択における不一致・就学意欲の低下といった理由による1,2年次生の休学・退学が多く見られた。このような要因も満足度の低下に結びついた可能性があるかもしれない。

- ③貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

「予習・復習・練習」が高数値となった理由は、学科の科目の特性として演習科目が多いため、それらに対する授業外の学習時間として学生が真面目に取り組んだ結果と考えられ好ましいことである。特に演習科目に関し、シラバスにおいて授業外の学習時間についての記述を明確化したことも、数値に反映された一要因と思われる。

- ④上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

授業の「満足度」は、1年生(44.5%)、2年生(41%)、3年生(46%)、4年生(55%)となっている。各学年、50%は超えたいところである。2年次の数値が4学年の中でやや低いことが気になる。特に2年次は専任教員による必修の大きなクラスはあるものの、1年次のフレッシュマン・セミナーのような小クラスで専任が担当する授業がなく、個人的に学生の声に触れる機会が少ないと思われる。カリキュラム上の今後の課題である。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

全体として4.0以上の項目が多く、概ね良好な評価を受けている。他学科との比較でも10項目において4位以上であった。

4.0を切ったのは「予習・復習・練習」（3.68）と「シラバスの熟読」（3.69）であった。前者については、科目によって授業スタイルが多様であり、毎時間の予習・復習だけでなく、課題制作やレポート作成に要する時間を勘案して評価する視点も必要ではないか。後者については、他学科と比べても低い方であるが、教員のシラバスについての考え方の相違が、学生に影響していることも考えられる。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

前年度と比較しては、2017年度は「新しい自己発想」と「授業への関心度合い」が前年度の1位からそれぞれ6位、8位と後退したが、18年度は前者が1位へと回復した。学科として前年度の結果を報告・共有した以外、何らかの組織的系統的対策を行った経緯は無いので、この変動の要因は不明である。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

本学科が、相対的に優位であった項目は、「新しい自己発想」（1位）、「適切な授業進行速度」「自分で考える姿勢」「受講態度への対応」「授業姿勢への自己評価」「全体的満足度」（以上が2位）、「教材の使い方」（3位）であった。幼・小の教員や保育士を養成する教育学科としては、学生が将来子どもの教育・養育に携わることを意識して、各教員の授業の工夫・努力が行われていることがアンケート結果に反映されていることは重要な成果と言えよう。また、教育技術のトレーニングだけでなく、自分の考えや新しい発想ができる教育者を育てるといった価値観が、学科の教育活動の中で共有されていることが表われているのではないかと推測される。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

授業改善の努力以外では、留年や休退学を余儀なくされる学生の現状に対し、学科協議会などで時間をとって問題を抱える学生を教員全体で把握し、基礎演習やゼミの担当教員が面談する努力を続けている。また、教育学会での学生の自主的活動が教員の助言のもとで持続されている。そうした事も全体的満足度の高さに反映しているのではないかと推測される。

以上



## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

設問13項目中11項目において高数値である。学科の特性から、書作・書学共に一対一での対応となる科目が多い事とその要因であると思われる。「授業態度への対応」が突出して下位にある。これも個人への対応が主となる科目が中心となるため、他の学生に対し介入しにくい点が挙げられると思われる。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

「シラバスの熟読」「シラバスの反映」が他の項目と比較するとやや低いことであろう。昨年もこれについては取り上げたが、学年・個人により書作・書学の基礎に大きな差があるために個人への対応が中心となる授業が多い事。この点がこの項目のやや低い要因と思われる。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

「満足度」「自分で考える姿勢」「新しい自己発見」などの項目において高評価を得たのは、本学科が個人への対応が主となる科目において、自主的に学修する態度を身につけ主体性を育めるよう指導している事が要因の一つと思われる。

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述して下さい。

歴史文化学科の本年度の授業評価アンケートへの回答は、1年生のみの回答、すなわちサンプル数が少ない回答であるため、その結果分析は決して十分なものではない。あくまでも参考程度に評価していただければ幸いである。換言するならば、完成年度（2021年度）における1～4年生全員による回答をまたずに、本学科の学生の傾向、翻って本学科の授業の傾向を議論するのは早急である。その上で、敢えて学科としての評価を加えてみたい。

設問13では、6つの人数帯のうち半数の3つで、[どちらとも言えない][やや否定的][否定的]の比率が、全学平均を上回った。この点は、本学科の学生たちが、入学前から本学科の3つの専門コース（日本史コース、東西文化コース[西洋史・東洋史]、観光歴史学コース）に示された専門分野に対する関心が高いことと深く関係するものであると思われる。学生たちは、授業に対する様々な期待や要求を数多く持ち合わせて入学してきており、特に研究や資格取得に対する意識の高い学生たちからは、自身の関心に照らすと授業内容が物足りないという声や、基礎的な学習からいち早く専門研究に進みたいという要求が出ているので、そうした意見がここに反映されているとみてよいであろう。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述して下さい。

上記①に記したとおり、2017年度はまだ学科が設置されていませんでしたので、比較出来ません。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述して下さい。

出席率（79頁）で学科別ランキングの6位、予習・復習・練習（80頁）で6位、授業姿勢への自己評価（82頁）で6位、教材の使い方（86頁）で7位、教員の熱意（88頁）で7位、新しい自己発想（89頁）で7位、自分で考える姿勢（90頁）で5位、満足度（91頁）で7位という結果からは、①で述べたとおり、本学科の学生たちの授業に対する期待と、研究や資格取得に対する高い意識を看取することが出来る

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述して下さい。

設問13の、履修登録者数及び回答者数によるデータ分析は、両者がほぼ同様の分析結果となり、あまり有効ではないように見える。再考をお願いしたい。

## 2018（平成30）年度授業評価アンケート報告書

経 済 学 部

2018年度「学生による授業評価アンケート」結果の分析にあたって、過年度のアンケート結果との比較による分析をする。本学ホームページよりダウンロードできる報告書「学生による授業評価と大学教育」内の「E. 学科別集計」を年度ごとに参照し、以下の表をまとめた。なお、アンケートの設問数は、2017年度以前は全20問であったが、2018年度は全15問に変更されている。紙面の都合上、9問を抽出した。

### [社会経済学科の平均点]

	Q1: 出席率	Q4: シラバ スの熟 読	Q6: 授 業姿 勢へ の自 己評 価	Q8: シラバ スの反 映	Q9: 理解し やすさ	Q10: 適切 な授 業進 行速 度	Q11: 板書 な どの 見 やす さ	Q12: 教材 の 使 い 方	Q14: 受講 態 度 へ の 対 応	Q20: 満足 度
2013年	4.28	3.11	3.57	3.69	3.70	3.74	3.61	3.77	3.72	3.61
2014年	4.41	3.29	3.64	3.69	3.63	3.70	3.63	3.76	3.69	3.56
2015年	4.47	3.27	3.66	3.73	3.68	3.72	3.67	3.79	3.72	3.59
2016年	4.28	3.21	3.61	3.76	3.74	3.79	3.77	3.77	3.70	3.79
2017年	4.47	3.73	3.74	3.93	3.93	4.03	4.00	4.04	3.95	3.95
2018年	4.52	3.80	3.87	4.08	設問無	4.05	3.96	3.96	4.09	4.01

### [現代経済学科の平均点]

	Q1: 出席率	Q4: シラバ スの熟 読	Q6: 授 業姿 勢へ の自 己評 価	Q8: シラバ スの反 映	Q9: 理解し やすさ	Q10: 適切 な授 業進 行速 度	Q11: 板書 な どの 見 やす さ	Q12: 教材 の 使 い 方	Q14: 受講 態 度 へ の 対 応	Q20: 満足 度
2013年	4.33	3.12	3.58	3.72	3.75	3.81	3.68	3.82	3.78	3.64
2014年	4.40	3.31	3.61	3.74	3.71	3.75	3.68	3.83	3.75	3.63
2015年	4.41	3.25	3.62	3.72	3.69	3.70	3.69	3.80	3.71	3.59
2016年	4.31	3.16	3.53	3.73	3.70	3.75	3.64	3.71	3.61	3.76
2017年	4.44	3.94	3.78	4.08	4.04	4.12	4.01	4.11	4.01	4.10
2018年	4.44	3.70	3.75	4.09	設問無	4.08	4.01	4.02	4.11	4.03

「学生による授業評価と大学教育(2017年度)」の一章にあるように、2013年度から2016年度までは、マークシート方式によるアンケート、2017年度はWeb方式によるアンケートを実施した。また、「学生による授業評価と大学教育(2018年度)」の<参考資料1>にあるように、2018年度もWeb方式によるアンケートを実施した。

上表から、マークシート方式でアンケートを実施した2013年度から2016年度までの各項目の平均点に比べ、Web方式でアンケートを実施した2017年度と2018年度の各項目の平均点は大幅に上昇していることが観察できる。大幅に上昇した理由はわからないが、アンケートの方式に依存している可能性はあり得るとと思われる。

次に、同じ方式で実施された2017年度と2018年度の各項目の平均点を観察する。社会経済学科では、「板

書などの見やすさ」と「教材の使い方」において平均点が前年度より低下している。現代経済学科では、「シラバスの熟読」、「授業姿勢への自己評価」、「適切な授業進行速度」、「教材の使い方」、「満足度」において平均点が前年度より低下している。両学科とも、平均点が低下した項目においてもわずかな低下であり、平均点が上昇した項目も多いので、例年通りの授業運営であったと推察される。

最後に、各学部学科において特色や事情が異なると思われるので、他学部学科との比較は困難であるが、一点のみ論じる。「学生による授業評価と大学教育(2018年度)」の52ページに、経済学部の学年別「満足度」の数値がある。これによると、「満足度」の設問に対して肯定的と回答した学生の割合は、1年生が44.4%、2年生が36.0%、3年生が35.6%、4年生が39.9%であり、1年次と比較して2年次で満足度の落ち込みが見られる。この落ち込みは一般的なものなのかもしれないが、特色が似ていると思われる経営学部の学年別「満足度」では、1年生が40.0%、2年生が40.3%であり、落ち込みが見られないので、経営学部の2年次の授業運営が参考になるかもしれない。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

中国語学科では、「出席率」（4.25）、「受講態度への対応」（4.11）、「教員の熱意」（4.20）などが高い値を示している。これに対し、「予習・復習・練習」（3.62）、「シラバスの熟読」（3.70）、「授業姿勢への自己評価」（3.85）などが、相対的に低い値を示している。

これらを分析すると、授業には出席しているものの、授業前の予習や復習、練習などの時間が足りていない学生の様子がうかがえる。同時に、学生自身もこのような傾向に満足せず、納得していない様子もうかがえる。語学修得を目指すことが、学科の目標に掲げられており、語学修得には、一定時間の予習・復習は欠くことができない。学科全体で取り組んでいることではあるが、学生たちの「やる気スイッチ」を押す新たな試みに挑戦する必要がある。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

2016年度まで値が低かった「板書などの見やすさ」が、2017年度は、平均以上の4.10へと変化した。しかしながら、2018年度は、3.95と4.0をわずかではあるが下回っている。来年度は下がることがないように学科全体で真摯に受け止めたい。全体的には、昨年度に比べ、4.0に近い値、或いは、4.0を超える項目が増えたようである。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

「適切な授業進行速度」（3.96）に注目したい。中国語学科では、語学科目については、能力別クラス制を取り入れている科目が多々ある。一方、学年別に「統一試験」を実施しているため、能力の高いクラスも低いクラスもテキストの進度を一定にする必要がある。このため、学生の能力に応じて授業進行速度を調整することが難しい。よって、能力別クラスの最上位クラスと最下位クラスでは、満足度が低くなる傾向がある。この点を解消するべく、2019年度では、「統一試験」対象科目を絞り込むなどの対策を行っているが、効果の是非については、来年度更に検証する必要があると思われる。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

2017年度に比べ相対的に値が高くなってきている。引き続き授業を改善し、全ての項目において、4.0以上となるよう努力することが必要であると思われる。

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

英語学科で数値が最も高い項目は「出席率」4.44、次いで「教員の熱意」4.35、最も低いものは「予習・復習・練習」3.75である。全学との比較では全体の13項目の内、12項目が全学平均を上回っており、しかも唯一全学平均を下回る項目の差は0.01にとどまっている点は特筆すべきである。このことは英語学科の授業がバランス良く展開されていることを示している。

学科間の比較で見れば、数値として3.75と低い「予習・復習・練習」の項目が22学科中第3位となっており、本学生が全般に予習・復習の面で不足の面があるものの、英語学科の学生は授業の予習・復習を比較的行っている傾向を示している。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

2017年度において最も高い項目として「教材等の持参頻度」4.38があり、最も低い項目は「飽きさせない工夫」3.8となっている。調査項目の中身が変わってしまっているため、単純には比較できないが2017年度の「出席率」4.3が2018年度には4.5と上昇し、また最も低い項目であった「予習・復習・練習」は2017年度が3.59であったが2018年度には3.75と上昇し、第3位に浮上している。このことは全体の項目のレンジが上昇していることを示しており、好ましい傾向と言える。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

学生サイドの「予習・復習・練習」は特に語学のスキル科目において、単元テストや単語テストが頻繁に行われていること、また教科書の予習の他、ゼミナール系の科目で広く行われているプレゼンテーション等の準備が反映されているものと推察される。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

教員サイドの9項目すべてが4.0を超えていることは英語学科の教員の不断の努力の賜物であり、毎年TOEICの平均得点が上昇していることにも連動していると思われる。また「新しい自己発想」4.09、「自分で考える姿勢」4.04は新カリキュラムの特徴の一つである1年から4年までのゼミナール科目の設置の効果ともまた連動していると思われる。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

「予習・復習・練習」が3.80、「板書などの見やすさ」が4.25であり、全学科のなかで、もっとも高い数値を示している。

そのほか、「シラバスの反映」が4.22、「適切な授業進行速度」が4.25、「教材の使い方」が4.24で、いずれも全学科中2番目の高い数値となっている。

また、「シラバスの熟読」が3.93、「受講態度への対応」が4.22で、どちらも全学科中3番目であり、「授業姿勢への自己評価」は4.00で全学科中4番目である。

以上の項目に対して、「教員の熱意」(4.42)、「新しい自己発想」(4.14)、「自分で考える姿勢」(4.08)、「満足度」(4.22)はすべて、全学科中6番目で、順位としては若干低くなっているが、数値自体は決して低くはない。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

全体的に前年度よりも、他学科と比較して相対的にかなり高い数値を示すようになっており、低い数値を示す項目がなくなっていることが特筆される。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

今回高い数値を示した項目が学科の特性と関係するかは、なんとも言えない。ただ、全体的に高い数値を示しているのは、各教員の日々の努力とともに、少人数の学科であることが授業の充実につながりはじめているのではないかと思われる。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

特になし。

以上

### 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

2018年度も、出席率（Q1）が全学においても高い数値を示している。少人数クラスを中心に出席管理を丁寧に行っていることの反映と思われる。

他方、2017年度から教員の熱意（Q10）および満足度（Q13）が低下しており、今年度も全学的に見て低い部類に入っている。出席率が高まったことの反射的効果も含まれているように思われるが、引き続き、講義方法に工夫が必要であろう。なお、2019年度に実施されたFD研究会においては、manabaやresponを使用した手法が取り上げられている。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

2017年度と比較して、大きな変化は見られなかった。あえて言えば、出席率が高いにもかかわらず授業姿勢への自己評価（Q4）が低い点に留意して、授業姿勢を改める工夫がより求められていると分析することは可能であろう。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

自分で考える姿勢（Q12）の低さは、学部学科のST比の高さから生じるものであって、長年の課題である。そうした体制においても主体的な学びを確保できるよう、上記①でも述べたように、manaba等を用いたメソッドの有用性について検討を続けている。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

予習・復習・練習（Q2）は、本学科も含めて全体的に低い（4を超える学科はない）。2020年度からシラバスに授業外学習時間の目安が記入されることとなったので、2020年度の授業評価アンケートの結果分析から注視する必要があると思われる。

以上



## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

出席率、シラバスの熟読、教員の熱意の数値は比較的高く、予習・復習・練習、授業姿勢への自己評価、自分で考える姿勢の数値が低い。こうした傾向から「真面目であるが、教員が想定する学力レベルと乖離がある」学生像がみえてくる。授業の進め方、教材の提示方法にさらなる工夫が必要となるだろう。

一方、これらの数値は学生全体の平均値であることにも注意しなければならない。多数ではないにせよ優秀な学生も存在することも確かである。こうした学生への対応も同様に重要である。学力において幅広く分布する学生それぞれに適切な指導を可能にする体制を考える必要があるだろう。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

ほとんどすべての項目において数値が上昇している。学生のレベルが全体として上向いていることも一因であろう。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

現地研修型の授業（旧アクティブラーニング）などにおける教員の姿勢が教員の熱意の数値につながっているものと考えられる。

また、政治学という学問の特性から学生の興味の対象も広汎である。こうした事情が学力分布の幅と相俟って、平均としての各数値を低下させていることも考えられる。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

### ① 注意すべき項目

#### i) 高数値

出席率、授業目的の明確さ、シラバスの授業への反映度、スピード、授業の理解しやすさ、教材の使い方、教員の熱意、受講態度の悪い学生への対応、新しい自己発想、自分で考える姿勢など、13項目中の10項目で4.0を超える高数値を記録している。とりわけ、教材利用方法、授業のスピード、自分で考える姿勢、教員の熱意と満足度（総合評価）などの7つでは、全学でトップレベルである。

#### ii) 低数値

「予習・復習」が3.6、「授業への取り組みの自己採点」が3.9と全学平均であるが、他の設問項目の平均値と比べて低い。全学部と同様の傾向が見られるが、受動的な授業態度が浮き上がっている。

### ② 2017年度と比較して、特筆すべきこと。

一般的に平均値は上昇している。シラバスの熟読の平均値が若干ではあるが上がっている。総じて、教員への評価が上昇し、学生の自己評価が低下傾向にある。

### ③ 学部の専門分野の特性から顕れたと推測される数値

「新しい考え方や発想が身に付いた」（肯定回答：41.8%・否定回答：1.8%）、「自分で考える姿勢」（肯定回答：39.8%・否定回答：1.9%）という項目は、例年4.0超の比較的に高い数値を示しているが、今回のアンケートでは、両方とも否定回答が2%未満であり、全学平均2.7%を大きく下回った。体験型の異文化理解や現地研修の教育効果の現れと考えられる。2019年度カリキュラムの進行により一層の向上が期待できる。

### ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

Q5の「教員はシラバスを授業に反映させていましたか」は、シラバス内容と実際の授業内容の整合性を確認するための根拠資料となる。自己点検・評価（基準4）の重要な視点としたい。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画などをご記述ください。

「予習・復習時間」に関しては、一向に改善が見られない。4割強の学生が何の準備もなく授業に出席し、復習もせずに次の授業に出席しているということであり、語学系の授業が多い学部だけに、教育効果の観点からも、引き続き早急な対策が必要である。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。
- Q1 出席率： 90%～100%が65.6%であり、80%以上では86%強となっているので、それほど悪い数字ではない。しかし、60%未満と回答した学生の割合が他学部と比べ若干多くなっており、この傾向は前年度と同様である。学年別ではやはり4年生の出席率が悪く就職活動との影響も考えられる。
  - Q2 事前学習等： 授業時間外の学習は、肯定的、やや肯定的合わせて約55%であり、全学平均(60%)と比べやや低い程度の数値になっているが、決して満足できる数字ではない。学年別でも同様であり、特に4年生の授業外学習時間が少ないようである。2020年度のコロナ禍で、授業以外の課題や教材が多く使われたこともあり、次年度以降の授業に役立てることで、この数字の向上が期待される。
  - Q9 受講態度への対応： 1,2年次に200名前後の必修科目があり、教員の対応が追い付かないと考えられることから、平均値が低くなっており改善が期待される項目である。
  - Q10 教員の熱意： Q9同様、全体平均に比べ低い値となっているが、定員の多い他学部もやはり同様の傾向にある。これは大規模授業において熱意が伝わりにくいといった性質によるものだと考えられる。
  - Q11 新しい自己発送, Q12 自分で考える姿勢： どちらの項目も経営、経済、法律、社会科学などの学部で低い値となっており、知識の習得からその発展に至る過程にギャップがあるように思われる。全学データから見ても3,4年次に向上しているわけでもなく、卒業研究のあり方に若干問題があるのかもしれない。
- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。  
特に改善、悪化の目覚ましい数値はないようであるが、昨年度指摘した4年次の低出席率から危惧される退学予備軍については、成績不良学生への面談(今年度はZoomによる)を積極的に実施した効果(データには表れていない)があったと考えられる。
- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。  
①でも述べたが、本学の社会科学系学部は学科の定員が多く、特に経営学部は1学科400人前後の学生がおり、また1年次に3コースの必修科目を各2コマずつ設定したこともあり、多人数授業が多くなっている。Q9, Q10などの数値が低くなっているのはその影響があると考えられる。
- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。  
特にありません。

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

### ① 全学部平均値との比較

今回の学部別集計結果で全学部平均値を上回ったものは、「シラバスの熟読」「適切な授業進行速度」「板書などの見やすさ」「受講態度への対応」「教員の熱意」「新しい自己発想」「満足度」の7項目であった。

一方、全学部平均を下回ったものは、「出席率」「予習・復習・練習」「授業姿勢への自己評価」の3項目のみだった。

また、全学部平均値と同数値だったものは、「教材の使い方」「シラバスの反映」「自分で考える姿勢」の3項目であった。

### ② 2017年度と比較して特筆すべき点

2017年度の学部別集計結果では、本学部は「教材の使い方」のみが全学部平均値を下回っていたが、2018年度は「出席率」「予習・復習・練習」「授業への取り組み姿勢の自己評価」の3項目、つまり受講学生の授業に対する取り組み姿勢に関わる項目が平均値を下回った。これら項目の改善に向けて、授業担当教員間で集計結果の共有が必要である。他方、2017年度（2016年度も）全学部平均値を下回っていた「教材の使い方」については改善された。

しかし、教授方法や内容など授業そのものに対する評価という観点からみると十分とは言い難い部分もある。具体的には、「教材の使い方」「シラバスの反映」については全学部平均値であり、向上努力が必要である。

### ③ 本学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値の分析

本学科は創設時からPBL型教育を基本コンセプトに据え、それを具現化するものとして「ゼミ」及び「卒業研究」を必修科目として配置、フィールドワークや地域連携活動を通じた現地・現場実践等のアクティブ・ラーニングの導入、学科独自のインターンシップ参加者間で情報共有と総括のための報告会の実施、さらに小・中規模の授業では個人報告やグループワーク等を取り入れた双方向性のある展開等が行われてきた。これらが重層的に配されていることによって、他の社会科学系学科に比べて「自分で考える姿勢」「新しい自己発想」の項目が高い評価に繋がったのではないかと推測できる。

### ④ 上記以外で気づいた点

従来になく2018年度に「出席率」が平均値を下回った要因の一つとしては、必修科目の配当が多く比較的出席率が高い1年生が入学者募集停止のために在籍していないことが影響しているのではないかと推測できる。

以上

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問13のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

スポーツ科学科で高数値（全学3位以上）だったのは、Q4（授業姿勢への自己評価、4.18）、Q7（板書などの見やすさ、4.19）、受講態度への対応（4.29）、Q11（新しい自己発想、4.21）、Q12（自分で考える姿勢、4.14）であった。このうち、Q4（授業姿勢への自己評価）とQ9（受講態度への対応）は、前年に引き続いての高数値であった。他方で、Q3（シラバスの熟読、3.40）とQ5（シラバスの反映、4.05）は低数値であり、両者とも前年と同様の結果であった。特にQ5（シラバスの反映）については、シラバスチェックシステム活用するなど教員間で情報を共有することにより、改善を図る必要がある。

- ② 2017年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

Q7（板書などの見やすさ）に関して、前回は低数値項目としてあげられていたが、今回は、「4.19」ポイントとなり、高数値を記録した。教員個々の努力により改善されたものと考えられる。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

Q3（シラバスの熟読、3.40）に関して、全学的には、最も低い数値であった。開講科目の40%強が実技科目という特性から、学生がシラバスを読まない傾向が推察される。シラバスの意義・重要性を学生にしっかりと伝え、改善するよう努めていきたい。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

Q11（新しい自己発想、4.21）及びQ12（自分で考える姿勢）に関して、学科として1年生から取り組んでいる項目であり、学生の自己評価につながっている点は満足できる。引き続き、教員間で情報を共有しながら取り組んでいきたい。

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

- ① Q1「出席率」は上位である（3位）。しかし、Q2「予習・復習・練習」とQ4「自己評価」が全体の中位（9位、11位）である以外のすべての設問において、下位に沈む結果となった。特に、Q9「受講態度への対応」、Q10「教員の熱意」、Q11「新しい自己発想」は最下位であった。
- ② Q5「シラバスの反映」とQ7「板書などの見やすさ」が11位から、それぞれ21位と20位へと下落している。特にQ7「板書」は授業のわかりやすさに直結する項目なので、改善に努めなければならない。
- ③ 臨床検査技師国家試験への対応が求められることにより、取り扱う事項が多岐に及び、しかも高い専門性を有している場合が多く、学生と教員がともに「消化不良」のような状況に陥っていることが、満足度低下の一因であると思われる。また、臨床検査技師を目指さない学生への対応は喫緊の課題である。
- ④ 限られた時間の中で多くの事項を取り扱うためには、指導方法の改善はもとより、カリキュラムの見直しを含む、抜本的な対応が必要である。

## 1. 2018年度各設問の数値に関する検証

① 2018年度は1期生のみデータである。

最高値は「出席率」で全学科（22学科）中、1位であった。全学平均値より高値だった項目は、「受講態度への対応」「新しい自己発想」「教員の熱意」「自分で考える姿勢」であった。全学平均値だった項目は、「授業姿勢への自己評価」「適切な授業進行速度」であった。全学平均値より低値だった項目は、「満足度」「シラバスの反映」「シラバスの熟読」「教材の使い方」「予習・復習・練習」「板書などの見やすさ」であった。特に「予習・復習・練習」は下位4位、「板書などの見やすさ」は全学科中、最下位であった。

② 2017年度のデータはないため、2018年度と比較はできない。

③ 1年次から修得単位数が多く、その中でも必修科目が多い。また、人体の構造と機能のように解剖学や生理学は、学習量も多く、難解な専門用語も多い特徴がある。

2018年度各設問の数値に関する検証から学生は授業に真面目に出席し、主体的に学び、創造力を育てている。必修科目が多く、出席率が高い一方、専門科目では専門用語も多く、学習量が多くなるため「予習・復習・練習」が不足している状況が伺える。対策として、具体的な予習・復習の課題の提示（課題シートやmanabaを使用したドリル等）や、技術試験の導入、アクティブラーニングの強化等の、学生が「予習・復習・練習」ができる仕組みづくりを行い、知識の定着を図り、満足度を高めていく必要がある。またシラバスに関して、ガイダンスの工夫やシラバスの熟読の方法を教授する必要がある。

教員は授業を反映したシラバスを作成し、最下位だった「板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったか」は、動画や写真の使用、パワーポイントの使用フォントやストーリー性の向上が望まれる。

「板書などの見やすさ」が高値を示す学科の授業研究や、環境として、使用教室のスクリーン数との関係も考えたい。また看護学科はiPadを駆使し活用した授業展開を実施している。こちらもさらに教員ならびに学生共々にその既存のLMS、電子教科書等とiPadを最大限活用可能となる運用の構築が不可欠であると考えられる。

④ 授業アンケート報告書を次年度の授業改善に活用できるようにしていただきたい。

以上

(目的)

第1条 この規程は、大東文化学園内部質保証推進委員会及び学部・大学院と連携をとりつつ、大東文化大学における教育内容及び技法の質の向上を目指すことを目的とする。この目的達成のため、全学FD委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議検討し、実施することを任務とする。

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援
- (6) その他、委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 委員会は、次の委員をもつて構成する。

- (1) 学長又は学長が副学長の中から指名した者1名
  - (2) 各学部が選出する者 各1名
  - (3) 各研究科が選出する者 各1名
  - (4) 学長が指名する者 若干名
- 2 委員会の委員長は、前項第1号に定める者とする。
- 3 委員会に副委員長を1名ないし2名置く。副委員長は委員会の同意を得て委員長が指名する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があつた場合は、委員長の職務を代行する。
- 5 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 委員が欠けたときの後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 7 委員会は必要に応じて委員以外の者に同委員会への出席及び発言を求めることができる。

(運営)

第4条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(専門部会)

第5条 委員会は、第2条の任務を遂行するにあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会には、委員以外の協力委員を置くことができる。

(事務局)

第6条 委員会に関する事務は、学務部学務課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、学長がこれを行う。

附 則

この規程は、平成18年5月15日から施行する。

附 則（平成21年6月15日）

本規程は、平成21年6月15日から施行する。

附 則（平成22年2月22日）



- 1 この改正規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この改正規程の施行に伴い、大東文化大学学生による授業評価実施委員会規程は、平成22年3月31日をもって廃止する。  
附 則（平成27年3月18日）  
この規程は、平成27年4月1日より施行する。  
附 則（平成31年2月25日）  
（施行期日）
- 1 この規程は、平成31年4月1日より施行する。  
（規程の改正及び名称の変更）
- 2 平成18年5月15日制定及び施行の「大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」を改正し、名称を「大東文化大学全学FD委員会規程」に変更する。

《参考資料2》

2019年度『学生による授業評価アンケート』実施要項

大東文化大学全学FD委員会

1. 実施対象

専任・非常勤ともシラバスに記載されているすべての開講科目（大学院の科目を除く。）を対象とする。

原則として、受講者が10名未満の科目、オムニバス科目、演習科目（1年次の基礎演習科目は除く。）等については対象外とする。ただし、教員より希望があった場合にはアンケート実施科目の追加または削除について、FD委員長と協議のもと個別対応とする。

2. 学生による授業評価アンケート実施期間

2019年11月26日（火）～ 12月16日（月）（※学生がC-Learning 回答可能な期間）

3. アンケート実施手順

■事前準備

時期	準備事項	備考
10月第2週 ～10月25日	各学部学科等へ授業評価アンケート実施科目の確認	
11月上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C-Learning 教員用操作マニュアルをDBポータルから配信</li> <li>・<u>教員用C-Learning にログインし、アンケート対象科目を確認ください</u></li> </ul> 教員用ログインURL <a href="https://daito-portal.azurewebsites.net/">https://daito-portal.azurewebsites.net/</a> ※ログインID：t+教職員番号@edu.ic.daito.ac.jp パスワード：DBポータルと共通 ※ログイン記録が確認できない教員に対しては、学部事務室経由にて、ご連絡いたします。	操作方法について各自ご確認ください。  C-Learning システムに関する質問及びアンケート実施科目の追加・削除に関しては、以下までお問合せください。  全学FD委員会事務局（学務課） 03-5399-7333 <a href="mailto:fd@ic.daito.ac.jp">fd@ic.daito.ac.jp</a> 担当：矢部・大塚・牧野 （内線 2202/2206/4506）
11月19日～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施前に、学部（学科）事務室または教員控室等より下記の資料（A～E）を配付します。（全教員共通の資料A・B・D・EについてはDBポータルでも配信いたします。）</li> <li>・大学HPへ授業評価アンケートについて掲載。HP内のURLより、学生はログイン可能となります。 学生ログインID：S+学籍番号@edu.ic.daito.ac.jp 学生のパスワード：DBポータルと共通。</li> </ul>	

■アンケートの実施に関する資料

- A) 授業評価アンケート実施手順書
- B) 授業評価アンケート口頭指示用教員マニュアル・設問一覧
- C) 授業評価アンケート実施科目一覧
- D) 授業評価アンケートQ&A
- E) （参考：学生へDBポータルにて周知する資料）授業評価アンケート回答方法

アンケート実施方法については、先生方の任意とします。

例1) 授業時間内の終了15分程度を使い、資料Bをもとにアンケートを実施する。

例2) 授業内にて、授業評価アンケートについて学生に周知し、回答期限（12月16日（上記2.））等を伝える。

#### ■アンケート終了後

時期	実施内容
アンケート終了後 ～2020年2月20日	<p>① 集計状況を確認 アンケート開始後、C-Learningへログインすると教員のみアンケートの回答状況を随時確認できます。印刷物による集計結果の配付は行わないため、各自Web上で結果を確認ください。</p> <p>② 2月20日までに教員コメントの入力 アンケート終了後、集計結果に関する所感をC-Learningの「先生からのコメント」欄に入力し、受講生へフィードバックをお願いいたします。また、可能な範囲で必要に応じて次回授業時に口頭でもフィードバックを行ってください。</p> <p>※今年度は、アンケート終了後の「実施報告票（紙）」の提出は不要です。 教員コメントの入力を頂ければ、本委員会でアンケート実施の確認を致します。</p>

#### 4. 評価と集計の方法

##### (1) 評価の方法

各授業につき、調査項目ごとに5段階評価とする。

##### (2) 集計の方法

- ① 自由記述の回答内容を含め、教員自身のデバイス（PC・スマートフォン等）でリアルタイムに集計・内容等を確認できる。
- ② 全学FD委員会では、全学的な集計結果をまとめ、その分析方法を検討する。

#### 5. 結果の取扱い

「授業評価アンケート」の結果を、教員に対する管理の強化や不利益な取扱いに利用することはしない。

#### 6. 結果の公表と活用

- (1) 上記の集計結果は『報告書』に掲載し、その『報告書』は、学生を含め学内に公開される。
- (2) 調査項目には、自由記述欄が含まれているが、その部分は『報告書』に記載せず、当該教員が今後の授業の参考資料として活用するにとどめる。
- (3) 外部への公表及び活用については、全学FD委員会の責任において、本学ホームページへの掲載等を含め、必要に応じて行う。ただし、設問内容によっては、外部には公表しない。

以上

## 2019年度「学生による授業評価アンケート」設問一覧

### 1. あなた自身について教えてください

Q 1：この授業への出席率はどのくらいですか。

【評価基準 ⑤100～90% ④89～80% ③79～70% ②69～60% ①60%未満】

Q 2：この授業に関する予習・復習・練習などの授業外学習をどのくらい行いましたか。

【評価基準 ⑤大いにやった ④少しやった ③どちらとも言えない ②あまりやらなかった ①やらなかった】

Q 3：この授業のシラバス（授業内容が掲載されている教授要項）を読みましたか。

【評価基準 ⑤十分に内容を読み取った ④ある程度読んだ ③どちらとも言えない ②ほとんど読まなかった ①全く読まなかった】

Q 4：あなた自身が授業へ取り組む姿勢（質問、発言など）について、自己採点すれば何点ぐらいだと思いますか。

【評価基準 ⑤100～90点 ④89～80点 ③79～70点 ②69～60点 ①60点未満】

### 2. この授業についてお答えください

Q 5：シラバスの内容がこの授業によく反映されていましたか。

（Q 3で「①全く読まなかった」を選んだ場合は、この設問は回答不要です。）

【評価基準 ⑤よく反映されていた ④少し反映されていた ③どちらとも言えない ②あまり反映されていなかった ①全く反映されていなかった】

Q 6：この授業の進行のスピードは適切でしたか。

【評価基準 ⑤速い ④どちらかといえば速い ③適切 ②どちらかといえば遅い ①遅い】

Q 7：板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。

（この授業において板書やスクリーンを全く使用していない場合は、この設問は回答不要です。）

【評価基準 ⑤とても見やすかった ④少し見やすかった ③どちらとも言えない ②あまり見やすくなかった ①全く見やすくなかった】

Q 8：教員の使用教材（配布プリント、パワーポイントの内容など）は理解しやすかったですか。

【評価基準 ⑤とても理解しやすかった ④少し理解しやすかった ③どちらとも言えない ②あまり理解できなかった ①全く理解できなかった】

Q 9：教員は授業中の私語や受講態度の悪い学生への対処を行っていましたか。

【評価基準 ⑥私語や受講態度の悪い学生はいなかった ⑤十分対処していた ④少し対処していた ③どちらとも言えない ②あまり対処していなかった ①全く対処していなかった】

Q 10：この授業に対する教員の熱意がどの程度感じられましたか。

【評価基準 ⑤大いに感じた ④少し感じた ③どちらとも言えない ②あまり感じなかった ①感じなかった】

Q 11：あなたはこの授業を通して自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。

【評価基準 ⑤大いに身についた ④やや身についた ③どちらとも言えない ②あまり身につかなかった ①全く身につかなかった】

Q 12：あなたはこの授業を通して自分で調べ、考える姿勢などが身につきましたか。

【評価基準 ⑤大いに身についた ④やや身についた ③どちらとも言えない ②あまり身につかなかった ①全く身につかなかった】

### 3. 授業を総合的にみて、どう思うか教えてください

Q 13：この授業は総合的にみて満足できるものでしたか。

【評価基準 ⑤大いに満足した ④少し満足した ③どちらとも言えない ②あまり満足できなかった ①満足できなかった】

Q 14：○担当教員からの質問1（教員から指示があった場合のみ回答ください）

【評価基準 ⑤ ④ ③ ② ① 】

Q 15：○担当教員からの質問2（教員から指示があった場合のみ回答ください）

【評価基準 ⑤ ④ ③ ② ① 】

※質問・評価基準は必ず板書してください。  
独自設問について事務局（学務課）への  
報告は不要です。

授業について良かった点を教えてください。

授業について改善すべき点を具体的に教えてください。

A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計  
(全学・学年・学部・学科別集計)

# 全学部【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 全学年

総合評価（Q11～Q13の合計値）

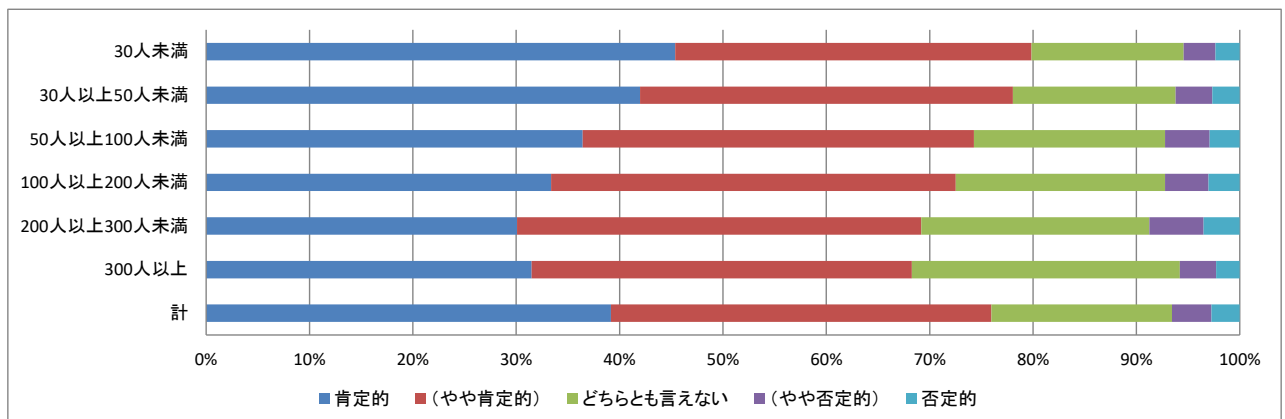
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	13062 (45.4%)	9913 (34.4%)	4237 (14.7%)	886 (3.1%)	678 (2.4%)	4.2
	30人以上50人未満	8621 (42.0%)	7412 (36.1%)	3230 (15.7%)	730 (3.6%)	546 (2.7%)	4.1
	50人以上100人未満	7862 (36.4%)	8165 (37.8%)	3992 (18.5%)	931 (4.3%)	627 (2.9%)	4.0
	100人以上200人未満	6923 (33.4%)	8120 (39.1%)	4199 (20.2%)	870 (4.2%)	629 (3.0%)	4.0
	200人以上300人未満	1604 (30.1%)	2086 (39.1%)	1177 (22.1%)	279 (5.2%)	187 (3.5%)	3.9
	300人以上	386 (31.5%)	451 (36.8%)	318 (25.9%)	43 (3.5%)	28 (2.3%)	3.9
	計	38,458 (39.2%)	36,147 (36.8%)	17,153 (17.5%)	3,739 (3.8%)	2,695 (2.7%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	26,549 (41.7%)	22,634 (35.6%)	10,479 (16.5%)	2,257 (3.5%)	1,720 (2.7%)	4.1
	30人以上50人未満	5,700 (35.1%)	6,224 (38.3%)	3,017 (18.6%)	759 (4.7%)	544 (3.3%)	4.0
	50人以上100人未満	5,029 (34.6%)	5,803 (39.9%)	2,789 (19.2%)	562 (3.9%)	345 (2.4%)	4.0
	100人以上200人未満	1,180 (31.2%)	1,486 (39.3%)	868 (23.0%)	161 (4.3%)	86 (2.3%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	38,458 (39.2%)	36,147 (36.8%)	17,153 (17.5%)	3,739 (3.8%)	2,695 (2.7%)	4.1

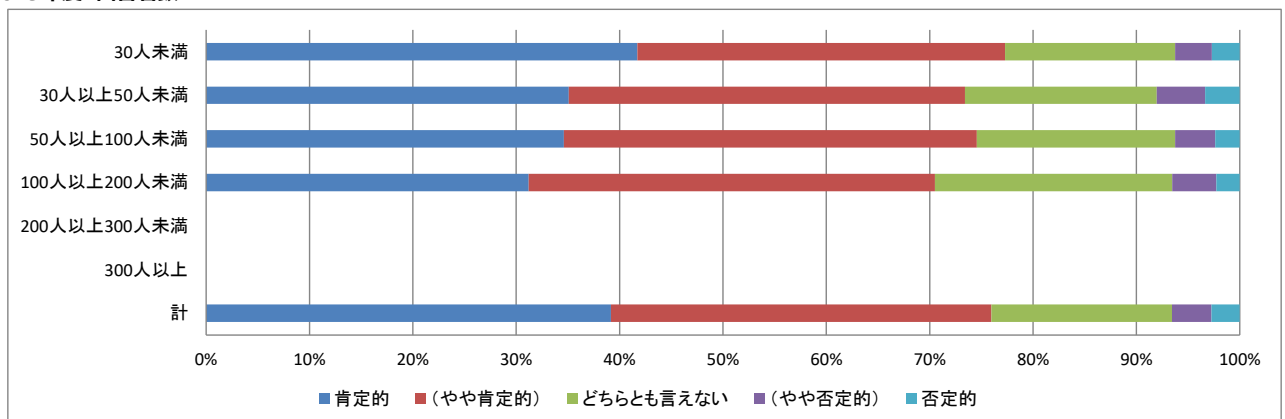
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

2019年度 履修登録者数



2019年度 回答者数



# 全学部【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 1年

総合評価（Q11～Q13の合計値）

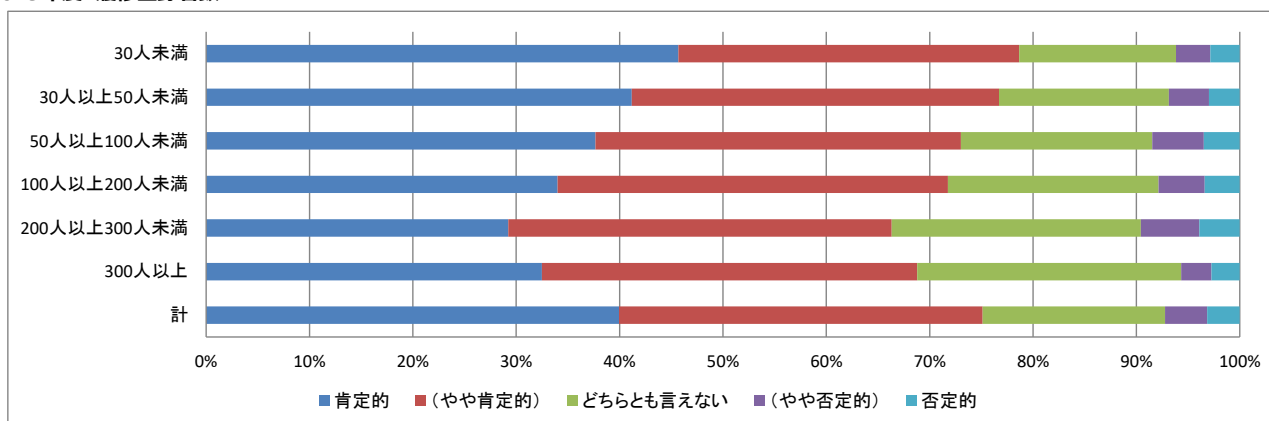
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	7517 (45.7%)	5423 (33.0%)	2499 (15.2%)	545 (3.3%)	468 (2.8%)	4.2
	30人以上50人未満	4672 (41.2%)	4029 (35.5%)	1864 (16.4%)	440 (3.9%)	339 (3.0%)	4.1
	50人以上100人未満	3456 (37.7%)	3244 (35.4%)	1698 (18.5%)	456 (5.0%)	320 (3.5%)	4.0
	100人以上200人未満	3409 (34.0%)	3785 (37.8%)	2043 (20.4%)	448 (4.5%)	340 (3.4%)	3.9
	200人以上300人未満	651 (29.2%)	826 (37.1%)	537 (24.1%)	126 (5.7%)	87 (3.9%)	3.8
	300人以上	178 (32.5%)	199 (36.3%)	140 (25.5%)	16 (2.9%)	15 (2.7%)	3.9
	計	19,883 (39.9%)	17,506 (35.2%)	8,781 (17.6%)	2,031 (4.1%)	1,569 (3.2%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	13,456 (43.5%)	10,444 (33.8%)	4,903 (15.9%)	1,145 (3.7%)	959 (3.1%)	4.1
	30人以上50人未満	3,003 (35.6%)	3,054 (36.2%)	1,638 (19.4%)	428 (5.1%)	320 (3.8%)	3.9
	50人以上100人未満	2,537 (33.4%)	2,932 (38.6%)	1,575 (20.7%)	333 (4.4%)	224 (2.9%)	4.0
	100人以上200人未満	887 (31.5%)	1,076 (38.2%)	665 (23.6%)	125 (4.4%)	66 (2.3%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	19,883 (39.9%)	17,506 (35.2%)	8,781 (17.6%)	2,031 (4.1%)	1,569 (3.2%)	4.0

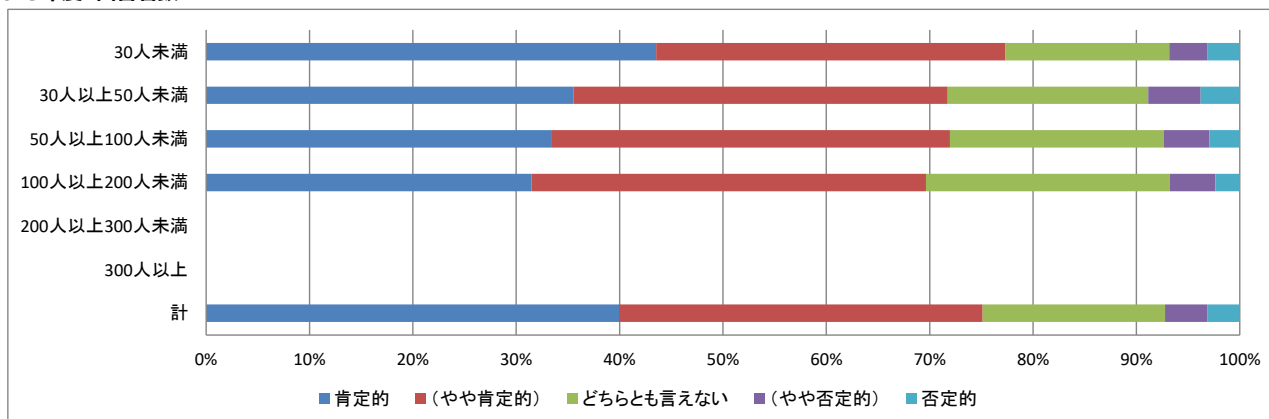
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

2019年度 履修登録者数



2019年度 回答者数



## 全学部【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 2年

総合評価（Q11～Q13の合計値）

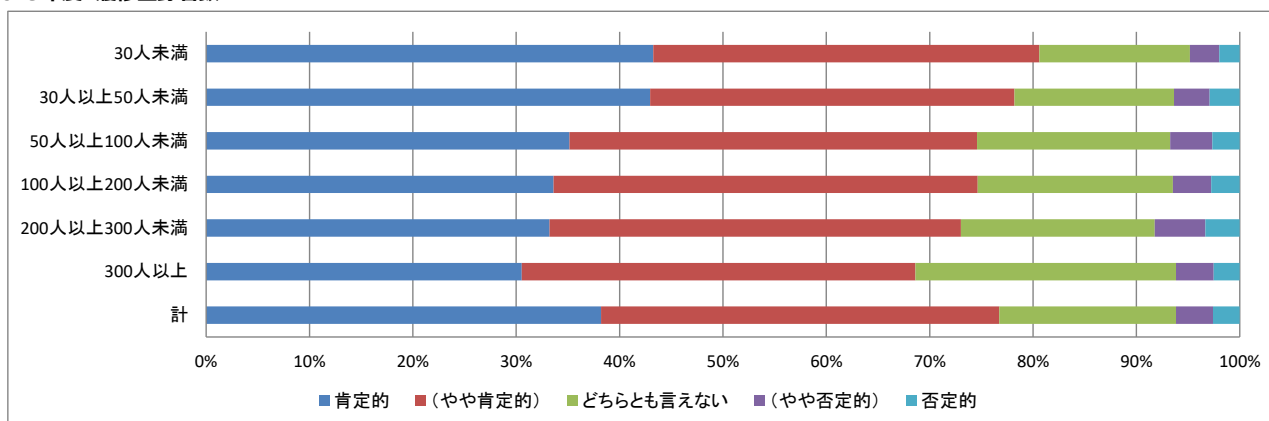
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	3477 (43.3%)	3001 (37.3%)	1171 (14.6%)	227 (2.8%)	160 (2.0%)	4.2
	30人以上50人未満	2162 (43.0%)	1773 (35.2%)	777 (15.4%)	173 (3.4%)	147 (2.9%)	4.1
	50人以上100人未満	2262 (35.2%)	2538 (39.4%)	1202 (18.7%)	262 (4.1%)	171 (2.7%)	4.0
	100人以上200人未満	2290 (33.6%)	2796 (41.0%)	1286 (18.9%)	253 (3.7%)	188 (2.8%)	4.0
	200人以上300人未満	707 (33.2%)	847 (39.8%)	399 (18.8%)	104 (4.9%)	71 (3.3%)	3.9
	300人以上	109 (30.5%)	136 (38.1%)	90 (25.2%)	13 (3.6%)	9 (2.5%)	3.9
	計	11,007 (38.2%)	11,091 (38.5%)	4,925 (17.1%)	1,032 (3.6%)	746 (2.6%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	6,975 (40.0%)	6,422 (36.8%)	2,945 (16.9%)	617 (3.5%)	470 (2.7%)	4.1
	30人以上50人未満	1,791 (35.2%)	2,080 (40.9%)	858 (16.9%)	204 (4.0%)	151 (3.0%)	4.0
	50人以上100人未満	2,000 (36.2%)	2,254 (40.8%)	970 (17.6%)	182 (3.3%)	112 (2.0%)	4.1
	100人以上200人未満	241 (31.3%)	335 (43.5%)	152 (19.7%)	29 (3.8%)	13 (1.7%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	11,007 (38.2%)	11,091 (38.5%)	4,925 (17.1%)	1,032 (3.6%)	746 (2.6%)	4.1

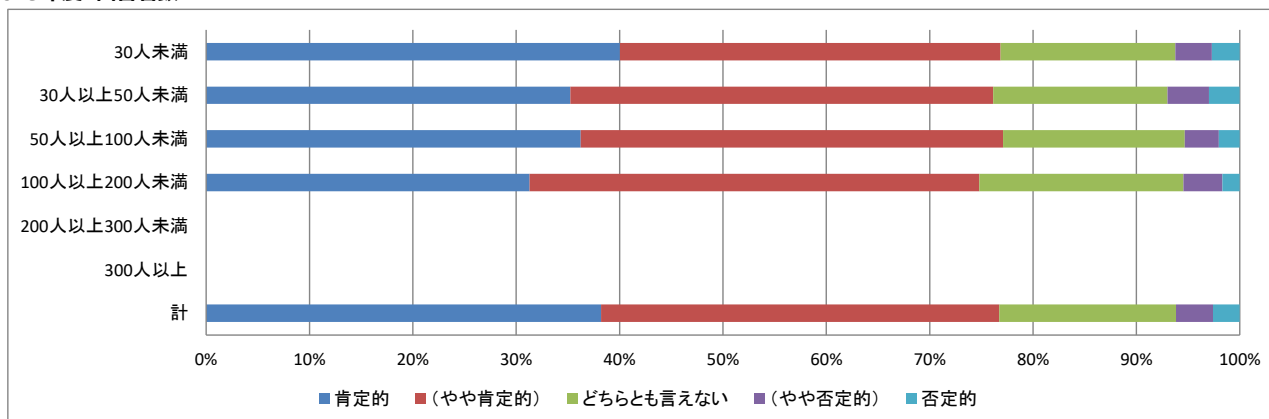
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

2019年度 履修登録者数



2019年度 回答者数





# 全学部【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 3年

総合評価（Q11～Q13の合計値）

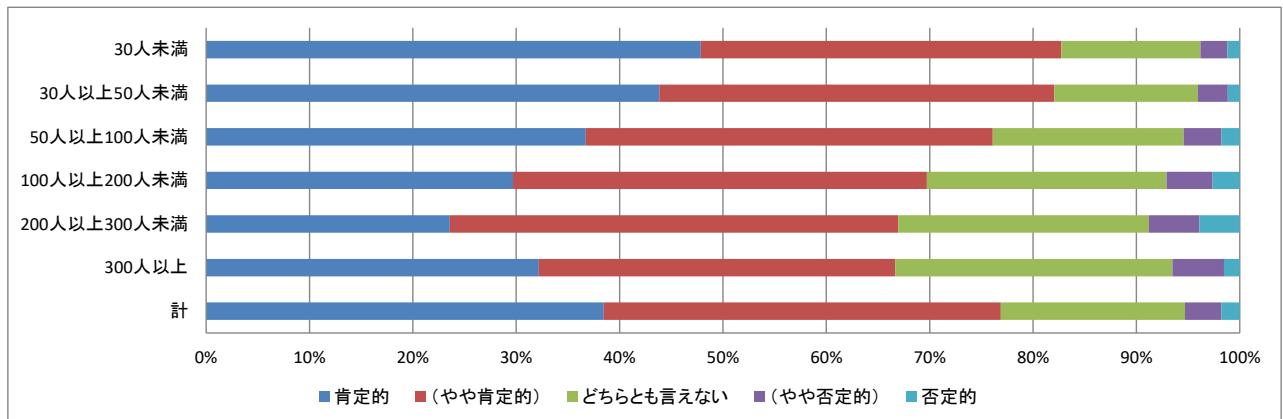
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	1550 (47.9%)	1130 (34.9%)	436 (13.5%)	84 (2.6%)	39 (1.2%)	4.3
	30人以上50人未満	1445 (43.8%)	1260 (38.2%)	458 (13.9%)	95 (2.9%)	38 (1.2%)	4.2
	50人以上100人未満	1679 (36.7%)	1800 (39.4%)	845 (18.5%)	167 (3.7%)	81 (1.8%)	4.1
	100人以上200人未満	934 (29.7%)	1260 (40.0%)	730 (23.2%)	140 (4.4%)	83 (2.6%)	3.9
	200人以上300人未満	169 (23.6%)	311 (43.4%)	174 (24.3%)	35 (4.9%)	28 (3.9%)	3.8
	300人以上	84 (32.2%)	90 (34.5%)	70 (26.8%)	13 (5.0%)	4 (1.5%)	3.9
	計	5,861 (38.5%)	5,851 (38.4%)	2,713 (17.8%)	534 (3.5%)	273 (1.8%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	4,734 (40.1%)	4,436 (37.6%)	2,054 (17.4%)	380 (3.2%)	193 (1.6%)	4.1
	30人以上50人未満	719 (32.2%)	892 (40.0%)	440 (19.7%)	115 (5.2%)	66 (3.0%)	3.9
	50人以上100人未満	379 (34.5%)	492 (44.8%)	183 (16.7%)	36 (3.3%)	8 (0.7%)	4.1
	100人以上200人未満	29 (27.6%)	31 (29.5%)	36 (34.3%)	3 (2.9%)	6 (5.7%)	3.7
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	5,861 (38.5%)	5,851 (38.4%)	2,713 (17.8%)	534 (3.5%)	273 (1.8%)	4.1

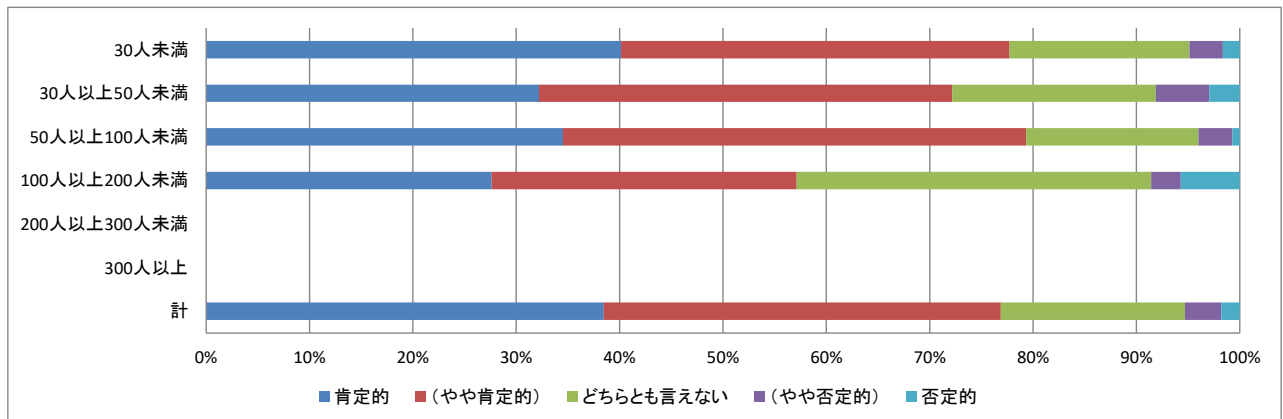
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

2019年度 履修登録者数



2019年度 回答者数



# 全学部【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 4年

総合評価（Q11～Q13の合計値）

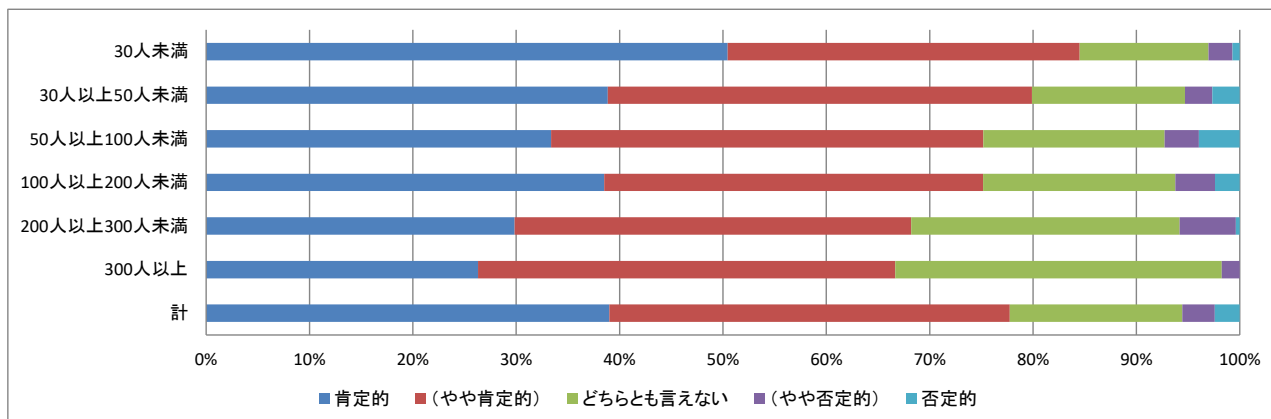
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	502 (50.5%)	339 (34.1%)	124 (12.5%)	23 (2.3%)	7 (0.7%)	4.3
	30人以上50人未満	323 (38.9%)	341 (41.0%)	123 (14.8%)	22 (2.6%)	22 (2.6%)	4.1
	50人以上100人未満	463 (33.4%)	580 (41.8%)	243 (17.5%)	46 (3.3%)	55 (4.0%)	4.0
	100人以上200人未満	290 (38.5%)	276 (36.7%)	140 (18.6%)	29 (3.9%)	18 (2.4%)	4.1
	200人以上300人未満	77 (29.8%)	99 (38.4%)	67 (26.0%)	14 (5.4%)	1 (0.4%)	3.9
	300人以上	15 (26.3%)	23 (40.4%)	18 (31.6%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	3.9
	計	1,670 (39.0%)	1,658 (38.7%)	715 (16.7%)	135 (3.2%)	103 (2.4%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	1,348 (39.5%)	1,301 (38.2%)	559 (16.4%)	108 (3.2%)	94 (2.8%)	4.1
	30人以上50人未満	187 (38.6%)	198 (40.8%)	81 (16.7%)	12 (2.5%)	7 (1.4%)	4.1
	50人以上100人未満	112 (37.5%)	115 (38.5%)	60 (20.1%)	11 (3.7%)	1 (0.3%)	4.1
	100人以上200人未満	23 (26.4%)	44 (50.6%)	15 (17.2%)	4 (4.6%)	1 (1.1%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,670 (39.0%)	1,658 (38.7%)	715 (16.7%)	135 (3.2%)	103 (2.4%)	4.1

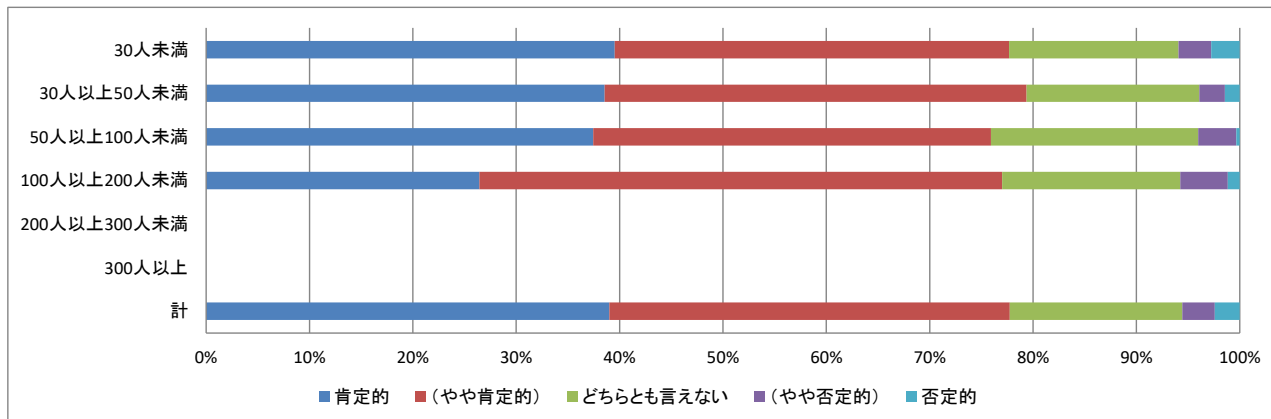
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

2019年度 履修登録者数



2019年度 回答者数



## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部

総合評価（Q11～Q13の合計値）

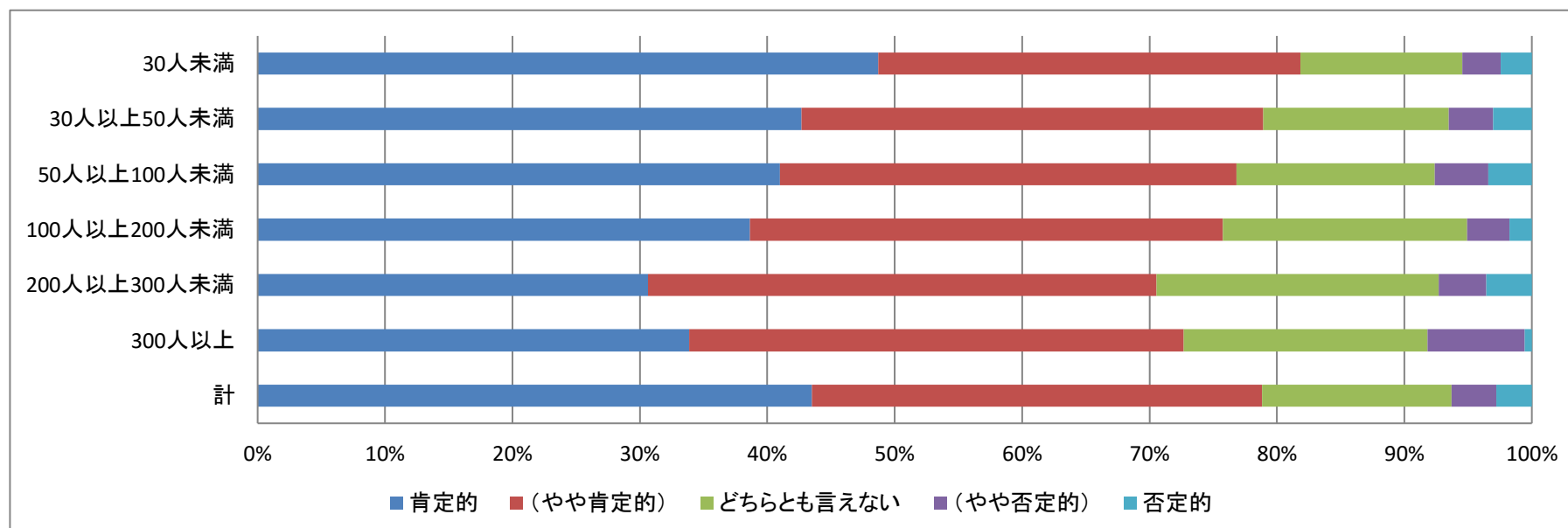
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	3,670 (48.7%)	2,495 (33.1%)	957 (12.7%)	228 (3.0%)	183 (2.4%)	4.2
	30人以上50人未満	3,303 (42.7%)	2,804 (36.2%)	1,126 (14.6%)	269 (3.5%)	236 (3.0%)	4.1
	50人以上100人未満	2,170 (41.0%)	1,897 (35.8%)	824 (15.6%)	222 (4.2%)	181 (3.4%)	4.1
	100人以上200人未満	900 (38.6%)	864 (37.1%)	447 (19.2%)	77 (3.3%)	41 (1.8%)	4.1
	200人以上300人未満	155 (30.6%)	202 (39.9%)	112 (22.1%)	19 (3.8%)	18 (3.6%)	3.9
	300人以上	62 (33.9%)	71 (38.8%)	35 (19.1%)	14 (7.7%)	1 (0.5%)	4.0
	計	10,260 (43.5%)	8,333 (35.3%)	3,501 (14.8%)	829 (3.5%)	660 (2.8%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	7,735 (44.2%)	6,032 (34.5%)	2,565 (14.7%)	638 (3.6%)	532 (3.0%)	4.1
	30人以上50人未満	1,760 (43.5%)	1,483 (36.6%)	590 (14.6%)	126 (3.1%)	90 (2.2%)	4.2
	50人以上100人未満	569 (38.7%)	583 (39.7%)	238 (16.2%)	50 (3.4%)	29 (2.0%)	4.1
	100人以上200人未満	196 (34.8%)	235 (41.7%)	108 (19.2%)	15 (2.7%)	9 (1.6%)	4.1
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	10,260 (43.5%)	8,333 (35.3%)	3,501 (14.8%)	829 (3.5%)	660 (2.8%)	4.1

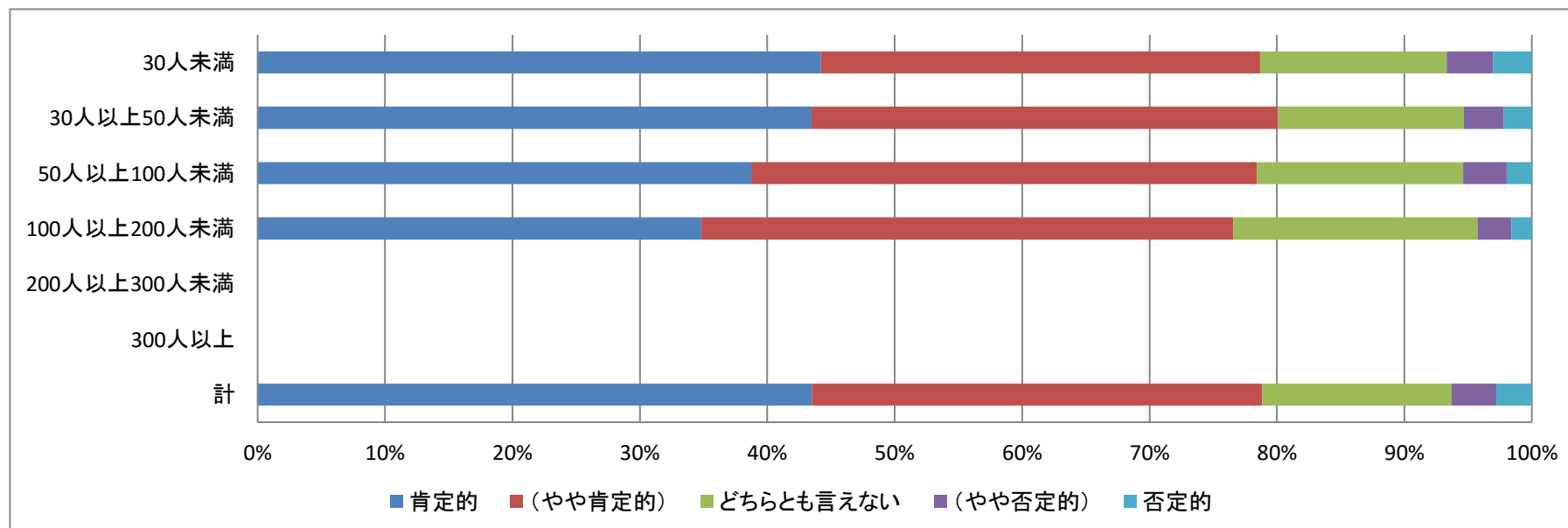
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・日本文学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

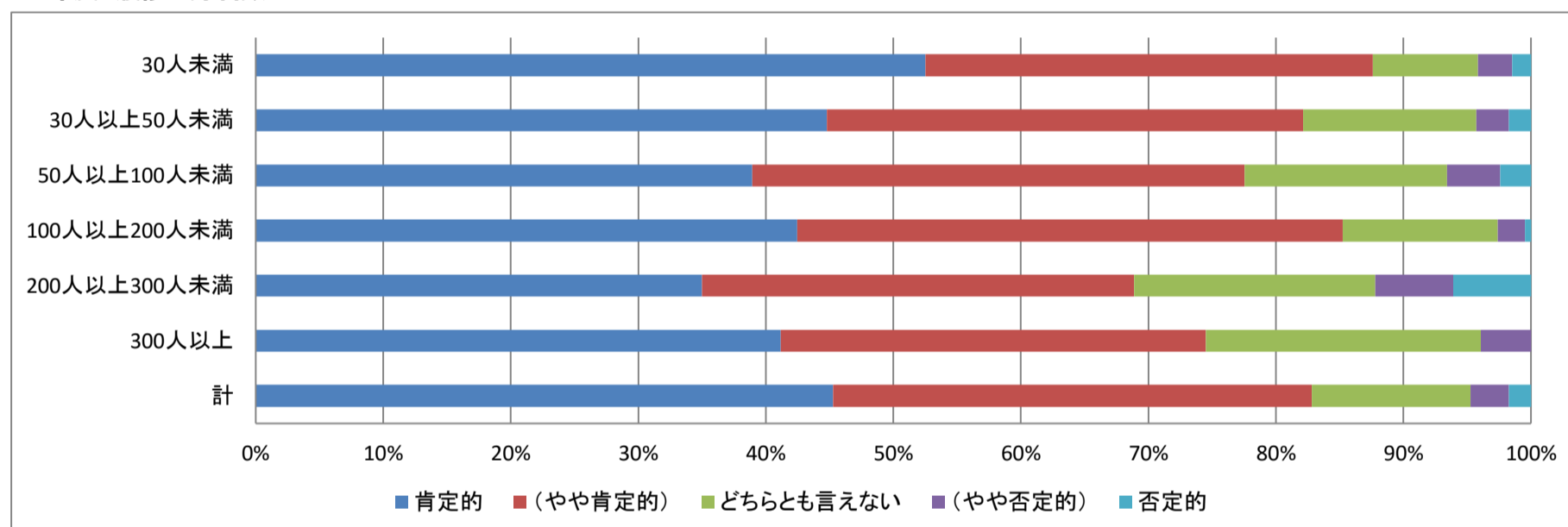
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	1038 (52.5%)	693 (35.1%)	163 (8.2%)	53 (2.7%)	29 (1.5%)	4.3
	30人以上50人未満	875 (44.8%)	730 (37.4%)	265 (13.6%)	50 (2.6%)	34 (1.7%)	4.2
	50人以上100人未満	550 (39.0%)	545 (38.6%)	224 (15.9%)	59 (4.2%)	34 (2.4%)	4.1
	100人以上200人未満	374 (42.5%)	377 (42.8%)	107 (12.1%)	19 (2.2%)	4 (0.5%)	4.2
	200人以上300人未満	63 (35.0%)	61 (33.9%)	34 (18.9%)	11 (6.1%)	11 (6.1%)	3.9
	300人以上	21 (41.2%)	17 (33.3%)	11 (21.6%)	2 (3.9%)	0 (0.0%)	4.1
	計	2,921 (45.3%)	2,423 (37.5%)	804 (12.5%)	194 (3.0%)	112 (1.7%)	4.2
2019年度 回答者	30人未満	2,110 (46.4%)	1,673 (36.8%)	528 (11.6%)	147 (3.2%)	89 (2.0%)	4.2
	30人以上50人未満	479 (43.0%)	427 (38.3%)	175 (15.7%)	25 (2.2%)	9 (0.8%)	4.2
	50人以上100人未満	279 (41.0%)	290 (42.6%)	78 (11.5%)	20 (2.9%)	14 (2.1%)	4.2
	100人以上200人未満	53 (47.7%)	33 (29.7%)	23 (20.7%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	4.2
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	2,921 (45.3%)	2,423 (37.5%)	804 (12.5%)	194 (3.0%)	112 (1.7%)	4.2

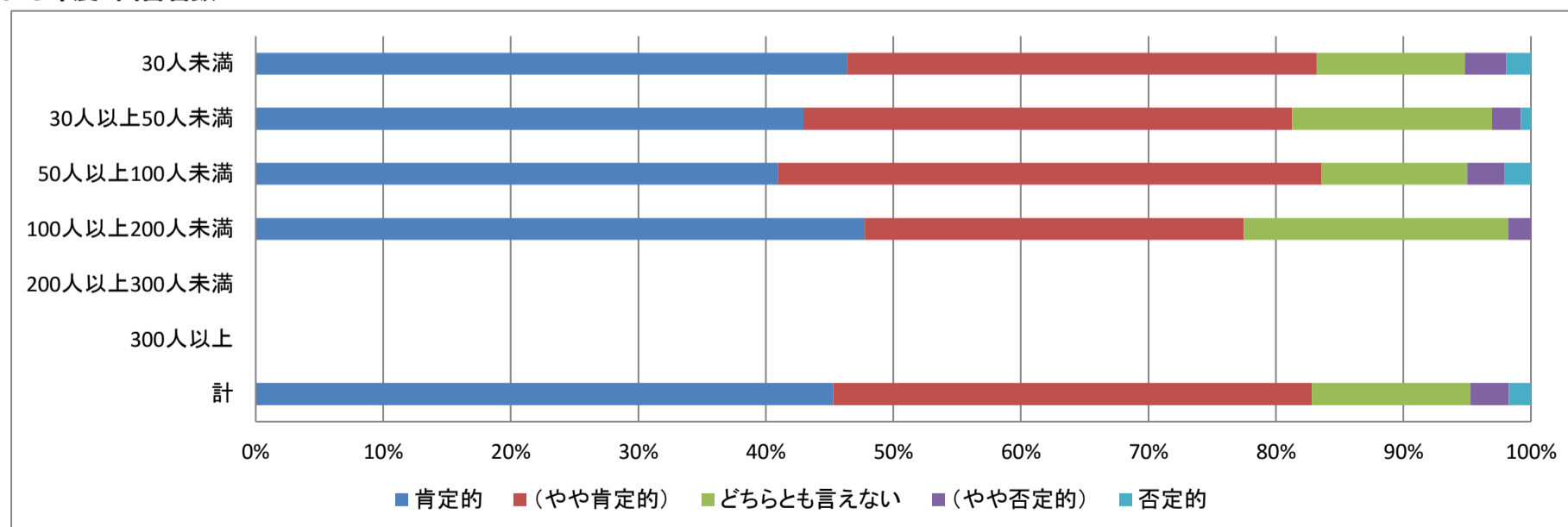
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：文学部・中国文学科

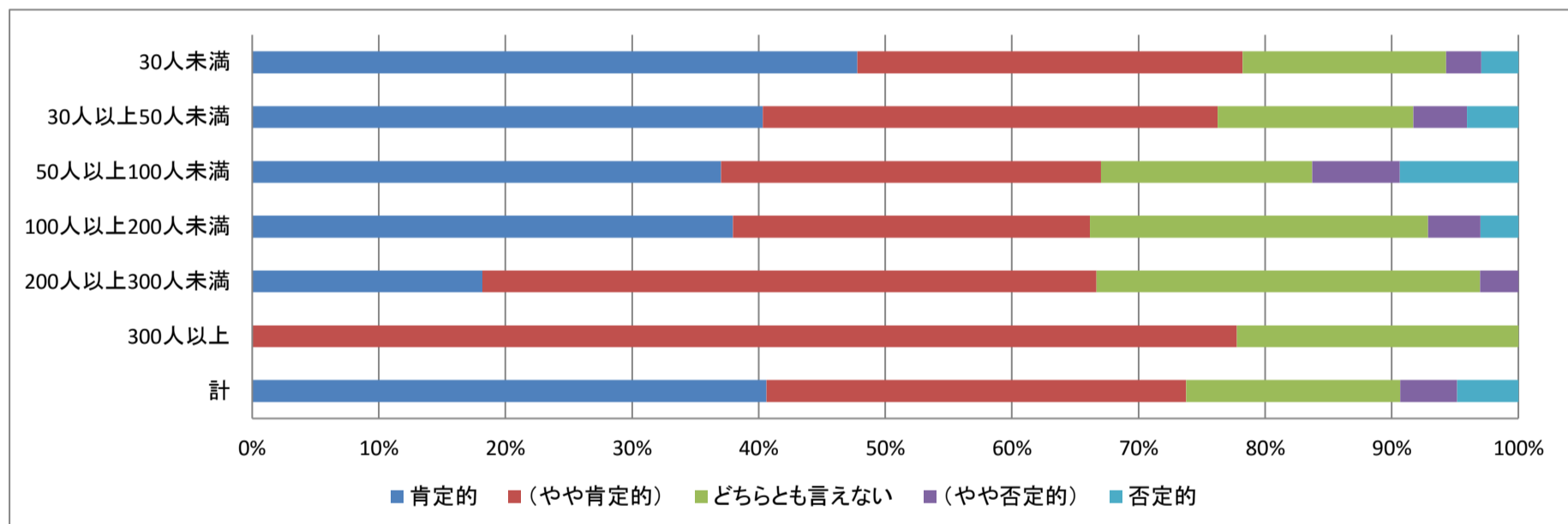
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	327 (47.8%)	208 (30.4%)	110 (16.1%)	19 (2.8%)	20 (2.9%)	4.2
	30人以上50人未満	667 (40.3%)	594 (35.9%)	256 (15.5%)	70 (4.2%)	67 (4.1%)	4.0
	50人以上100人未満	273 (37.0%)	221 (30.0%)	123 (16.7%)	51 (6.9%)	69 (9.4%)	3.8
	100人以上200人未満	101 (38.0%)	75 (28.2%)	71 (26.7%)	11 (4.1%)	8 (3.0%)	3.9
	200人以上300人未満	6 (18.2%)	16 (48.5%)	10 (30.3%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	3.8
	300人以上	0 (0.0%)	7 (77.8%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3.8
	計	1,374 (40.6%)	1,121 (33.1%)	572 (16.9%)	152 (4.5%)	164 (4.8%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,108 (41.1%)	898 (33.3%)	451 (16.7%)	115 (4.3%)	126 (4.7%)	4.0
	30人以上50人未満	205 (38.5%)	172 (32.3%)	88 (16.5%)	32 (6.0%)	36 (6.8%)	3.9
	50人以上100人未満	44 (38.9%)	40 (35.4%)	24 (21.2%)	5 (4.4%)	0 (0.0%)	4.1
	100人以上200人未満	17 (43.6%)	11 (28.2%)	9 (23.1%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	4.1
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,374 (40.6%)	1,121 (33.1%)	572 (16.9%)	152 (4.5%)	164 (4.8%)	4.0

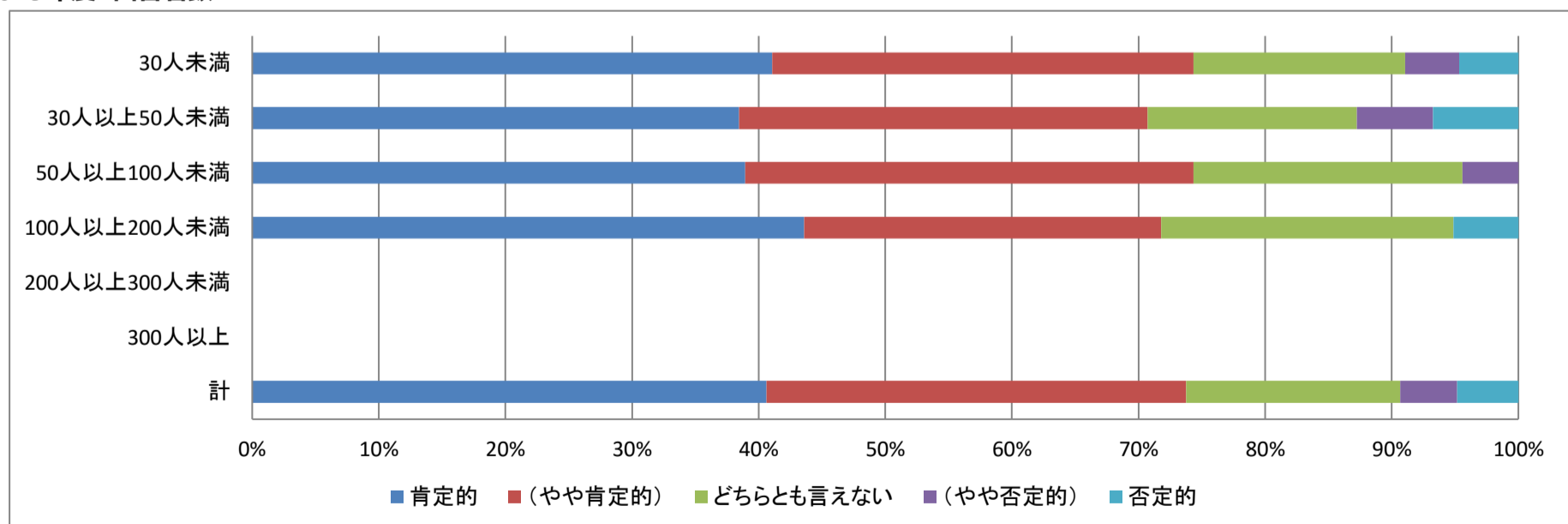
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：文学部・英米文学科

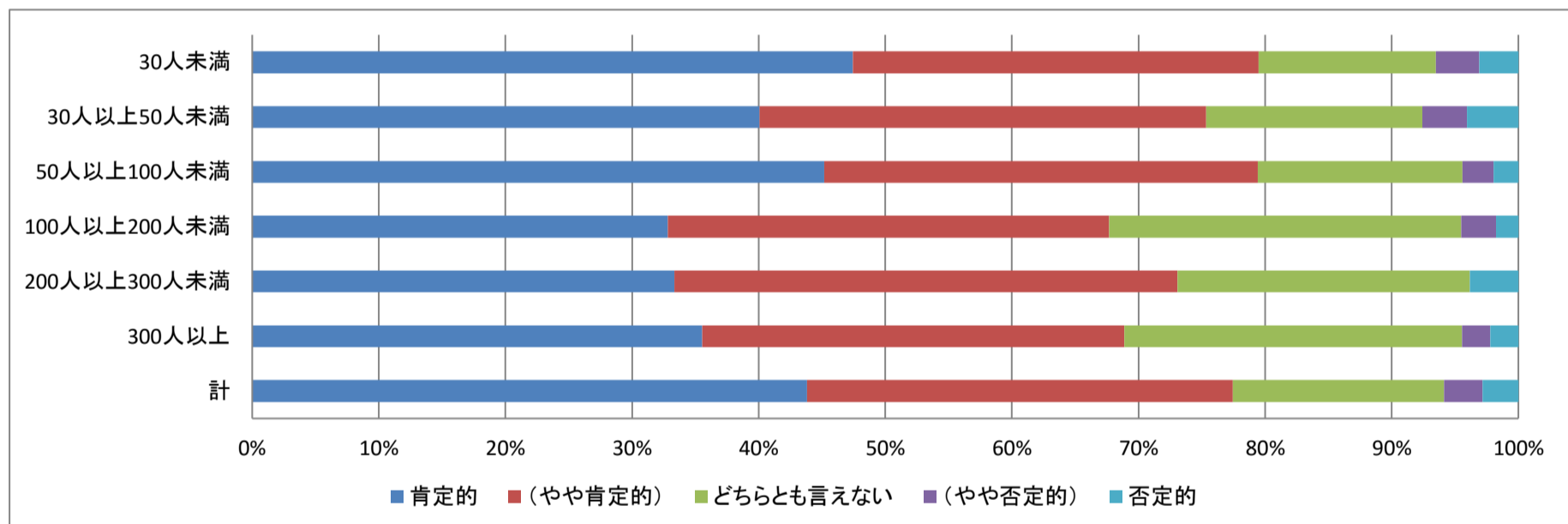
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	未回答	平均
2019年度 履修者	30人未満	888 (47.4%)	600 (32.1%)	262 (14.0%)	64 (3.4%)	4,974 (72.7%)	4.2
	30人以上50人未満	317 (40.1%)	279 (35.3%)	135 (17.1%)	28 (3.5%)	2,050 (72.2%)	4.0
	50人以上100人未満	575 (45.2%)	436 (34.2%)	206 (16.2%)	31 (2.4%)	2,822 (68.9%)	4.2
	100人以上200人未満	131 (32.8%)	139 (34.8%)	111 (27.8%)	11 (2.8%)	1,086 (73.1%)	3.9
	200人以上300人未満	26 (33.3%)	31 (39.7%)	18 (23.1%)	0 (0.0%)	393 (83.4%)	4.0
	300人以上	16 (35.6%)	15 (33.3%)	12 (26.7%)	1 (2.2%)	150 (76.9%)	4.0
	計	1,953 (43.8%)	1,500 (33.6%)	744 (16.7%)	135 (3.0%)	#### (72.0%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	1,398 (43.4%)	1,061 (33.0%)	545 (16.9%)	107 (3.3%)		4.1
	30人以上50人未満	438 (49.0%)	302 (33.8%)	127 (14.2%)	18 (2.0%)		4.3
	50人以上100人未満	78 (33.8%)	94 (40.7%)	47 (20.3%)	6 (2.6%)		4.0
	100人以上200人未満	39 (34.2%)	43 (37.7%)	25 (21.9%)	4 (3.5%)		4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0		0.0
	300人以上	0	0	0	0		0.0
	計	1,953 (43.8%)	1,500 (33.6%)	744 (16.7%)	135 (3.0%)		4.1

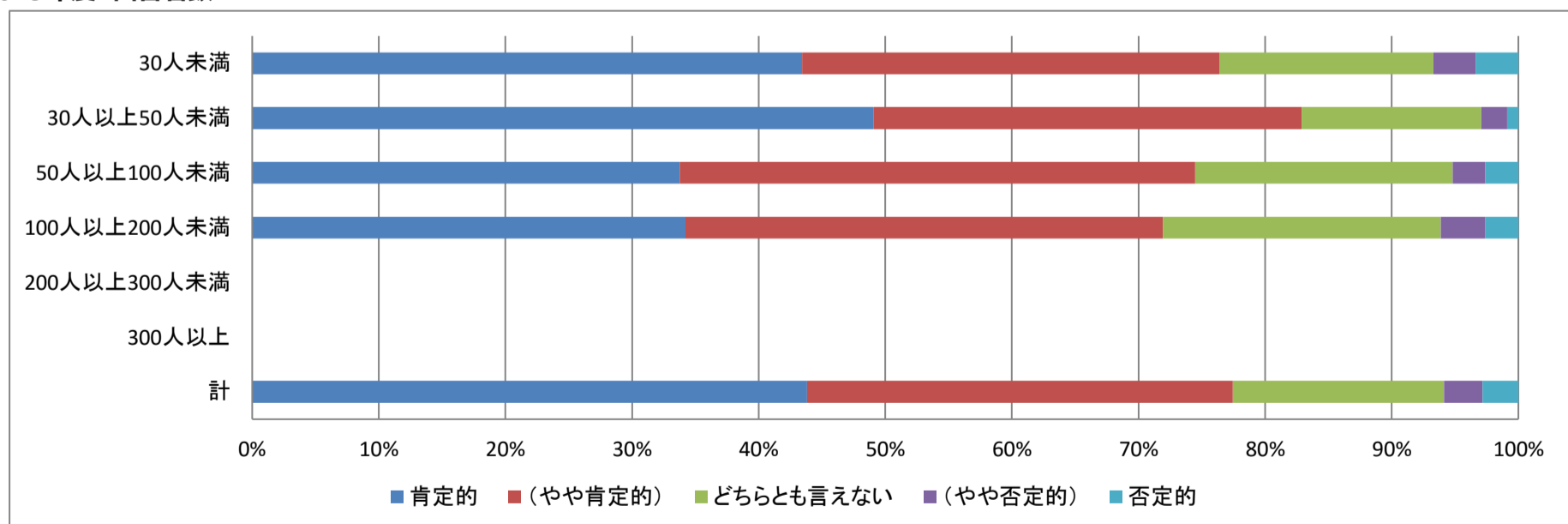
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・教育学科

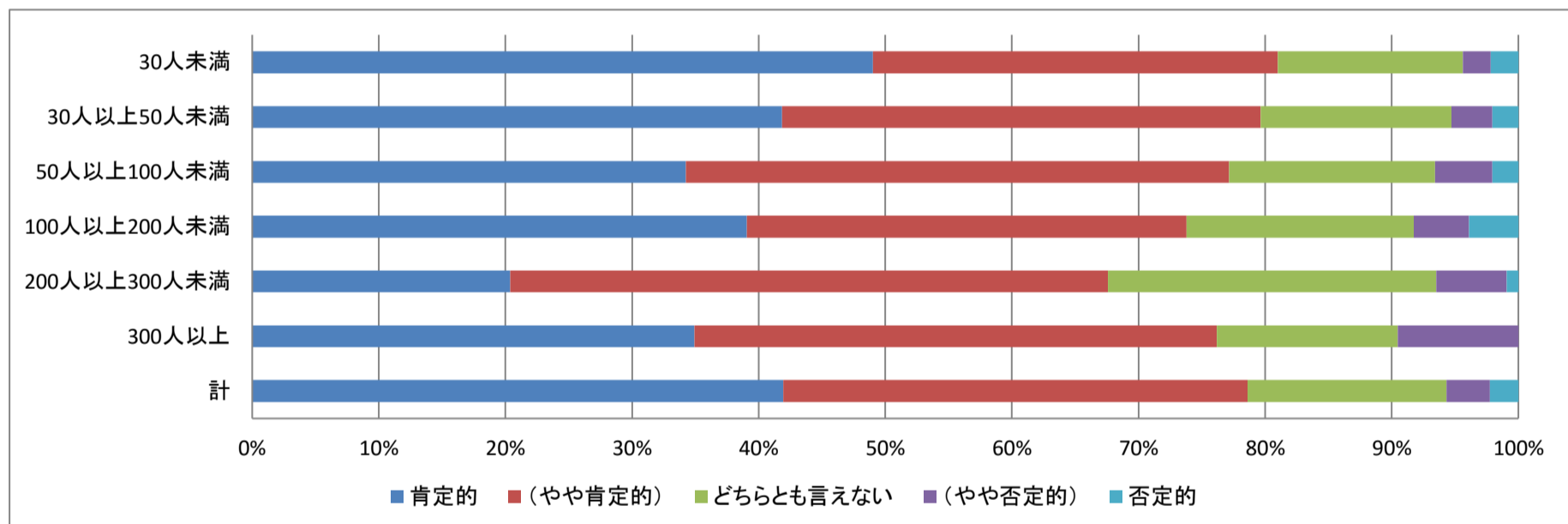
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	648 (49.0%)	423 (32.0%)	193 (14.6%)	29 (2.2%)	29 (2.2%)	4.2
	30人以上50人未満	489 (41.8%)	442 (37.8%)	176 (15.1%)	38 (3.3%)	24 (2.1%)	4.1
	50人以上100人未満	234 (34.3%)	293 (42.9%)	111 (16.3%)	31 (4.5%)	14 (2.0%)	4.0
	100人以上200人未満	170 (39.1%)	151 (34.7%)	78 (17.9%)	19 (4.4%)	17 (3.9%)	4.0
	200人以上300人未満	22 (20.4%)	51 (47.2%)	28 (25.9%)	6 (5.6%)	1 (0.9%)	3.8
	300人以上	22 (34.9%)	26 (41.3%)	9 (14.3%)	6 (9.5%)	0 (0.0%)	4.0
	計	1,585 (41.9%)	1,386 (36.7%)	595 (15.7%)	129 (3.4%)	85 (2.2%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	1,240 (44.1%)	966 (34.4%)	442 (15.7%)	91 (3.2%)	72 (2.6%)	4.1
	30人以上50人未満	196 (35.7%)	251 (45.7%)	77 (14.0%)	22 (4.0%)	3 (0.5%)	4.1
	50人以上100人未満	102 (43.6%)	73 (31.2%)	40 (17.1%)	10 (4.3%)	9 (3.8%)	4.1
	100人以上200人未満	47 (25.3%)	96 (51.6%)	36 (19.4%)	6 (3.2%)	1 (0.5%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,585 (41.9%)	1,386 (36.7%)	595 (15.7%)	129 (3.4%)	85 (2.2%)	4.1

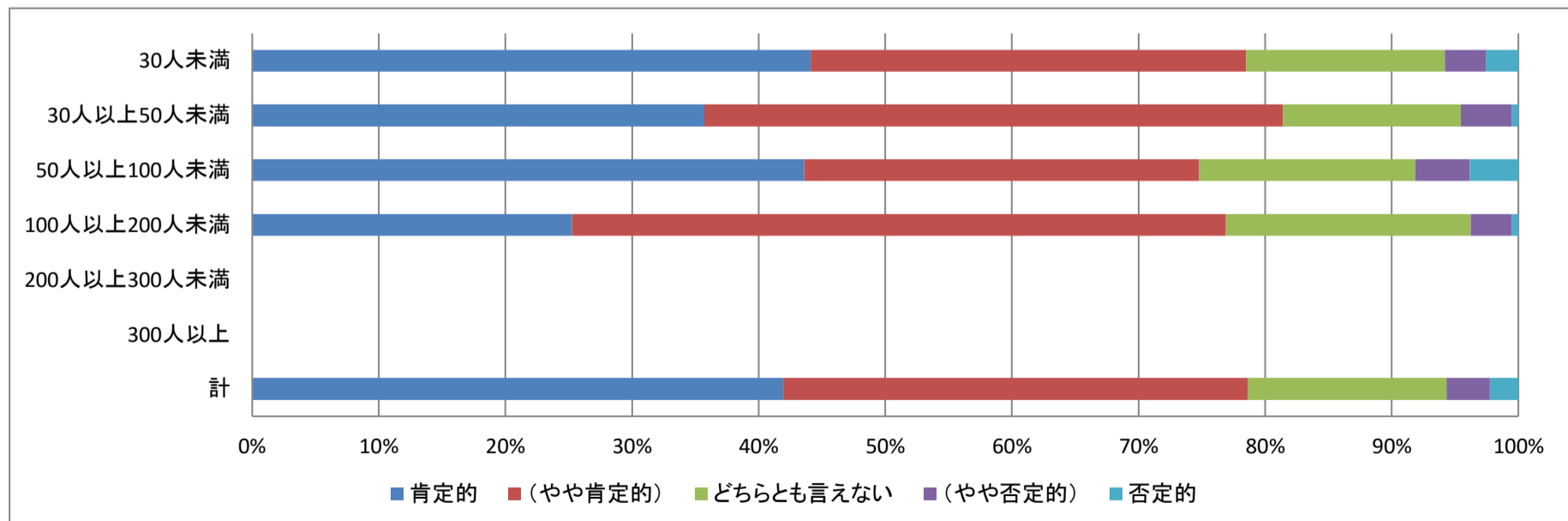
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・書道学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

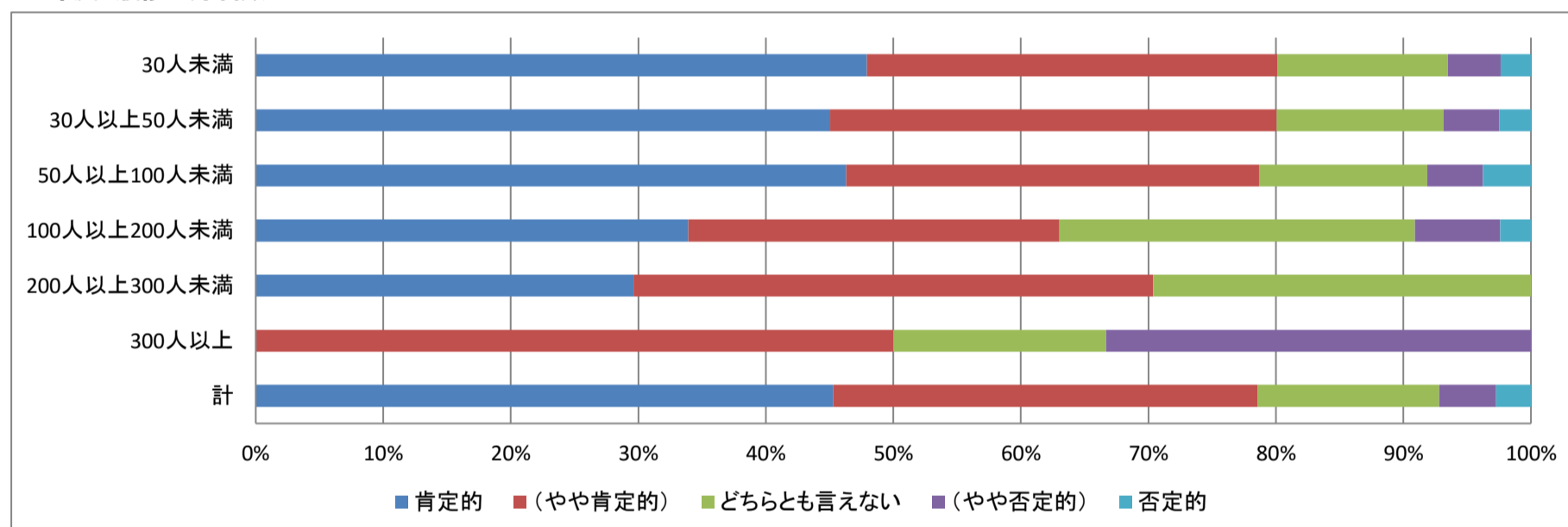
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	383 (47.9%)	257 (32.2%)	107 (13.4%)	33 (4.1%)	19 (2.4%)	4.2
	30人以上50人未満	511 (45.1%)	397 (35.0%)	148 (13.1%)	50 (4.4%)	28 (2.5%)	4.2
	50人以上100人未満	319 (46.3%)	223 (32.4%)	91 (13.2%)	30 (4.4%)	26 (3.8%)	4.1
	100人以上200人未満	56 (33.9%)	48 (29.1%)	46 (27.9%)	11 (6.7%)	4 (2.4%)	3.9
	200人以上300人未満	8 (29.6%)	11 (40.7%)	8 (29.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.0
	300人以上	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	3.2
	計	1,277 (45.3%)	939 (33.3%)	401 (14.2%)	126 (4.5%)	77 (2.7%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	931 (45.7%)	673 (33.1%)	280 (13.8%)	99 (4.9%)	52 (2.6%)	4.1
	30人以上50人未満	295 (45.4%)	215 (33.1%)	96 (14.8%)	19 (2.9%)	25 (3.8%)	4.1
	50人以上100人未満	31 (35.6%)	28 (32.2%)	23 (26.4%)	5 (5.7%)	0 (0.0%)	4.0
	100人以上200人未満	20 (41.7%)	23 (47.9%)	2 (4.2%)	3 (6.3%)	0 (0.0%)	4.3
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,277 (45.3%)	939 (33.3%)	401 (14.2%)	126 (4.5%)	77 (2.7%)	4.1

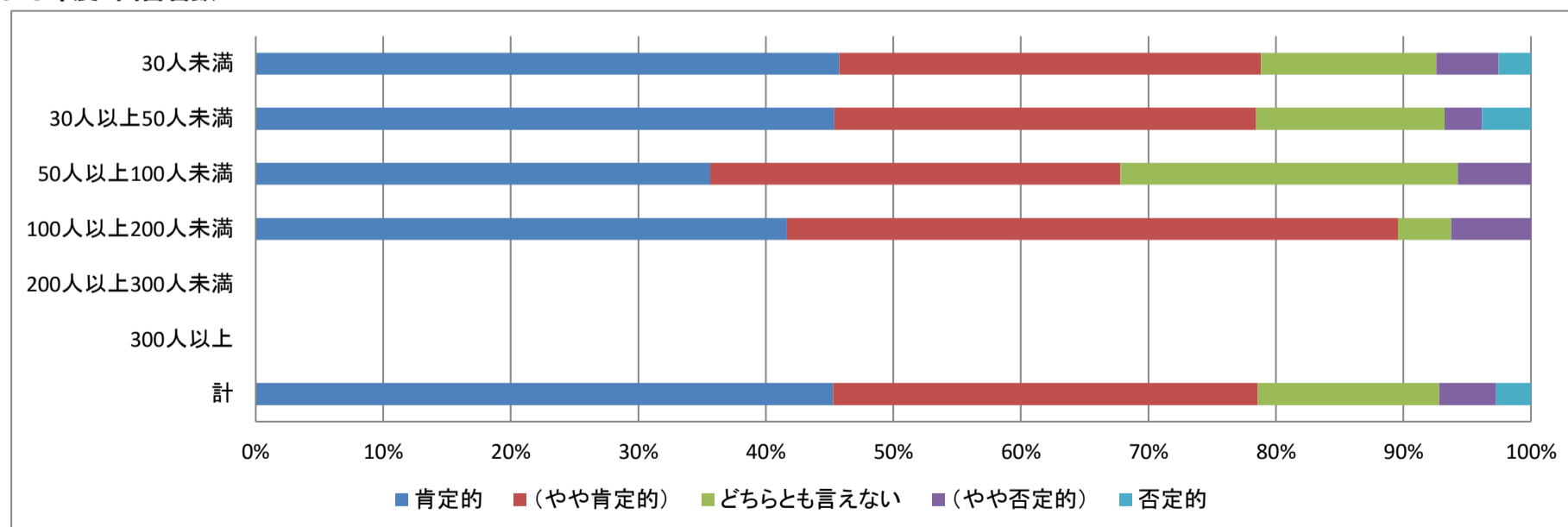
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数





# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：文学部・歴史文化学科

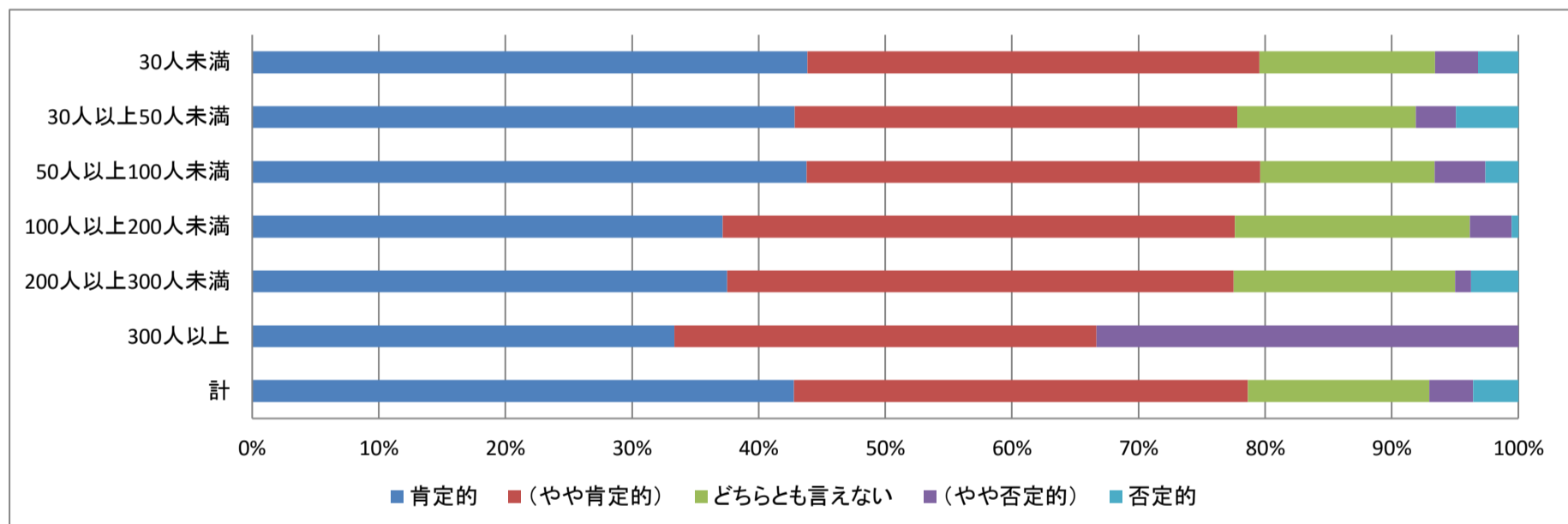
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	386 (43.9%)	314 (35.7%)	122 (13.9%)	30 (3.4%)	28 (3.2%)	4.1
	30人以上50人未満	444 (42.9%)	362 (34.9%)	146 (14.1%)	33 (3.2%)	51 (4.9%)	4.1
	50人以上100人未満	219 (43.8%)	179 (35.8%)	69 (13.8%)	20 (4.0%)	13 (2.6%)	4.1
	100人以上200人未満	68 (37.2%)	74 (40.4%)	34 (18.6%)	6 (3.3%)	1 (0.5%)	4.1
	200人以上300人未満	30 (37.5%)	32 (40.0%)	14 (17.5%)	1 (1.3%)	3 (3.8%)	4.1
	300人以上	3 (33.3%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	3.7
	計	1,150 (42.8%)	964 (35.9%)	385 (14.3%)	93 (3.5%)	96 (3.6%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	948 (43.3%)	761 (34.7%)	319 (14.6%)	79 (3.6%)	84 (3.8%)	4.1
	30人以上50人未満	147 (47.6%)	116 (37.5%)	27 (8.7%)	10 (3.2%)	9 (2.9%)	4.2
	50人以上100人未満	35 (28.5%)	58 (47.2%)	26 (21.1%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)	4.0
	100人以上200人未満	20 (30.8%)	29 (44.6%)	13 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (4.6%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,150 (42.8%)	964 (35.9%)	385 (14.3%)	93 (3.5%)	96 (3.6%)	4.1

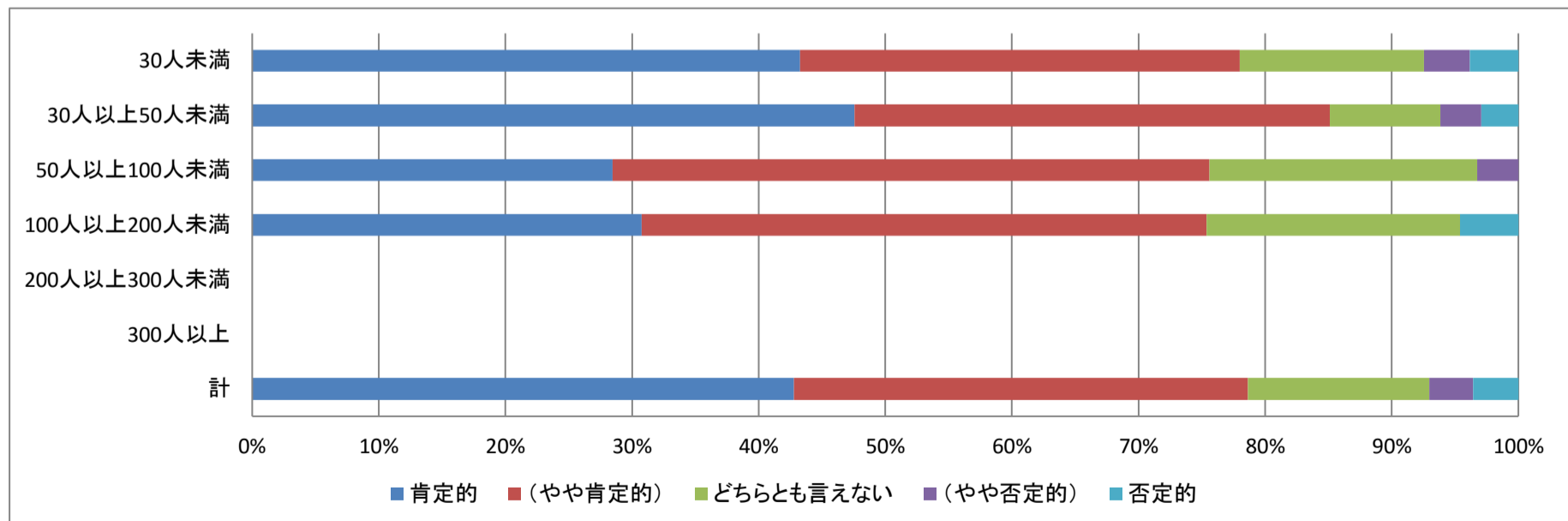
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：経済学部

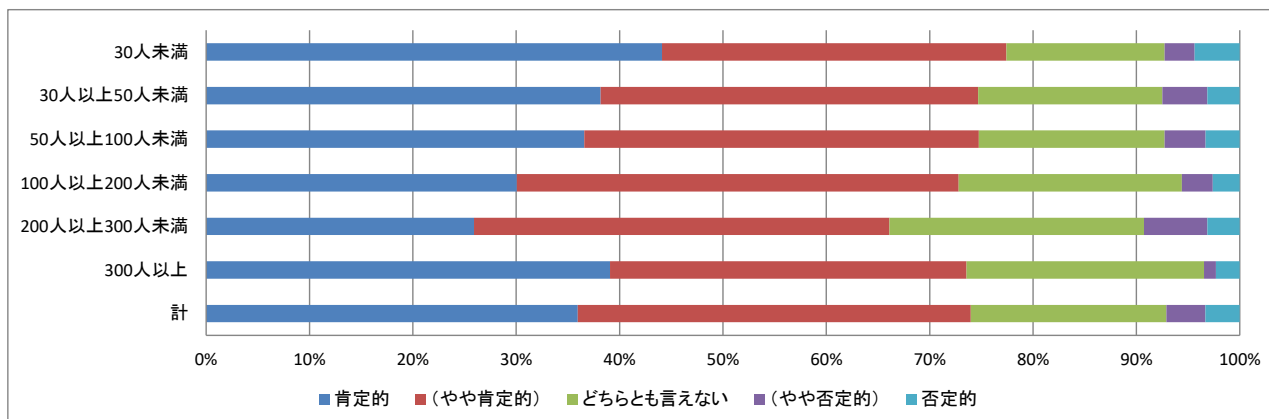
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	1,201 (44.1%)	907 (33.3%)	417 (15.3%)	79 (2.9%)	119 (4.4%)	4.1
	30人以上50人未満	769 (38.2%)	736 (36.5%)	359 (17.8%)	88 (4.4%)	63 (3.1%)	4.0
	50人以上100人未満	1,083 (36.6%)	1,130 (38.2%)	532 (18.0%)	117 (4.0%)	98 (3.3%)	4.0
	100人以上200人未満	830 (30.1%)	1,181 (42.8%)	596 (21.6%)	83 (3.0%)	72 (2.6%)	3.9
	200人以上300人未満	322 (25.9%)	499 (40.2%)	306 (24.6%)	76 (6.1%)	39 (3.1%)	3.8
	300人以上	34 (39.1%)	30 (34.5%)	20 (23.0%)	1 (1.1%)	2 (2.3%)	4.1
	計	4,239 (36.0%)	4,483 (38.0%)	2,230 (18.9%)	444 (3.8%)	393 (3.3%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	2,926 (49.2%)	1,694 (28.5%)	922 (15.5%)	198 (3.3%)	208 (3.5%)	4.2
	30人以上50人未満	801 (45.2%)	582 (32.9%)	283 (16.0%)	59 (3.3%)	46 (2.6%)	4.1
	50人以上100人未満	406 (52.8%)	227 (29.5%)	111 (14.4%)	8 (1.0%)	17 (2.2%)	4.3
	100人以上200人未満	106 (46.7%)	78 (34.4%)	35 (15.4%)	5 (2.2%)	3 (1.3%)	4.2
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	4,239 (48.6%)	2,581 (29.6%)	1,351 (15.5%)	270 (3.1%)	274 (3.1%)	4.2

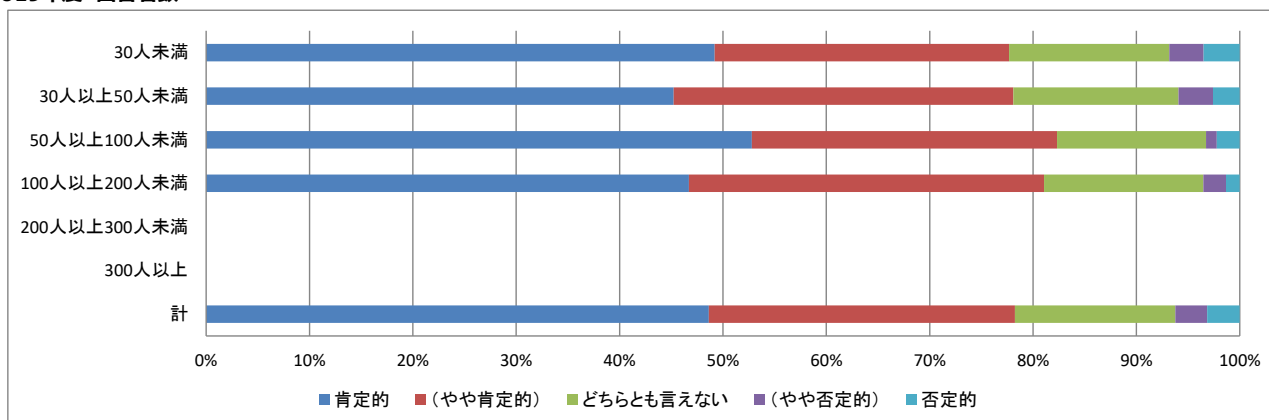
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：経済学部・社会経済学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

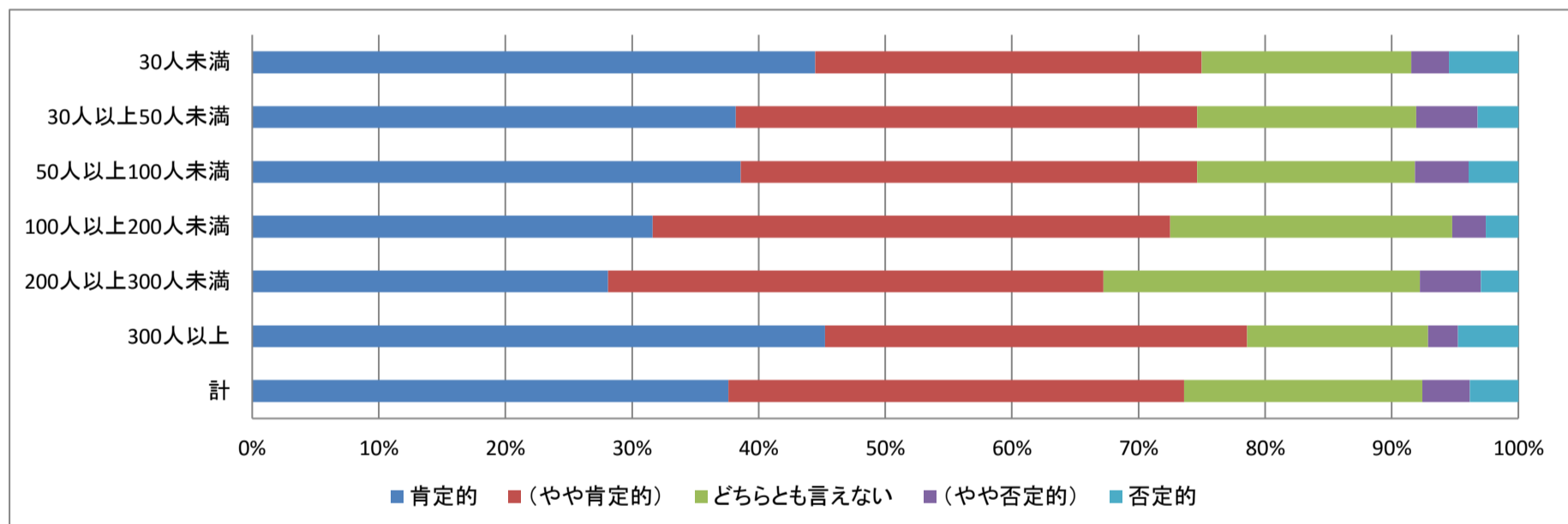
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	821 (44.5%)	564 (30.5%)	306 (16.6%)	55 (3.0%)	101 (5.5%)	4.1
	30人以上50人未満	568 (38.2%)	542 (36.4%)	257 (17.3%)	72 (4.8%)	48 (3.2%)	4.0
	50人以上100人未満	639 (38.6%)	597 (36.1%)	285 (17.2%)	70 (4.2%)	65 (3.9%)	4.0
	100人以上200人未満	454 (31.6%)	587 (40.9%)	320 (22.3%)	38 (2.6%)	37 (2.6%)	4.0
	200人以上300人未満	199 (28.1%)	277 (39.1%)	177 (25.0%)	34 (4.8%)	21 (3.0%)	3.8
	300人以上	19 (45.2%)	14 (33.3%)	6 (14.3%)	1 (2.4%)	2 (4.8%)	4.1
	計	2,700 (37.6%)	2,581 (36.0%)	1,351 (18.8%)	270 (3.8%)	274 (3.8%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,890 (38.5%)	1,694 (34.5%)	922 (18.8%)	198 (4.0%)	208 (4.2%)	4.0
	30人以上50人未満	514 (34.6%)	582 (39.2%)	283 (19.1%)	59 (4.0%)	46 (3.1%)	4.0
	50人以上100人未満	228 (38.6%)	227 (38.4%)	111 (18.8%)	8 (1.4%)	17 (2.9%)	4.1
	100人以上200人未満	68 (36.0%)	78 (41.3%)	35 (18.5%)	5 (2.6%)	3 (1.6%)	4.1
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	2,700 (37.6%)	2,581 (36.0%)	1,351 (18.8%)	270 (3.8%)	274 (3.8%)	4.0

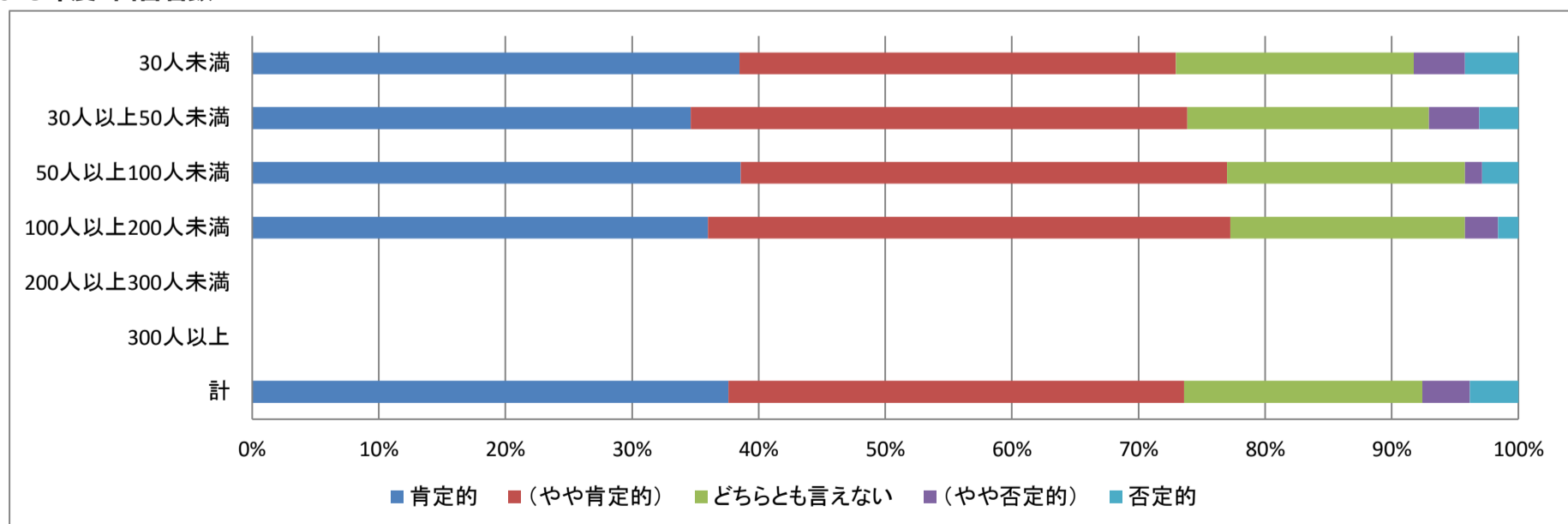
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：経済学部・現代経済学科

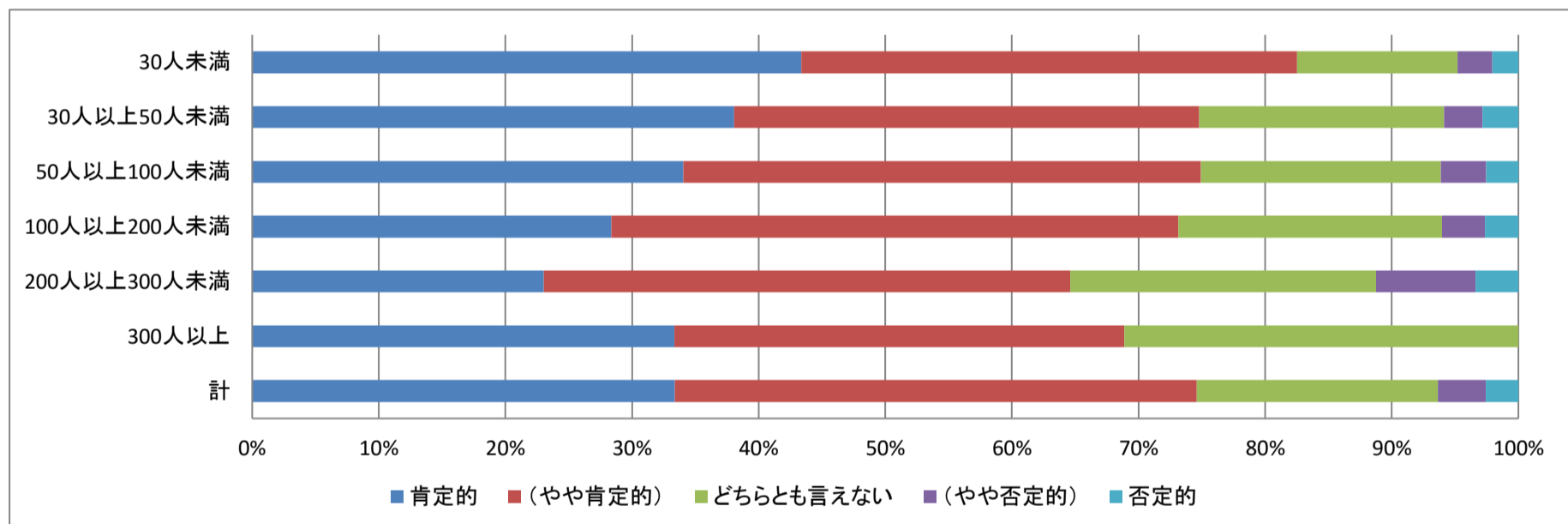
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	380 (43.4%)	343 (39.2%)	111 (12.7%)	24 (2.7%)	18 (2.1%)	4.2
	30人以上50人未満	201 (38.1%)	194 (36.7%)	102 (19.3%)	16 (3.0%)	15 (2.8%)	4.0
	50人以上100人未満	444 (34.0%)	533 (40.9%)	247 (18.9%)	47 (3.6%)	33 (2.5%)	4.0
	100人以上200人未満	376 (28.4%)	594 (44.8%)	276 (20.8%)	45 (3.4%)	35 (2.6%)	3.9
	200人以上300人未満	123 (23.0%)	222 (41.6%)	129 (24.2%)	42 (7.9%)	18 (3.4%)	3.7
	300人以上	15 (33.3%)	16 (35.6%)	14 (31.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.0
	計	1,539 (33.4%)	1,902 (41.2%)	879 (19.1%)	174 (3.8%)	119 (2.6%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,036 (37.3%)	1,101 (39.6%)	492 (17.7%)	84 (3.0%)	64 (2.3%)	4.1
	30人以上50人未満	287 (26.4%)	475 (43.7%)	226 (20.8%)	57 (5.2%)	41 (3.8%)	3.8
	50人以上100人未満	178 (29.7%)	259 (43.2%)	126 (21.0%)	24 (4.0%)	13 (2.2%)	3.9
	100人以上200人未満	38 (25.3%)	67 (44.7%)	35 (23.3%)	9 (6.0%)	1 (0.7%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,539 (33.4%)	1,902 (41.2%)	879 (19.1%)	174 (3.8%)	119 (2.6%)	4.0

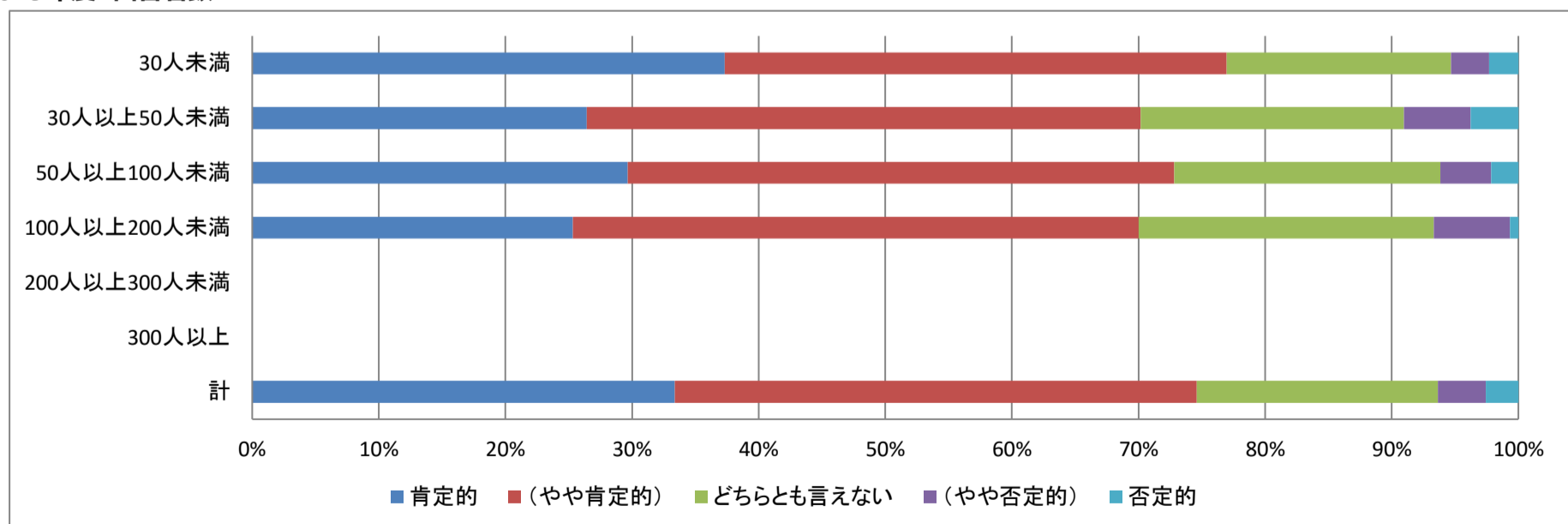
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



# 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：外国語学部

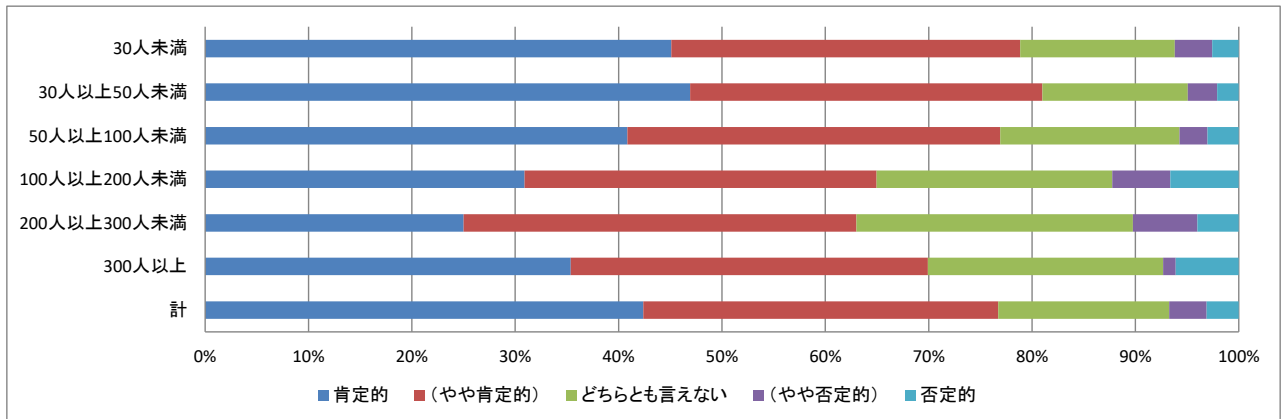
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	3,419 (45.1%)	2,560 (33.8%)	1,134 (15.0%)	275 (3.6%)	194 (2.6%)	4.2
	30人以上50人未満	1,191 (46.9%)	865 (34.1%)	357 (14.1%)	72 (2.8%)	53 (2.1%)	4.2
	50人以上100人未満	970 (40.9%)	856 (36.1%)	412 (17.4%)	64 (2.7%)	72 (3.0%)	4.1
	100人以上200人未満	528 (30.9%)	582 (34.1%)	390 (22.8%)	96 (5.6%)	113 (6.6%)	3.8
	200人以上300人未満	100 (25.0%)	152 (38.0%)	107 (26.8%)	25 (6.3%)	16 (4.0%)	3.7
	300人以上	87 (35.4%)	85 (34.6%)	56 (22.8%)	3 (1.2%)	15 (6.1%)	3.9
	計	6,295 (42.4%)	5,100 (34.3%)	2,456 (16.5%)	535 (3.6%)	463 (3.1%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	5,390 (44.0%)	4,229 (34.5%)	1,894 (15.5%)	418 (3.4%)	322 (2.6%)	4.1
	30人以上50人未満	541 (36.6%)	483 (32.7%)	291 (19.7%)	69 (4.7%)	93 (6.3%)	3.9
	50人以上100人未満	252 (33.6%)	229 (30.6%)	187 (25.0%)	34 (4.5%)	47 (6.3%)	3.8
	100人以上200人未満	112 (30.3%)	159 (43.0%)	84 (22.7%)	14 (3.8%)	1 (0.3%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	6,295 (42.4%)	5,100 (34.3%)	2,456 (16.5%)	535 (3.6%)	463 (3.1%)	4.1

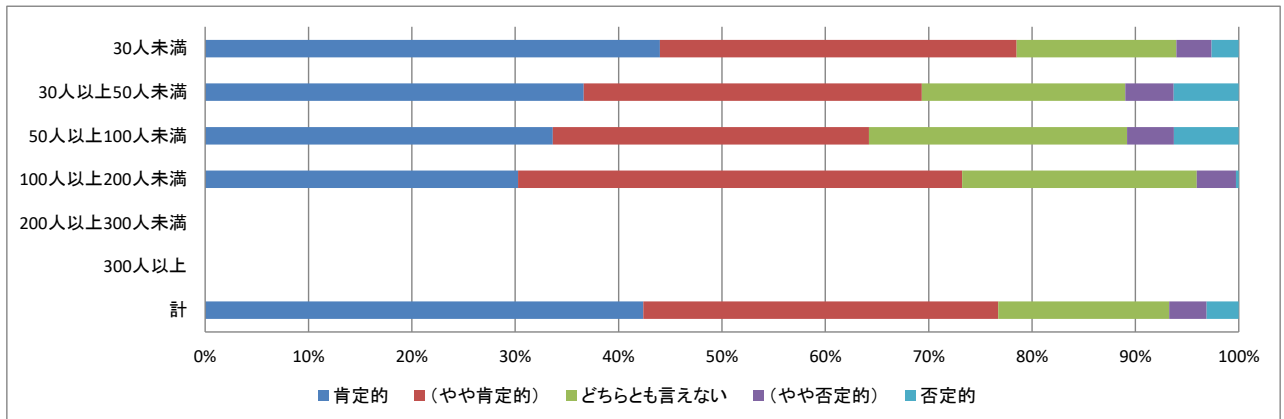
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：外国語学部・中国語学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

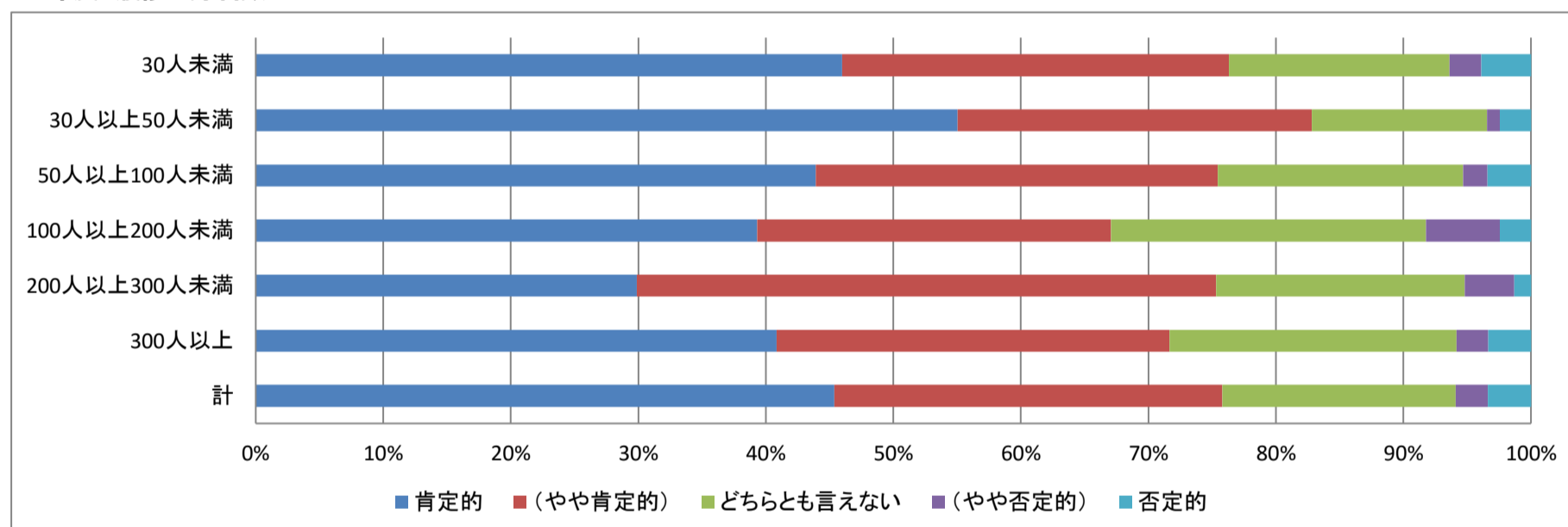
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	697 (46.0%)	460 (30.3%)	262 (17.3%)	38 (2.5%)	59 (3.9%)	4.1
	30人以上50人未満	224 (55.0%)	113 (27.8%)	56 (13.8%)	4 (1.0%)	10 (2.5%)	4.3
	50人以上100人未満	347 (43.9%)	249 (31.5%)	152 (19.2%)	15 (1.9%)	27 (3.4%)	4.1
	100人以上200人未満	129 (39.3%)	91 (27.7%)	81 (24.7%)	19 (5.8%)	8 (2.4%)	4.0
	200人以上300人未満	23 (29.9%)	35 (45.5%)	15 (19.5%)	3 (3.9%)	1 (1.3%)	4.0
	300人以上	49 (40.8%)	37 (30.8%)	27 (22.5%)	3 (2.5%)	4 (3.3%)	4.0
	計	1,469 (45.4%)	985 (30.4%)	593 (18.3%)	82 (2.5%)	109 (3.4%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	1,199 (46.0%)	792 (30.4%)	451 (17.3%)	65 (2.5%)	98 (3.8%)	4.1
	30人以上50人未満	138 (47.1%)	83 (28.3%)	65 (22.2%)	6 (2.0%)	1 (0.3%)	4.2
	50人以上100人未満	100 (38.5%)	80 (30.8%)	62 (23.8%)	9 (3.5%)	9 (3.5%)	4.0
	100人以上200人未満	32 (40.0%)	30 (37.5%)	15 (18.8%)	2 (2.5%)	1 (1.3%)	4.1
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,469 (45.4%)	985 (30.4%)	593 (18.3%)	82 (2.5%)	109 (3.4%)	4.1

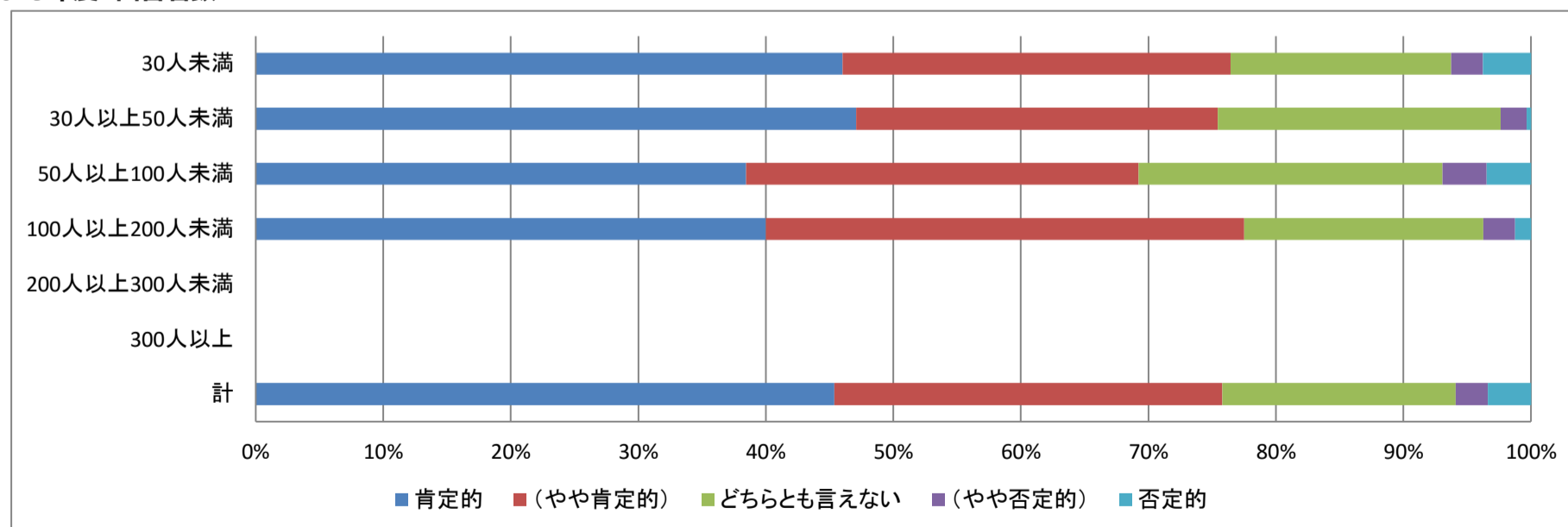
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：外国語学部・英語学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

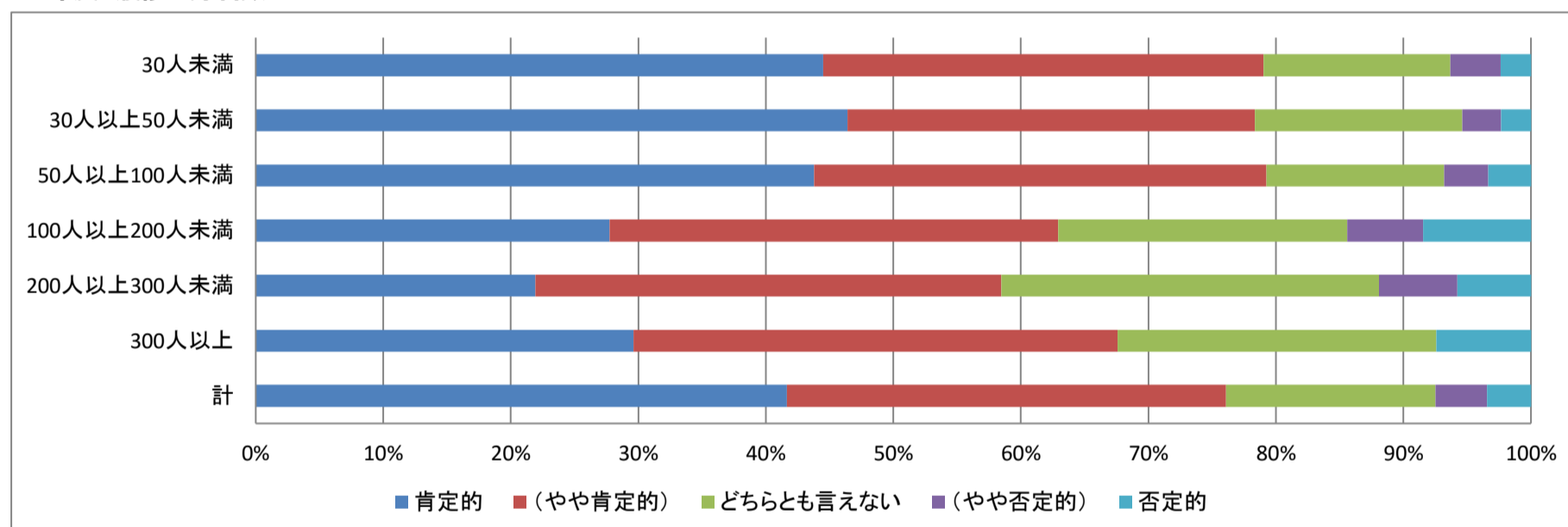
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	2333 (44.5%)	1810 (34.5%)	768 (14.7%)	206 (3.9%)	125 (2.4%)	4.1
	30人以上50人未満	636 (46.4%)	438 (31.9%)	223 (16.3%)	42 (3.1%)	32 (2.3%)	4.2
	50人以上100人未満	443 (43.8%)	359 (35.5%)	141 (13.9%)	35 (3.5%)	34 (3.4%)	4.1
	100人以上200人未満	345 (27.8%)	437 (35.2%)	282 (22.7%)	74 (6.0%)	105 (8.4%)	3.7
	200人以上300人未満	57 (21.9%)	95 (36.5%)	77 (29.6%)	16 (6.2%)	15 (5.8%)	3.6
	300人以上	32 (29.6%)	41 (38.0%)	27 (25.0%)	0 (0.0%)	8 (7.4%)	3.8
	計	3,846 (41.6%)	3,180 (34.4%)	1,518 (16.4%)	373 (4.0%)	319 (3.5%)	4.1
2019年度 回答者	30人未満	3,307 (43.8%)	2,613 (34.6%)	1,146 (15.2%)	287 (3.8%)	193 (2.6%)	4.1
	30人以上50人未満	343 (33.0%)	342 (32.9%)	207 (19.9%)	57 (5.5%)	91 (8.8%)	3.8
	50人以上100人未満	136 (31.9%)	120 (28.2%)	113 (26.5%)	22 (5.2%)	35 (8.2%)	3.7
	100人以上200人未満	60 (26.8%)	105 (46.9%)	52 (23.2%)	7 (3.1%)	0 (0.0%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	3,846 (41.6%)	3,180 (34.4%)	1,518 (16.4%)	373 (4.0%)	319 (3.5%)	4.1

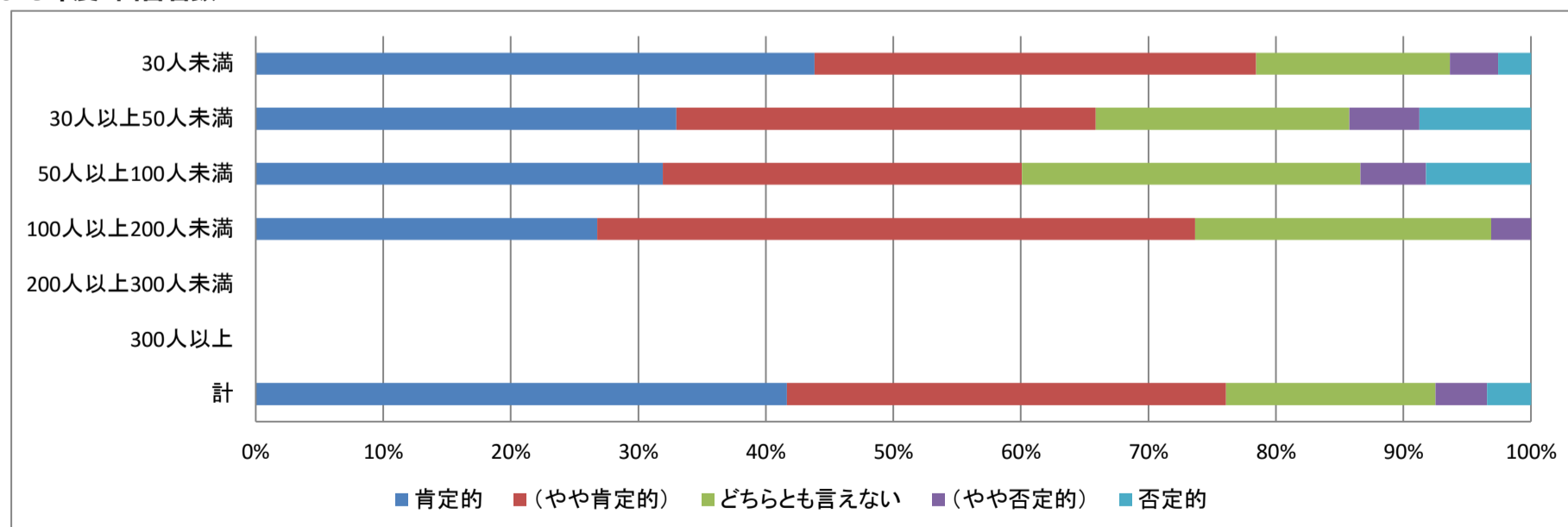
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：外国語学部・日本語学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

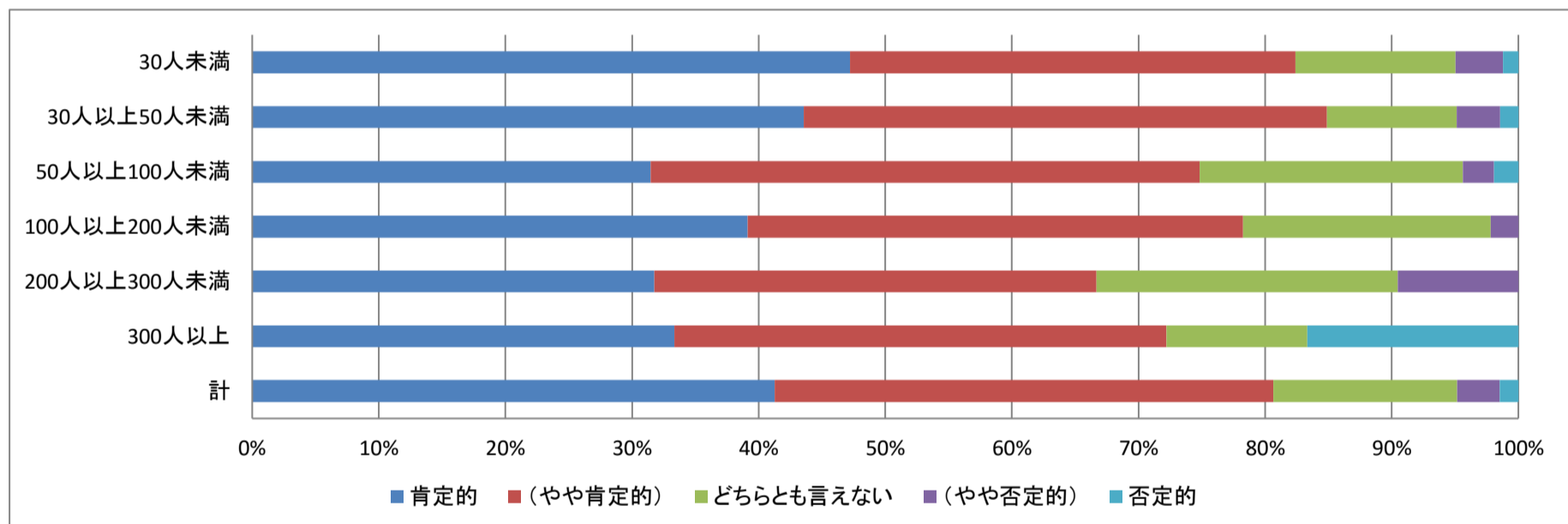
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	389 (47.2%)	290 (35.2%)	104 (12.6%)	31 (3.8%)	10 (1.2%)	4.2
	30人以上50人未満	331 (43.6%)	314 (41.3%)	78 (10.3%)	26 (3.4%)	11 (1.4%)	4.2
	50人以上100人未満	180 (31.5%)	248 (43.4%)	119 (20.8%)	14 (2.4%)	11 (1.9%)	4.0
	100人以上200人未満	54 (39.1%)	54 (39.1%)	27 (19.6%)	3 (2.2%)	0 (0.0%)	4.2
	200人以上300人未満	20 (31.7%)	22 (34.9%)	15 (23.8%)	6 (9.5%)	0 (0.0%)	3.9
	300人以上	6 (33.3%)	7 (38.9%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	3.7
	計	980 (41.3%)	935 (39.4%)	345 (14.5%)	80 (3.4%)	35 (1.5%)	4.2
2019年度 回答者	30人未満	884 (42.1%)	824 (39.2%)	297 (14.1%)	66 (3.1%)	31 (1.5%)	4.2
	30人以上50人未満	60 (41.7%)	58 (40.3%)	19 (13.2%)	6 (4.2%)	1 (0.7%)	4.2
	50人以上100人未満	16 (25.4%)	29 (46.0%)	12 (19.0%)	3 (4.8%)	3 (4.8%)	3.8
	100人以上200人未満	20 (30.3%)	24 (36.4%)	17 (25.8%)	5 (7.6%)	0 (0.0%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	980 (41.3%)	935 (39.4%)	345 (14.5%)	80 (3.4%)	35 (1.5%)	4.2

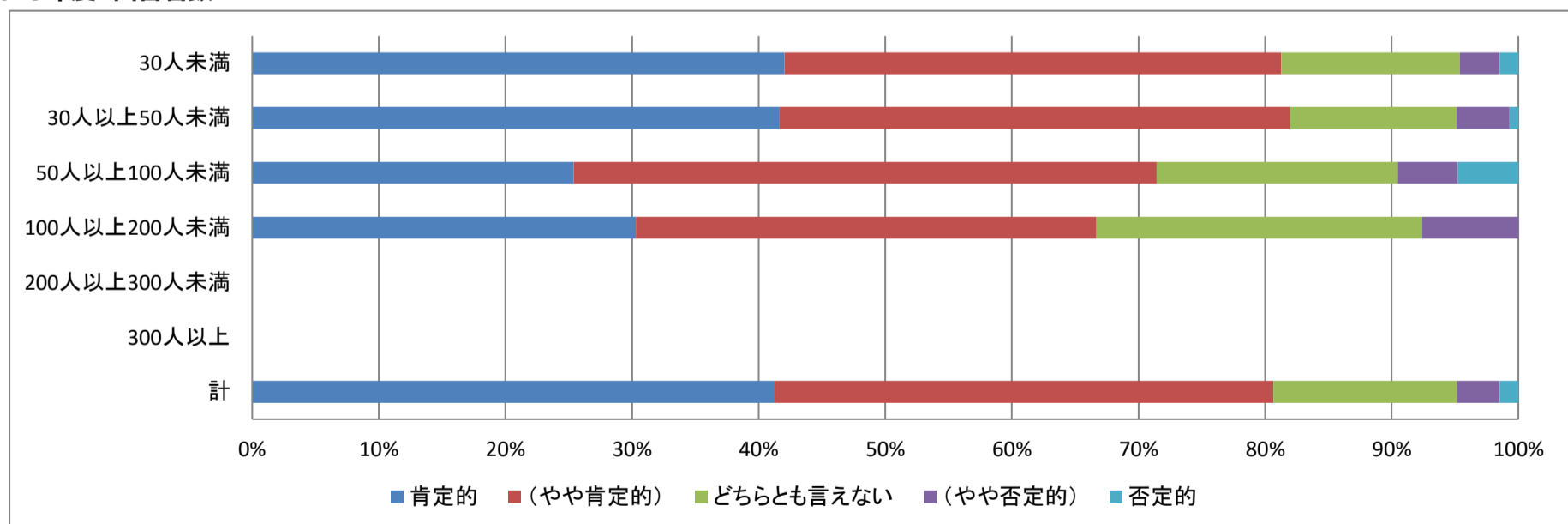
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数





## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：法学部

総合評価（Q11～Q13の合計値）

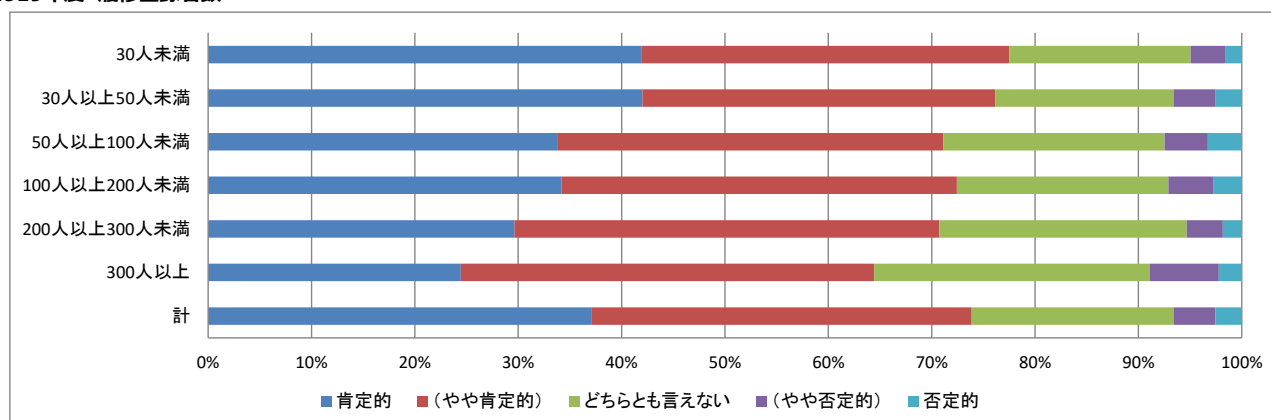
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	1,116 (42.0%)	946 (35.6%)	466 (17.5%)	89 (3.3%)	43 (1.6%)	4.1
	30人以上50人未満	1,370 (42.0%)	1,112 (34.1%)	563 (17.3%)	133 (4.1%)	82 (2.5%)	4.1
	50人以上100人未満	832 (33.8%)	921 (37.4%)	527 (21.4%)	103 (4.2%)	81 (3.3%)	3.9
	100人以上200人未満	2,007 (34.2%)	2,244 (38.2%)	1,202 (20.5%)	256 (4.4%)	160 (2.7%)	4.0
	200人以上300人未満	145 (29.7%)	201 (41.1%)	117 (23.9%)	17 (3.5%)	9 (1.8%)	3.9
	300人以上	11 (24.4%)	18 (40.0%)	12 (26.7%)	3 (6.7%)	1 (2.2%)	3.8
	計	5,481 (37.1%)	5,442 (36.8%)	2,887 (19.5%)	601 (4.1%)	376 (2.5%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	3,186 (39.6%)	2,822 (35.0%)	1,533 (19.0%)	298 (3.7%)	213 (2.6%)	4.1
	30人以上50人未満	760 (32.6%)	903 (38.7%)	468 (20.1%)	124 (5.3%)	76 (3.3%)	3.9
	50人以上100人未満	1,152 (32.9%)	1,364 (39.0%)	743 (21.2%)	162 (4.6%)	77 (2.2%)	4.0
	100人以上200人未満	383 (42.3%)	353 (39.0%)	143 (15.8%)	17 (1.9%)	10 (1.1%)	4.2
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	5,481 (37.1%)	5,442 (36.8%)	2,887 (19.5%)	601 (4.1%)	376 (2.5%)	4.0

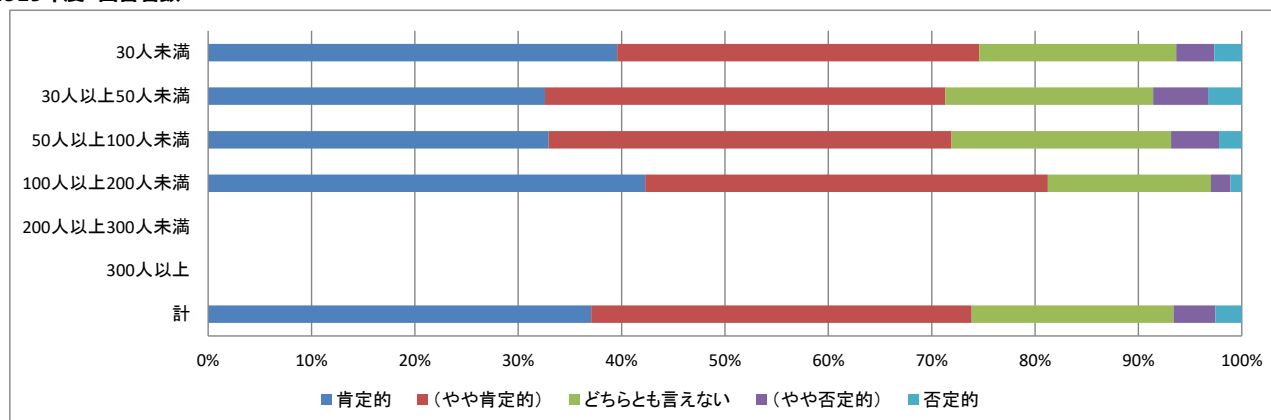
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：法学部・法律学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

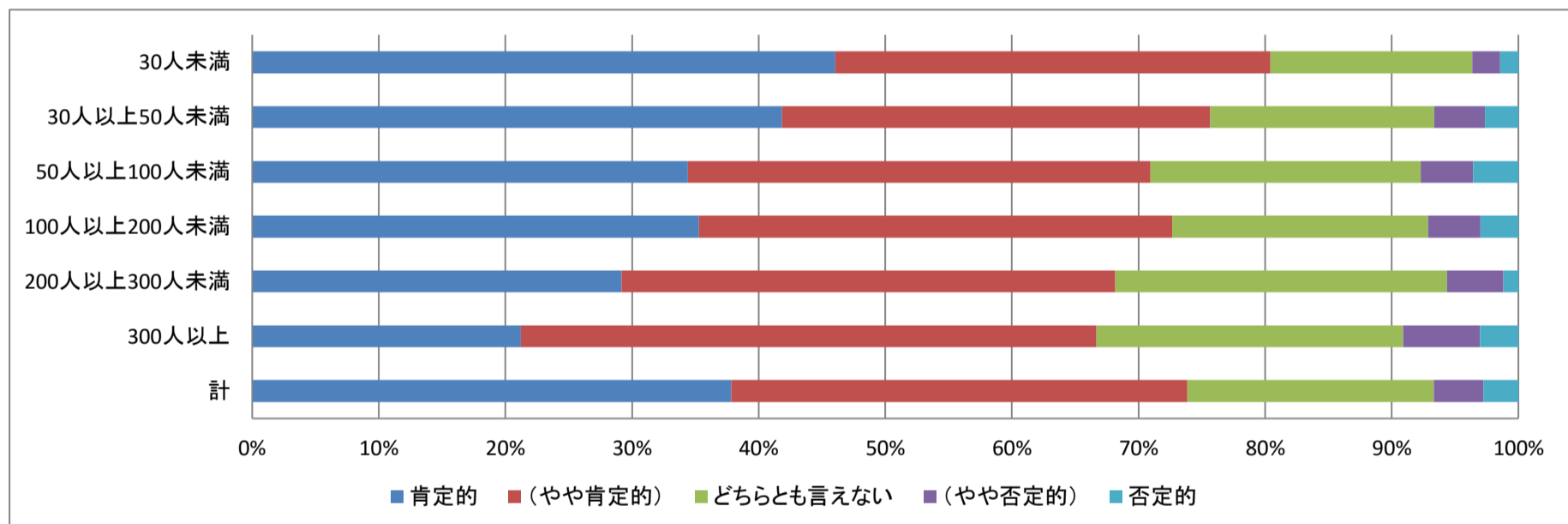
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	572 (46.1%)	427 (34.4%)	198 (15.9%)	27 (2.2%)	18 (1.4%)	4.2
	30人以上50人未満	1157 (41.8%)	935 (33.8%)	489 (17.7%)	111 (4.0%)	73 (2.6%)	4.1
	50人以上100人未満	638 (34.4%)	678 (36.5%)	396 (21.3%)	77 (4.2%)	66 (3.6%)	3.9
	100人以上200人未満	1607 (35.3%)	1702 (37.4%)	920 (20.2%)	189 (4.2%)	136 (3.0%)	4.0
	200人以上300人未満	98 (29.2%)	131 (39.0%)	88 (26.2%)	15 (4.5%)	4 (1.2%)	3.9
	300人以上	7 (21.2%)	15 (45.5%)	8 (24.2%)	2 (6.1%)	1 (3.0%)	3.8
	計	4,079 (37.8%)	3,888 (36.1%)	2,099 (19.5%)	421 (3.9%)	298 (2.8%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	2,052 (41.2%)	1,666 (33.4%)	933 (18.7%)	180 (3.6%)	155 (3.1%)	4.1
	30人以上50人未満	574 (34.6%)	626 (37.7%)	327 (19.7%)	72 (4.3%)	60 (3.6%)	4.0
	50人以上100人未満	1,098 (33.1%)	1,284 (38.7%)	703 (21.2%)	153 (4.6%)	77 (2.3%)	4.0
	100人以上200人未満	355 (43.0%)	312 (37.8%)	136 (16.5%)	16 (1.9%)	6 (0.7%)	4.2
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	4,079 (37.8%)	3,888 (36.1%)	2,099 (19.5%)	421 (3.9%)	298 (2.8%)	4.0

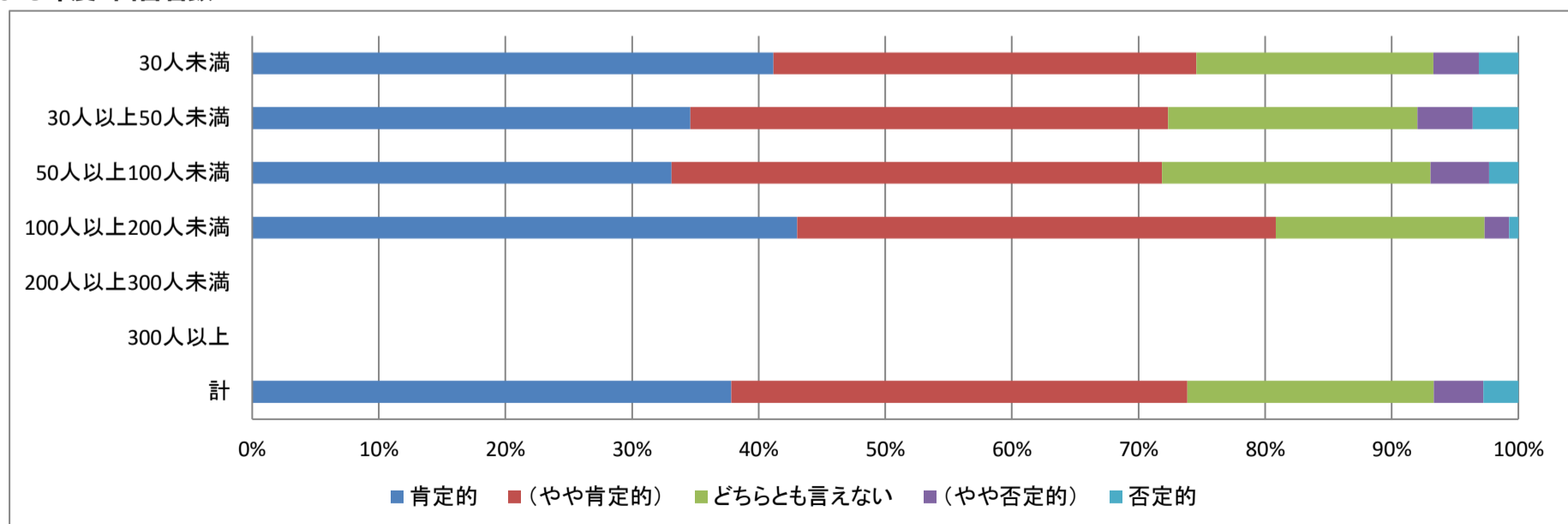
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：法学部・政治学科

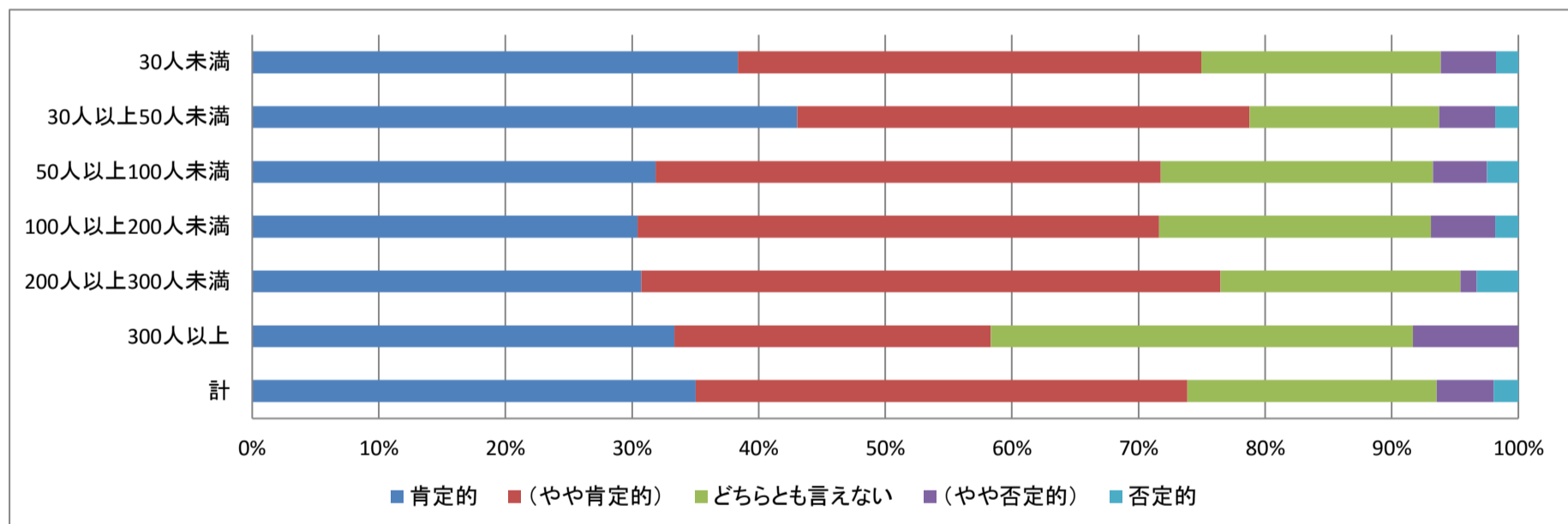
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	544 (38.4%)	519 (36.6%)	268 (18.9%)	62 (4.4%)	25 (1.8%)	4.1
	30人以上50人未満	213 (43.0%)	177 (35.8%)	74 (14.9%)	22 (4.4%)	9 (1.8%)	4.1
	50人以上100人未満	194 (31.9%)	243 (39.9%)	131 (21.5%)	26 (4.3%)	15 (2.5%)	3.9
	100人以上200人未満	400 (30.4%)	542 (41.2%)	282 (21.4%)	67 (5.1%)	24 (1.8%)	3.9
	200人以上300人未満	47 (30.7%)	70 (45.8%)	29 (19.0%)	2 (1.3%)	5 (3.3%)	4.0
	300人以上	4 (33.3%)	3 (25.0%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	3.8
	計	1,402 (35.0%)	1,554 (38.8%)	788 (19.7%)	180 (4.5%)	78 (1.9%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,134 (37.0%)	1,156 (37.7%)	600 (19.6%)	118 (3.8%)	58 (1.9%)	4.0
	30人以上50人未満	186 (27.7%)	277 (41.2%)	141 (21.0%)	52 (7.7%)	16 (2.4%)	3.8
	50人以上100人未満	54 (29.5%)	80 (43.7%)	40 (21.9%)	9 (4.9%)	0 (0.0%)	4.0
	100人以上200人未満	28 (34.6%)	41 (50.6%)	7 (8.6%)	1 (1.2%)	4 (4.9%)	4.1
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,402 (35.0%)	1,554 (38.8%)	788 (19.7%)	180 (4.5%)	78 (1.9%)	4.0

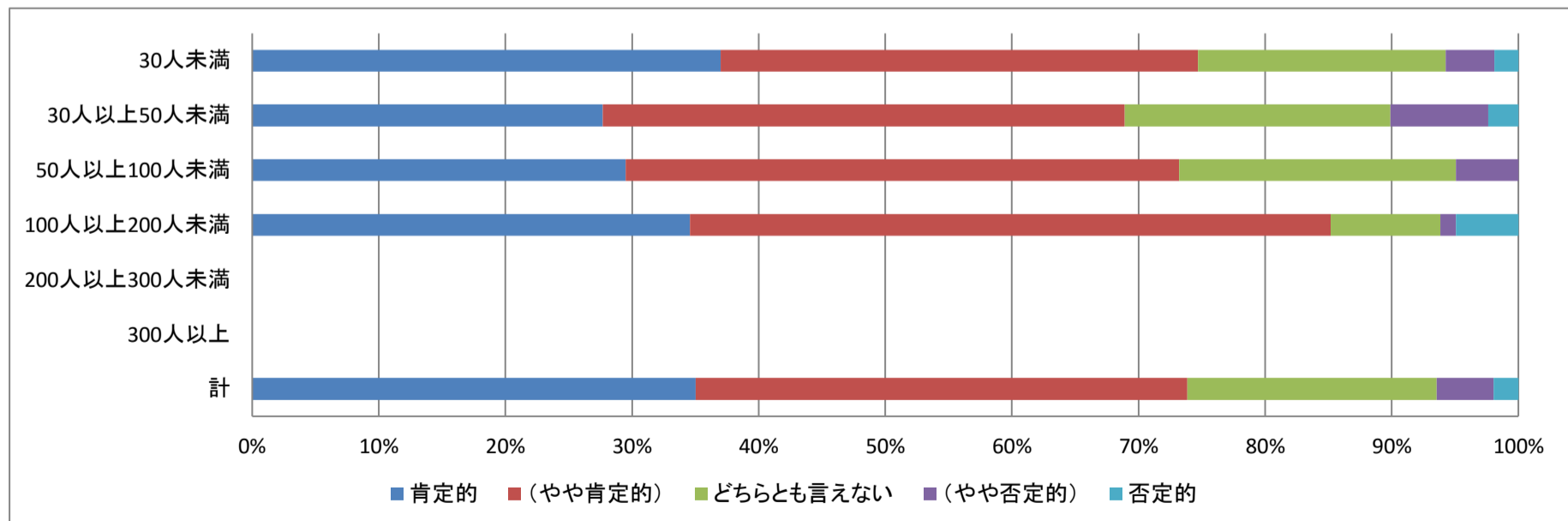
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：国際関係学部

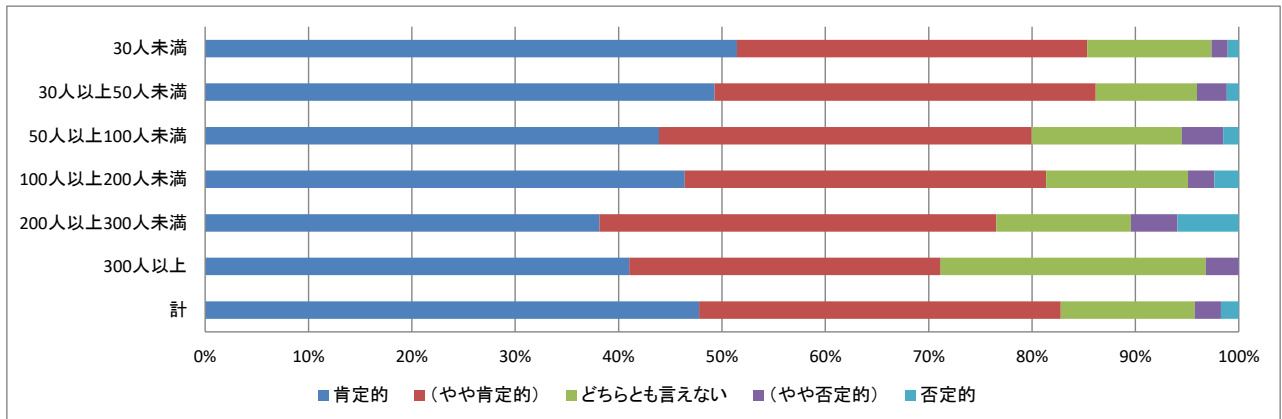
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	1,499 (51.5%)	987 (33.9%)	350 (12.0%)	46 (1.6%)	31 (1.1%)	4.3
	30人以上50人未満	342 (49.3%)	256 (36.9%)	68 (9.8%)	20 (2.9%)	8 (1.2%)	4.3
	50人以上100人未満	493 (43.9%)	405 (36.1%)	163 (14.5%)	45 (4.0%)	17 (1.5%)	4.2
	100人以上200人未満	727 (46.4%)	548 (35.0%)	215 (13.7%)	40 (2.6%)	37 (2.4%)	4.2
	200人以上300人未満	161 (38.2%)	162 (38.4%)	55 (13.0%)	19 (4.5%)	25 (5.9%)	4.0
	300人以上	64 (41.0%)	47 (30.1%)	40 (25.6%)	5 (3.2%)	0 (0.0%)	4.1
	計	3,286 (47.8%)	2,405 (35.0%)	891 (13.0%)	175 (2.5%)	118 (1.7%)	4.2
2019年度 回答者	30人未満	2,264 (49.0%)	1,603 (34.7%)	578 (12.5%)	112 (2.4%)	66 (1.4%)	4.3
	30人以上50人未満	414 (43.7%)	342 (36.1%)	129 (13.6%)	29 (3.1%)	33 (3.5%)	4.1
	50人以上100人未満	546 (47.4%)	407 (35.3%)	156 (13.5%)	32 (2.8%)	11 (1.0%)	4.3
	100人以上200人未満	62 (40.5%)	53 (34.6%)	28 (18.3%)	2 (1.3%)	8 (5.2%)	4.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	3,286 (47.8%)	2,405 (35.0%)	891 (13.0%)	175 (2.5%)	118 (1.7%)	4.2

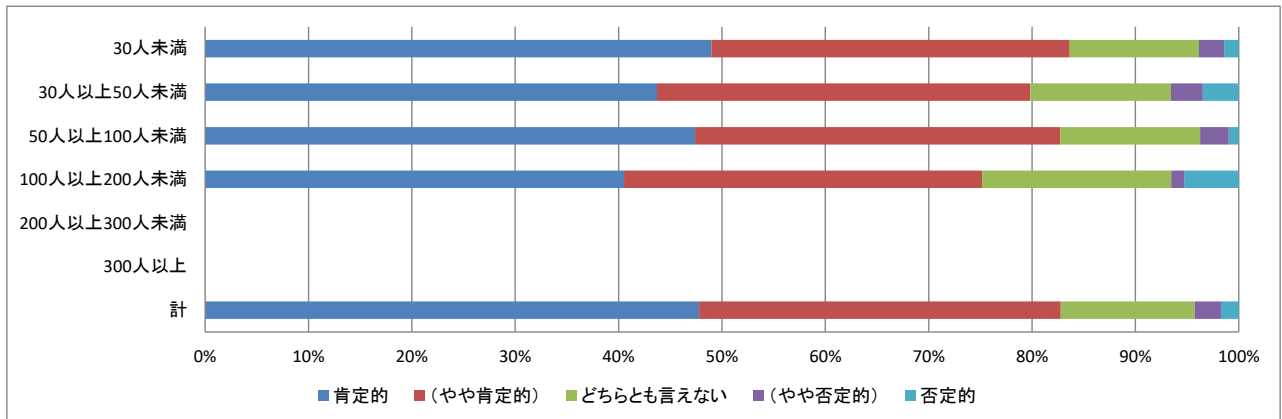
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：国際関係学部・国際関係学科

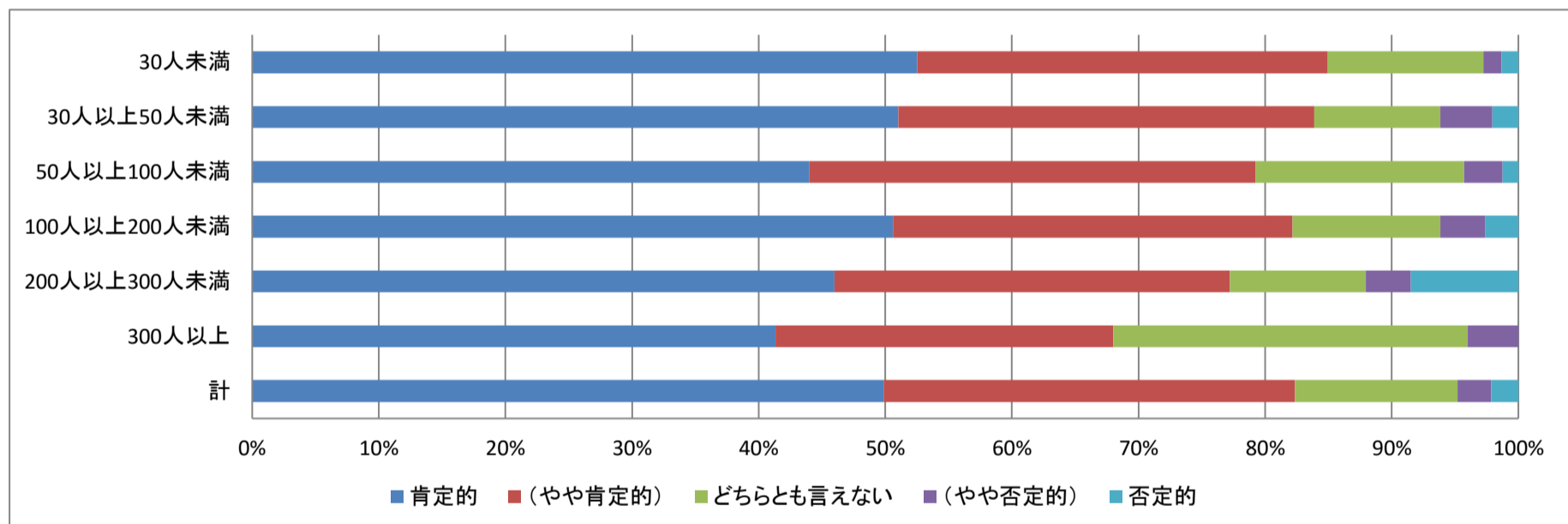
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	743 (52.5%)	459 (32.4%)	174 (12.3%)	20 (1.4%)	19 (1.3%)	4.3
	30人以上50人未満	174 (51.0%)	112 (32.8%)	34 (10.0%)	14 (4.1%)	7 (2.1%)	4.3
	50人以上100人未満	246 (44.0%)	197 (35.2%)	92 (16.5%)	17 (3.0%)	7 (1.3%)	4.2
	100人以上200人未満	420 (50.6%)	262 (31.6%)	97 (11.7%)	29 (3.5%)	22 (2.7%)	4.2
	200人以上300人未満	103 (46.0%)	70 (31.3%)	24 (10.7%)	8 (3.6%)	19 (8.5%)	4.0
	300人以上	31 (41.3%)	20 (26.7%)	21 (28.0%)	3 (4.0%)	0 (0.0%)	4.1
	計	1,717 (49.9%)	1,120 (32.5%)	442 (12.8%)	91 (2.6%)	74 (2.1%)	4.3
2019年度 回答者	30人未満	1,132 (50.4%)	725 (32.3%)	301 (13.4%)	54 (2.4%)	36 (1.6%)	4.3
	30人以上50人未満	258 (47.6%)	190 (35.1%)	56 (10.3%)	16 (3.0%)	22 (4.1%)	4.2
	50人以上100人未満	295 (52.0%)	173 (30.5%)	70 (12.3%)	21 (3.7%)	8 (1.4%)	4.3
	100人以上200人未満	32 (36.8%)	32 (36.8%)	15 (17.2%)	0 (0.0%)	8 (9.2%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,717 (49.9%)	1,120 (32.5%)	442 (12.8%)	91 (2.6%)	74 (2.1%)	4.3

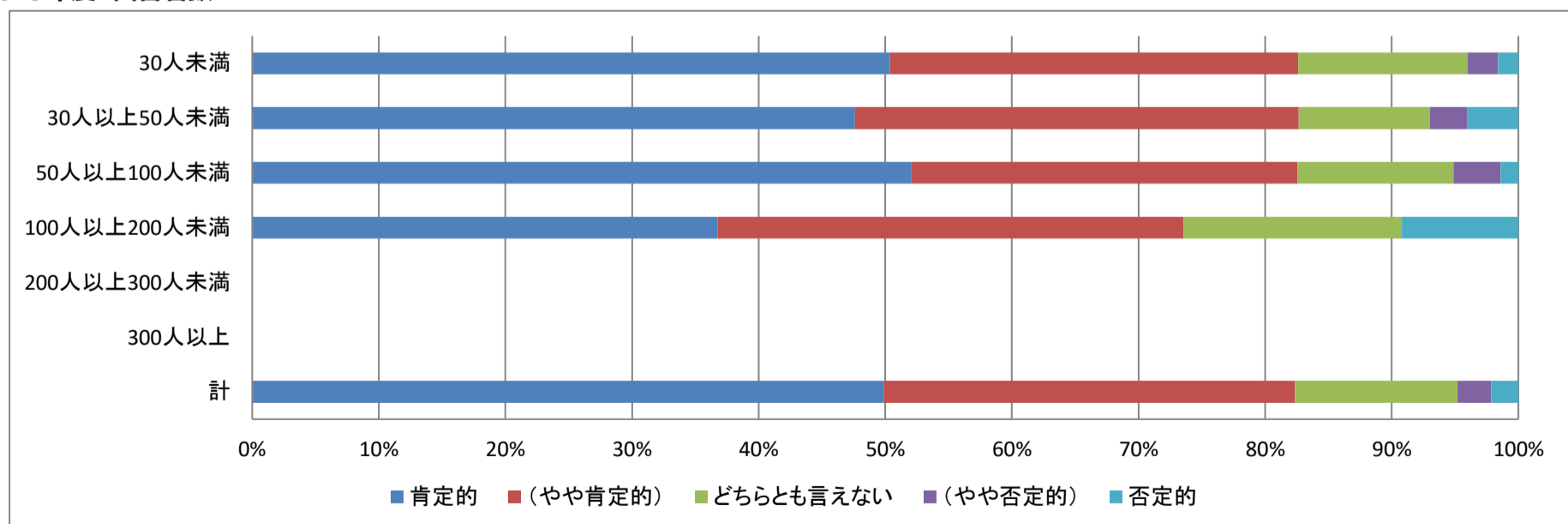
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



# 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：国際関係学部・国際文化学科

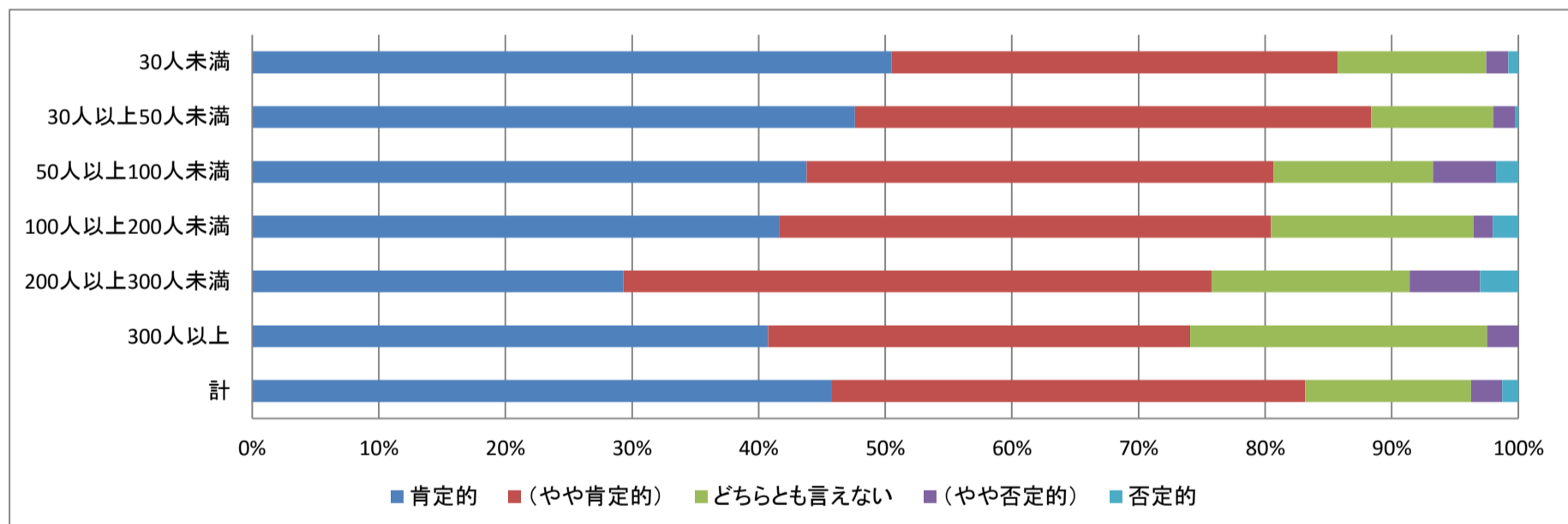
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	756 (50.5%)	528 (35.2%)	176 (11.7%)	26 (1.7%)	12 (0.8%)	4.3
	30人以上50人未満	168 (47.6%)	144 (40.8%)	34 (9.6%)	6 (1.7%)	1 (0.3%)	4.3
	50人以上100人未満	247 (43.8%)	208 (36.9%)	71 (12.6%)	28 (5.0%)	10 (1.8%)	4.2
	100人以上200人未満	307 (41.7%)	286 (38.8%)	118 (16.0%)	11 (1.5%)	15 (2.0%)	4.2
	200人以上300人未満	58 (29.3%)	92 (46.5%)	31 (15.7%)	11 (5.6%)	6 (3.0%)	3.9
	300人以上	33 (40.7%)	27 (33.3%)	19 (23.5%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	4.1
	計	1,569 (45.7%)	1,285 (37.5%)	449 (13.1%)	84 (2.4%)	44 (1.3%)	4.2
2019年度 回答者	30人未満	1,132 (47.7%)	878 (37.0%)	277 (11.7%)	58 (2.4%)	30 (1.3%)	4.3
	30人以上50人未満	156 (38.5%)	152 (37.5%)	73 (18.0%)	13 (3.2%)	11 (2.7%)	4.1
	50人以上100人未満	251 (42.9%)	234 (40.0%)	86 (14.7%)	11 (1.9%)	3 (0.5%)	4.2
	100人以上200人未満	30 (45.5%)	21 (31.8%)	13 (19.7%)	2 (3.0%)	0 (0.0%)	4.2
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,569 (45.7%)	1,285 (37.5%)	449 (13.1%)	84 (2.4%)	44 (1.3%)	4.2

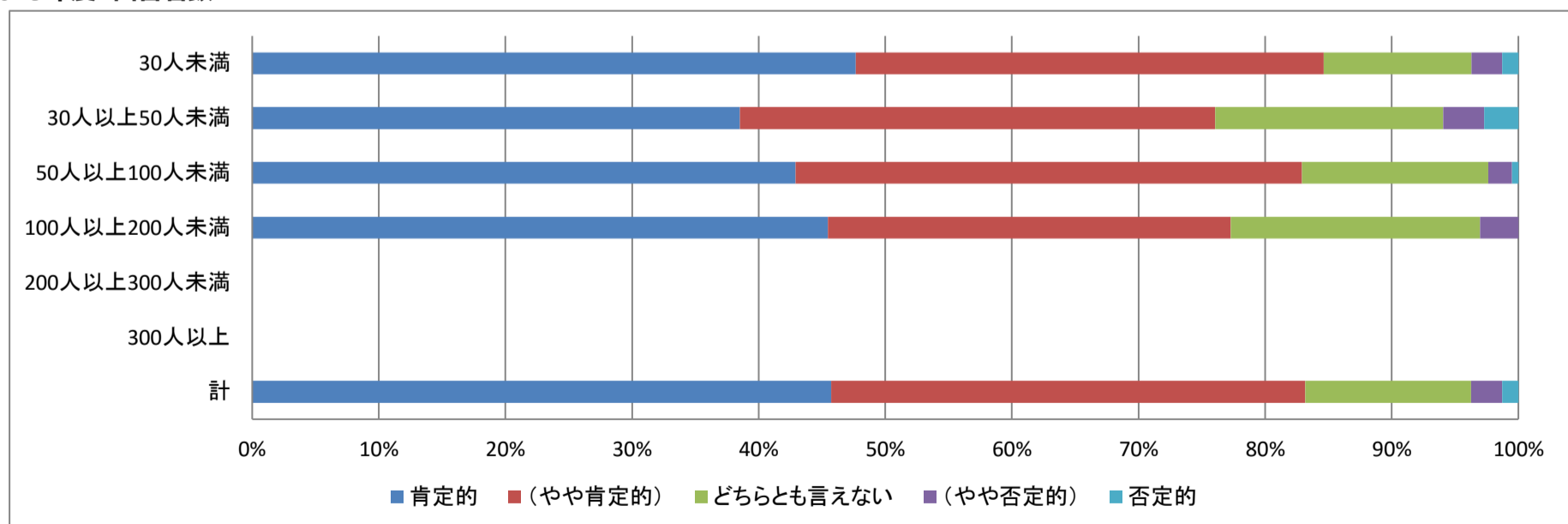
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：経営学部

総合評価（Q11～Q13の合計値）

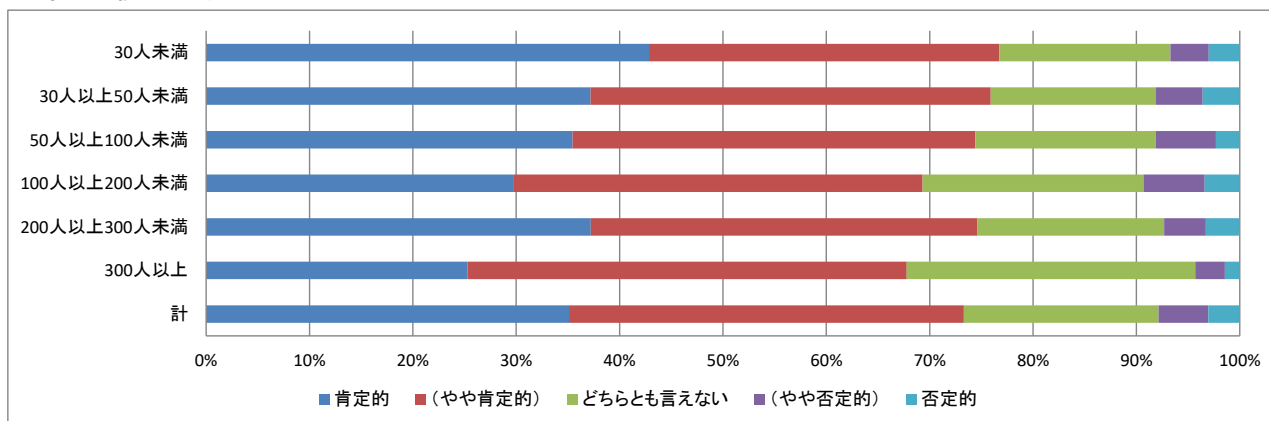
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	486 (42.9%)	384 (33.9%)	188 (16.6%)	42 (3.7%)	34 (3.0%)	4.1
	30人以上50人未満	457 (37.2%)	476 (38.7%)	196 (15.9%)	56 (4.6%)	44 (3.6%)	4.0
	50人以上100人未満	446 (35.5%)	490 (39.0%)	220 (17.5%)	73 (5.8%)	29 (2.3%)	4.0
	100人以上200人未満	599 (29.8%)	795 (39.5%)	430 (21.4%)	119 (5.9%)	68 (3.4%)	3.9
	200人以上300人未満	544 (37.2%)	547 (37.4%)	264 (18.1%)	59 (4.0%)	48 (3.3%)	4.0
	300人以上	106 (25.3%)	178 (42.5%)	117 (27.9%)	12 (2.9%)	6 (1.4%)	3.9
	計	2,638 (35.1%)	2,870 (38.2%)	1,415 (18.8%)	361 (4.8%)	229 (3.0%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,403 (34.9%)	1,483 (36.9%)	802 (20.0%)	195 (4.9%)	136 (3.4%)	4.0
	30人以上50人未満	470 (35.4%)	488 (36.7%)	256 (19.3%)	78 (5.9%)	36 (2.7%)	4.0
	50人以上100人未満	685 (36.2%)	784 (41.4%)	294 (15.5%)	79 (4.2%)	52 (2.7%)	4.0
	100人以上200人未満	80 (29.4%)	115 (42.3%)	63 (23.2%)	9 (3.3%)	5 (1.8%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	2,638 (35.1%)	2,870 (38.2%)	1,415 (18.8%)	361 (4.8%)	229 (3.0%)	4.0

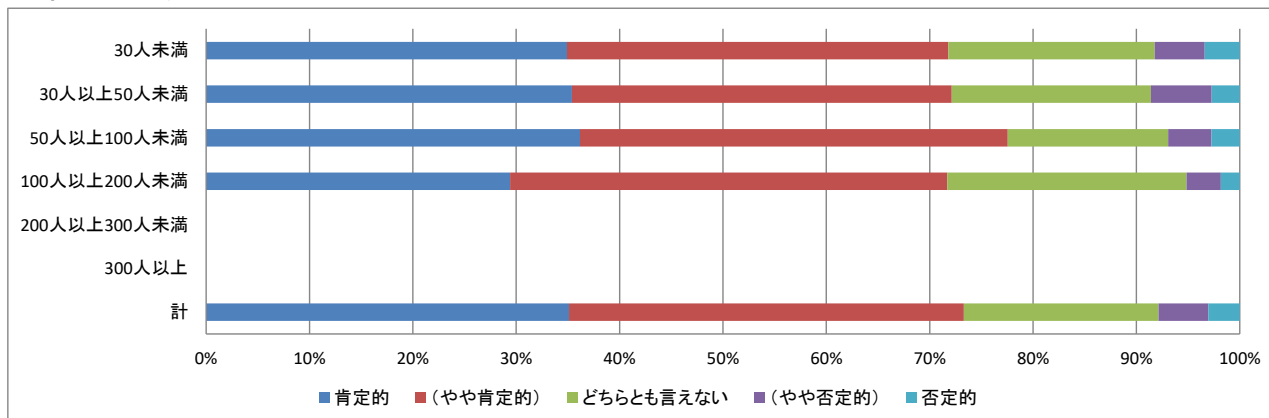
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：環境創造学部

総合評価（Q11～Q13の合計値）

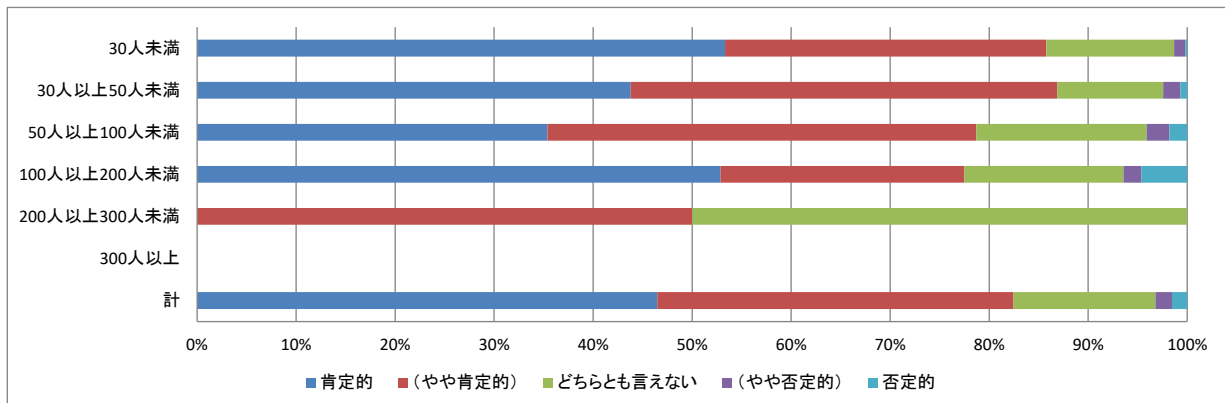
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	281 (53.3%)	171 (32.4%)	68 (12.9%)	6 (1.1%)	1 (0.2%)	4.4
	30人以上50人未満	127 (43.8%)	125 (43.1%)	31 (10.7%)	5 (1.7%)	2 (0.7%)	4.3
	50人以上100人未満	138 (35.4%)	169 (43.3%)	67 (17.2%)	9 (2.3%)	7 (1.8%)	4.1
	100人以上200人未満	148 (52.9%)	69 (24.6%)	45 (16.1%)	5 (1.8%)	13 (4.6%)	4.2
	200人以上300人未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3.5
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	694 (46.5%)	537 (36.0%)	214 (14.3%)	25 (1.7%)	23 (1.5%)	4.2
2019年度 回答者	30人未満	576 (49.0%)	413 (35.1%)	159 (13.5%)	15 (1.3%)	13 (1.1%)	4.3
	30人以上50人未満	118 (37.9%)	121 (38.9%)	52 (16.7%)	10 (3.2%)	10 (3.2%)	4.1
	50人以上100人未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3.5
	100人以上200人未満	0	0	0	0	0	0.0
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	694 (46.5%)	537 (36.0%)	214 (14.3%)	25 (1.7%)	23 (1.5%)	4.2

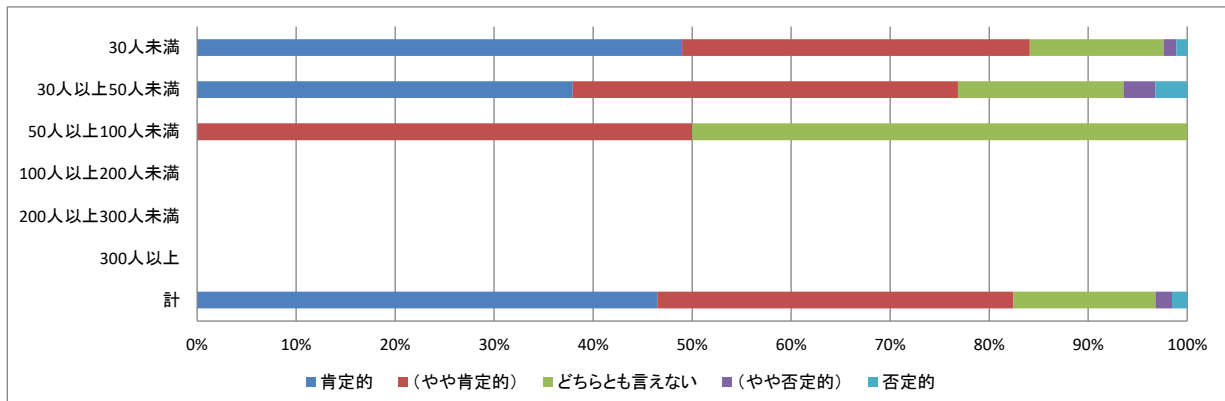
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数





# 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
 学部：スポーツ・健康科学部

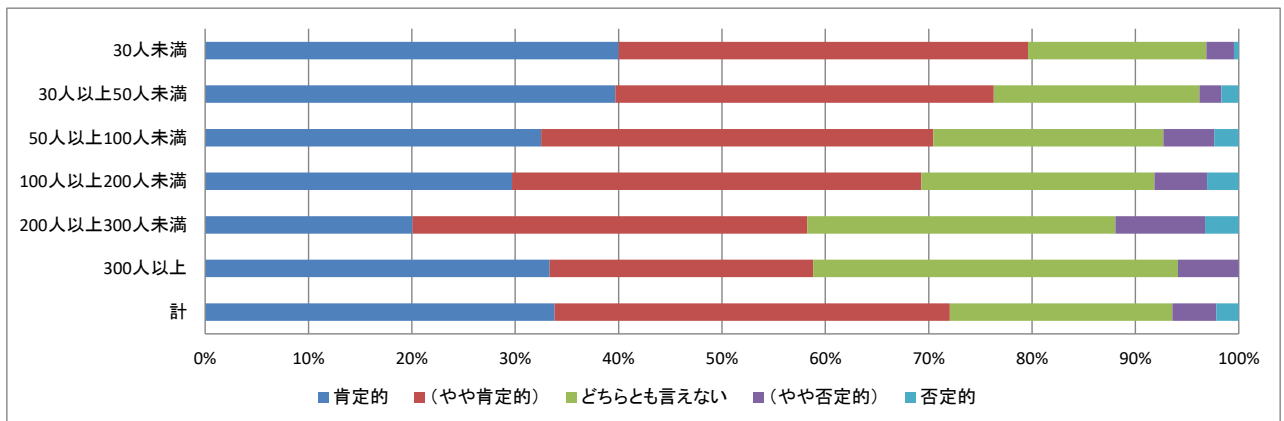
総合評価（Q11～Q13の合計値）  
 [Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
履修者	30人未満	522 (40.0%)	517 (39.6%)	225 (17.2%)	35 (2.7%)	6 (0.5%)	4.2
	30人以上50人未満	782 (39.7%)	722 (36.6%)	392 (19.9%)	42 (2.1%)	33 (1.7%)	4.1
	50人以上100人未満	1,296 (32.5%)	1,513 (37.9%)	887 (22.2%)	196 (4.9%)	95 (2.4%)	3.9
	100人以上200人未満	676 (29.7%)	902 (39.6%)	513 (22.5%)	116 (5.1%)	70 (3.1%)	3.9
	200人以上300人未満	74 (20.1%)	141 (38.2%)	110 (29.8%)	32 (8.7%)	12 (3.3%)	3.6
	300人以上	17 (33.3%)	13 (25.5%)	18 (35.3%)	3 (5.9%)	0 (0.0%)	3.9
	計	3,367 (33.8%)	3,808 (38.2%)	2,145 (21.5%)	424 (4.3%)	216 (2.2%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,780 (39.7%)	1,697 (37.9%)	828 (18.5%)	120 (2.7%)	53 (1.2%)	4.1
	30人以上50人未満	532 (25.1%)	850 (40.1%)	502 (23.7%)	149 (7.0%)	85 (4.0%)	3.8
	50人以上100人未満	907 (35.3%)	979 (38.2%)	539 (21.0%)	92 (3.6%)	49 (1.9%)	4.0
	100人以上200人未満	148 (18.5%)	282 (35.3%)	276 (34.6%)	63 (7.9%)	29 (3.6%)	3.6
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	3,367 (33.8%)	3,808 (38.2%)	2,145 (21.5%)	424 (4.3%)	216 (2.2%)	4.0

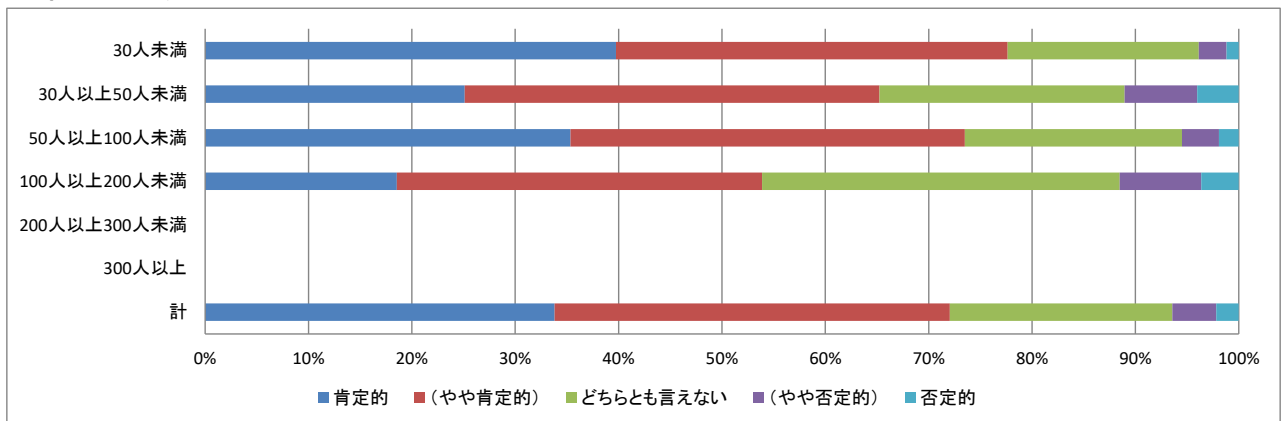
## < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

### 2019年度 履修登録者数



### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：スポーツ・健康科学部・スポーツ科学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

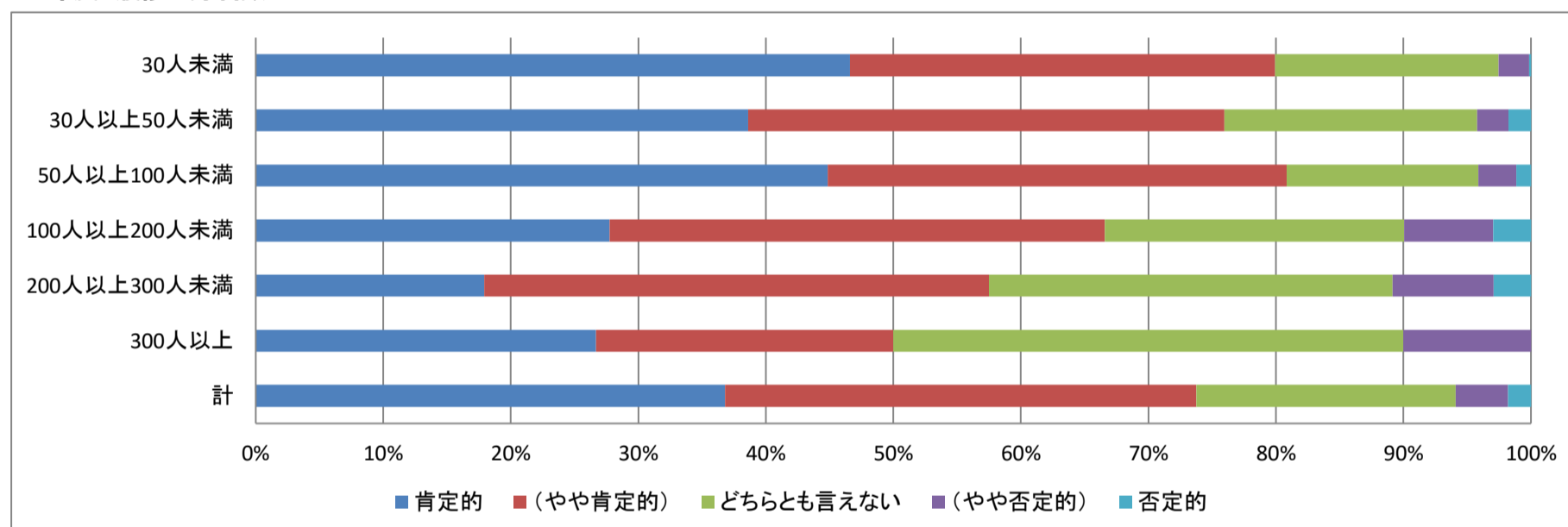
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	295 (46.6%)	211 (33.3%)	111 (17.5%)	15 (2.4%)	1 (0.2%)	4.2
	30人以上50人未満	569 (38.6%)	550 (37.3%)	292 (19.8%)	36 (2.4%)	26 (1.8%)	4.1
	50人以上100人未満	391 (44.8%)	314 (36.0%)	131 (15.0%)	26 (3.0%)	10 (1.1%)	4.2
	100人以上200人未満	338 (27.8%)	473 (38.8%)	286 (23.5%)	85 (7.0%)	36 (3.0%)	3.8
	200人以上300人未満	43 (17.9%)	95 (39.6%)	76 (31.7%)	19 (7.9%)	7 (2.9%)	3.6
	300人以上	8 (26.7%)	7 (23.3%)	12 (40.0%)	3 (10.0%)	0 (0.0%)	3.7
	計	1,644 (36.8%)	1,650 (36.9%)	908 (20.3%)	184 (4.1%)	80 (1.8%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	1,084 (44.0%)	870 (35.3%)	422 (17.1%)	64 (2.6%)	25 (1.0%)	4.2
	30人以上50人未満	171 (24.1%)	299 (42.1%)	167 (23.5%)	48 (6.8%)	26 (3.7%)	3.8
	50人以上100人未満	280 (42.4%)	259 (39.2%)	97 (14.7%)	18 (2.7%)	6 (0.9%)	4.2
	100人以上200人未満	109 (17.3%)	222 (35.2%)	222 (35.2%)	54 (8.6%)	23 (3.7%)	3.5
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	1,644 (36.8%)	1,650 (36.9%)	908 (20.3%)	184 (4.1%)	80 (1.8%)	4.0

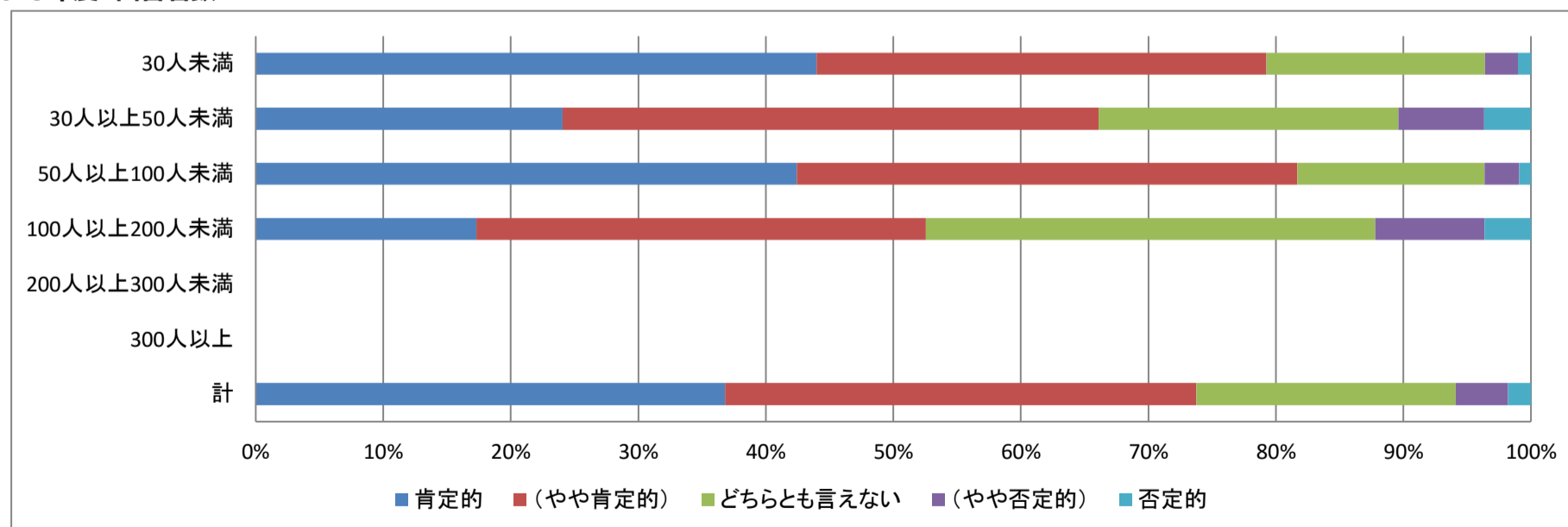
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：スポーツ・健康科学部・健康科学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

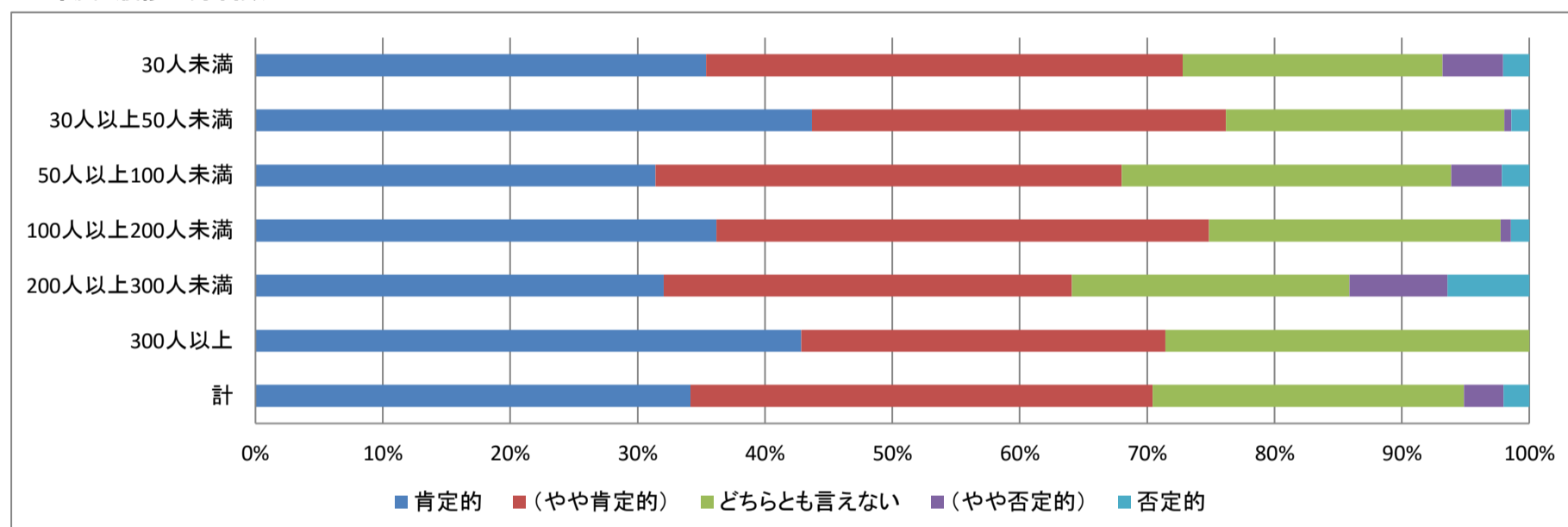
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	52 (35.4%)	55 (37.4%)	30 (20.4%)	7 (4.8%)	3 (2.0%)	4.0
	30人以上50人未満	156 (43.7%)	116 (32.5%)	78 (21.8%)	2 (0.6%)	5 (1.4%)	4.2
	50人以上100人未満	529 (31.4%)	617 (36.6%)	436 (25.9%)	67 (4.0%)	36 (2.1%)	3.9
	100人以上200人未満	177 (36.2%)	189 (38.7%)	112 (22.9%)	4 (0.8%)	7 (1.4%)	4.1
	200人以上300人未満	25 (32.1%)	25 (32.1%)	17 (21.8%)	6 (7.7%)	5 (6.4%)	3.8
	300人以上	9 (42.9%)	6 (28.6%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.1
	計	948 (34.1%)	1,008 (36.3%)	679 (24.5%)	86 (3.1%)	56 (2.0%)	4.0
2019年度 回答者	30人未満	359 (33.4%)	402 (37.4%)	258 (24.0%)	32 (3.0%)	23 (2.1%)	4.0
	30人以上50人未満	129 (39.4%)	129 (39.4%)	60 (18.3%)	3 (0.9%)	6 (1.8%)	4.1
	50人以上100人未満	440 (34.1%)	454 (35.1%)	332 (25.7%)	45 (3.5%)	21 (1.6%)	4.0
	100人以上200人未満	20 (23.8%)	23 (27.4%)	29 (34.5%)	6 (7.1%)	6 (7.1%)	3.5
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	948 (34.1%)	1,008 (36.3%)	679 (24.5%)	86 (3.1%)	56 (2.0%)	4.0

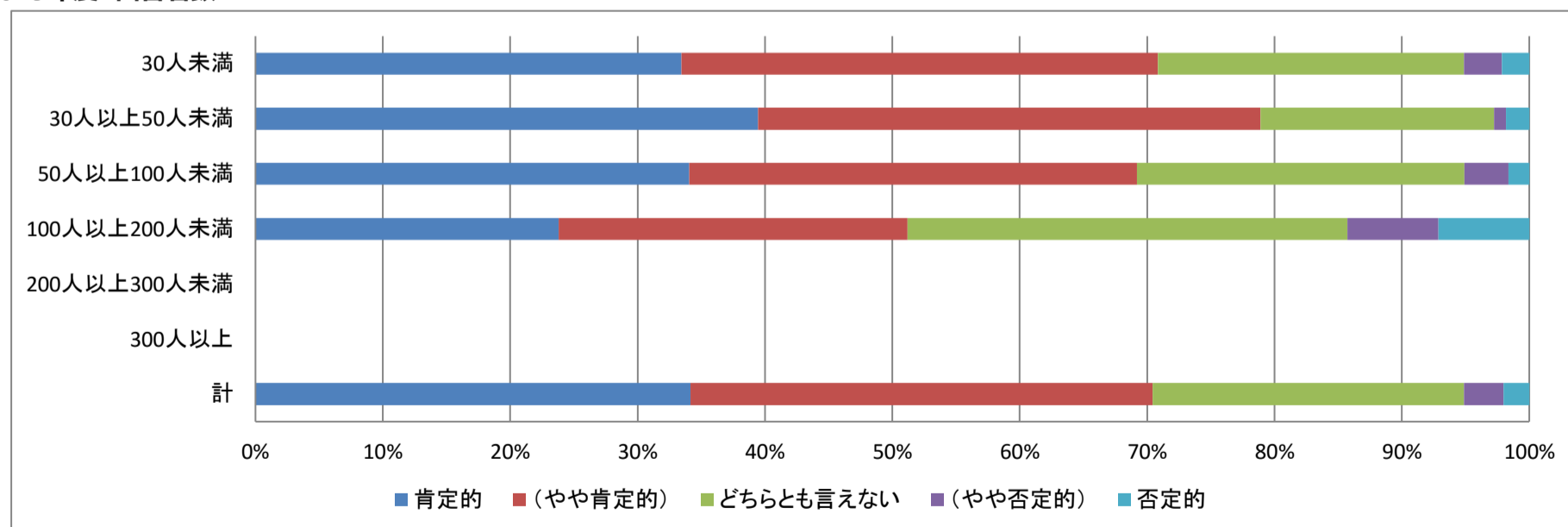
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学科集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：スポーツ・健康科学部・看護学科

総合評価（Q11～Q13の合計値）

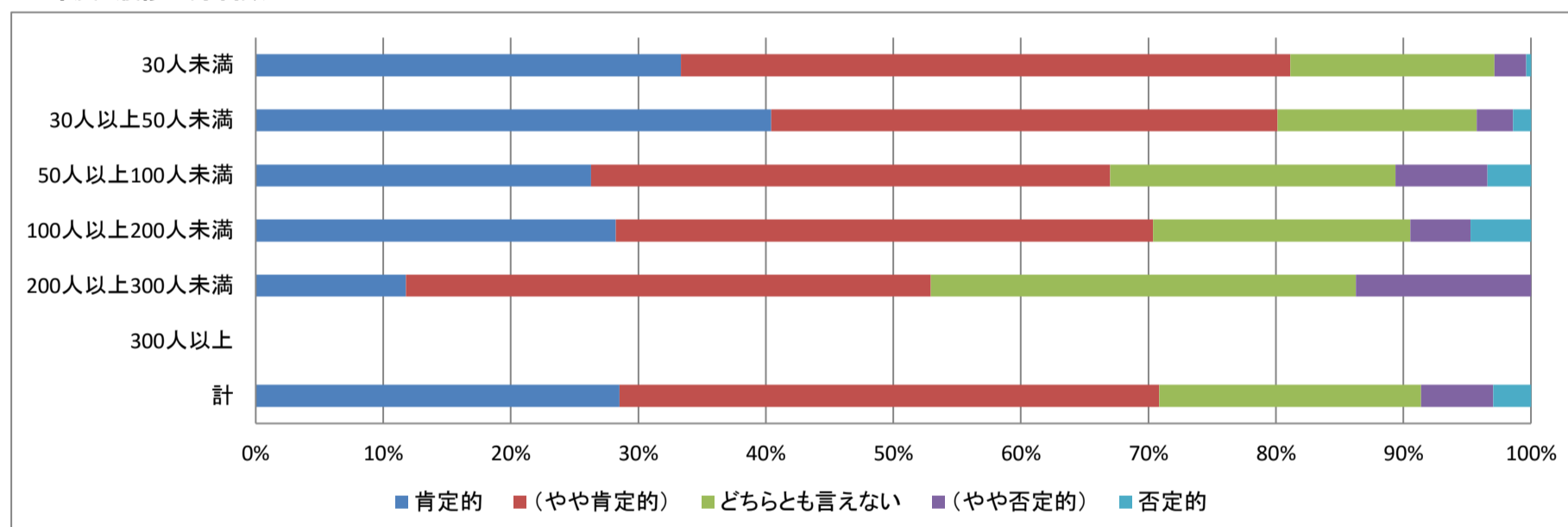
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	175 (33.3%)	251 (47.8%)	84 (16.0%)	13 (2.5%)	2 (0.4%)	4.1
	30人以上50人未満	57 (40.4%)	56 (39.7%)	22 (15.6%)	4 (2.8%)	2 (1.4%)	4.1
	50人以上100人未満	376 (26.3%)	582 (40.7%)	320 (22.4%)	103 (7.2%)	49 (3.4%)	3.8
	100人以上200人未満	161 (28.2%)	240 (42.1%)	115 (20.2%)	27 (4.7%)	27 (4.7%)	3.8
	200人以上300人未満	6 (11.8%)	21 (41.2%)	17 (33.3%)	7 (13.7%)	0 (0.0%)	3.5
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	775 (28.5%)	1,150 (42.3%)	558 (20.5%)	154 (5.7%)	80 (2.9%)	3.9
2019年度 回答者	30人未満	337 (35.9%)	425 (45.3%)	148 (15.8%)	24 (2.6%)	5 (0.5%)	4.1
	30人以上50人未満	232 (21.5%)	422 (39.1%)	275 (25.5%)	98 (9.1%)	53 (4.9%)	3.6
	50人以上100人未満	187 (30.5%)	266 (43.3%)	110 (17.9%)	29 (4.7%)	22 (3.6%)	3.9
	100人以上200人未満	19 (22.6%)	37 (44.0%)	25 (29.8%)	3 (3.6%)	0 (0.0%)	3.9
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	775 (28.5%)	1,150 (42.3%)	558 (20.5%)	154 (5.7%)	80 (2.9%)	3.9

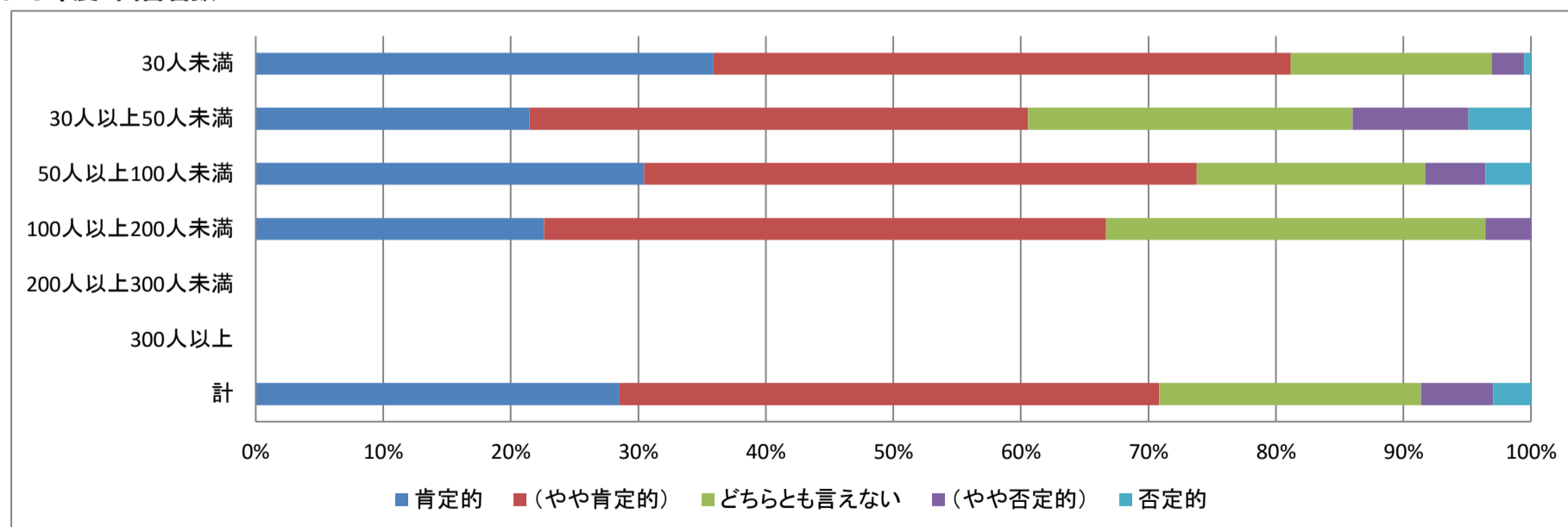
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



## 学部集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：社会学部

総合評価（Q11～Q13の合計値）

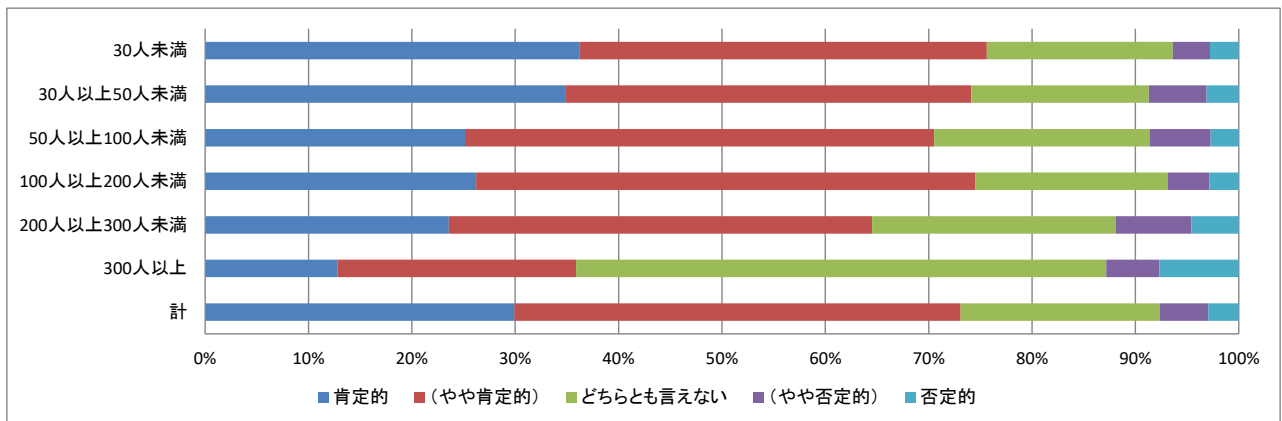
[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度 履修者	30人未満	868 (36.2%)	946 (39.4%)	432 (18.0%)	86 (3.6%)	67 (2.8%)	4.0
	30人以上50人未満	280 (34.8%)	316 (39.3%)	138 (17.2%)	45 (5.6%)	25 (3.1%)	4.0
	50人以上100人未満	434 (25.1%)	784 (45.4%)	360 (20.8%)	102 (5.9%)	47 (2.7%)	3.8
	100人以上200人未満	508 (26.2%)	935 (48.3%)	361 (18.6%)	78 (4.0%)	55 (2.8%)	3.9
	200人以上300人未満	103 (23.6%)	179 (41.0%)	103 (23.6%)	32 (7.3%)	20 (4.6%)	3.7
	300人以上	5 (12.8%)	9 (23.1%)	20 (51.3%)	2 (5.1%)	3 (7.7%)	3.3
	計	2,198 (29.9%)	3,169 (43.2%)	1,414 (19.3%)	345 (4.7%)	217 (3.0%)	3.9
2019年度 回答者	30人未満	1,289 (33.5%)	1,560 (40.6%)	706 (18.4%)	179 (4.7%)	113 (2.9%)	4.0
	30人以上50人未満	304 (27.3%)	497 (44.7%)	220 (19.8%)	58 (5.2%)	34 (3.1%)	3.9
	50人以上100人未満	512 (25.6%)	968 (48.3%)	392 (19.6%)	81 (4.0%)	50 (2.5%)	3.9
	100人以上200人未満	93 (24.5%)	144 (37.9%)	96 (25.3%)	27 (7.1%)	20 (5.3%)	3.7
	200人以上300人未満	0	0	0	0	0	0.0
	300人以上	0	0	0	0	0	0.0
	計	2,198 (29.9%)	3,169 (43.2%)	1,414 (19.3%)	345 (4.7%)	217 (3.0%)	3.9

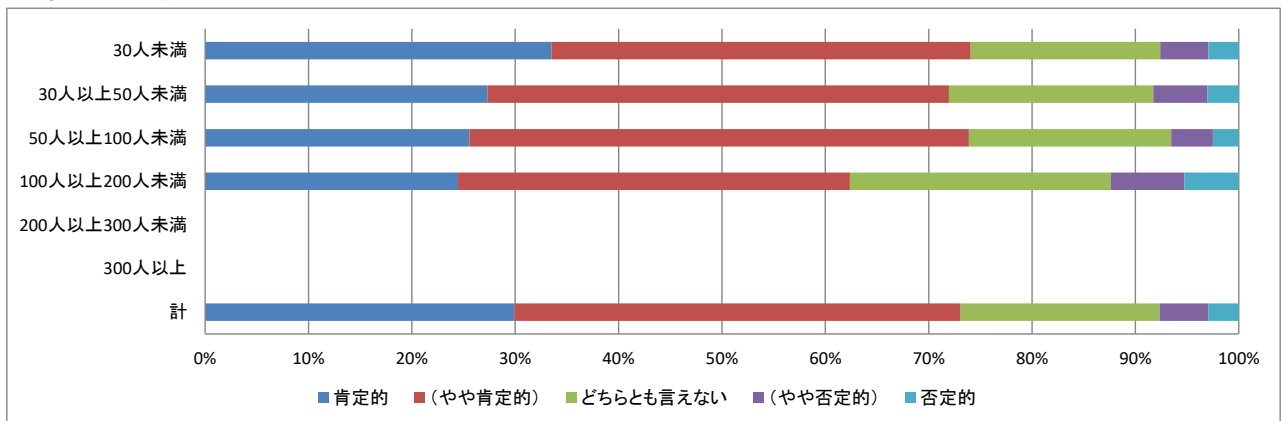
### < 評価帯グラフ >

総合評価（Q11～Q13の合計値）

#### 2019年度 履修登録者数



#### 2019年度 回答者数



B. 項目別集計  
(全学・学年別集計)

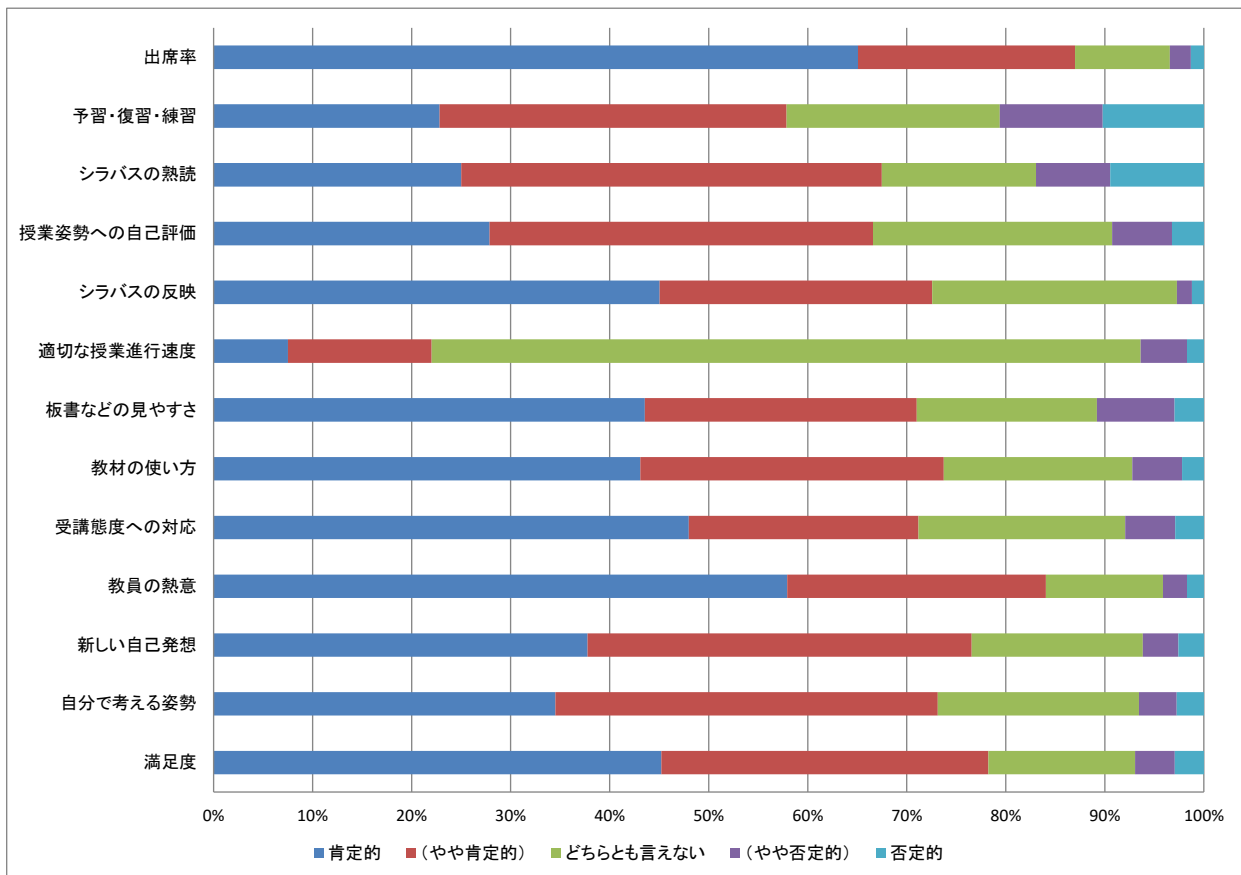
# 全学部【項目別集計】

学年： 全学年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	I Q1 出席率	21,335 (65.1%)	7,186 (21.9%)	3,140 (9.6%)	694 (2.1%)	430 (1.3%)	4.5
	I Q2 予習・復習・練習	7,471 (22.8%)	11,469 (35.0%)	7,043 (21.5%)	3,404 (10.4%)	3,345 (10.2%)	3.5
	I Q3 シラバスの熟読	8,183 (25.0%)	13,896 (42.5%)	5,097 (15.6%)	2,451 (7.5%)	3,097 (9.5%)	3.7
	I Q4 授業姿勢への自己評価	9,124 (27.9%)	12,685 (38.7%)	7,910 (24.2%)	1,977 (6.0%)	1,054 (3.2%)	3.8
	I Q5 シラバスの反映	13,776 (45.1%)	8,416 (27.5%)	7,558 (24.7%)	459 (1.5%)	369 (1.2%)	4.1
	I Q6 適切な授業進行速度	2,460 (7.5%)	4,749 (14.5%)	23,439 (71.6%)	1,531 (4.7%)	560 (1.7%)	3.2
	II Q7 板書などの見やすさ	13,850 (43.5%)	8,738 (27.5%)	5,789 (18.2%)	2,495 (7.8%)	940 (3.0%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	13,990 (43.1%)	9,946 (30.6%)	6,179 (19.0%)	1,631 (5.0%)	716 (2.2%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	10,664 (48.0%)	5,156 (23.2%)	4,636 (20.9%)	1,124 (5.1%)	641 (2.9%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	18,964 (57.9%)	8,545 (26.1%)	3,870 (11.8%)	799 (2.4%)	554 (1.7%)	4.4
	II Q11 新しい自己発想	12,363 (37.8%)	12,701 (38.8%)	5,662 (17.3%)	1,178 (3.6%)	838 (2.6%)	4.1
	II Q12 自分で考える姿勢	11,302 (34.5%)	12,641 (38.6%)	6,646 (20.3%)	1,246 (3.8%)	900 (2.7%)	4.0
	II Q13 満足度	14,793 (45.2%)	10,805 (33.0%)	4,845 (14.8%)	1,315 (4.0%)	957 (2.9%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2019年度



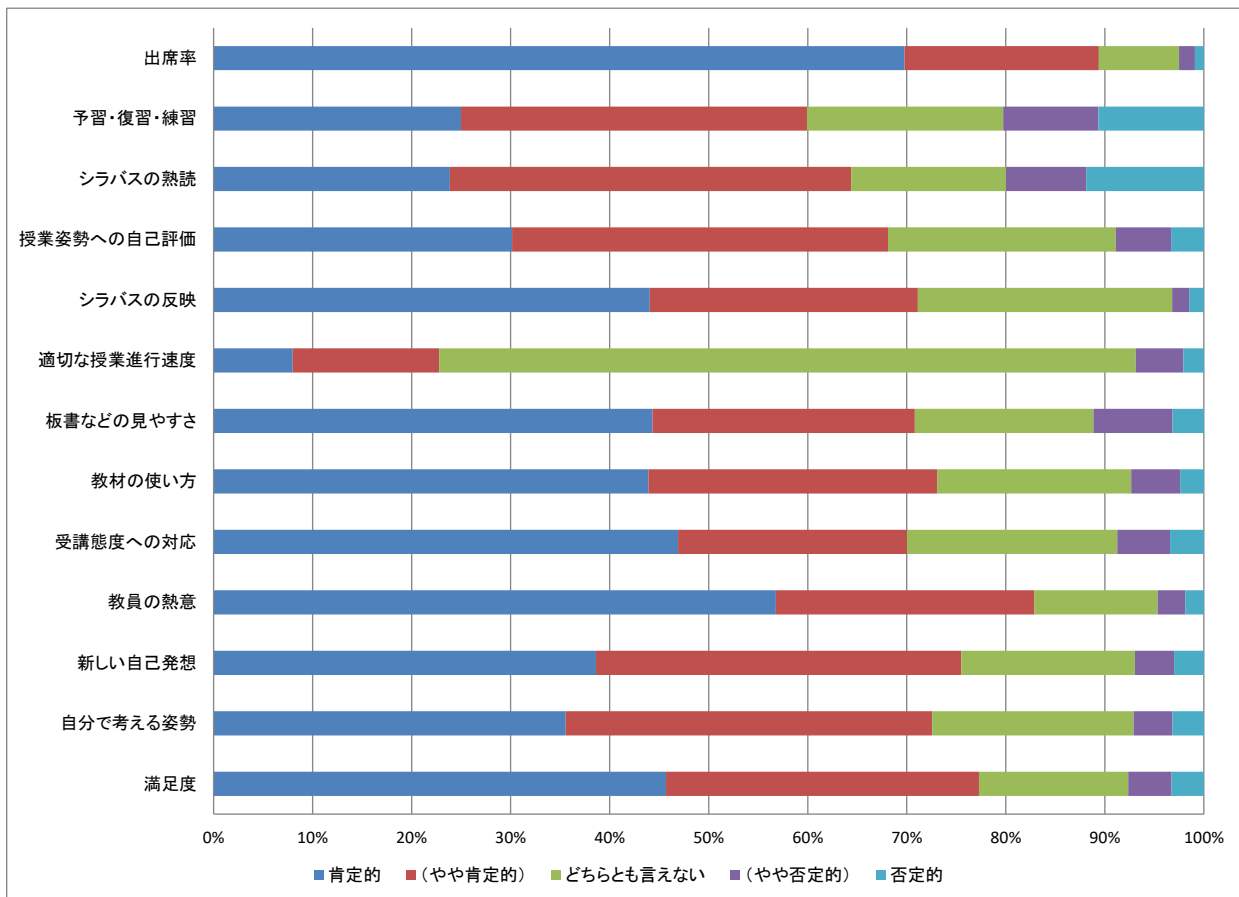
# 全学部【項目別集計】

学年： 1年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	I Q1 出席率	11,596 (69.8%)	3,260 (19.6%)	1,346 (8.1%)	266 (1.6%)	150 (0.9%)	4.6
	I Q2 予習・復習・練習	4,147 (25.0%)	5,797 (34.9%)	3,289 (19.8%)	1,596 (9.6%)	1,767 (10.6%)	3.5
	I Q3 シラバスの熟読	3,959 (23.9%)	6,719 (40.5%)	2,595 (15.6%)	1,345 (8.1%)	1,969 (11.9%)	3.6
	I Q4 授業姿勢への自己評価	5,004 (30.1%)	6,301 (38.0%)	3,816 (23.0%)	927 (5.6%)	550 (3.3%)	3.9
	I Q5 シラバスの反映	6,672 (44.0%)	4,101 (27.1%)	3,894 (25.7%)	257 (1.7%)	226 (1.5%)	4.1
	I Q6 適切な授業進行速度	1,326 (8.0%)	2,451 (14.8%)	11,671 (70.4%)	799 (4.8%)	342 (2.1%)	3.2
	II Q7 板書などの見やすさ	7,078 (44.3%)	4,228 (26.5%)	2,880 (18.0%)	1,271 (8.0%)	508 (3.2%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	7,196 (43.9%)	4,774 (29.1%)	3,211 (19.6%)	811 (4.9%)	392 (2.4%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	5,128 (46.9%)	2,527 (23.1%)	2,321 (21.2%)	583 (5.3%)	372 (3.4%)	4.0
	II Q10 教員の熱意	9,424 (56.8%)	4,332 (26.1%)	2,065 (12.4%)	462 (2.8%)	312 (1.9%)	4.3
	II Q11 新しい自己発想	6,407 (38.6%)	6,126 (36.9%)	2,909 (17.5%)	656 (4.0%)	499 (3.0%)	4.0
	II Q12 自分で考える姿勢	5,901 (35.6%)	6,141 (37.0%)	3,372 (20.3%)	650 (3.9%)	528 (3.2%)	4.0
	II Q13 満足度	7,575 (45.7%)	5,239 (31.6%)	2,500 (15.1%)	725 (4.4%)	542 (3.3%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2019年度





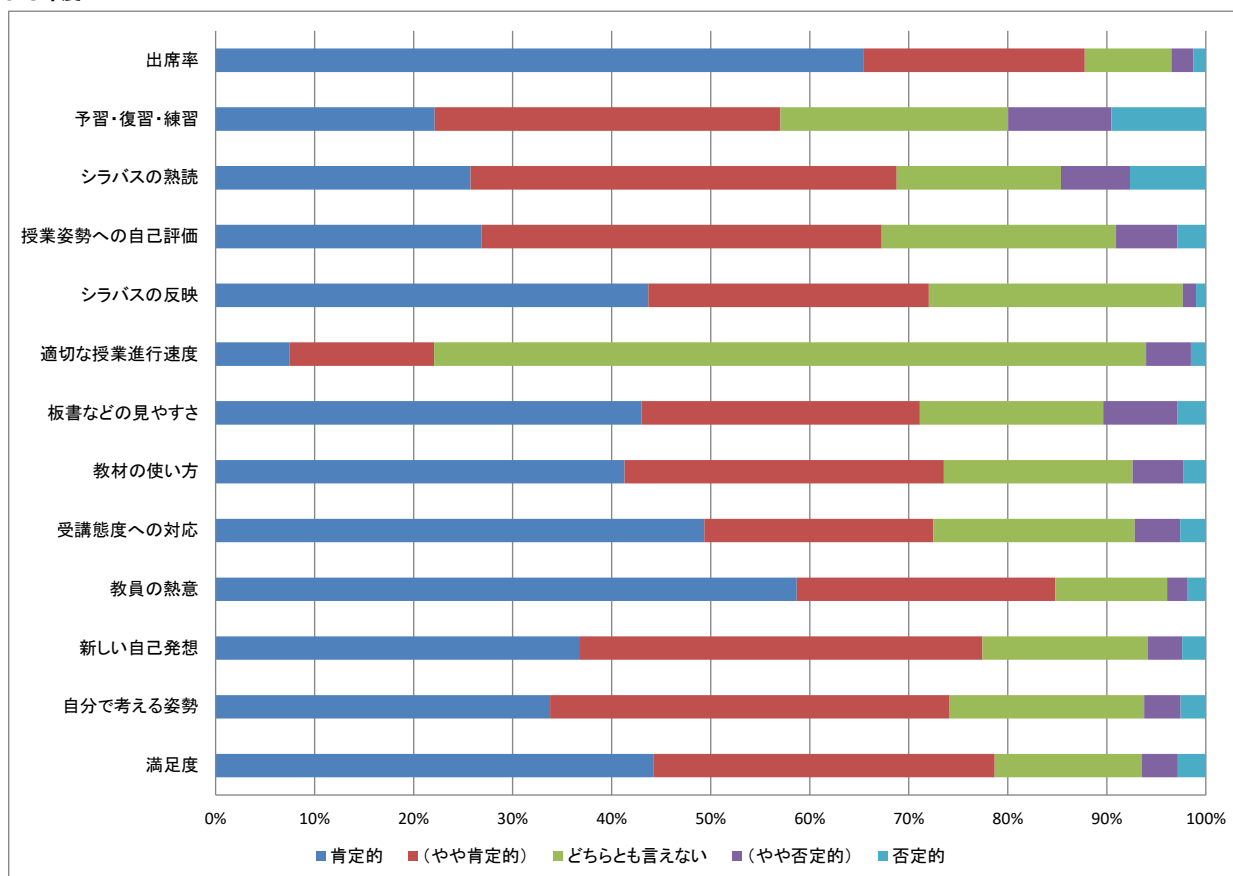
# 全学部【項目別集計】

学年： 2年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	I Q1 出席率	6,291 (65.5%)	2,144 (22.3%)	841 (8.8%)	215 (2.2%)	120 (1.2%)	4.5
	I Q2 予習・復習・練習	2,125 (22.1%)	3,352 (34.9%)	2,207 (23.0%)	1,001 (10.4%)	916 (9.5%)	3.5
	I Q3 シラバスの熟読	2,471 (25.7%)	4,131 (43.0%)	1,592 (16.6%)	669 (7.0%)	736 (7.7%)	3.7
	I Q4 授業姿勢への自己評価	2,579 (26.8%)	3,885 (40.4%)	2,275 (23.7%)	595 (6.2%)	275 (2.9%)	3.8
	I Q5 シラバスの反映	4,006 (43.7%)	2,597 (28.3%)	2,352 (25.7%)	122 (1.3%)	91 (1.0%)	4.1
	I Q6 適切な授業進行速度	720 (7.5%)	1,398 (14.6%)	6,906 (71.9%)	436 (4.5%)	144 (1.5%)	3.2
	II Q7 板書などの見やすさ	4,048 (43.0%)	2,648 (28.1%)	1,742 (18.5%)	708 (7.5%)	268 (2.8%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	3,943 (41.3%)	3,078 (32.2%)	1,820 (19.1%)	493 (5.2%)	214 (2.2%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	3,311 (49.4%)	1,552 (23.1%)	1,365 (20.3%)	307 (4.6%)	174 (2.6%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	5,636 (58.7%)	2,505 (26.1%)	1,086 (11.3%)	200 (2.1%)	175 (1.8%)	4.4
	II Q11 新しい自己発想	3,524 (36.7%)	3,912 (40.7%)	1,605 (16.7%)	332 (3.5%)	230 (2.4%)	4.1
	II Q12 自分で考える姿勢	3,243 (33.8%)	3,869 (40.3%)	1,893 (19.7%)	354 (3.7%)	244 (2.5%)	4.0
	II Q13 満足度	4,240 (44.2%)	3,310 (34.5%)	1,427 (14.9%)	346 (3.6%)	272 (2.8%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2019年度



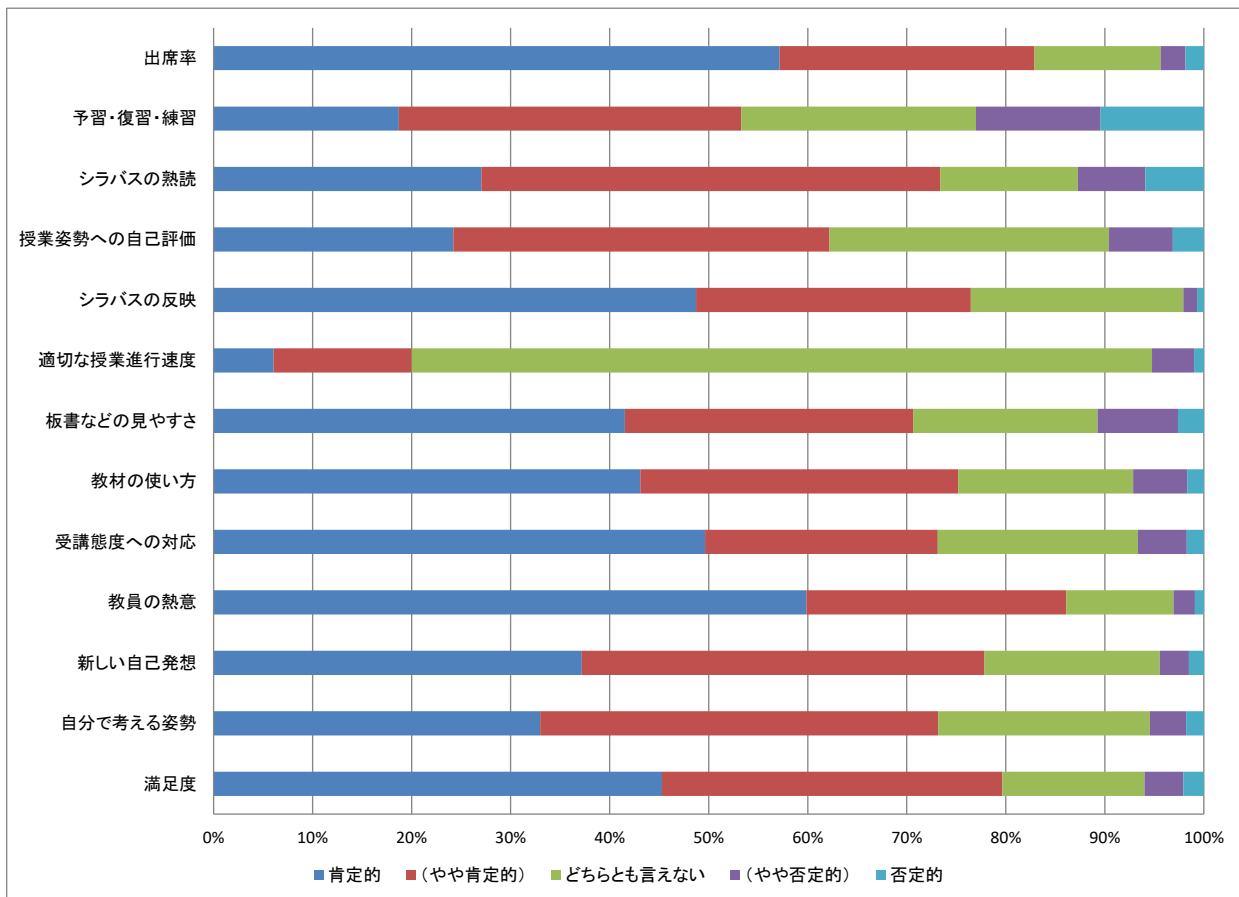
# 全学部【項目別集計】

学年： 3年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	I Q1 出席率	2,909 (57.1%)	1,311 (25.8%)	649 (12.7%)	128 (2.5%)	94 (1.8%)	4.3
	I Q2 予習・復習・練習	949 (18.7%)	1,754 (34.6%)	1,203 (23.7%)	639 (12.6%)	529 (10.4%)	3.4
	I Q3 シラバスの熟読	1,373 (27.1%)	2,351 (46.3%)	705 (13.9%)	346 (6.8%)	300 (5.9%)	3.8
	I Q4 授業姿勢への自己評価	1,229 (24.2%)	1,930 (38.0%)	1,433 (28.2%)	328 (6.5%)	159 (3.1%)	3.7
	I Q5 シラバスの反映	2,362 (48.7%)	1,345 (27.7%)	1,041 (21.5%)	67 (1.4%)	33 (0.7%)	4.2
	I Q6 適切な授業進行速度	308 (6.1%)	709 (14.0%)	3,799 (74.8%)	216 (4.3%)	50 (1.0%)	3.2
	II Q7 板書などの見やすさ	2,074 (41.5%)	1,453 (29.1%)	930 (18.6%)	406 (8.1%)	130 (2.6%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	2,186 (43.1%)	1,628 (32.1%)	896 (17.7%)	277 (5.5%)	85 (1.7%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	1,786 (49.6%)	845 (23.5%)	727 (20.2%)	178 (4.9%)	62 (1.7%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	3,037 (59.9%)	1,332 (26.3%)	550 (10.8%)	109 (2.1%)	46 (0.9%)	4.4
	II Q11 新しい自己発想	1,889 (37.2%)	2,066 (40.7%)	899 (17.7%)	149 (2.9%)	77 (1.5%)	4.1
	II Q12 自分で考える姿勢	1,674 (33.0%)	2,041 (40.2%)	1,085 (21.4%)	186 (3.7%)	91 (1.8%)	4.0
	II Q13 満足度	2,298 (45.3%)	1,744 (34.4%)	729 (14.4%)	199 (3.9%)	105 (2.1%)	4.2

## < 評価帯グラフ >

2019年度



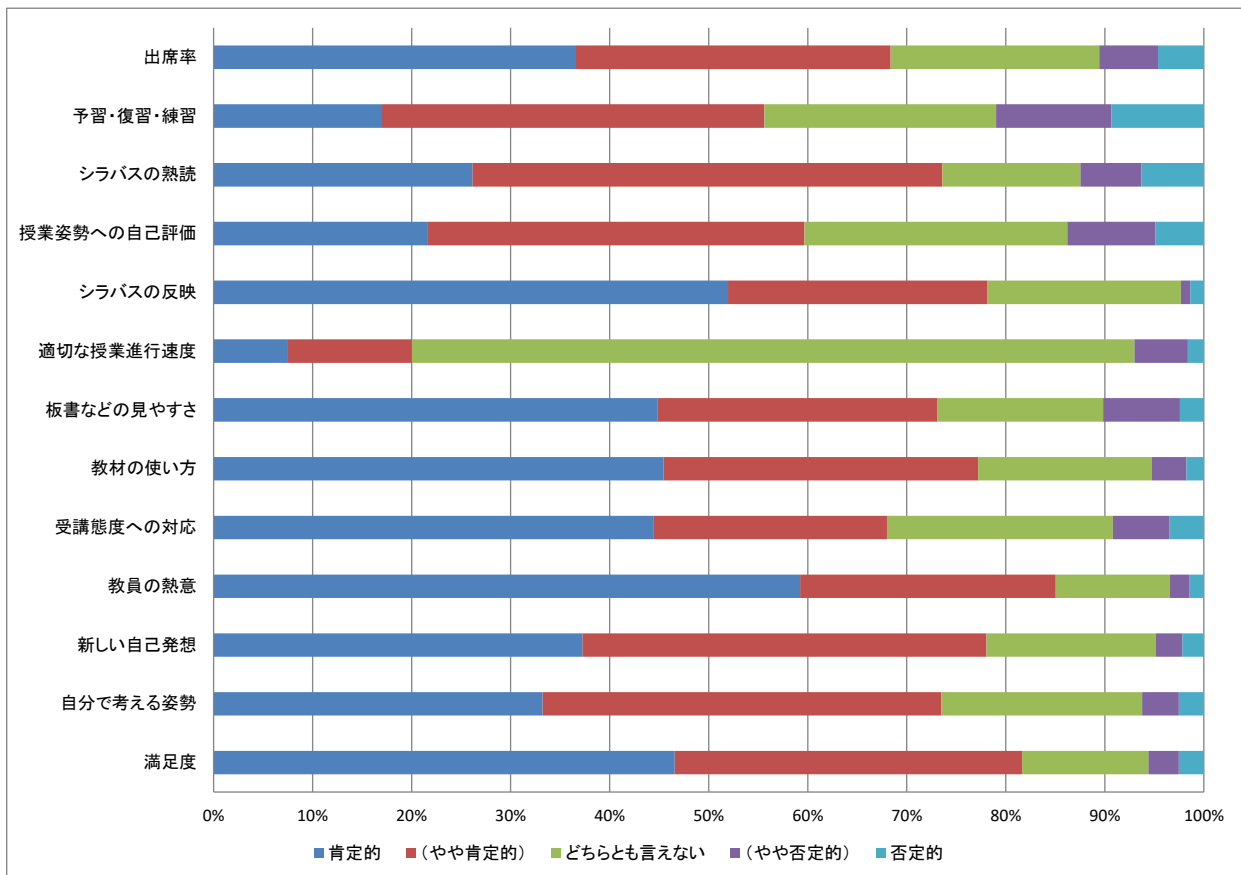
# 全学部【項目別集計】

学年： 4年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	I Q1 出席率	523 (36.6%)	454 (31.8%)	301 (21.1%)	85 (5.9%)	66 (4.6%)	3.9
	I Q2 予習・復習・練習	241 (16.9%)	552 (38.7%)	334 (23.4%)	166 (11.6%)	133 (9.3%)	3.4
	I Q3 シラバスの熟読	373 (26.1%)	677 (47.4%)	199 (13.9%)	88 (6.2%)	90 (6.3%)	3.8
	I Q4 授業姿勢への自己評価	308 (21.6%)	544 (38.1%)	379 (26.5%)	127 (8.9%)	70 (4.9%)	3.6
	I Q5 シラバスの反映	716 (52.0%)	361 (26.2%)	269 (19.5%)	13 (0.9%)	19 (1.4%)	4.3
	I Q6 適切な授業進行速度	106 (7.4%)	180 (12.6%)	1,042 (73.0%)	77 (5.4%)	23 (1.6%)	3.2
	II Q7 板書などの見やすさ	630 (44.8%)	398 (28.3%)	235 (16.7%)	109 (7.8%)	34 (2.4%)	4.1
	II Q8 教材の使い方	646 (45.4%)	452 (31.8%)	249 (17.5%)	50 (3.5%)	25 (1.8%)	4.2
	II Q9 受講態度への対応	425 (44.5%)	225 (23.5%)	218 (22.8%)	55 (5.8%)	33 (3.5%)	4.0
	II Q10 教員の熱意	844 (59.2%)	368 (25.8%)	164 (11.5%)	28 (2.0%)	21 (1.5%)	4.4
	II Q11 新しい自己発想	531 (37.2%)	582 (40.8%)	244 (17.1%)	38 (2.7%)	31 (2.2%)	4.1
	II Q12 自分で考える姿勢	474 (33.2%)	575 (40.3%)	289 (20.3%)	53 (3.7%)	36 (2.5%)	4.0
	II Q13 満足度	665 (46.6%)	501 (35.1%)	182 (12.7%)	44 (3.1%)	36 (2.5%)	4.2

## < 評価帯グラフ >

2019年度



C. 項目別集計  
(学部別集計)

## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

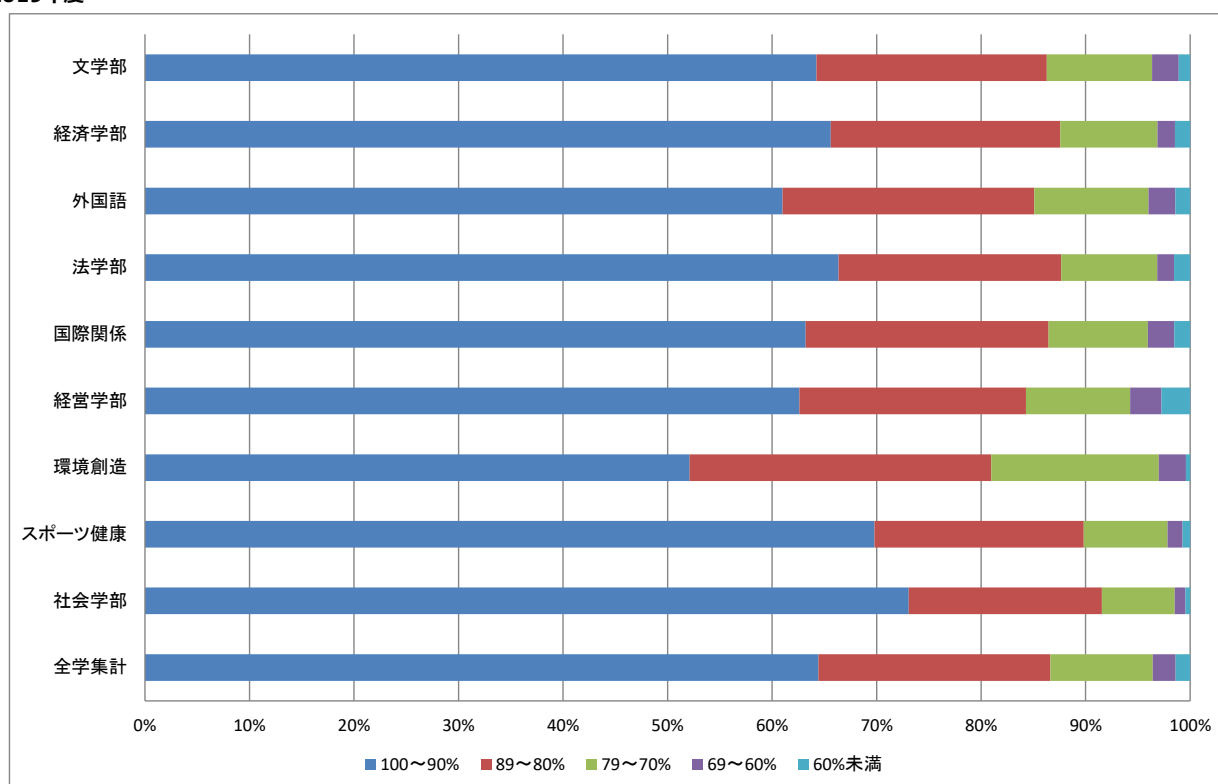
I Q1 この授業への出席率はどのぐらいでしたか。

(人)

実施年度	区分	100~90%	89~80%	79~70%	69~60%	60%未満	平均
2019年度	文学部	5,059 (64.2%)	1,736 (22.0%)	794 (10.1%)	201 (2.6%)	86 (1.1%)	4.5
	経済学部	2,582 (65.6%)	864 (22.0%)	366 (9.3%)	66 (1.7%)	57 (1.4%)	4.5
	外国語	3,023 (61.0%)	1,194 (24.1%)	541 (10.9%)	128 (2.6%)	70 (1.4%)	4.4
	法学部	3,279 (66.4%)	1,052 (21.3%)	454 (9.2%)	80 (1.6%)	76 (1.5%)	4.5
	国際関係	1,452 (63.2%)	534 (23.2%)	218 (9.5%)	58 (2.5%)	35 (1.5%)	4.4
	経営学部	1,571 (62.6%)	544 (21.7%)	250 (10.0%)	75 (3.0%)	69 (2.8%)	4.4
	環境創造	260 (52.1%)	144 (28.9%)	80 (16.0%)	13 (2.6%)	2 (0.4%)	4.3
	スポーツ健康	2,317 (69.8%)	665 (20.0%)	266 (8.0%)	48 (1.4%)	24 (0.7%)	4.6
	社会学部	1,792 (73.1%)	453 (18.5%)	171 (7.0%)	25 (1.0%)	11 (0.4%)	4.6
	全学集計	19,543 (64.4%)	6,733 (22.2%)	2,969 (9.8%)	669 (2.2%)	419 (1.4%)	4.5

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

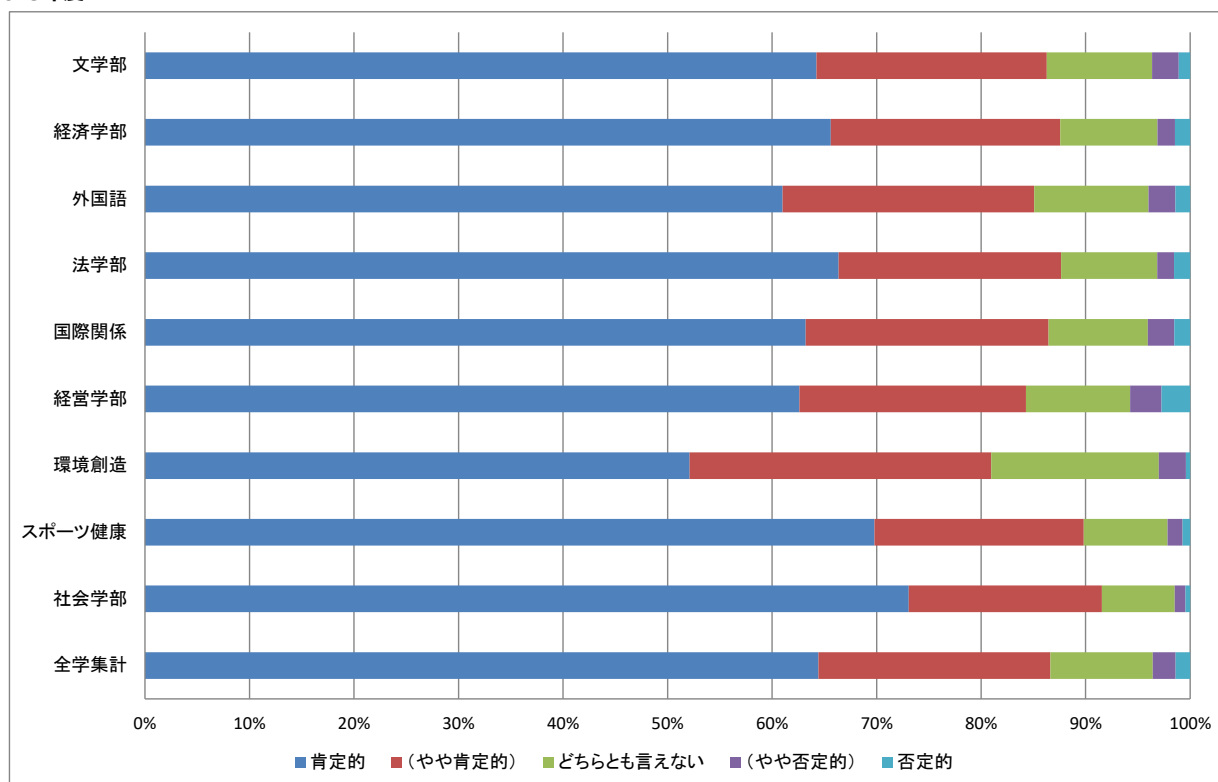
I Q2 この授業に関する予習・復習・練習などの事前学習をどのぐらい行いましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	1,892 (24.1%)	2,834 (36.1%)	1,654 (21.1%)	681 (8.7%)	796 (10.1%)	3.6
	経済学部	855 (21.7%)	1,457 (37.0%)	833 (21.2%)	460 (11.7%)	330 (8.4%)	3.5
	外国語	1,310 (26.5%)	1,705 (34.5%)	982 (19.9%)	458 (9.3%)	489 (9.9%)	3.6
	法学部	1,041 (21.1%)	1,706 (34.6%)	1,093 (22.2%)	551 (11.2%)	535 (10.9%)	3.4
	国際関係	696 (30.3%)	797 (34.7%)	394 (17.2%)	212 (9.2%)	196 (8.5%)	3.7
	経営学部	504 (20.1%)	865 (34.5%)	582 (23.2%)	307 (12.3%)	248 (9.9%)	3.4
	環境創造	100 (20.0%)	162 (32.5%)	135 (27.1%)	51 (10.2%)	51 (10.2%)	3.4
	スポーツ健康	636 (19.2%)	1,082 (32.6%)	857 (25.8%)	365 (11.0%)	379 (11.4%)	3.4
	社会学部	437 (17.8%)	861 (35.1%)	513 (20.9%)	319 (13.0%)	321 (13.1%)	3.3
	全学集計	7,034 (23.2%)	10,608 (35.0%)	6,530 (21.6%)	3,085 (10.2%)	3,024 (10.0%)	3.5

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

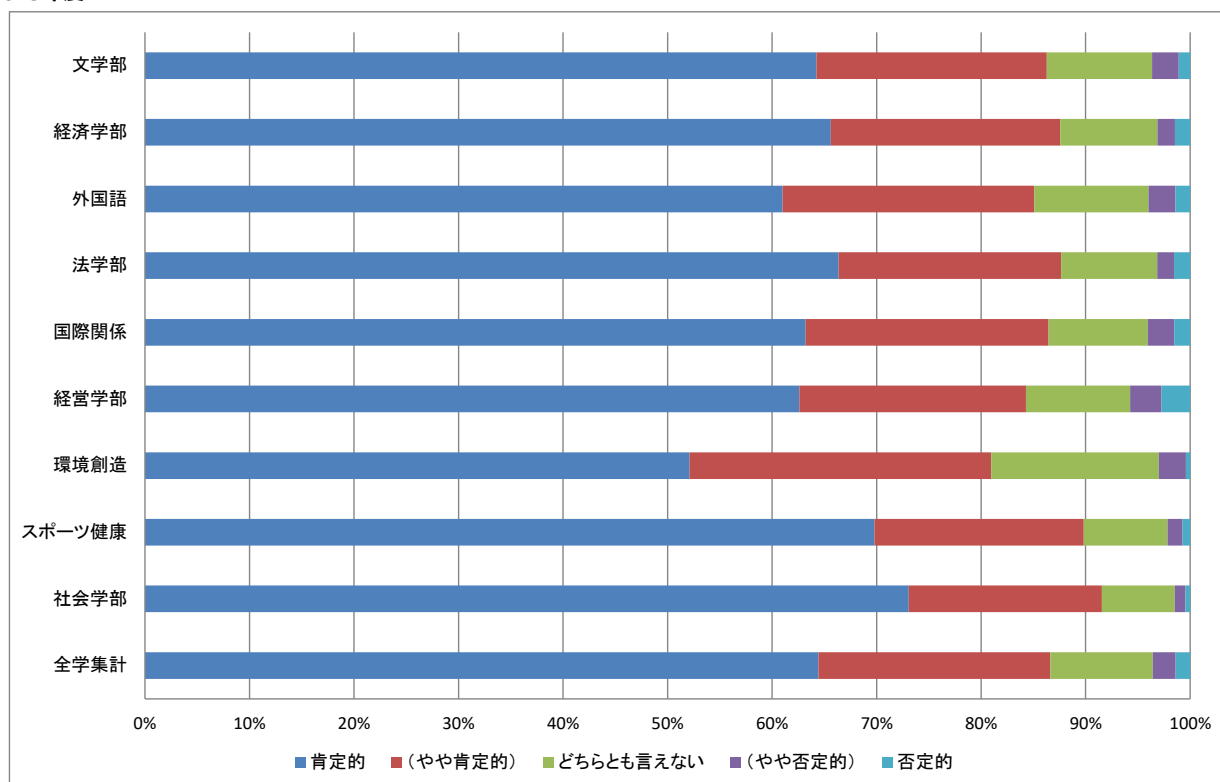
学年： 全学年

IQ3 この授業のシラバス（授業内容が掲載されている教授要項）を読みましたか。 (人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	2,144 (27.3%)	3,414 (43.4%)	1,139 (14.5%)	507 (6.4%)	662 (8.4%)	3.7
	経済学部	1,013 (25.8%)	1,722 (43.8%)	575 (14.6%)	297 (7.6%)	321 (8.2%)	3.7
	外国語	1,340 (27.1%)	2,030 (41.1%)	722 (14.6%)	323 (6.5%)	530 (10.7%)	3.7
	法学部	1,066 (21.7%)	2,116 (43.0%)	839 (17.1%)	377 (7.7%)	519 (10.6%)	3.6
	国際関係	831 (36.2%)	967 (42.1%)	256 (11.2%)	131 (5.7%)	110 (4.8%)	4.0
	経営学部	587 (23.4%)	1,126 (44.9%)	414 (16.5%)	171 (6.8%)	209 (8.3%)	3.7
	環境創造	180 (36.2%)	220 (44.3%)	54 (10.9%)	26 (5.2%)	17 (3.4%)	4.0
	スポーツ健康	580 (17.5%)	1,216 (36.6%)	698 (21.0%)	377 (11.4%)	449 (13.5%)	3.3
	社会学部	442 (18.0%)	1,085 (44.3%)	400 (16.3%)	242 (9.9%)	280 (11.4%)	3.5
	全学集計	7,741 (25.6%)	12,811 (42.3%)	4,697 (15.5%)	2,209 (7.3%)	2,817 (9.3%)	3.7

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

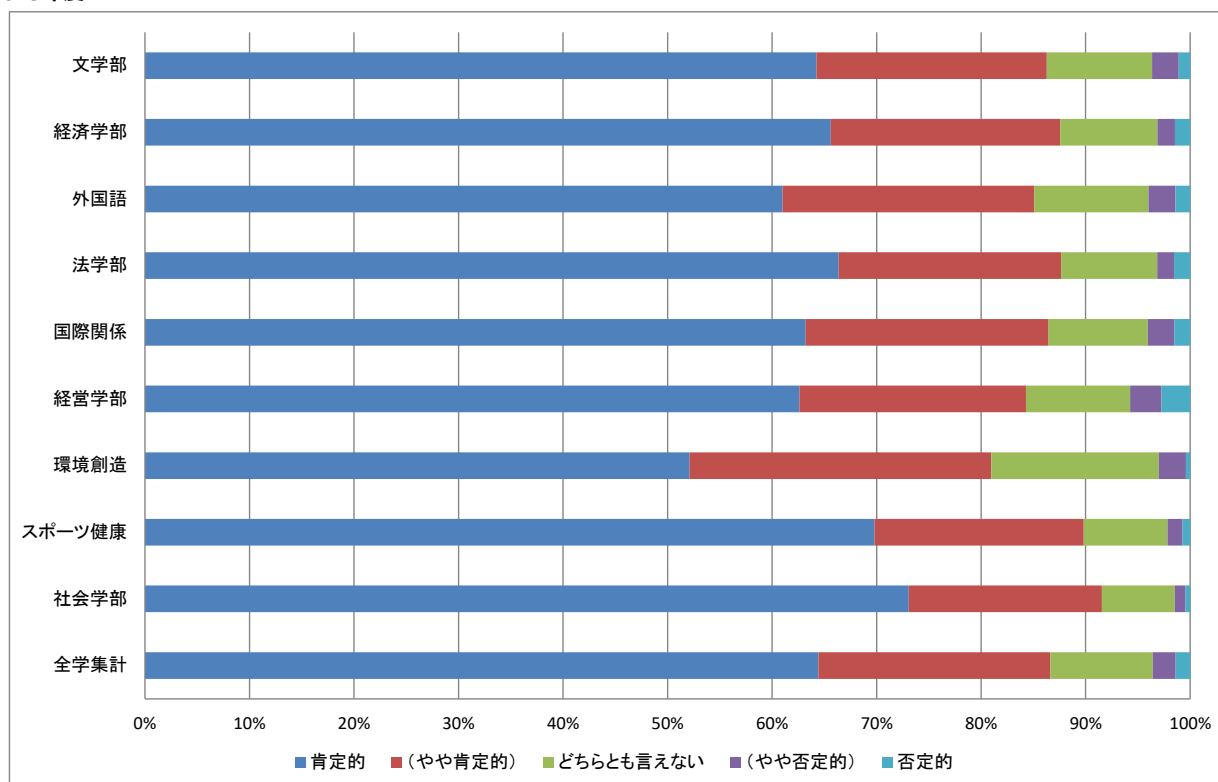
学年： 全学年

I Q4 あなた自身が授業へ取り組む姿勢（質問、発言など）について、自己採点すれば何点ぐらいだと思いますか。 (人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	2,317 (29.5%)	3,135 (39.9%)	1,779 (22.6%)	419 (5.3%)	214 (2.7%)	3.9
	経済学部	1,002 (25.5%)	1,602 (40.7%)	984 (25.0%)	226 (5.7%)	120 (3.1%)	3.8
	外国語	1,538 (31.1%)	1,884 (38.0%)	1,050 (21.2%)	281 (5.7%)	199 (4.0%)	3.9
	法学部	1,212 (24.6%)	1,814 (36.8%)	1,346 (27.3%)	362 (7.3%)	199 (4.0%)	3.7
	国際関係	795 (34.7%)	834 (36.4%)	483 (21.1%)	120 (5.2%)	60 (2.6%)	4.0
	経営学部	593 (23.7%)	958 (38.2%)	670 (26.7%)	179 (7.1%)	107 (4.3%)	3.7
	環境創造	149 (29.9%)	194 (38.9%)	128 (25.7%)	16 (3.2%)	12 (2.4%)	3.9
	スポーツ健康	924 (27.8%)	1,257 (37.9%)	830 (25.0%)	220 (6.6%)	89 (2.7%)	3.8
	社会学部	594 (24.3%)	1,007 (41.1%)	640 (26.1%)	154 (6.3%)	54 (2.2%)	3.8
	全学集計	8,530 (28.2%)	11,678 (38.5%)	7,270 (24.0%)	1,823 (6.0%)	1,000 (3.3%)	3.8

< 評価帯グラフ >

2019年度





## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

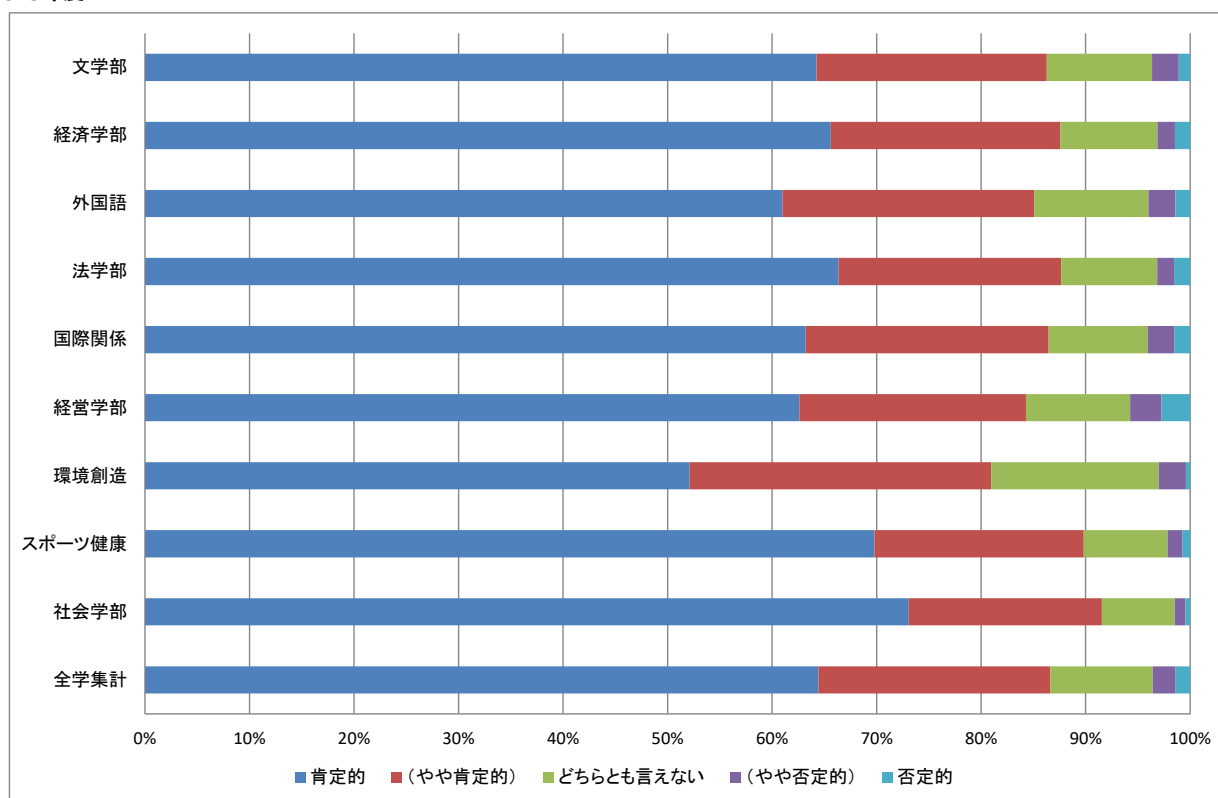
I Q5 シラバスの内容がこの授業によく反映されていましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	3,576 (48.6%)	1,886 (25.6%)	1,684 (22.9%)	110 (1.5%)	100 (1.4%)	4.2
	経済学部	1,679 (45.7%)	1,059 (28.8%)	854 (23.2%)	39 (1.1%)	43 (1.2%)	4.2
	外国語	2,215 (48.1%)	1,191 (25.9%)	1,076 (23.4%)	64 (1.4%)	59 (1.3%)	4.2
	法学部	2,025 (44.1%)	1,268 (27.6%)	1,179 (25.7%)	66 (1.4%)	52 (1.1%)	4.1
	国際関係	1,153 (51.9%)	620 (27.9%)	407 (18.3%)	26 (1.2%)	15 (0.7%)	4.3
	経営学部	1,010 (42.6%)	690 (29.1%)	568 (24.0%)	55 (2.3%)	46 (1.9%)	4.1
	環境創造	271 (55.1%)	128 (26.0%)	86 (17.5%)	6 (1.2%)	1 (0.2%)	4.3
	スポーツ健康	1,096 (36.3%)	809 (26.8%)	1,023 (33.9%)	61 (2.0%)	29 (1.0%)	4.0
	社会学部	751 (33.3%)	765 (34.0%)	681 (30.2%)	32 (1.4%)	24 (1.1%)	4.0
	全学集計	13,025 (46.0%)	7,651 (27.0%)	6,877 (24.3%)	427 (1.5%)	345 (1.2%)	4.2

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

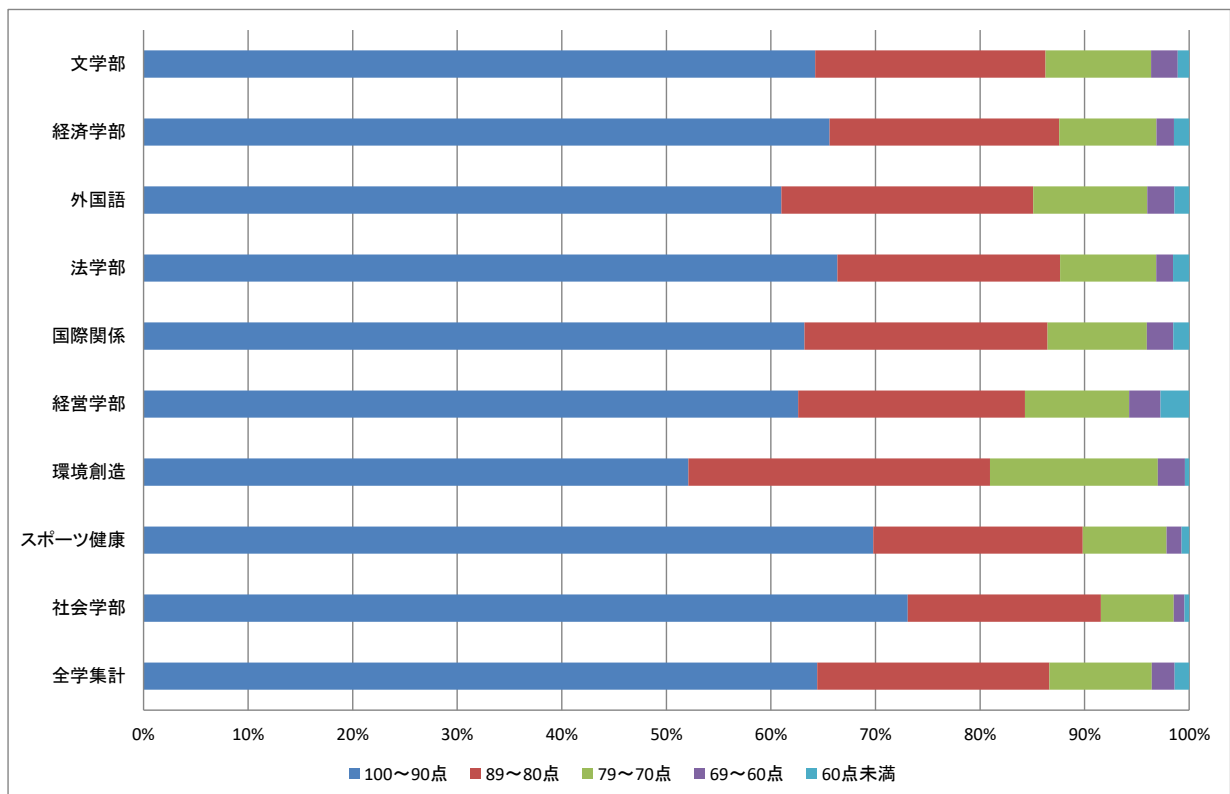
I Q6 この授業の進行のスピードは適当でしたか。

(人)

実施年度	区分	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	60点未満	平均
2019年度	文学部	452 (5.7%)	982 (12.5%)	5,843 (74.3%)	449 (5.7%)	141 (1.8%)	3.1
	経済学部	250 (6.4%)	551 (14.0%)	2,848 (72.4%)	204 (5.2%)	78 (2.0%)	3.2
	外国語	425 (8.6%)	699 (14.1%)	3,562 (71.9%)	199 (4.0%)	66 (1.3%)	3.2
	法学部	417 (8.5%)	717 (14.5%)	3,507 (71.1%)	204 (4.1%)	85 (1.7%)	3.2
	国際関係	174 (7.6%)	348 (15.2%)	1,667 (72.7%)	77 (3.4%)	27 (1.2%)	3.2
	経営学部	190 (7.6%)	384 (15.3%)	1,747 (69.8%)	116 (4.6%)	67 (2.7%)	3.2
	環境創造	29 (5.8%)	63 (12.7%)	389 (78.1%)	15 (3.0%)	2 (0.4%)	3.2
	スポーツ健康	312 (9.4%)	616 (18.6%)	2,220 (67.0%)	118 (3.6%)	49 (1.5%)	3.3
	社会学部	211 (8.6%)	389 (15.9%)	1,656 (67.6%)	149 (6.1%)	45 (1.8%)	3.2
	全学集計	2,249 (7.4%)	4,360 (14.4%)	21,783 (71.9%)	1,382 (4.6%)	515 (1.7%)	3.2

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

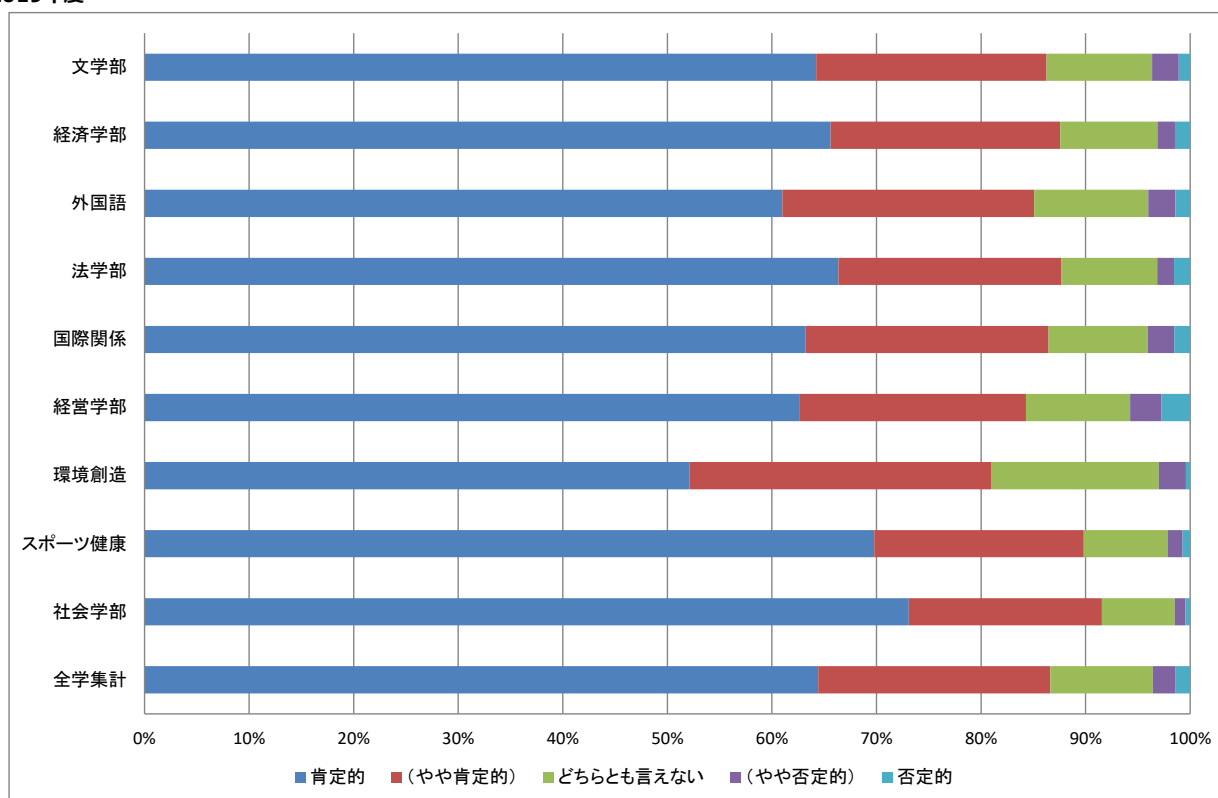
I Q7 板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	3,377 (45.0%)	2,017 (26.9%)	1,348 (17.9%)	547 (7.3%)	221 (2.9%)	4.0
	経済学部	1,650 (42.7%)	1,038 (26.9%)	707 (18.3%)	332 (8.6%)	137 (3.5%)	4.0
	外国語	2,310 (48.1%)	1,258 (26.2%)	785 (16.3%)	315 (6.6%)	134 (2.8%)	4.1
	法学部	2,203 (45.2%)	1,329 (27.2%)	833 (17.1%)	379 (7.8%)	134 (2.7%)	4.0
	国際関係	1,143 (50.6%)	603 (26.7%)	319 (14.1%)	157 (6.9%)	38 (1.7%)	4.2
	経営学部	890 (36.0%)	684 (27.6%)	528 (21.3%)	246 (9.9%)	127 (5.1%)	3.8
	環境創造	227 (46.7%)	150 (30.9%)	80 (16.5%)	26 (5.3%)	3 (0.6%)	4.2
	スポーツ健康	1,246 (39.3%)	878 (27.7%)	700 (22.1%)	261 (8.2%)	83 (2.6%)	3.9
	社会学部	804 (33.9%)	781 (33.0%)	489 (20.6%)	232 (9.8%)	63 (2.7%)	3.9
	全学集計	13,046 (44.3%)	7,957 (27.0%)	5,300 (18.0%)	2,263 (7.7%)	877 (3.0%)	4.0

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

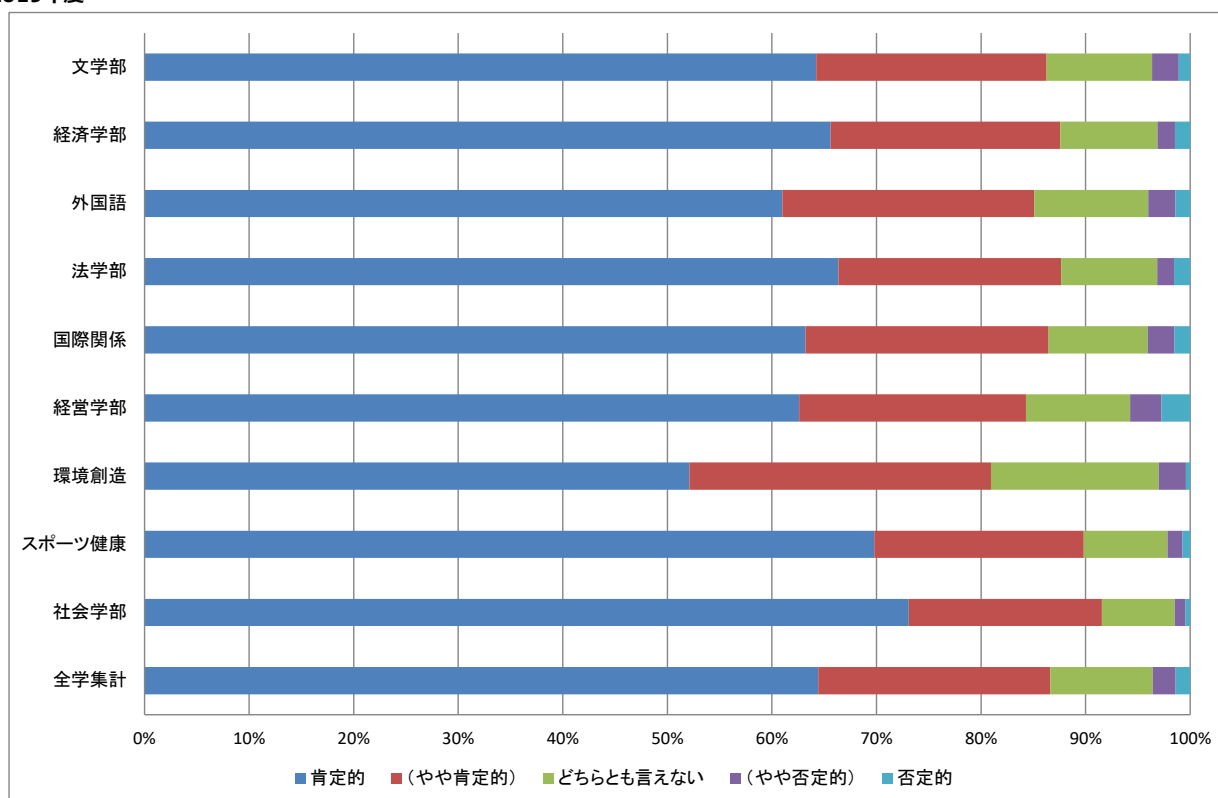
I Q8 教員の使用教材（配布プリント、パワーポイントの内容など）は理解しやすかったですか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	3,562 (45.9%)	2,270 (29.2%)	1,444 (18.6%)	322 (4.1%)	170 (2.2%)	4.1
	経済学部	1,655 (42.2%)	1,217 (31.0%)	743 (19.0%)	205 (5.2%)	100 (2.6%)	4.1
	外国語	2,290 (46.6%)	1,428 (29.1%)	839 (17.1%)	237 (4.8%)	116 (2.4%)	4.1
	法学部	2,093 (42.6%)	1,469 (29.9%)	969 (19.7%)	278 (5.7%)	108 (2.2%)	4.0
	国際関係	1,133 (49.7%)	698 (30.6%)	344 (15.1%)	75 (3.3%)	31 (1.4%)	4.2
	経営学部	940 (37.7%)	815 (32.7%)	506 (20.3%)	155 (6.2%)	80 (3.2%)	4.0
	環境創造	235 (47.2%)	164 (32.9%)	79 (15.9%)	18 (3.6%)	2 (0.4%)	4.2
	スポーツ健康	1,268 (39.1%)	995 (30.7%)	721 (22.2%)	202 (6.2%)	60 (1.8%)	4.0
	社会学部	814 (33.6%)	890 (36.7%)	534 (22.0%)	139 (5.7%)	49 (2.0%)	3.9
	全学集計	13,176 (43.9%)	9,056 (30.2%)	5,645 (18.8%)	1,492 (5.0%)	667 (2.2%)	4.1

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

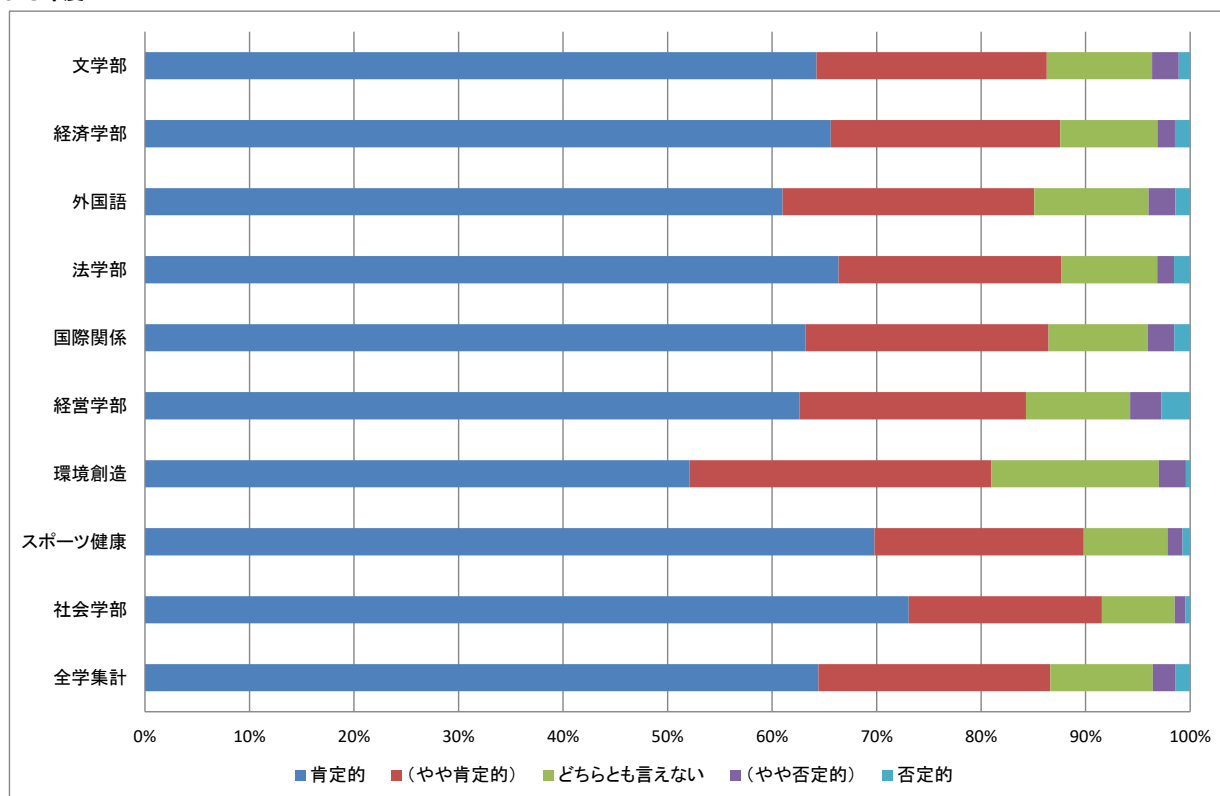
学年： 全学年

I Q9 教員は授業中の私語や受講態度の悪い学生への対処を行っていましたか。 (人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	2,483 (48.5%)	1,089 (21.3%)	1,089 (21.3%)	291 (5.7%)	169 (3.3%)	4.1
	経済学部	1,236 (47.6%)	631 (24.3%)	510 (19.6%)	142 (5.5%)	80 (3.1%)	4.1
	外国語	1,569 (48.5%)	765 (23.6%)	654 (20.2%)	143 (4.4%)	104 (3.2%)	4.1
	法学部	1,530 (48.1%)	683 (21.5%)	734 (23.1%)	139 (4.4%)	94 (3.0%)	4.1
	国際関係	845 (54.7%)	382 (24.7%)	227 (14.7%)	68 (4.4%)	22 (1.4%)	4.3
	経営学部	871 (46.5%)	458 (24.4%)	364 (19.4%)	101 (5.4%)	80 (4.3%)	4.0
	環境創造	201 (59.3%)	67 (19.8%)	59 (17.4%)	12 (3.5%)	0 (0.0%)	4.3
	スポーツ健康	1,125 (43.2%)	663 (25.5%)	610 (23.4%)	150 (5.8%)	57 (2.2%)	4.0
	社会学部	804 (46.6%)	418 (24.2%)	389 (22.6%)	78 (4.5%)	35 (2.0%)	4.1
	全学集計	9,860 (48.1%)	4,738 (23.1%)	4,247 (20.7%)	1,046 (5.1%)	606 (3.0%)	4.1

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

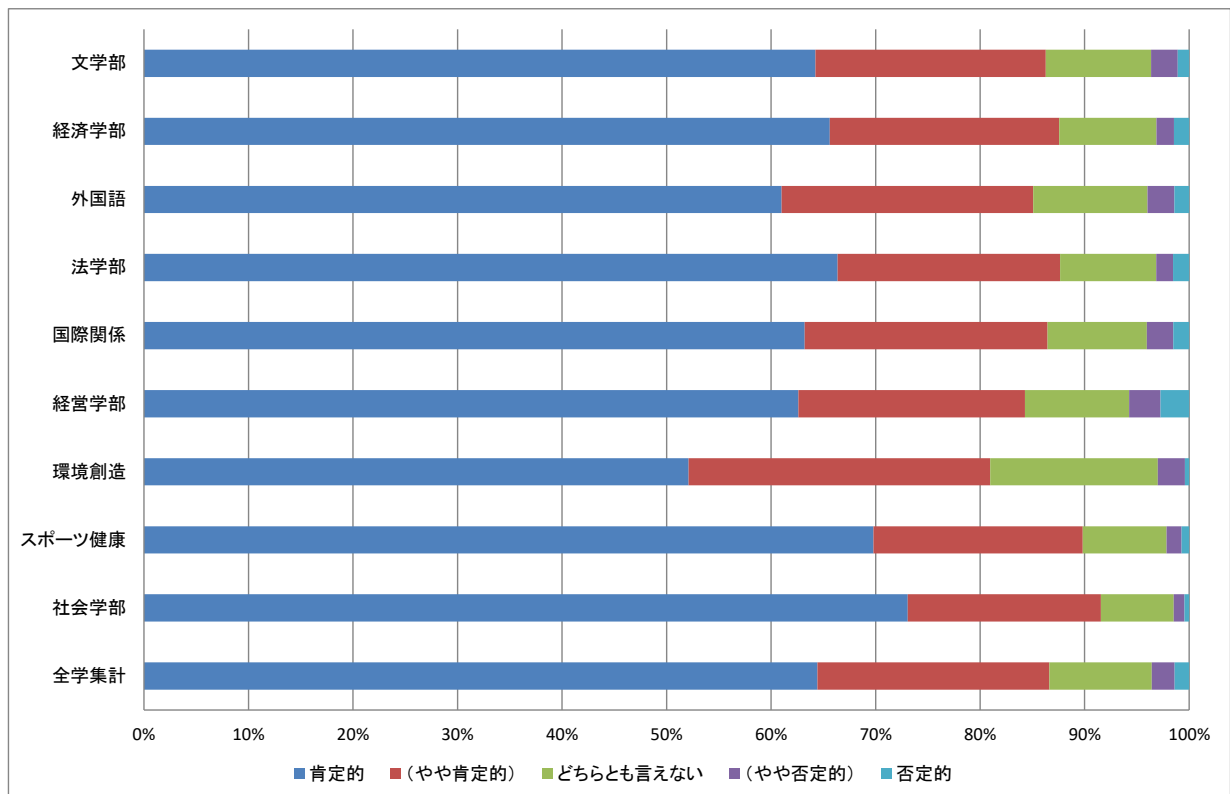
II Q10 この授業に対する教員の熱意がどの程度感じられましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	5,026 (63.9%)	1,779 (22.6%)	740 (9.4%)	184 (2.3%)	135 (1.7%)	4.4
	経済学部	2,182 (55.5%)	1,101 (28.0%)	493 (12.5%)	83 (2.1%)	73 (1.9%)	4.3
	外国語	2,910 (58.8%)	1,250 (25.3%)	572 (11.6%)	128 (2.6%)	88 (1.8%)	4.4
	法学部	2,659 (54.0%)	1,376 (27.9%)	687 (13.9%)	116 (2.4%)	88 (1.8%)	4.3
	国際関係	1,544 (67.4%)	518 (22.6%)	184 (8.0%)	25 (1.1%)	20 (0.9%)	4.5
	経営学部	1,286 (51.3%)	710 (28.3%)	361 (14.4%)	86 (3.4%)	65 (2.6%)	4.2
	環境創造	302 (60.5%)	140 (28.1%)	48 (9.6%)	7 (1.4%)	2 (0.4%)	4.5
	スポーツ健康	1,759 (53.0%)	895 (27.0%)	493 (14.8%)	117 (3.5%)	56 (1.7%)	4.3
	社会学部	1,296 (53.0%)	776 (31.8%)	292 (11.9%)	53 (2.2%)	27 (1.1%)	4.3
	全学集計	17,668 (58.3%)	7,769 (25.7%)	3,578 (11.8%)	746 (2.5%)	527 (1.7%)	4.4

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

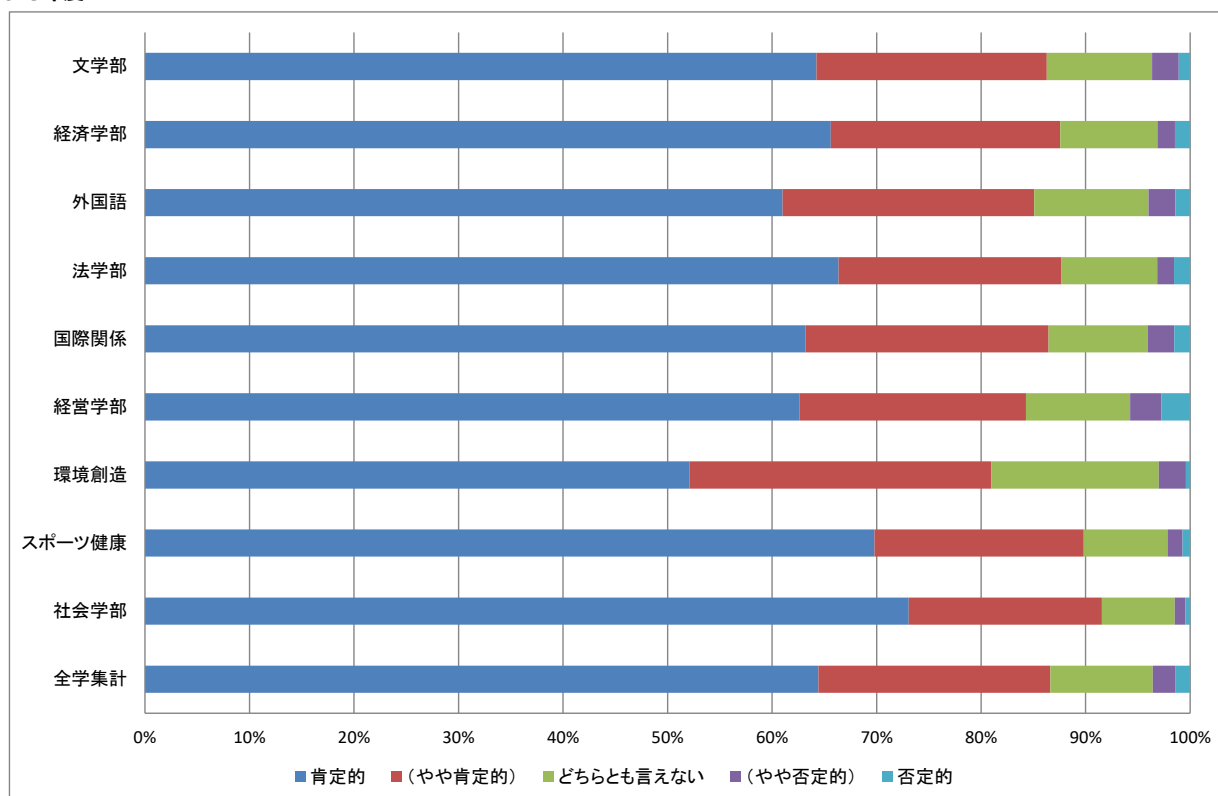
II Q11 あなたはこの授業を通して自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	3,300 (42.0%)	2,958 (37.6%)	1,146 (14.6%)	254 (3.2%)	204 (2.6%)	4.1
	経済学部	1,339 (34.1%)	1,589 (40.4%)	731 (18.6%)	138 (3.5%)	135 (3.4%)	4.0
	外国語	2,024 (40.9%)	1,768 (35.7%)	832 (16.8%)	181 (3.7%)	147 (3.0%)	4.1
	法学部	1,743 (35.4%)	1,897 (38.5%)	988 (20.0%)	185 (3.8%)	115 (2.3%)	4.0
	国際関係	1,076 (46.9%)	849 (37.0%)	280 (12.2%)	56 (2.4%)	32 (1.4%)	4.3
	経営学部	864 (34.4%)	1,015 (40.5%)	450 (17.9%)	110 (4.4%)	69 (2.8%)	4.0
	環境創造	237 (47.5%)	175 (35.1%)	72 (14.4%)	8 (1.6%)	7 (1.4%)	4.3
	スポーツ健康	1,072 (32.3%)	1,325 (39.9%)	715 (21.5%)	146 (4.4%)	61 (1.8%)	4.0
	社会学部	708 (28.9%)	1,125 (45.9%)	448 (18.3%)	100 (4.1%)	68 (2.8%)	3.9
	全学集計	11,655 (38.5%)	11,576 (38.2%)	5,214 (17.2%)	1,078 (3.6%)	770 (2.5%)	4.1

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

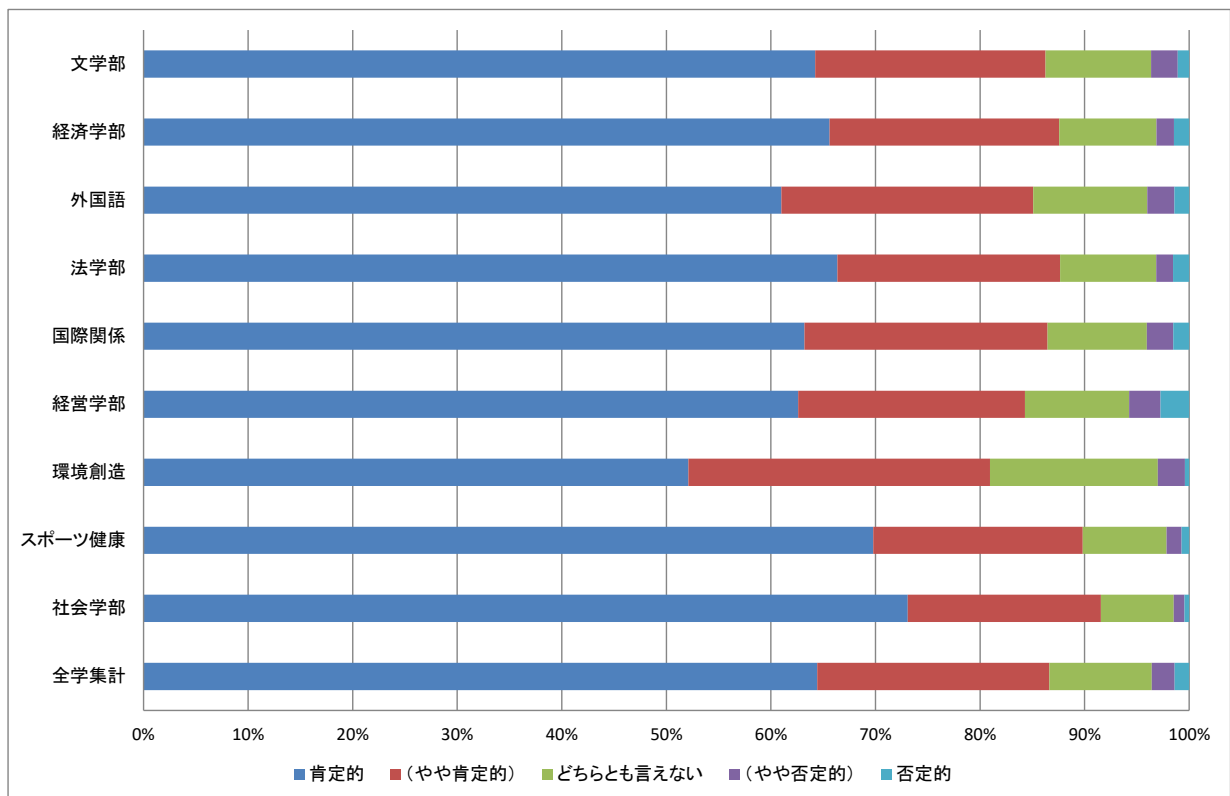
II Q12 あなたはこの授業を通して自分で調べ、考える姿勢などが身につきましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	2,997 (38.1%)	2,972 (37.8%)	1,410 (17.9%)	265 (3.4%)	218 (2.8%)	4.1
	経済学部	1,247 (31.8%)	1,536 (39.1%)	859 (21.9%)	154 (3.9%)	131 (3.3%)	3.9
	外国語	1,903 (38.4%)	1,794 (36.2%)	942 (19.0%)	168 (3.4%)	146 (2.9%)	4.0
	法学部	1,576 (32.0%)	1,922 (39.0%)	1,088 (22.1%)	216 (4.4%)	128 (2.6%)	3.9
	国際関係	982 (42.9%)	855 (37.3%)	346 (15.1%)	65 (2.8%)	42 (1.8%)	4.2
	経営学部	774 (30.9%)	977 (39.0%)	558 (22.3%)	116 (4.6%)	81 (3.2%)	3.9
	環境創造	204 (41.0%)	194 (39.0%)	83 (16.7%)	8 (1.6%)	9 (1.8%)	4.2
	スポーツ健康	990 (29.8%)	1,326 (39.9%)	818 (24.6%)	120 (3.6%)	67 (2.0%)	3.9
	社会学部	629 (25.7%)	1,065 (43.5%)	542 (22.1%)	134 (5.5%)	78 (3.2%)	3.8
	全学集計	10,673 (35.2%)	11,576 (38.2%)	6,104 (20.2%)	1,112 (3.7%)	822 (2.7%)	4.0

< 評価帯グラフ >

2019年度





## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

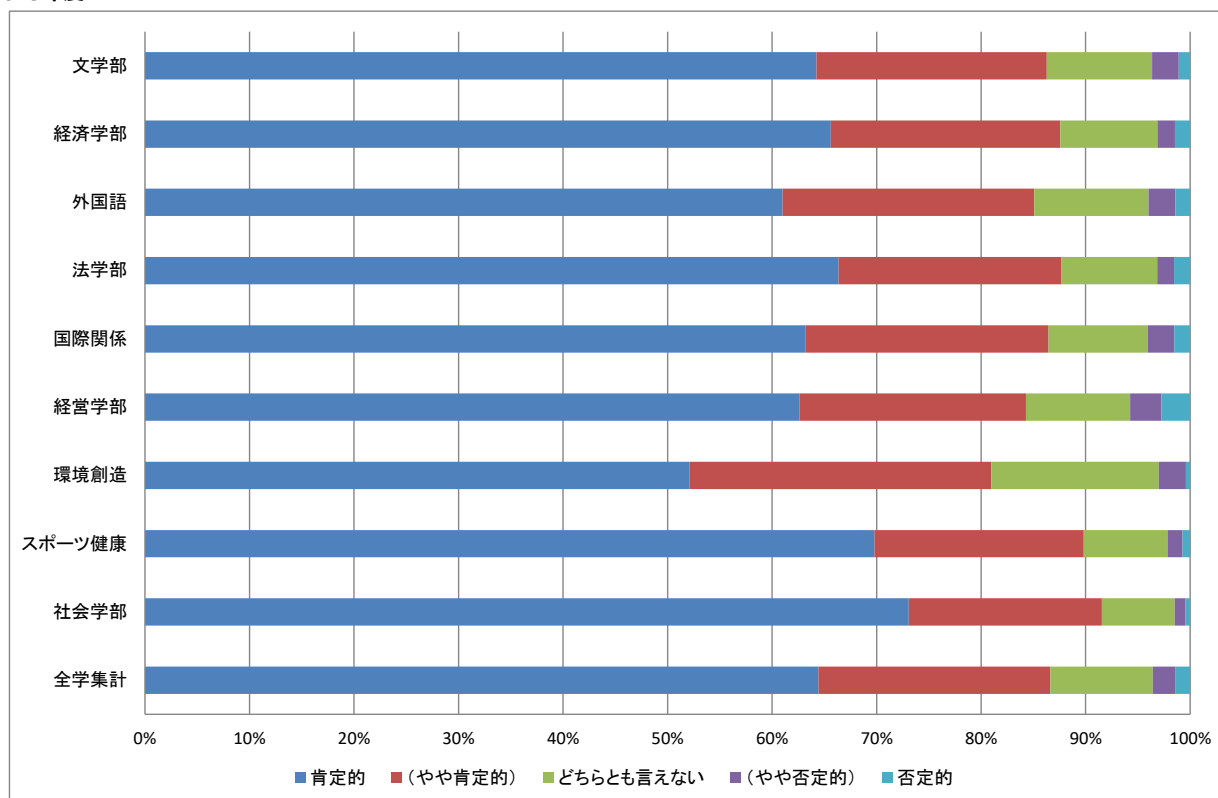
ⅢQ13 この授業は総合的にみて満足できるものでしたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	文学部	3,963 (50.4%)	2,403 (30.6%)	945 (12.0%)	310 (3.9%)	238 (3.0%)	4.2
	経済学部	1,653 (42.1%)	1,358 (34.6%)	640 (16.3%)	152 (3.9%)	127 (3.2%)	4.1
	外国語	2,368 (47.9%)	1,538 (31.1%)	682 (13.8%)	186 (3.8%)	170 (3.4%)	4.2
	法学部	2,162 (43.9%)	1,623 (32.9%)	811 (16.5%)	200 (4.1%)	133 (2.7%)	4.1
	国際関係	1,228 (53.6%)	701 (30.6%)	265 (11.6%)	54 (2.4%)	44 (1.9%)	4.3
	経営学部	1,000 (40.0%)	878 (35.1%)	407 (16.3%)	135 (5.4%)	79 (3.2%)	4.0
	環境創造	253 (51.0%)	168 (33.9%)	59 (11.9%)	9 (1.8%)	7 (1.4%)	4.3
	スポーツ健康	1,305 (39.3%)	1,157 (34.8%)	612 (18.4%)	158 (4.8%)	88 (2.7%)	4.0
	社会学部	861 (35.2%)	979 (40.0%)	424 (17.3%)	111 (4.5%)	71 (2.9%)	4.0
	全学集計	13,932 (46.0%)	9,826 (32.5%)	4,421 (14.6%)	1,204 (4.0%)	886 (2.9%)	4.1

< 評価帯グラフ >

2019年度



D. 学年別集計  
(学部・学科別集計)

学部学科別【学年別】

学部：文学部

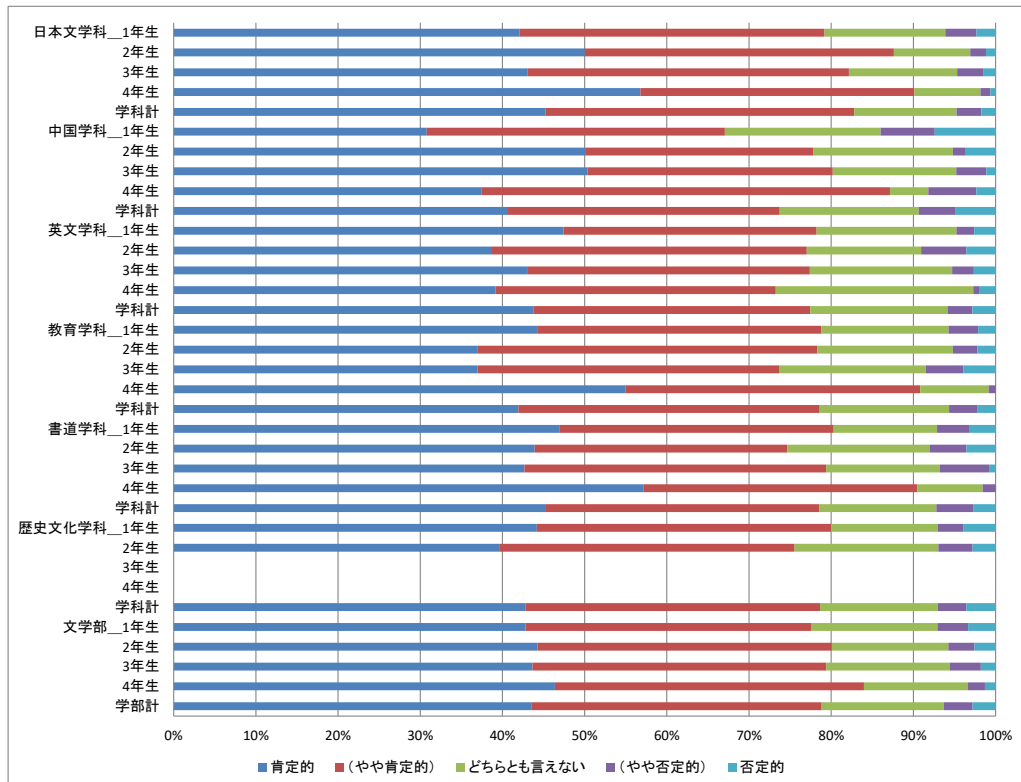
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均	
2019年度	日本文学科	1年生	1,252 (42.1%)	1,104 (37.1%)	437 (14.7%)	113 (3.8%)	69 (2.3%)	4.1
		2年生	1,071 (50.0%)	805 (37.6%)	199 (9.3%)	41 (1.9%)	25 (1.2%)	4.3
		3年生	506 (43.0%)	460 (39.1%)	155 (13.2%)	38 (3.2%)	17 (1.4%)	4.2
		4年生	92 (56.8%)	54 (33.3%)	13 (8.0%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	4.4
		学科計	2,921 (45.3%)	2,423 (37.5%)	804 (12.5%)	194 (3.0%)	112 (1.7%)	4.2
	中国文学科	1年生	482 (30.8%)	568 (36.3%)	297 (19.0%)	103 (6.6%)	116 (7.4%)	3.8
		2年生	510 (50.1%)	281 (27.6%)	173 (17.0%)	16 (1.6%)	37 (3.6%)	4.2
		3年生	315 (50.3%)	187 (29.9%)	94 (15.0%)	23 (3.7%)	7 (1.1%)	4.2
		4年生	64 (37.4%)	85 (49.7%)	8 (4.7%)	10 (5.8%)	4 (2.3%)	4.1
		学科計	1,371 (40.6%)	1,121 (33.2%)	572 (16.9%)	152 (4.5%)	164 (4.9%)	4.0
	英文学科	1年生	1,017 (47.4%)	660 (30.8%)	365 (17.0%)	46 (2.1%)	56 (2.6%)	4.2
		2年生	445 (38.7%)	440 (38.3%)	160 (13.9%)	63 (5.5%)	41 (3.6%)	4.0
		3年生	390 (43.0%)	312 (34.4%)	157 (17.3%)	24 (2.6%)	24 (2.6%)	4.1
		4年生	101 (39.1%)	88 (34.1%)	62 (24.0%)	2 (0.8%)	5 (1.9%)	4.1
		学科計	1,953 (43.8%)	1,500 (33.6%)	744 (16.7%)	135 (3.0%)	126 (2.8%)	4.1
	教育学科	1年生	998 (44.3%)	777 (34.5%)	348 (15.5%)	81 (3.6%)	48 (2.1%)	4.2
		2年生	399 (37.0%)	445 (41.3%)	178 (16.5%)	32 (3.0%)	24 (2.2%)	4.1
		3年生	122 (37.0%)	121 (36.7%)	59 (17.9%)	15 (4.5%)	13 (3.9%)	4.0
		4年生	66 (55.0%)	43 (35.8%)	10 (8.3%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	4.5
		学科計	1,585 (41.9%)	1,386 (36.7%)	595 (15.7%)	129 (3.4%)	85 (2.2%)	4.1
	書道学科	1年生	593 (46.9%)	422 (33.4%)	159 (12.6%)	49 (3.9%)	41 (3.2%)	4.2
		2年生	383 (43.9%)	268 (30.7%)	151 (17.3%)	39 (4.5%)	31 (3.6%)	4.1
		3年生	265 (42.7%)	228 (36.7%)	86 (13.8%)	37 (6.0%)	5 (0.8%)	4.1
		4年生	36 (57.1%)	21 (33.3%)	5 (7.9%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	4.5
		学科計	1,277 (45.3%)	939 (33.3%)	401 (14.2%)	126 (4.5%)	77 (2.7%)	4.1
	歴史文化学科	1年生	826 (44.2%)	670 (35.8%)	242 (12.9%)	59 (3.2%)	73 (3.9%)	4.1
		2年生	324 (39.6%)	294 (35.9%)	143 (17.5%)	34 (4.2%)	23 (2.8%)	4.1
		3年生	0	0	0	0	0	
		4年生	0	0	0	0	0	
		学科計	1,150 (42.8%)	964 (35.9%)	385 (14.3%)	93 (3.5%)	96 (3.6%)	4.1
	文学部	1年生	5,168 (42.8%)	4,201 (34.8%)	1,848 (15.3%)	451 (3.7%)	403 (3.3%)	4.1
		2年生	3,132 (44.3%)	2,533 (35.8%)	1,004 (14.2%)	225 (3.2%)	181 (2.6%)	4.2
		3年生	1,598 (43.7%)	1,308 (35.7%)	551 (15.1%)	137 (3.7%)	66 (1.8%)	4.2
		4年生	359 (46.4%)	291 (37.6%)	98 (12.7%)	16 (2.1%)	10 (1.3%)	4.3
		学部計	10,257 (43.5%)	8,333 (35.3%)	3,501 (14.8%)	829 (3.5%)	660 (2.8%)	4.1

< 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：経済学部

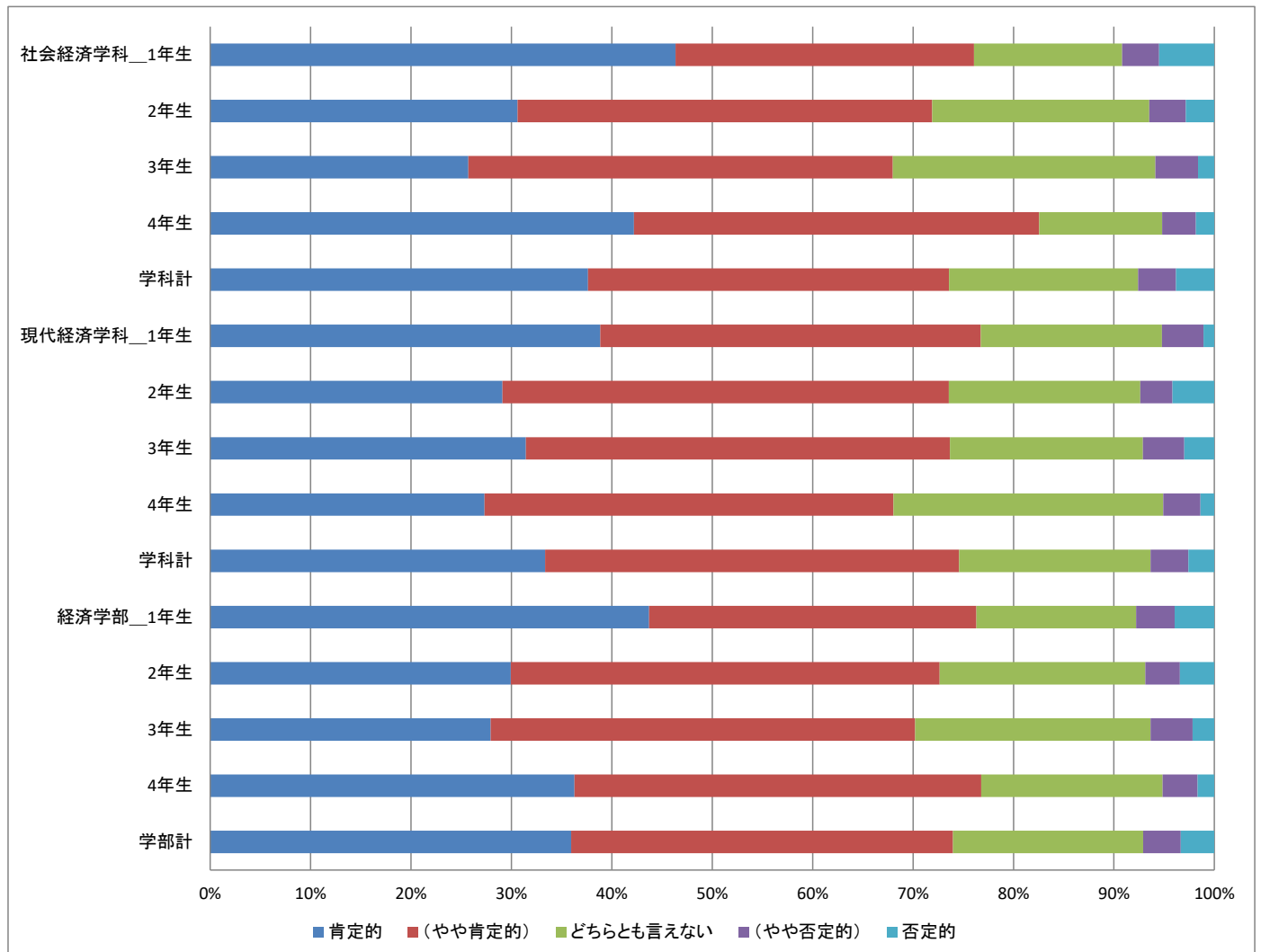
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均	
2019年度	社会経済学科	1年生	1,575 (46.4%)	1,010 (29.7%)	501 (14.7%)	125 (3.7%)	187 (5.5%)	4.1
		2年生	624 (30.6%)	842 (41.3%)	441 (21.6%)	74 (3.6%)	58 (2.8%)	3.9
		3年生	363 (25.7%)	597 (42.3%)	369 (26.1%)	60 (4.2%)	23 (1.6%)	3.9
		4年生	138 (42.2%)	132 (40.4%)	40 (12.2%)	11 (3.4%)	6 (1.8%)	4.2
		学科計	2,700 (37.6%)	2,581 (36.0%)	1,351 (18.8%)	270 (3.8%)	274 (3.8%)	4.0
	現代経済学科	1年生	715 (38.8%)	698 (37.9%)	332 (18.0%)	76 (4.1%)	20 (1.1%)	4.1
		2年生	482 (29.1%)	736 (44.4%)	316 (19.1%)	53 (3.2%)	69 (4.2%)	3.9
		3年生	283 (31.4%)	380 (42.2%)	173 (19.2%)	37 (4.1%)	27 (3.0%)	4.0
		4年生	59 (27.3%)	88 (40.7%)	58 (26.9%)	8 (3.7%)	3 (1.4%)	3.9
		学科計	1,539 (33.4%)	1,902 (41.2%)	879 (19.1%)	174 (3.8%)	119 (2.6%)	4.0
	経済学部	1年生	2,290 (43.7%)	1,708 (32.6%)	833 (15.9%)	201 (3.8%)	207 (4.0%)	4.1
		2年生	1,106 (29.9%)	1,578 (42.7%)	757 (20.5%)	127 (3.4%)	127 (3.4%)	3.9
		3年生	646 (27.9%)	977 (42.3%)	542 (23.4%)	97 (4.2%)	50 (2.2%)	3.9
		4年生	197 (36.3%)	220 (40.5%)	98 (18.0%)	19 (3.5%)	9 (1.7%)	4.1
		学部計	4,239 (36.0%)	4,483 (38.0%)	2,230 (18.9%)	444 (3.8%)	393 (3.3%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：外国語学部

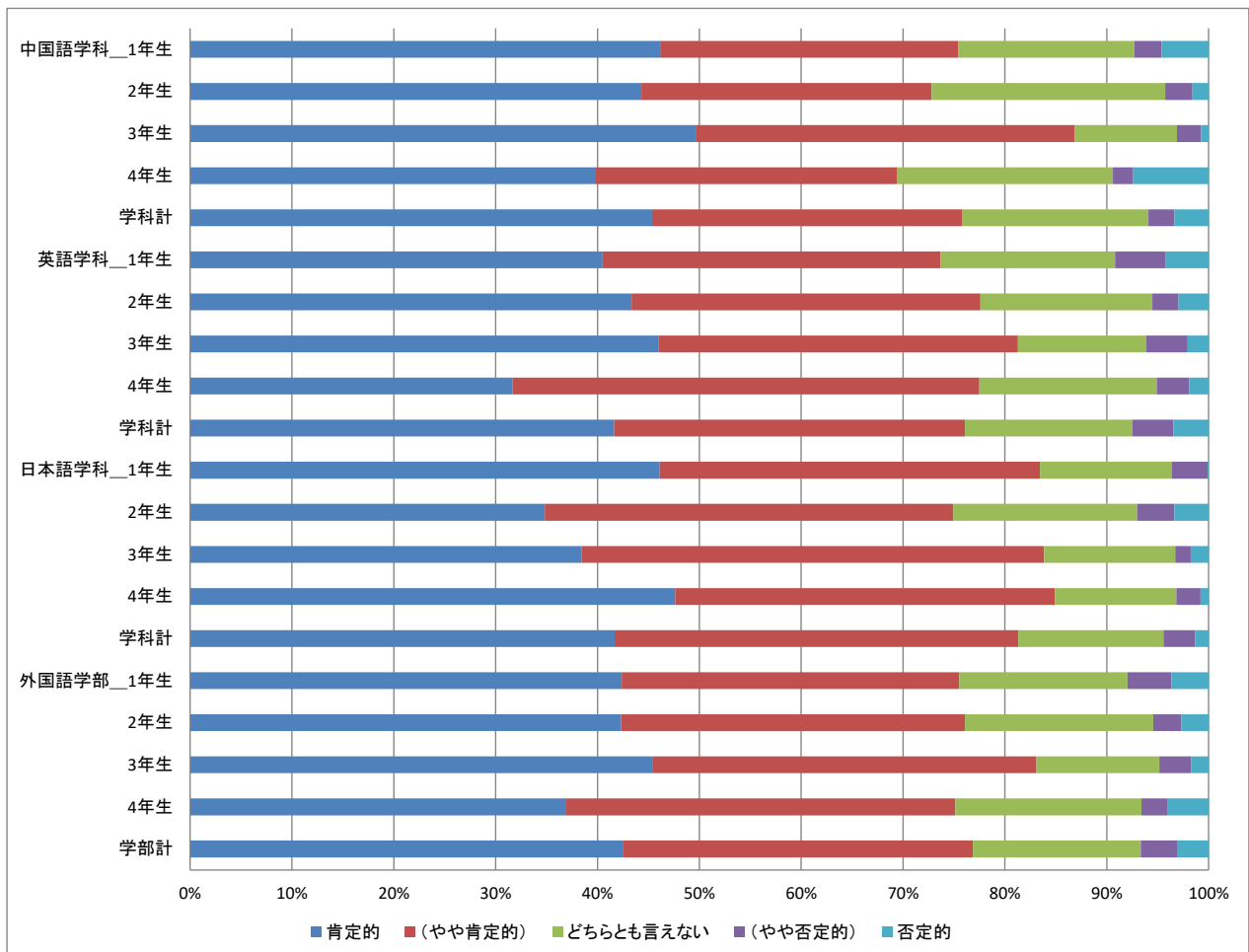
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均	
2019年度	中国語学科	1年生	588 (46.2%)	373 (29.3%)	220 (17.3%)	34 (2.7%)	59 (4.6%)	4.1
		2年生	448 (44.3%)	288 (28.5%)	232 (22.9%)	27 (2.7%)	16 (1.6%)	4.1
		3年生	272 (49.6%)	204 (37.2%)	55 (10.0%)	13 (2.4%)	4 (0.7%)	4.3
		4年生	161 (39.8%)	120 (29.6%)	86 (21.2%)	8 (2.0%)	30 (7.4%)	3.9
		学科計	1,469 (45.4%)	985 (30.4%)	593 (18.3%)	82 (2.5%)	109 (3.4%)	4.1
	英語学科	1年生	1,949 (40.5%)	1,597 (33.2%)	825 (17.1%)	237 (4.9%)	205 (4.3%)	4.0
		2年生	1,146 (43.3%)	906 (34.3%)	446 (16.9%)	68 (2.6%)	78 (3.0%)	4.1
		3年生	602 (46.0%)	461 (35.2%)	165 (12.6%)	53 (4.1%)	27 (2.1%)	4.2
		4年生	149 (31.6%)	216 (45.9%)	82 (17.4%)	15 (3.2%)	9 (1.9%)	4.0
		学科計	3,846 (41.6%)	3,180 (34.4%)	1,518 (16.4%)	373 (4.0%)	319 (3.5%)	4.1
	日本語学科	1年生	526 (46.1%)	426 (37.3%)	148 (13.0%)	40 (3.5%)	1 (0.1%)	4.3
		2年生	218 (34.8%)	251 (40.1%)	113 (18.1%)	23 (3.7%)	21 (3.4%)	4.0
		3年生	176 (38.4%)	208 (45.4%)	59 (12.9%)	7 (1.5%)	8 (1.7%)	4.2
		4年生	60 (47.6%)	47 (37.3%)	15 (11.9%)	3 (2.4%)	1 (0.8%)	4.3
		学科計	980 (41.7%)	932 (39.6%)	335 (14.2%)	73 (3.1%)	31 (1.3%)	4.2
	外国語学部	1年生	3,063 (42.4%)	2,396 (33.1%)	1,193 (16.5%)	311 (4.3%)	265 (3.7%)	4.1
		2年生	1,812 (42.3%)	1,445 (33.8%)	791 (18.5%)	118 (2.8%)	115 (2.7%)	4.1
		3年生	1,050 (45.4%)	873 (37.7%)	279 (12.1%)	73 (3.2%)	39 (1.7%)	4.2
		4年生	370 (36.9%)	383 (38.2%)	183 (18.3%)	26 (2.6%)	40 (4.0%)	4.0
		学部計	6,295 (42.5%)	5,097 (34.4%)	2,446 (16.5%)	528 (3.6%)	459 (3.1%)	4.1

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：法学部

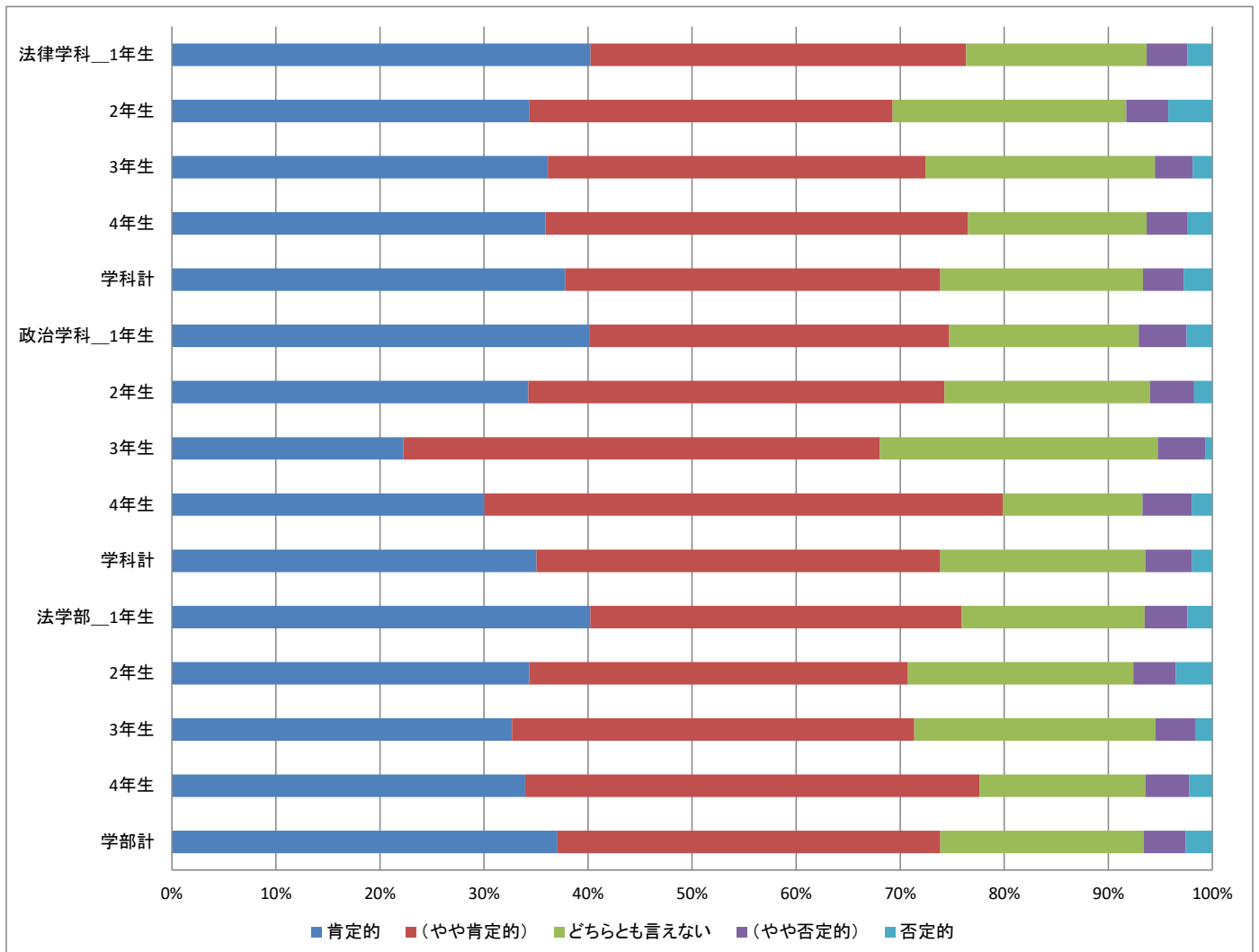
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	法律学科	1年生	2,264 (40.2%)	2,031 (36.1%)	977 (17.4%)	221 (3.9%)	134 (2.4%)	4.1
		2年生	943 (34.4%)	958 (34.9%)	616 (22.4%)	111 (4.0%)	116 (4.2%)	3.9
		3年生	687 (36.1%)	690 (36.3%)	419 (22.0%)	69 (3.6%)	36 (1.9%)	4.0
		4年生	182 (35.9%)	206 (40.6%)	87 (17.2%)	20 (3.9%)	12 (2.4%)	4.0
		学科計	4,076 (37.8%)	3,885 (36.0%)	2,099 (19.5%)	421 (3.9%)	298 (2.8%)	4.0
	政治学科	1年生	796 (40.2%)	685 (34.6%)	361 (18.2%)	91 (4.6%)	49 (2.5%)	4.1
		2年生	390 (34.3%)	455 (40.0%)	225 (19.8%)	48 (4.2%)	20 (1.8%)	4.0
		3年生	140 (22.3%)	288 (45.8%)	168 (26.7%)	29 (4.6%)	4 (0.6%)	3.8
		4年生	76 (30.0%)	126 (49.8%)	34 (13.4%)	12 (4.7%)	5 (2.0%)	4.0
		学科計	1,402 (35.0%)	1,554 (38.8%)	788 (19.7%)	180 (4.5%)	78 (1.9%)	4.0
	法学部	1年生	3,060 (40.2%)	2,716 (35.7%)	1,338 (17.6%)	312 (4.1%)	183 (2.4%)	4.1
		2年生	1,333 (34.3%)	1,413 (36.4%)	841 (21.7%)	159 (4.1%)	136 (3.5%)	3.9
		3年生	827 (32.7%)	978 (38.7%)	587 (23.2%)	98 (3.9%)	40 (1.6%)	4.0
		4年生	258 (33.9%)	332 (43.7%)	121 (15.9%)	32 (4.2%)	17 (2.2%)	4.0
		学部計	5,478 (37.1%)	5,439 (36.8%)	2,887 (19.5%)	601 (4.1%)	376 (2.5%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：国際関係学部

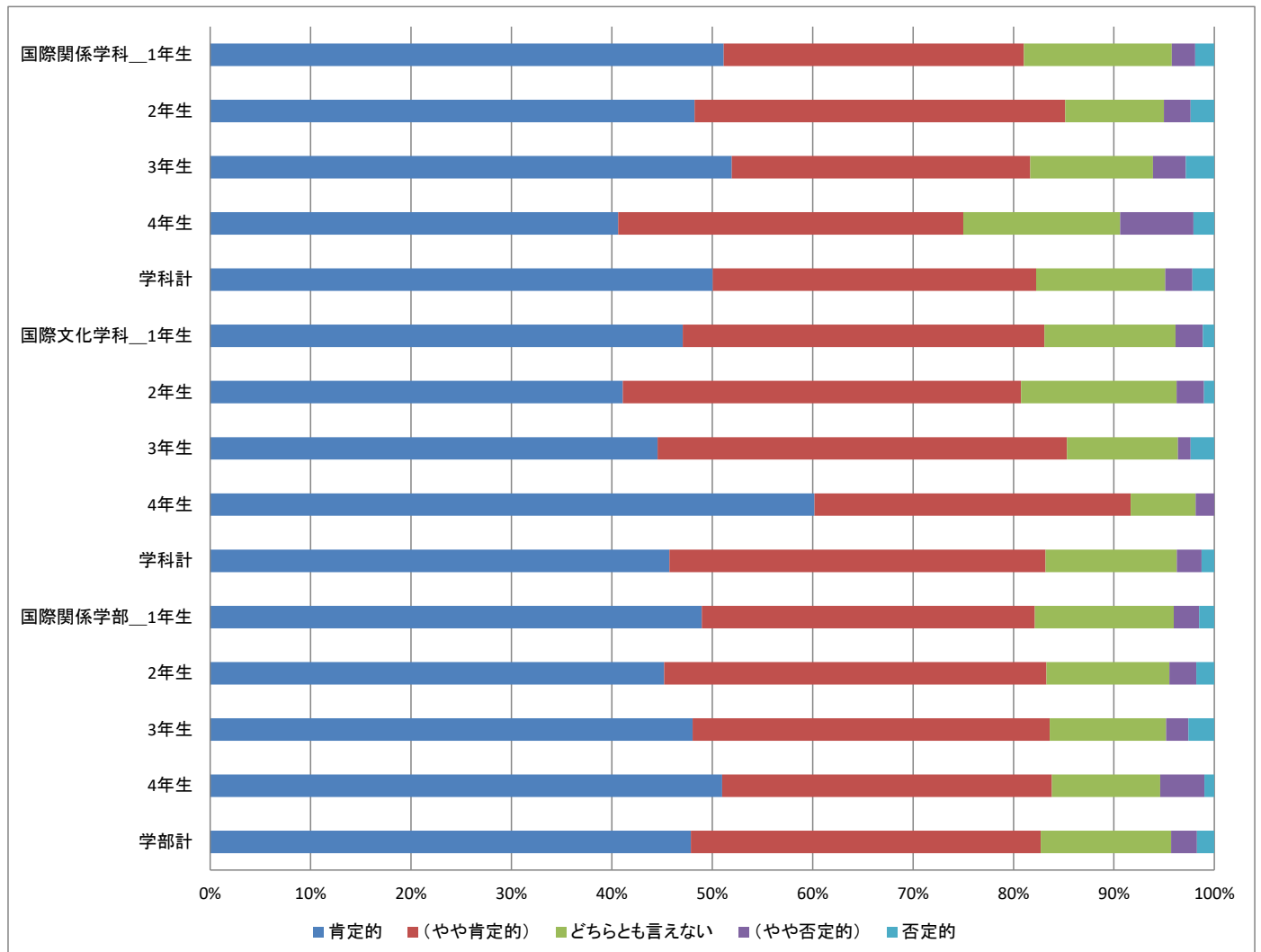
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均	
2019年度	国際関係学科	1年生	882 (51.1%)	516 (29.9%)	254 (14.7%)	40 (2.3%)	33 (1.9%)	4.3
		2年生	510 (48.2%)	390 (36.9%)	104 (9.8%)	28 (2.6%)	25 (2.4%)	4.3
		3年生	255 (51.9%)	146 (29.7%)	60 (12.2%)	16 (3.3%)	14 (2.9%)	4.2
		4年生	39 (40.6%)	33 (34.4%)	15 (15.6%)	7 (7.3%)	2 (2.1%)	4.0
		学科計	1,686 (50.0%)	1,085 (32.2%)	433 (12.9%)	91 (2.7%)	74 (2.2%)	4.3
	国際文化学科	1年生	940 (47.1%)	719 (36.0%)	261 (13.1%)	54 (2.7%)	23 (1.2%)	4.3
		2年生	318 (41.1%)	307 (39.7%)	120 (15.5%)	21 (2.7%)	8 (1.0%)	4.2
		3年生	246 (44.6%)	225 (40.8%)	61 (11.1%)	7 (1.3%)	13 (2.4%)	4.2
		4年生	65 (60.2%)	34 (31.5%)	7 (6.5%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	4.5
		学科計	1,569 (45.7%)	1,285 (37.5%)	449 (13.1%)	84 (2.4%)	44 (1.3%)	4.2
	国際関係学部	1年生	1,822 (49.0%)	1,235 (33.2%)	515 (13.8%)	94 (2.5%)	56 (1.5%)	4.3
		2年生	828 (45.2%)	697 (38.1%)	224 (12.2%)	49 (2.7%)	33 (1.8%)	4.2
		3年生	501 (48.0%)	371 (35.6%)	121 (11.6%)	23 (2.2%)	27 (2.6%)	4.2
		4年生	104 (51.0%)	67 (32.8%)	22 (10.8%)	9 (4.4%)	2 (1.0%)	4.3
		学部計	3,255 (47.9%)	2,370 (34.9%)	882 (13.0%)	175 (2.6%)	118 (1.7%)	4.2

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：経営学部

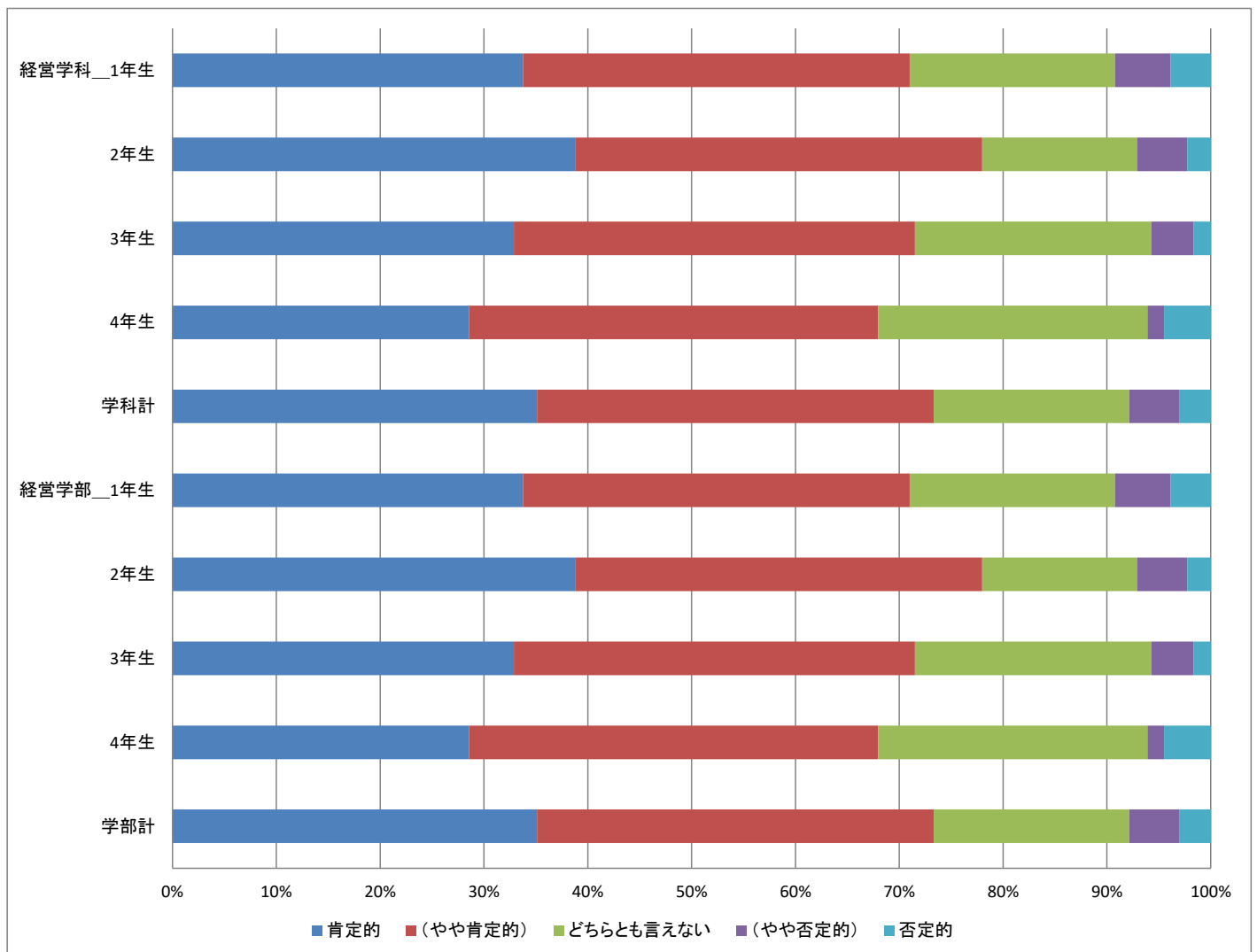
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	経営学科	1年生	1,189 (33.8%)	1,312 (37.3%)	696 (19.8%)	188 (5.3%)	137 (3.9%)	3.9
		2年生	997 (38.8%)	1,005 (39.2%)	383 (14.9%)	124 (4.8%)	58 (2.3%)	4.1
		3年生	344 (32.9%)	404 (38.6%)	238 (22.8%)	43 (4.1%)	17 (1.6%)	4.0
		4年生	108 (28.6%)	149 (39.4%)	98 (25.9%)	6 (1.6%)	17 (4.5%)	3.9
		学科計	2,638 (35.1%)	2,870 (38.2%)	1,415 (18.8%)	361 (4.8%)	229 (3.0%)	4.0
	経営学部	1年生	1,189 (33.8%)	1,312 (37.3%)	696 (19.8%)	188 (5.3%)	137 (3.9%)	3.9
		2年生	997 (38.8%)	1,005 (39.2%)	383 (14.9%)	124 (4.8%)	58 (2.3%)	4.1
		3年生	344 (32.9%)	404 (38.6%)	238 (22.8%)	43 (4.1%)	17 (1.6%)	4.0
		4年生	108 (28.6%)	149 (39.4%)	98 (25.9%)	6 (1.6%)	17 (4.5%)	3.9
		学部計	2,638 (35.1%)	2,870 (38.2%)	1,415 (18.8%)	361 (4.8%)	229 (3.0%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2019年度





## 学部学科別【学年別】

学部：環境創造学部

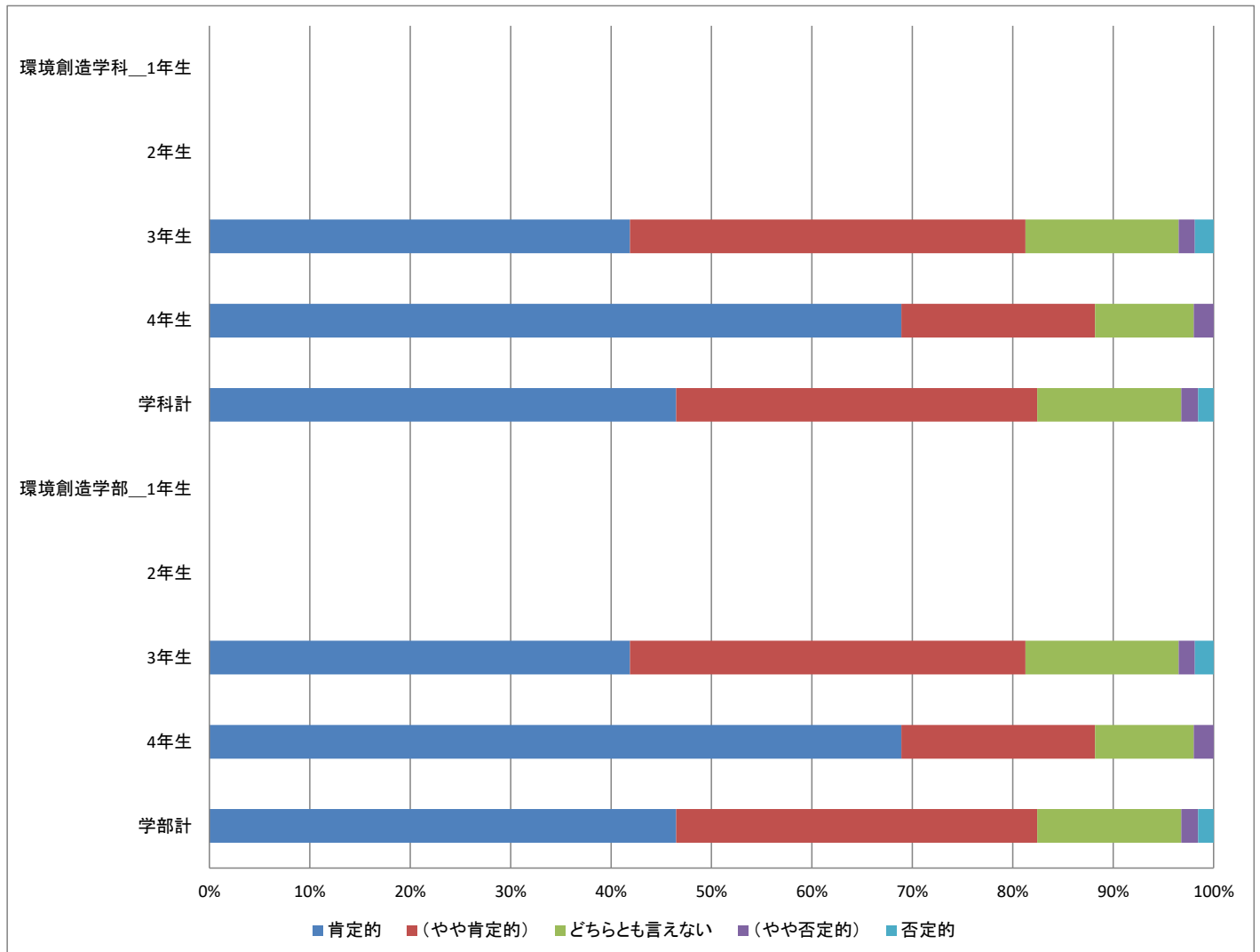
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	環境創造学科	1年生	0	0	0	0	0	
		2年生	0	0	0	0	0	
		3年生	519 (41.9%)	488 (39.4%)	189 (15.3%)	20 (1.6%)	23 (1.9%)	4.2
		4年生	175 (68.9%)	49 (19.3%)	25 (9.8%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	4.6
		学科計	694 (46.5%)	537 (36.0%)	214 (14.3%)	25 (1.7%)	23 (1.5%)	4.2
	環境創造学部	1年生	0	0	0	0	0	
		2年生	0	0	0	0	0	
		3年生	519 (41.9%)	488 (39.4%)	189 (15.3%)	20 (1.6%)	23 (1.9%)	4.2
		4年生	175 (68.9%)	49 (19.3%)	25 (9.8%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	4.6
		学部計	694 (46.5%)	537 (36.0%)	214 (14.3%)	25 (1.7%)	23 (1.5%)	4.2

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：スポーツ・健康科学部

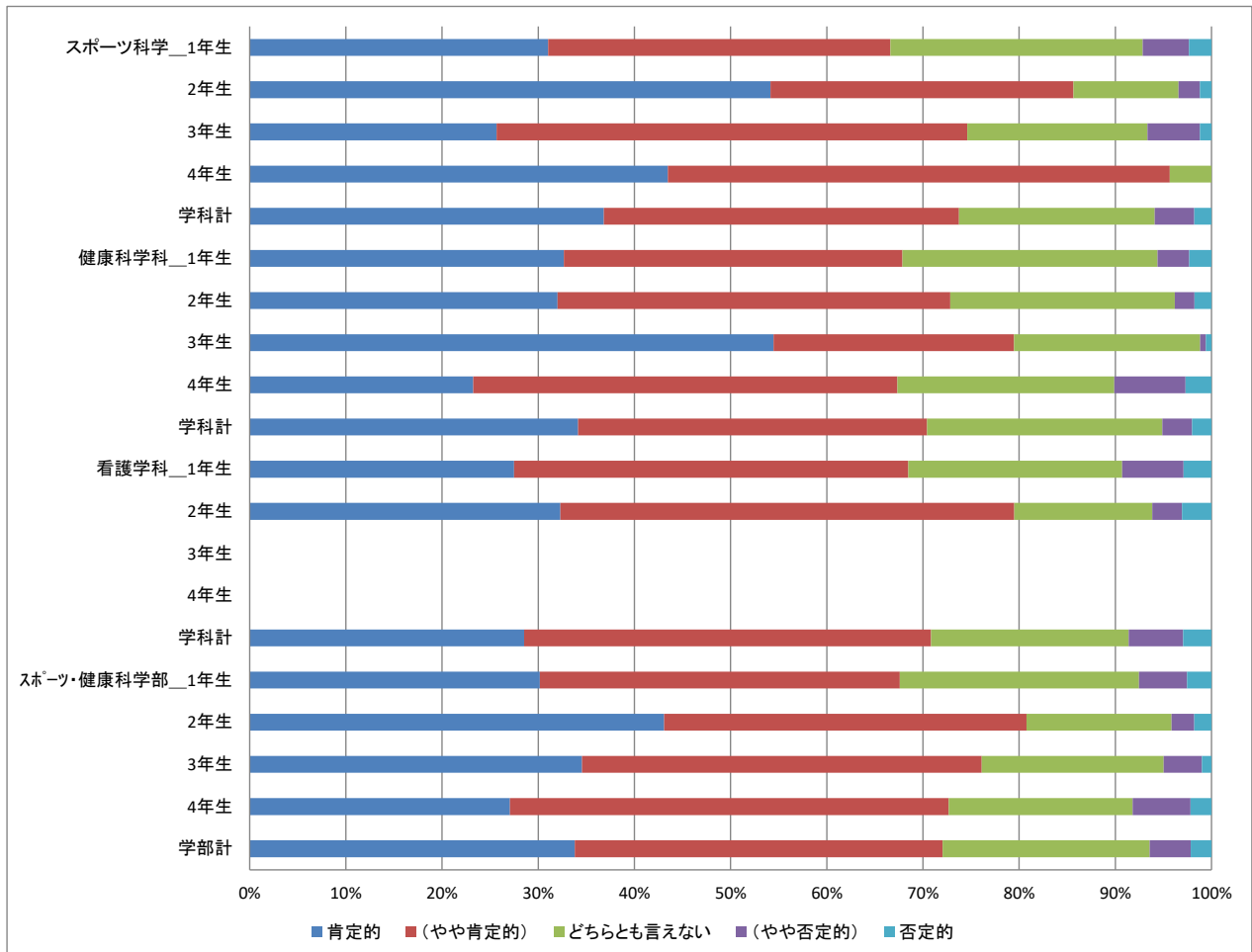
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均	
2019年度	スポーツ科学	1年生	742 (31.0%)	851 (35.6%)	627 (26.2%)	115 (4.8%)	56 (2.3%)	3.9
		2年生	679 (54.1%)	395 (31.5%)	137 (10.9%)	28 (2.2%)	15 (1.2%)	4.4
		3年生	193 (25.7%)	368 (48.9%)	141 (18.8%)	41 (5.5%)	9 (1.2%)	3.9
		4年生	30 (43.5%)	36 (52.2%)	3 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.4
		学科計	1,644 (36.8%)	1,650 (36.9%)	908 (20.3%)	184 (4.1%)	80 (1.8%)	4.0
	健康科学科	1年生	478 (32.7%)	515 (35.2%)	388 (26.5%)	48 (3.3%)	34 (2.3%)	3.9
		2年生	218 (32.0%)	278 (40.8%)	159 (23.3%)	14 (2.1%)	12 (1.8%)	4.0
		3年生	183 (54.5%)	84 (25.0%)	65 (19.3%)	2 (0.6%)	2 (0.6%)	4.3
		4年生	69 (23.2%)	131 (44.1%)	67 (22.6%)	22 (7.4%)	8 (2.7%)	3.8
		学科計	948 (34.1%)	1,008 (36.3%)	679 (24.5%)	86 (3.1%)	56 (2.0%)	4.0
	看護学科	1年生	586 (27.5%)	874 (41.0%)	474 (22.2%)	136 (6.4%)	62 (2.9%)	3.8
		2年生	189 (32.3%)	276 (47.2%)	84 (14.4%)	18 (3.1%)	18 (3.1%)	4.0
		3年生	0	0	0	0	0	
		4年生	0	0	0	0	0	
		学科計	775 (28.5%)	1,150 (42.3%)	558 (20.5%)	154 (5.7%)	80 (2.9%)	3.9
	スポーツ・健康科学部	1年生	1,806 (30.2%)	2,240 (37.4%)	1,489 (24.9%)	299 (5.0%)	152 (2.5%)	3.9
		2年生	1,086 (43.1%)	949 (37.7%)	380 (15.1%)	60 (2.4%)	45 (1.8%)	4.2
		3年生	376 (34.6%)	452 (41.5%)	206 (18.9%)	43 (4.0%)	11 (1.0%)	4.0
		4年生	99 (27.0%)	167 (45.6%)	70 (19.1%)	22 (6.0%)	8 (2.2%)	3.9
		学部計	3,367 (33.8%)	3,808 (38.2%)	2,145 (21.5%)	424 (4.3%)	216 (2.2%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2019年度



## 学部学科別【学年別】

学部：社会学部

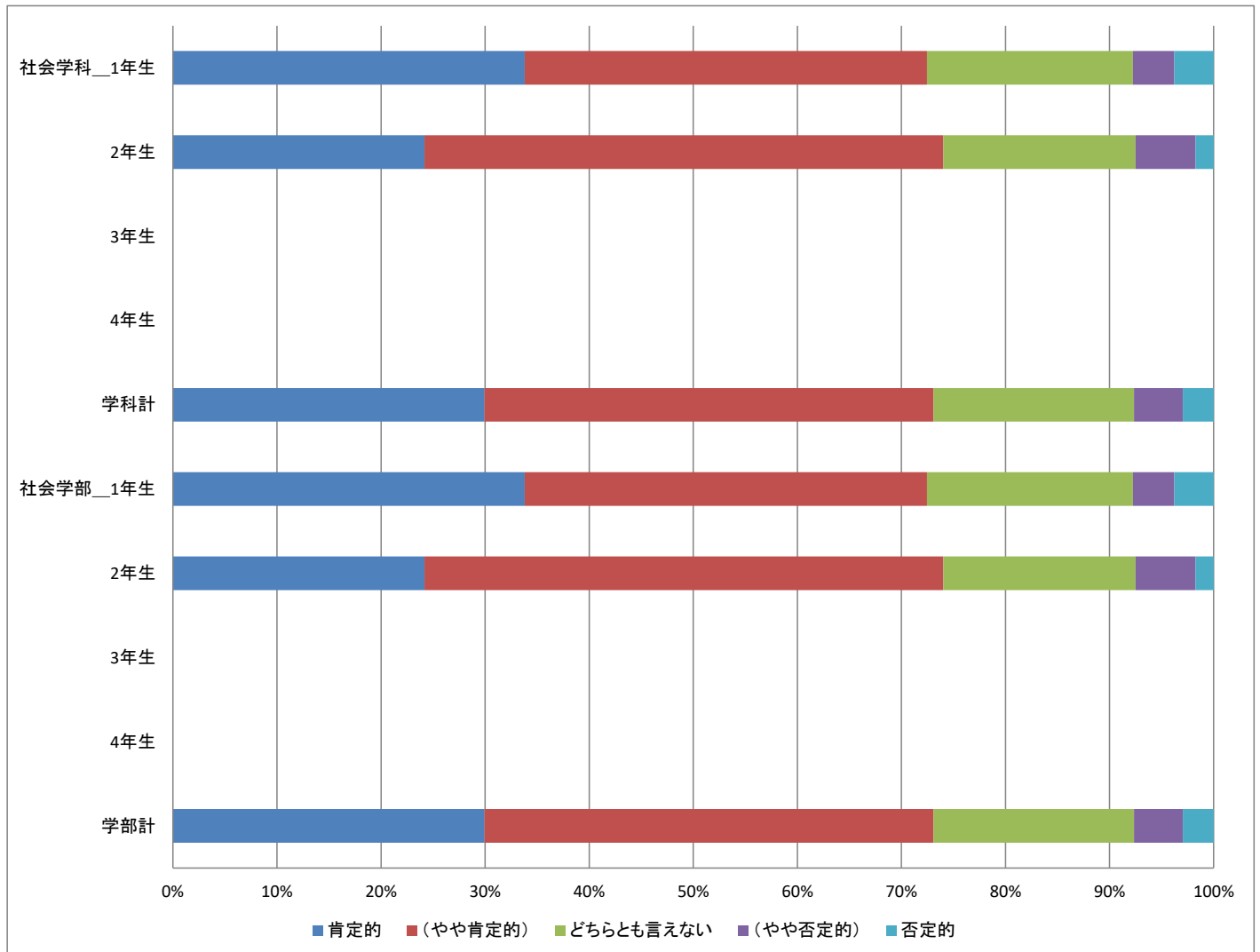
総合評価（Q11～Q13の合計値）

[Q11:新しい自己発見 / Q12:自分で考える姿勢 / Q13:満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2019年度	社会学科	1年生	1,485 (33.8%)	1,698 (38.7%)	869 (19.8%)	175 (4.0%)	166 (3.8%)	3.9
		2年生	713 (24.2%)	1,471 (49.9%)	545 (18.5%)	170 (5.8%)	51 (1.7%)	3.9
		3年生	0	0	0	0	0	
		4年生	0	0	0	0	0	
		学科計	2,198 (29.9%)	3,169 (43.2%)	1,414 (19.3%)	345 (4.7%)	217 (3.0%)	3.9
	社会学部	1年生	1,485 (33.8%)	1,698 (38.7%)	869 (19.8%)	175 (4.0%)	166 (3.8%)	3.9
		2年生	713 (24.2%)	1,471 (49.9%)	545 (18.5%)	170 (5.8%)	51 (1.7%)	3.9
		3年生	0	0	0	0	0	
		4年生	0	0	0	0	0	
		学部計	2,198 (29.9%)	3,169 (43.2%)	1,414 (19.3%)	345 (4.7%)	217 (3.0%)	3.9

### < 評価帯グラフ >

2019年度



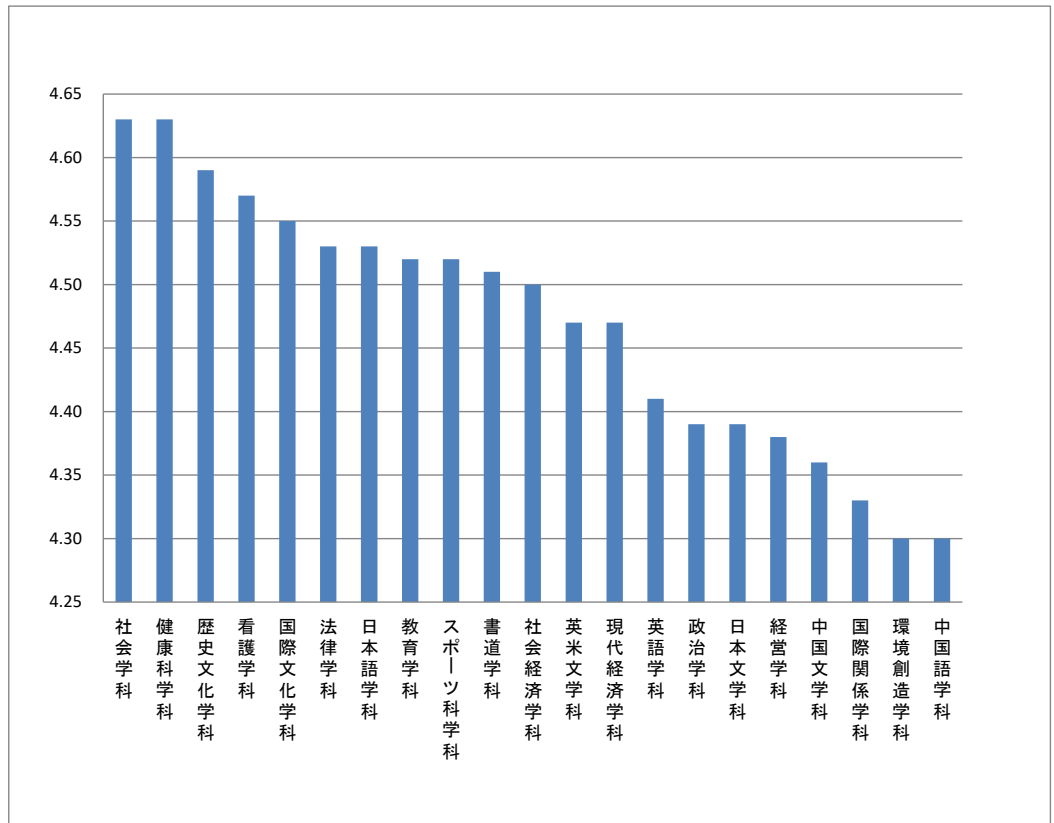
## E. 学科別集計

## 学科の平均値

	出席率	予習・復習・練習	シラバスの熟読	授業姿勢への自己評価	シラバスの反映	適切な授業進行速度	板書などの見やすさ	教材の使い方	受講態度への対応	教員の熱意	新しい自己発想	自分で考える姿勢	満足度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
日本文学科	4.39	3.42	3.83	3.83	4.29	3.10	4.11	4.25	4.05	4.55	4.22	4.09	4.34
中国文学科	4.36	3.63	3.66	3.88	4.11	3.22	3.86	3.97	4.07	4.36	3.97	3.96	4.08
英米文学科	4.47	3.80	3.84	3.94	4.21	3.13	4.06	4.11	4.11	4.39	4.14	4.07	4.17
教育学科	4.52	3.40	3.53	3.91	4.14	3.13	4.08	4.15	4.09	4.39	4.15	4.02	4.21
書道学科	4.51	3.51	3.56	3.88	4.10	3.20	4.02	4.11	4.03	4.51	4.14	4.05	4.22
歴史文化学科	4.59	3.64	3.98	3.88	4.13	3.17	4.01	4.03	3.94	4.42	4.09	4.07	4.16
社会経済学科	4.50	3.59	3.77	3.84	4.17	3.19	3.98	4.07	4.08	4.34	3.98	3.94	4.08
現代経済学科	4.47	3.41	3.62	3.73	4.16	3.16	3.94	4.02	4.08	4.31	3.98	3.90	4.09
中国語学科	4.30	3.60	3.73	3.87	4.28	3.37	4.14	4.18	4.12	4.39	4.07	4.07	4.21
英語学科	4.41	3.51	3.55	3.83	4.10	3.21	4.04	4.08	4.03	4.32	4.07	4.02	4.11
日本語学科	4.53	3.84	4.06	4.01	4.36	3.20	4.29	4.26	4.30	4.51	4.13	4.06	4.28
法律学科	4.53	3.46	3.53	3.72	4.12	3.24	4.08	4.07	4.07	4.29	4.01	3.94	4.12
政治学科	4.39	3.39	3.69	3.67	4.13	3.24	3.95	3.99	4.09	4.32	4.00	3.92	4.09
国際関係学科	4.33	3.69	3.99	3.89	4.29	3.27	4.20	4.24	4.28	4.51	4.26	4.17	4.32
国際文化学科	4.55	3.69	4.00	4.02	4.29	3.22	4.15	4.24	4.26	4.58	4.25	4.16	4.31
経営学科	4.38	3.43	3.68	3.70	4.08	3.21	3.79	3.95	4.03	4.22	3.99	3.90	4.03
環境創造学科	4.30	3.42	4.05	3.91	4.35	3.20	4.18	4.23	4.35	4.47	4.26	4.16	4.31
スポーツ科学科	4.52	3.30	3.03	3.93	3.89	3.31	3.96	4.02	4.06	4.29	4.03	3.96	4.09
健康科学科	4.63	3.42	3.52	3.84	3.96	3.24	3.93	4.00	3.92	4.29	3.95	3.90	4.07
看護学科	4.57	3.44	3.64	3.60	4.05	3.37	3.88	3.94	4.04	4.18	3.86	3.87	3.90
社会学科	4.63	3.32	3.48	3.79	3.97	3.23	3.86	3.94	4.09	4.33	3.94	3.83	4.00

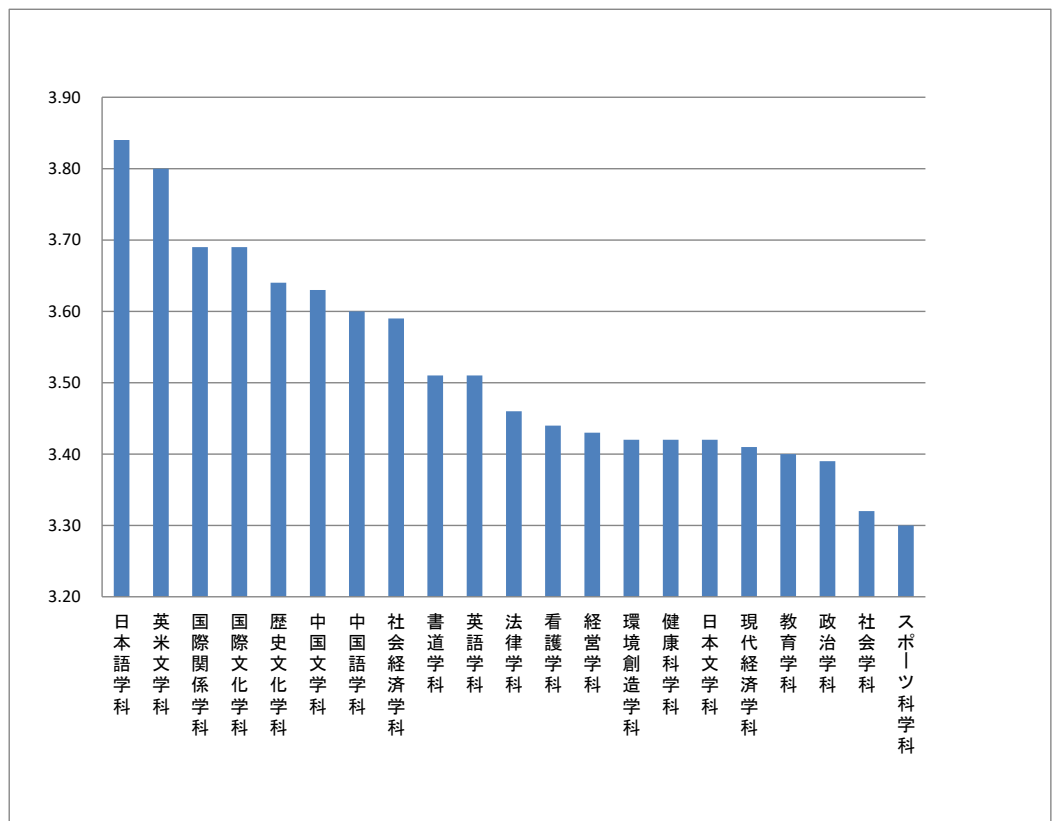
## 出席率

社会学科	4.63
健康科学科	4.63
歴史文化学科	4.59
看護学科	4.57
国際文化学科	4.55
法律学科	4.53
日本語学科	4.53
教育学科	4.52
スポーツ科学科	4.52
書道学科	4.51
社会経済学科	4.50
英米文学科	4.47
現代経済学科	4.47
英語学科	4.41
政治学科	4.39
日本文学科	4.39
経営学科	4.38
中国文学科	4.36
国際関係学科	4.33
環境創造学科	4.30
中国語学科	4.30



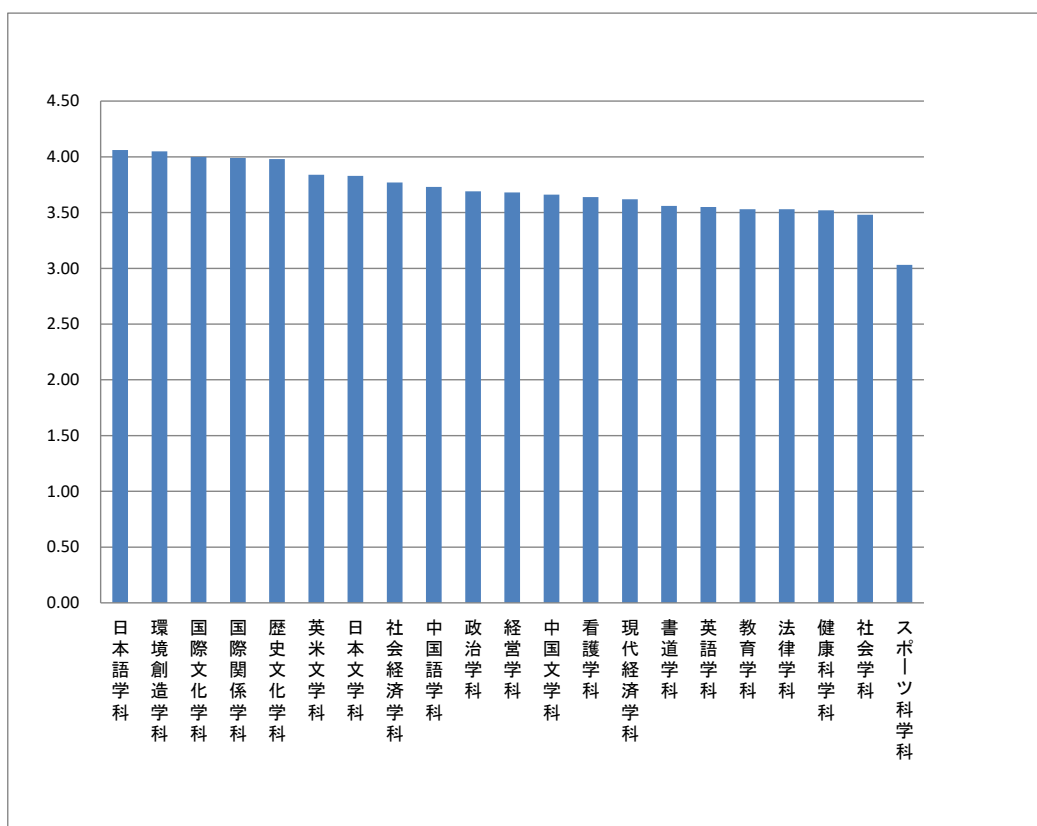
## 予習・復習・練習

日本語学科	3.84
英米文学科	3.80
国際関係学科	3.69
国際文化学科	3.69
歴史文化学科	3.64
中国文学科	3.63
中国語学科	3.60
社会経済学科	3.59
書道学科	3.51
英語学科	3.51
法律学科	3.46
看護学科	3.44
経営学科	3.43
環境創造学科	3.42
健康科学科	3.42
日本文学科	3.42
現代経済学科	3.41
教育学科	3.40
政治学科	3.39
社会学科	3.32
スポーツ科学科	3.30



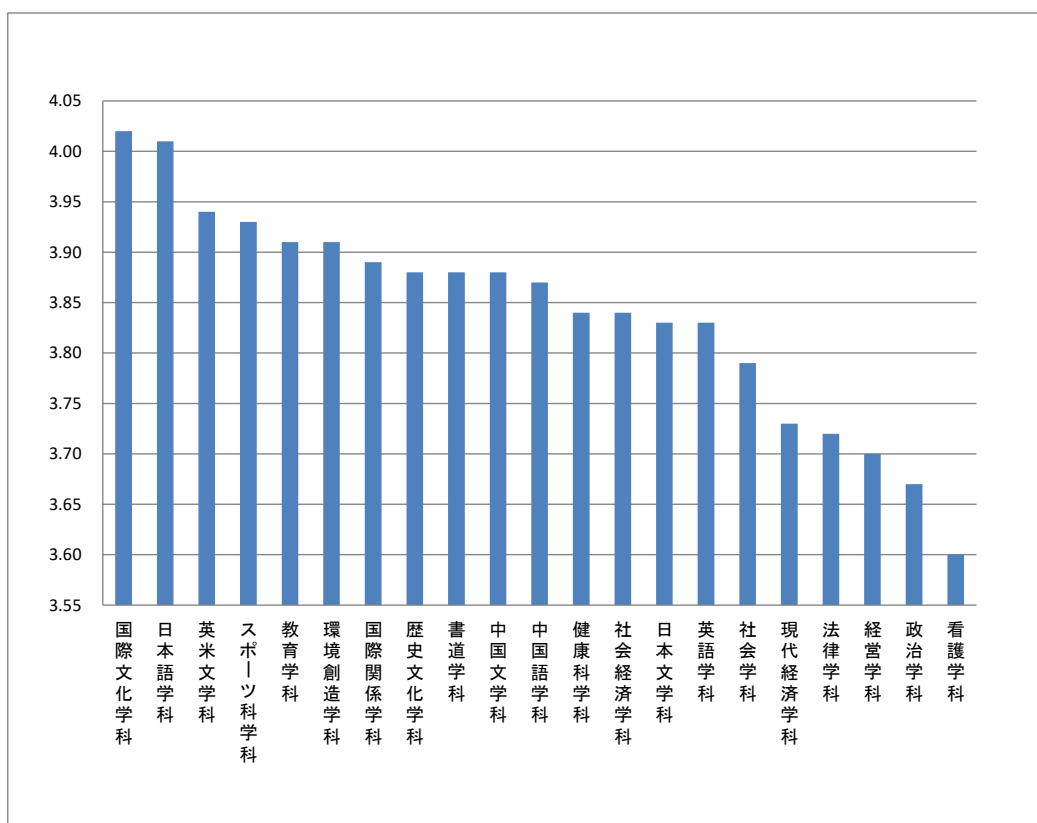
## シラバスの熟読

日本語学科	4.06
環境創造学科	4.05
国際文化学科	4.00
国際関係学科	3.99
歴史文化学科	3.98
英米文学科	3.84
日本文学科	3.83
社会経済学科	3.77
中国語学科	3.73
政治学科	3.69
経営学科	3.68
中国文学科	3.66
看護学科	3.64
現代経済学科	3.62
書道学科	3.56
英語学科	3.55
教育学科	3.53
法律学科	3.53
健康科学科	3.52
社会学科	3.48
スポーツ科学科	3.03



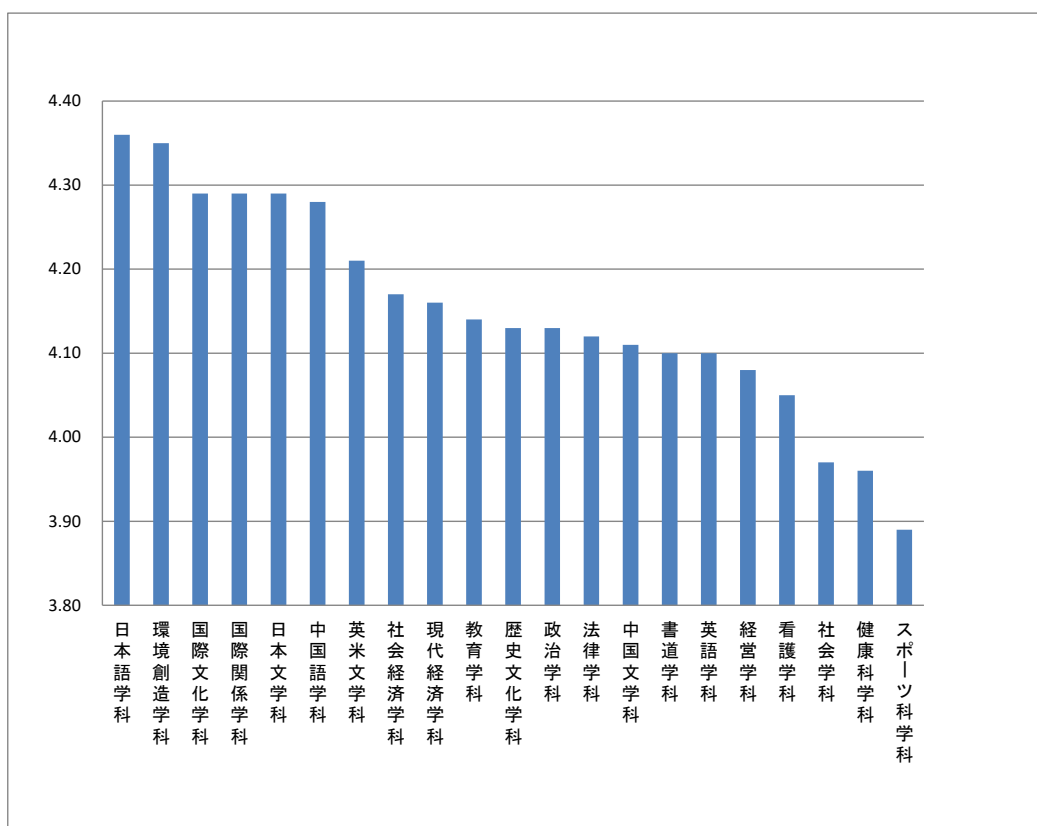
## 授業姿勢への自己評価

国際文化学科	4.02
日本語学科	4.01
英米文学科	3.94
スポーツ科学科	3.93
教育学科	3.91
環境創造学科	3.91
国際関係学科	3.89
歴史文化学科	3.88
書道学科	3.88
中国文学科	3.88
中国語学科	3.87
健康科学科	3.84
社会経済学科	3.84
日本文学科	3.83
英語学科	3.83
社会学科	3.79
現代経済学科	3.73
法律学科	3.72
経営学科	3.70
政治学科	3.67
看護学科	3.60



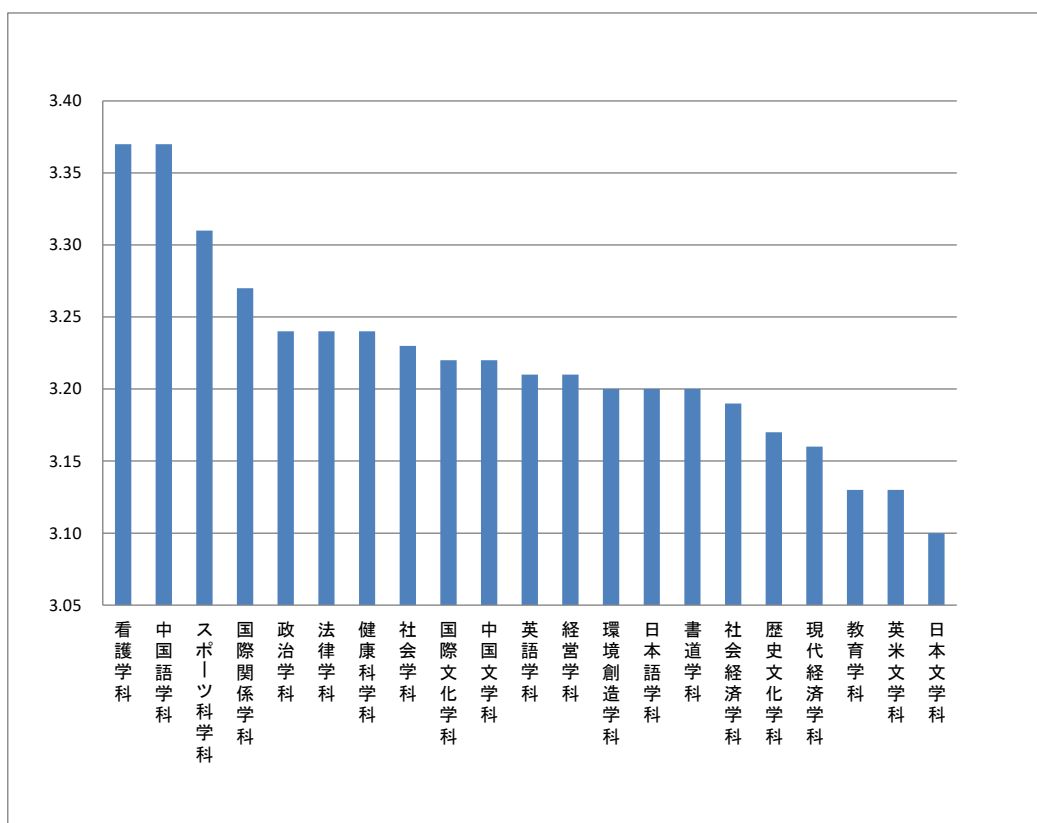
## 適切な授業進行速度

日本語学科	4.36
環境創造学科	4.35
国際文化学科	4.29
国際関係学科	4.29
日本文学科	4.29
中国語学科	4.28
英米文学科	4.21
社会経済学科	4.17
現代経済学科	4.16
教育学科	4.14
歴史文化学科	4.13
政治学科	4.13
法律学科	4.12
中国文学科	4.11
書道学科	4.10
英語学科	4.10
経営学科	4.08
看護学科	4.05
社会学科	3.97
健康科学科	3.96
スポーツ科学科	3.89



## シラバスの反映

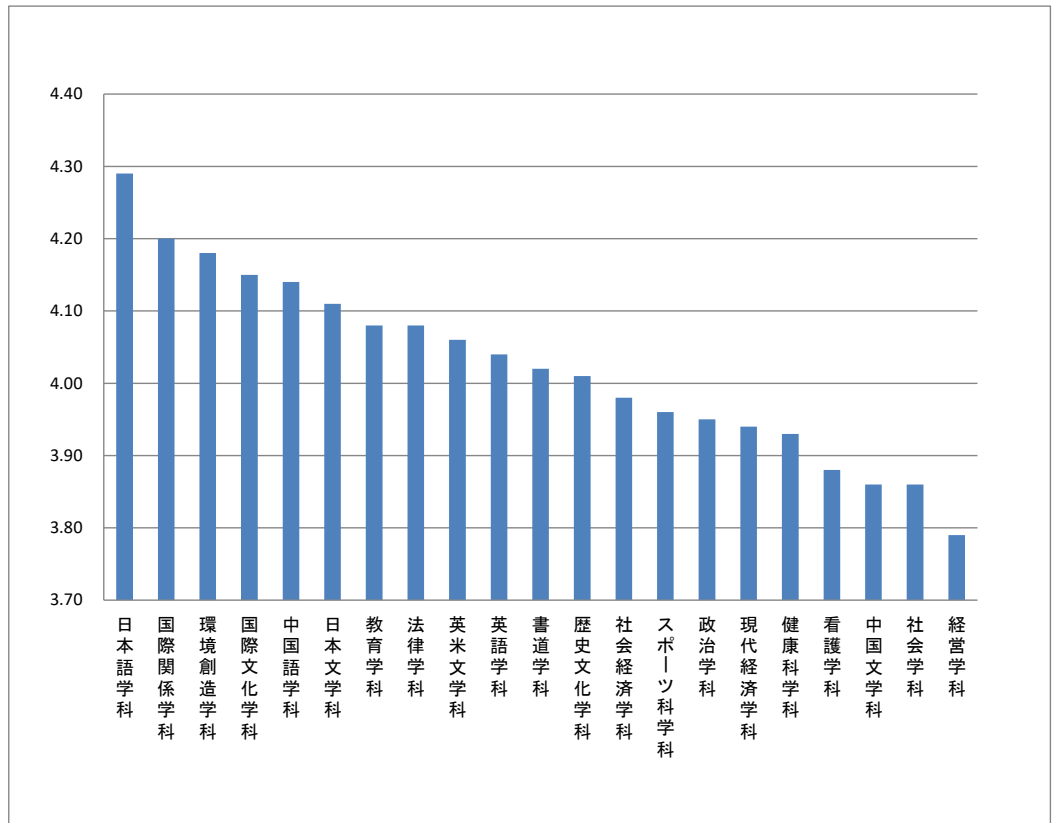
看護学科	3.37
中国語学科	3.37
スポーツ科学科	3.31
国際関係学科	3.27
政治学科	3.24
法律学科	3.24
健康科学科	3.24
社会学科	3.23
国際文化学科	3.22
中国文学科	3.22
英語学科	3.21
経営学科	3.21
環境創造学科	3.20
日本語学科	3.20
書道学科	3.20
社会経済学科	3.19
歴史文化学科	3.17
現代経済学科	3.16
教育学科	3.13
英米文学科	3.13
日本文学科	3.10





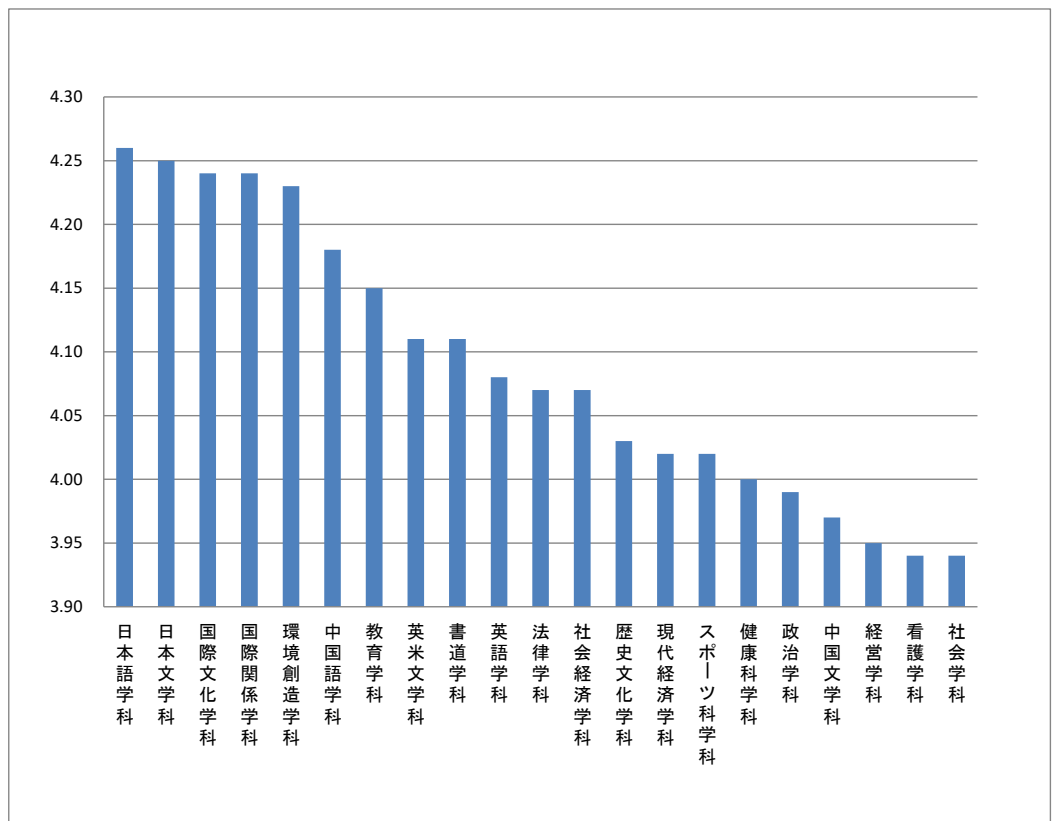
## 板書などの見やすさ

日本語学科	4.29
国際関係学科	4.20
環境創造学科	4.18
国際文化学科	4.15
中国語学科	4.14
日本文学科	4.11
教育学科	4.08
法律学科	4.08
英米文学科	4.06
英語学科	4.04
書道学科	4.02
歴史文化学科	4.01
社会経済学科	3.98
スポーツ科学科	3.96
政治学科	3.95
現代経済学科	3.94
健康科学科	3.93
看護学科	3.88
中国文学科	3.86
社会学科	3.86
経営学科	3.79



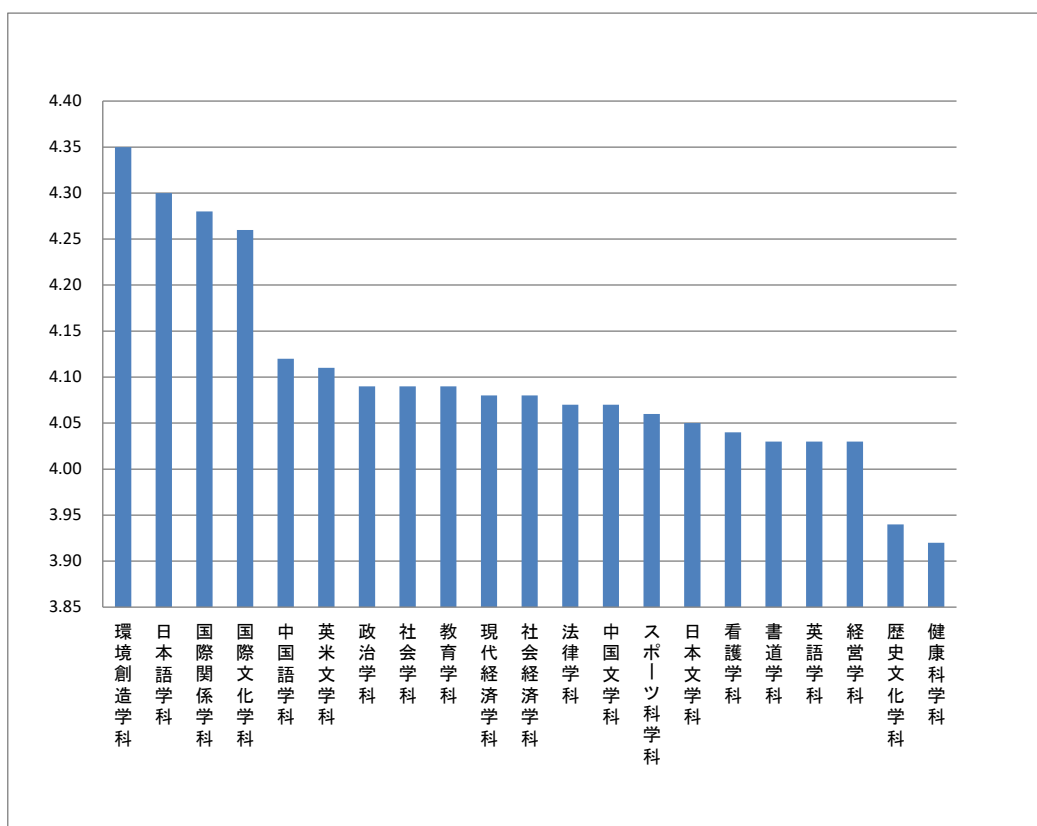
## 教材の使い方

日本語学科	4.26
日本文学科	4.25
国際文化学科	4.24
国際関係学科	4.24
環境創造学科	4.23
中国語学科	4.18
教育学科	4.15
英米文学科	4.11
書道学科	4.11
英語学科	4.08
法律学科	4.07
社会経済学科	4.07
歴史文化学科	4.03
現代経済学科	4.02
スポーツ科学科	4.02
健康科学科	4.00
政治学科	3.99
中国文学科	3.97
経営学科	3.95
看護学科	3.94
社会学科	3.94



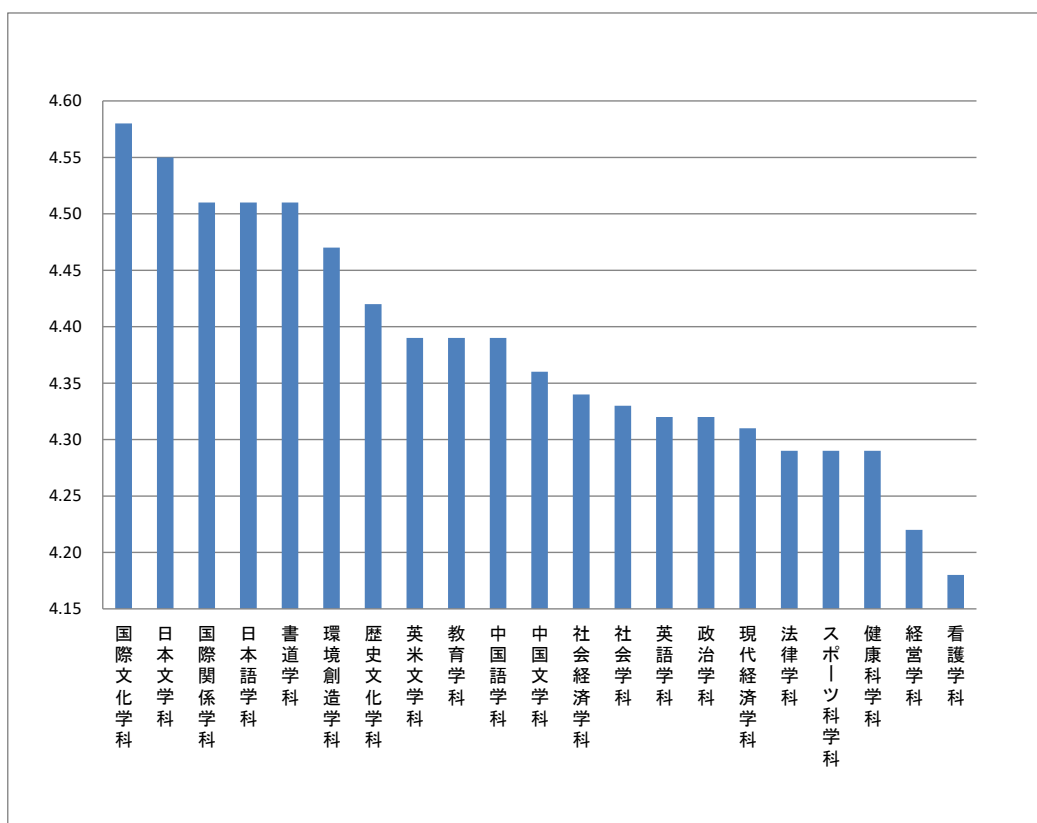
## 受講態度への対応

環境創造学科	4.35
日本語学科	4.30
国際関係学科	4.28
国際文化学科	4.26
中国語学科	4.12
英米文学科	4.11
政治学科	4.09
社会学科	4.09
教育学科	4.09
現代経済学科	4.08
社会経済学科	4.08
法律学科	4.07
中国文学科	4.07
スポーツ科学科	4.06
日本文学科	4.05
看護学科	4.04
書道学科	4.03
英語学科	4.03
経営学科	4.03
歴史文化学科	3.94
健康科学科	3.92



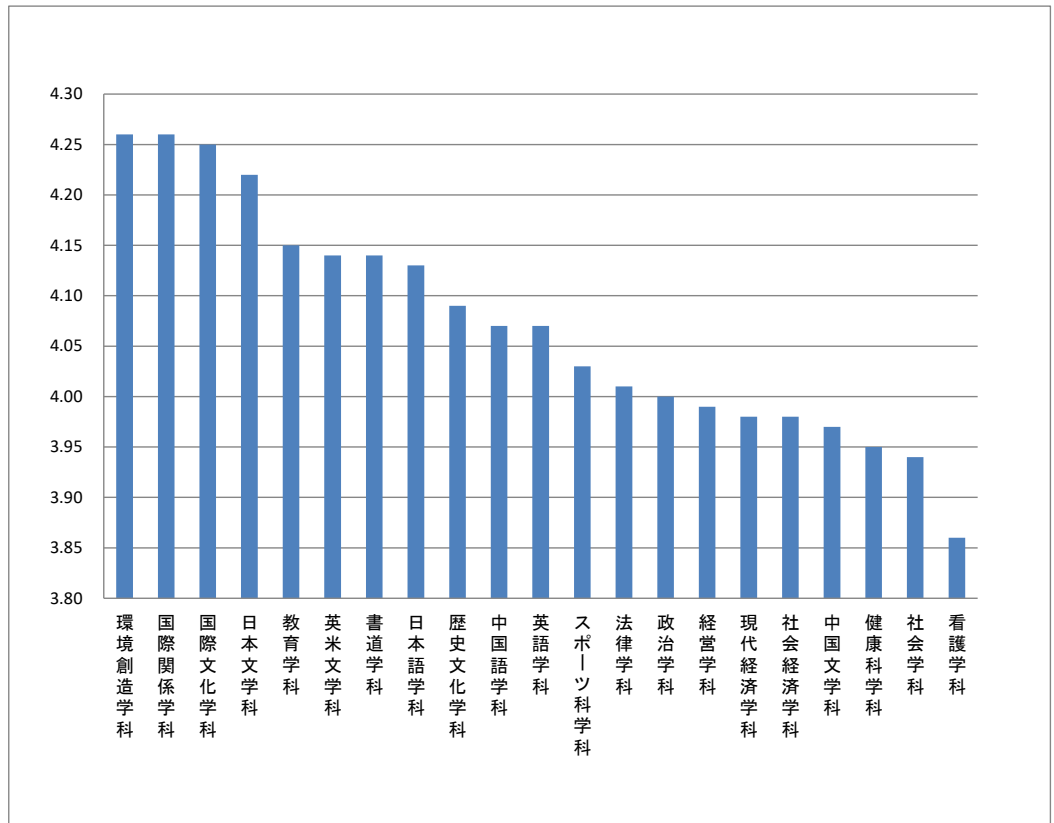
## 教員の熱意

国際文化学科	4.58
日本文学科	4.55
国際関係学科	4.51
日本語学科	4.51
書道学科	4.51
環境創造学科	4.47
歴史文化学科	4.42
英米文学科	4.39
教育学科	4.39
中国語学科	4.39
中国文学科	4.36
社会経済学科	4.34
社会学科	4.33
英語学科	4.32
政治学科	4.32
現代経済学科	4.31
法律学科	4.29
スポーツ科学科	4.29
健康科学科	4.29
経営学科	4.22
看護学科	4.18



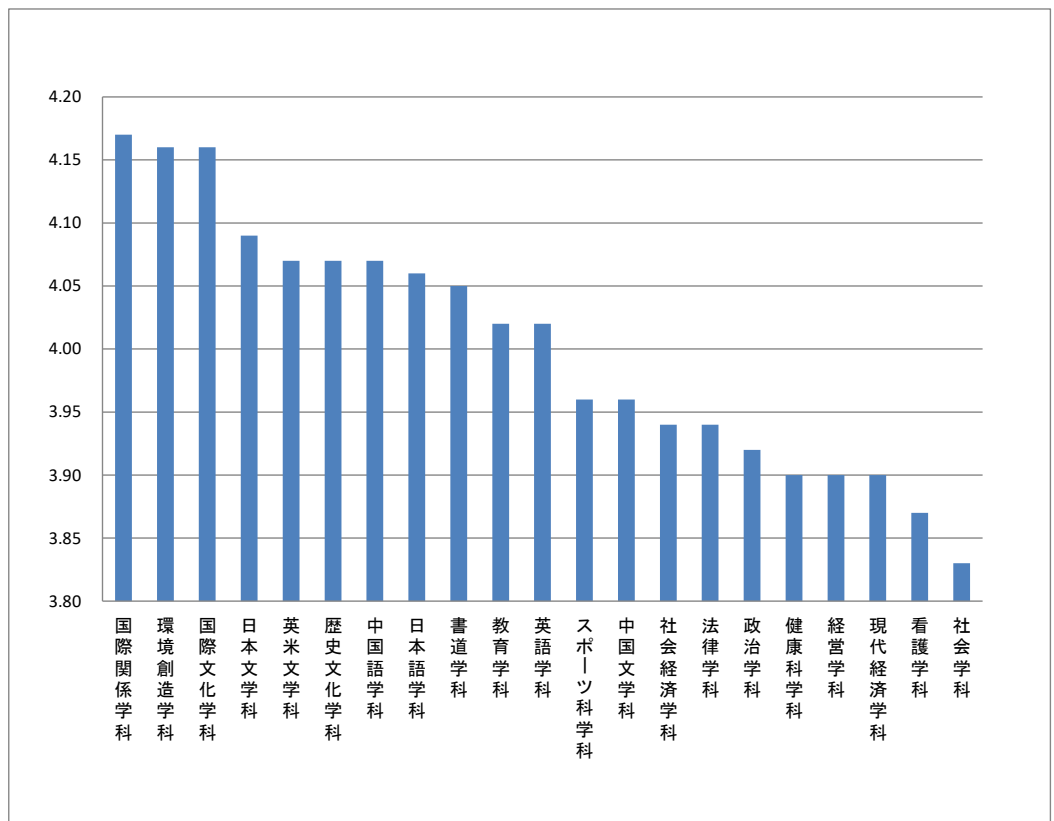
## 新しい自己発想

環境創造学科	4.26
国際関係学科	4.26
国際文化学科	4.25
日本文学科	4.22
教育学科	4.15
英米文学科	4.14
書道学科	4.14
日本語学科	4.13
歴史文化学科	4.09
中国語学科	4.07
英語学科	4.07
スポーツ科学科	4.03
法律学科	4.01
政治学科	4.00
経営学科	3.99
現代経済学科	3.98
社会経済学科	3.98
中国文学科	3.97
健康科学科	3.95
社会学科	3.94
看護学科	3.86



## 自分で考える姿勢

国際関係学科	4.17
環境創造学科	4.16
国際文化学科	4.16
日本文学科	4.09
英米文学科	4.07
歴史文化学科	4.07
中国語学科	4.07
日本語学科	4.06
書道学科	4.05
教育学科	4.02
英語学科	4.02
スポーツ科学科	3.96
中国文学科	3.96
社会経済学科	3.94
法律学科	3.94
政治学科	3.92
健康科学科	3.90
経営学科	3.90
現代経済学科	3.90
看護学科	3.87
社会学科	3.83



## 満足度

日本文学科	4.34
国際関係学科	4.32
環境創造学科	4.31
国際文化学科	4.31
日本語学科	4.28
書道学科	4.22
教育学科	4.21
中国語学科	4.21
英米文学科	4.17
歴史文化学科	4.16
法律学科	4.12
英語学科	4.11
政治学科	4.09
現代経済学科	4.09
スポーツ科学科	4.09
社会経済学科	4.08
中国文学科	4.08
健康科学科	4.07
経営学科	4.03
社会学科	4.00
看護学科	3.90

